

たちばなキッカーズ

創立 40 周年記念誌

—子供が主役のたちばなサッカー四十年史—

2009. 2

たちばなキッカーズ

創立 40 周年記念誌

—子供が主役のたちばなサッカー四十年史—



2009. 2

たちばなキッカーズ 監督・コーチ



顧問 曽田弘治



相談役 永田欣也



代表・監督 宍戸正人



コーチ 前島宏行



コーチ 田辺昭治



コーチ 新井一成



コーチ 村松理雄



コーチ 小林徹



コーチ 渡辺智彦



コーチ 五嶋喜久夫



ヘッドコーチ 徳永佳則



ヘッドコーチ 堀内正一



コーチ 小川誠

コーチ 伊藤直和

コーチ 吉武誠吾

コーチ 大森隆



LLコーチ 小野欽也



LLコーチ 田島泰彦



LLコーチ 佐々木勝幸



LLヘッドコーチ 渡辺邦雄



LLコーチ 伊藤学



LLコーチ 大谷穎



SLコーチ(兼務)
小川誠

SLコーチ
菊田淳

SLヘッド
手代木修

SLコーチ
河野優

SLコーチ
水野裕介

た ち ば な イ レ ブ ン

作詞 笠松文雄 はかまつぶんゆう
作曲 山室祐一 やまむろすういち

1. むねにぞら かがやく たちのばせないマえん クにすべか
 2. おおぞら ひびく たこのせばせないマえん クにすべか

てのーちかーらい だたた しかーうきゆつう てき フアイ

トだ シュート だ ス ピード だ

ばくら たちばな たちばな イレ ブン

たちばなイレブン

作詞 笠松文雄 ほか
作曲 山室紘一

胸に輝く たちばな マーク
すべての力 出しきつて
ファイトだ シュートだ スピードだ
ぼくら たちばな たちばなイレブン
大空ひびく この声援に
ちから一ぱい 鬪う勇気
ファイトだ シュートだ スピードだ
ぼくら たちばな たちばなイレブン

大空ひびく この声援に
ちから一ぱい 鬥う勇氣
ファイトだ シュートだ
ぼくら たちばな たち

大空ひびく この声援に
ちから一ぱい 闘う勇氣
ファイトだ シュートだ
ぼくら たちばな たち

目 次

	ページ
・祝辞	1
たちばなキッカーズ創立 40 周年祝辞 (社)横浜サッカー協会少年委員会 委員長 石井 和則	1
お祝いの言葉 衆議院議員 (前文部科学大臣) 鈴木 恒夫	1
創立 40 周年記念をお祝いして 駒林サッカークラブ代表 湯本 一夫	2
創立四十周年に寄せて あざみ野 FC 代表 村上 源也	2
協働の精神 横浜市立下田小学校 校長 木崎 昌江	3
創立 40 周年を祝して 横浜市立日吉台西中学校 校長 志村 由紀夫	3
創立 40 周年に寄せて 横浜市立高田中学校 校長 南 哲朗	4
たちばなキッカーズ 40 年 おめでとうございます サンヴァアリエ日吉自治会会長 若木 信子	4
たちばなキッカーズを応援します 下田町自治会 会長代行 栗山 純孝	5
お祝い 下田レインボー監督 道広 国昭	5
・たちばなキッカーズ創設者より	6
キッカーズ誕生の頃 たちばなキッカーズ創設者 曽田 弘治	6
・創生期 (1 期～9 期)	7
“たちばな KC の誕生と揺らん期” たちばなキッカーズ元監督 曽田 弘治	29
“たちばなキッカーズ” の皆さんへ たちばなキッカーズ故佐野コーチ奥様 佐野 純子	31
・発展期 (10 期～19 期)	33
発展期のたちばなキッカーズ(第 10 期～19 期) たちばなキッカーズ元代表 永田 欣也	61
祝 たちばなキッカーズ 30 周年 旧 LL 担当コーチ 末山 本村	62
・成熟期 (20 期～29 期)	65
成熟期 (20 期～29 期) を思い返して フリーコーチ (当時 LL コーチ) 前島 宏行	102
成熟期のたちばなキッカーズ 旧 L 担当コーチ 南間 正次	104
たちばなキッカーズと重なる思い出 旧 LL 担当コーチ 横川 芳江	106
過去、現在そして未来に向かって 旧 SL 担当コーチ 伊藤 直和	108
小学生におけるスポーツのあり方 旧 L 担当コーチ 宮戸 正人	109
審判は何処へ行く? たちばなキッカーズ旧コーチ 旧二級審判員 中林 由行	110
・飛躍期 (30 期～39 期)	111
たちばな雑感 ～たちばなの魅力～ フリーコーチ 小林 徹	159
たちばな雑感 ～40 周年に思うこと～ LL 担当コーチ 佐々木 勝幸	160
・更なる飛躍へ (40 期～46 期)	161
更なる飛躍へ 代表兼監督 宮戸 正人	183
たちばなキッカーズと私 元たちばな代表 永田 欣也	185

～To be a Creative & Aggressive Footballer～ L 担当コーチ 徳永 佳則	187
たちばなキッカーズと私 LL 担当コーチ 渡辺 邦雄	188
子供たちが目指すのはワールドカップであってほしい SL 担当コーチ 手代木 修	189
・年間スケジュール	190
・楽しい夏期合宿	191
・たちばな杯	199
・スポーツテスト記録	202
・歴代コーチの変遷	207
現役コーチ陣より	209
佐野さんとたちばなキッカーズ たちばなキッカーズ監督 曽田 弘治	213
薄木コーチを偲んで たちばなキッカーズ LL コーチ 前島 宏行	213
大島コーチを偲んで たちばなキッカーズコーチ 村松 理雄	215
・クラブ規約の変遷	216
・たちばなキッカーズ指導方針	218
・TKC サッカートレーニング要綱	220
・たちばなキッカーズの各クラスの主要基本方針	224
・主要大会の成績記録	225
・編集後記	234

祝 辞

たちばなキッカーズ創立40周年祝辞

(社) 横浜サッカー協会少年委員会

委員長 石井 和則

たちばなキッカーズ創立40周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。創立以来、『子ども(選手)中心のサッカー、子どもたち自身が考えるサッカー』をモットーとして、子どもたちの健全育成はもとより、地域におけるスポーツの振興に貢献されましたことは誠に顕著であり、その熱意と努力に深く敬意を表します。ここまで40年間色々とご苦労もあったかと思いますが、宍戸代表をはじめとした指導者の皆様の少年サッカーに対する情熱と、それを支えてこられた保護者の皆様の協力体制がしっかりとしていたからこそこのような良き日を迎えたことだと思います。尚、篠原つばめSC、山王谷SCと共に横浜少年サッカーの発祥のチームとして、今まで横浜少年サッカーの発展に多大なる貢献をされ、その功績は賞賛に値し感謝の念に堪えません。私自身も子どもの頃から横浜少年サッカーで大変お世話になり、サッカーを通して人間としても大きく成長させていただきました。サッカーは『子どもを大人にし、大人を紳士にするスポーツである』とよく言われますが、まさしくここを巣立つた子どもたちが、将来の日本の担い手として地域社会に対して貢献できるような人材として育ってもらえることを切に願っています。

最後になりましたが、この創立40周年を機に横浜少年サッカーの先駆者として更に50年60年と益々ご活躍ご発展されますことを祈念申しあげ、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

お祝いの言葉

衆議院議員

(前文部科学大臣)

鈴木 恒夫

たちばなキッカーズの創立40周年を心からお祝い申し上げます。ご関係の皆様の胸中を想いますと、私にも感動と感謝の思いが湧き上がります。

なぜかと申しますと、私も少年時代に出会ったサッカーのお陰で、心身ともに一人前の人間にしていたいだいたからです。

私は幼いころ、心身ともに虚弱な、小さな男の子でした。「この子は、ほんとうにちゃんと育つだろうか」と両親はじめ皆さんが心配していたのでした。サッカーに出会っていなかつたら・・・と想うと、ゾッとしてしまいます。

たちばなキッカーズの40年の間に、どれほど多くの少年たちが、私と同じように救われ、育ち上がったことでしょう。指導者の皆さんのご努力に、心から敬意を表する次第です。

教育の原点は「知・徳・体」ですが、「知」、「徳」で「体」はつくれません。しかし、「体」は「知」と「徳」を育くむことができます。

この意味からも、私は心をこめて「たちばなキッカーズの更なる発展を！！」と叫ばせていただきます。わが国社会の劣化の進行に歯止めをかけていただくためにも-----。

40周年、ほんとうにおめでとうございます。

創立 40 周年記念をお祝いして

駒林サッカークラブ

代表 湯本 一夫

たちばなキッカーズが創立 40 周年を迎えられることを心からお慶び申し上げます。

40 年の長きにわたりクラブの創立発展に尽力されました曾田元代表をはじめ、多くの皆様方の情熱とご苦労に心より敬意を表します。

たちばなキッカーズは創立以来、横浜少年サッカークラブの先駆者として今まで少年サッカーの発展に多大なる貢献をされ、数多くのサッカークラブの模範となり横浜少年サッカーを大きく成長させてまいりました。

駒林サッカークラブもたちばなキッカーズ創立時に曾田監督のお手伝いをさせていただいた池畠元代表が昭和 48 年に立ち上げ、以来曾田監督をはじめ、たちばなキッカーズの皆様のご指導、ご援助を頂きながら一日でも早く追いつき、追い越せとクラブ活動に励んでまいりました。おかげをもちましてクラブ員約 200 名、平成 21 年には創立 35 周年を迎えるクラブに成長させていただきました。ここで改めて御礼申し上げます。

最後になりましたが創立 40 周年を機に、たちばなキッカーズの今後の益々の発展と皆様方のご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立四十周年に寄せて

あざみ野 FC

代表 村上 源也

横浜市の少年サッカーチーム数は現在協会に登録されているだけでも 160 を超えていますが、最初はわずか 3 つのチームでスタートしたのです。それは たちばな KC、つばめ SC、山王谷 SC でした。つまり、創立 40 周年を迎えた たちばな KC の歴史は、横浜市の少年サッカーの歴史と共に築いてきたといえるのです。

その頃の神奈川県の少年サッカーは藤沢市が中心でした。それらは各小学校を拠点に学校の先生方が指導者の中心となって活動するいわば部活動的なものでした。しかし横浜市に誕生した 3 クラブは、練習会場はおのれの地元の小学校でしたが、指導者はたちばな KC の曾田弘治さんのように学校外の方々が中心でスポーツクラブ的な要素が強くそれが今日まで横浜市の少年サッカーチームの特徴として続いてきました。つまり、この環境が市内に多くの個性的なチームを育て、今日の横浜少年サッカー界の基盤となっているのです。当時の日本のサッカーは、一般的にパワーとスピードを中心のヨーロッパ型が主流でした。

しかしたちばな KC の曾田サッカーは、ドリブルを主体に個人技を生かす南米色の強いもので、当時としては珍しく周囲の注目を集めたのです。それは、1924 年にパリで開催されたオリンピックで南米から初めて、ただ 1 カ国参加したウルグアイが見事な個人技でヨーロッパ勢を圧倒したという話を私に思い出させました。

先日、40 周年記念の大会に招いていただいた際、その曾田サッカーの伝統が今もたちばな KC にしっかりと生きているのを確認して本当に嬉しく思いました。

たちばな KC には 2 人の息子がいます。長男は駒林小学校が出来たときに池畠健一郎先生が作った駒林 SC、次男が我があざみ野 FC というわけです。この親子が今後もより絆を強くして、横浜市はもちろん神奈川県さらには日本のサッカー界にいつまでも楽しい話題を提供し続けたいものです。

あざみ野 FC もおかげさまで来年の 12 月には創立 30 周年を迎えます。あざみ野 FC を巣立った少年たちが自分達の懐かしい古巣として事あるごとに思い出してくれるような温かなクラブであるように今後も努めます。創立 40 周年を迎えた たちばな KC の次男坊であることを誇りに思って……。

協働の精神

横浜市立下田小学校

校長 木崎 昌江

たちばなキッカーズ創立 40 周年おめでとうございます。

下田小学校が昭和 37 年に開校し、その数年後からたちばなキッカーズが活動を始めたことでこれまでの長期にわたり、地域の皆様を始め、多くの方々に下田小学校の子ども達が育てられ、現在に至っていることを嬉しく思います。感謝申し上げます。

先日あるクラスで「決まりや規則の意義を理解し、自分達で決めた決まりは進んで守ろうとする態度を養う」のねらいで道徳の学習をしていました。小学校高学年ともなると決まりを守らなくてはならないことは分かっているが、守れない場面が増えてきます。サッカーの練習では如何でしょうか。

授業資料の内容は R 町の少年野球のチームと隣町の少年野球チームの試合の真っ最中の出来事です。監督はバントで 1 墓走者を 2 墓に送るように指示を出しました。しかし、今日のバントの命令だけはどうしても聞きたくなかった打者はバッターボックスに立ち、二塁打を打ちました。監督の指示に従わなかつたのです。

翌日、「僕は監督になるときに君達と話し合ってチームの規則を決めた。試合のときなどにチームの作戦として決めたことには絶対に従ってもらわなければならぬ話もした。君達は快く賛成してくれた。だから僕も気持ちよく君達と練習を続けてきたのだ。だが昨日の A さんは、監督の僕との約束を破り、勝手に打撃に出た。大きく言えばチームの規律を乱したことになる。いくら結果が良かったからといって規則を乱したことには変わりはない。野球はただ勝てばいいんじゃないんだよ。健康な体を作ると同時に団体競技として協働の精神を養うためのものなのだ。」

多くの子ども達が土曜日・日曜日にスポーツを楽しんでいることは非常に嬉しいことです。学校で学んだ「規則の尊重」「集団の一員としての責任」「協働の精神」を実際のサッカーの場面で実践することができればうれしく思います。そして地域に子ども達の受け皿としてのチームがあることも下田小の子供だけでなく保護者の方々にとっても嬉しいことではないでしょうか。団体競技を通して子ども達が心身ともにすくすくと成長し、生涯学習として続けていくことを期待しています。

創立 40 周年を祝して

横浜市立日吉台西中学校

校長 志村 由紀夫

たちばなキッカーズが創立 40 周年を迎えたことを、心よりお祝いいたします。この間、多くの少年たちがチームを巣立ち、今では社会の第一線でご活躍のことでしょう。また監督、コーチをはじめ、これまでチームの発展にご尽力されたさ方々の喜びもひとしおのことと存じます。

先日、本校のサッカーチーム顧問と話をしていたおりに、たちばなキッカーズの話題になりました。2 年ほど前の夏・秋に県大会に出場し、共に 153 チーム中ベスト 12 位という好成績を収めたときの中心メンバーは、小学生時代たちばなキッカーズでプレーしていた選手だったということでした。これまで、本校以外でも多くの仲間たちが活躍し実績を残してきました。

サッカーに限らずどのスポーツにも共通することは、続けることだと思っています。その中の様々な経験が、自らの人生を豊にしていくことになります。

中国には「水を飲むとき、私たちは井戸を掘ってくれた人の恩は忘れません」ということわざがあります。創立当時の方々やそれを受け継いだ人々の思いが伝統として今に続いていることと思います。

40 年にわたりチームを支えられた先人の苦労や思いを忘れずに、これからもご発展されることを祈っております。

創立 40 周年に寄せて

横浜市立高田中学校

校長 南 哲朗

『たちばなキッカーズ』様の創立 40 周年、誠におめでとうございます。

心よりお祝い申し上げます。

40 年間、どれだけの数のサッカー少年たちを輩出されたのでしょうか。その間、子どもたちのサッカーに対する情熱、技術、夢を育んでこられた監督はじめコーチ、指導に携わった多くの方々、チームと我が子の双方を応援し続けてこられた保護者の皆様、本当におめでとうございます。創立当時の選手たちがそろそろ 50 歳代？ 親子 2 代にわたっての団員というケースもあるのではないでしょうか？

1968 年、当時はまだ野球が主流な時期で、サッカーポートも少ない時代に少年サッカーを創設されたことは、まちがいなく偉業であったと言えます。なぜならば、そのような丹念な積み重ねが J リーグ発足やワールドカップ出場など日本のサッカー界のレベル向上に大きく貢献したからです。

ずいぶん昔になりますが、私がサッカーに夢中になっている頃『サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にする』ということばがありました。青少年の健全育成に関して、新学習指導要領でも家庭や地域の果たす重要性を述べています。改めまして、『たちばなキッカーズ』様の築いてこられた輝かしい歴史を祝福し、さらなるご繁栄・ご活躍を祈念いたします。

たちばなキッカーズ 40 年 おめでとうございます

サンヴァリエ日吉自治会

会長 若木 信子

昭和 43 年のたちばなキッカーズの発足当初から日吉団地(現在サンヴァリエ日吉)に居住しておられる岩崎さんから、息子さん延広さんが下田小学校の校庭でボールを蹴って遊んでいたところ曾田さんのお嫁さんに勧められ数人集って曾田さんがコーチを受けたのが、たちばなキッカーズの始まりになったお話など伺ったり、同じ現在まで居住しておられる南間さんからは 20 年の記念誌をお借りして読ませていただきサッカーについての認識を深めると共にたちばなキッカーズの素晴らしさを痛感いたしました。

忘れられない合宿の思い出、受験勉強と練習を両立させた経験談、苦しかったこともあったたちばなキッカーズで学んだ数多くのことは、社会人になっても今様々の形で生かされているという感想文に胸を打たれる思いがしました。

改めて曾田さんをはじめコーチの方々や子ども達が卒業してもたちばなキッカーズを見守っていく OB の父兄方々による「たちばなキッカーズ愛好会」の活動にも感動しました。

これからも下田小学校の校庭でこれまでに引き続き土曜日、日曜日は多くの子供さん達がサッカーの練習に励んでおられる姿が見られることを期待すると共に、たちばなキッカーズの益々のご発展を心から祈念申し上げ、40 周年を記念したご祝辞とさせていただきます。

たちばなキッカーズを応援します

下田町自治会

会長代行 栗山 純孝

私は、昭和 17 年に名古屋で旧制中学校に入学した者です。既に大戦が始まっていましたが、まだ平和な時代でした。

どういうわけか、サッカーチーム〔蹴球部〕に入部して約 1 年半を過ごしました。そのあとは、勤労動員で農村や工場で働いていましたが、再びサッカーをやる機会はありませんでした。

この度、たちばなキッカーズが創立 40 周年をお迎えになる由、誠におめでとうございます。

一言で 40 年というのは簡単ですが、このために多くの関係者のご尽力があったからこそと、心から敬意を表します。

今更サッカーでお役に立つことは出来ませんが、これからは『たちばなキッカーズ』の応援団になります。

現在私は自治会長代行をやっていますので、何処まで時間がとれるか気になっておりますが・・・。

幸い、下田小学校は拙宅から近いので出来るだけ応援に行きたいと思っています。

40 周年を機会に、たちばなキッカーズの益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

お祝い

下田レインボー

監督 道広 国昭

たちばなキッカーズ御関係の皆様、創立 40 周年まことにおめでとうございます。

私もボランティア活動として少年野球（下田レインボー）に携わっておりますが、今年（H20 年）やっと 30 年を迎えたばかりです。

たちばなキッカーズはその先はるかかなたを走り続けておられます。すごい「力」だと思います。「継続は力なり」そのままです。称賛に値します。ここまで長い歴史の中には隆盛期有り、下降期有り、そのほかいろいろなことが多くあったと思います。指導者の方々にはその都度大変な苦労があったことでしょう。でも、それらを力強く跳ね除け、40 年までたどり着いたわけです。

たちばなキッカーズの指導者、父母の皆さん、これから先、何年もチームを存続させなければなりませんが、少年健全育成のため大いに頑張って発展させていって下さい。

40 周年本当におめでとう。たちばなキッカーズよ、強くあれ！

たちばなキッカーズ創設者より

キッカーズ誕生の頃

たちばなキッカーズ創設者

曾田 弘治

1964年から68年は、東京からメキシコへ引き継いだオリンピックイヤー。今から思えば、この日本列島に太陽がさんさんと輝いていた時代である。スポーツ界も活気を取り戻した。

そしてサッカーの歴史の浅い日本が東京オリンピックでベストエイト(あのアルゼンチンに勝った!)4年後のメキシコで銅メダルを獲得! (その当時オリンピックはプロ選手は参加していない) 我々下田小グランドにも、明るい陽が降り注いでいた。

日曜、休日のみならず、ウイークデーの夕方も、元気一杯の子ども達が中学生も入ってボールを追つて蹴りまくっていた。そのボールの音が聞こえる公団住宅に住んでいた私も仲間入りして忘れかけていたボールの感触を味わった。そして1968年(昭和43年)11月、横浜市や港北区の後押しもあってついに下田小校庭をホームグランドとする少年サッカーチームが誕生した。校長室にチーム結成の報告を行った際、柏木校長の温かい顔があの円形校舎と共に眼底に残る。下田小の体育主任は中山先生。初めての県外の対外試合は中山先生の紹介で東京の杉並区浜田山小へ行った。新進気鋭の池畠先生には「たちばな規約」を作ってもらっただけでなく、対外試合の引率までやってもらった。学校とスポーツクラブとのこのような関係は、横浜のような先進都市ではもう無くなつたかもしれない。又、たちばなの4期生、つまり昭和47年度までは保護者の応援も観戦もなかつたように思う。その年々で子ども達の中からリーダーが現れて、大げさに言えば試合を仕切っていた。とても頼もしかつた。初期のたちばなに対し、「創造力に富んだ野武士集団」という他チームからの評価もあった。

さて、いつの間にか40年が経過して、サッカー少年の個人的事情も変動した。6年生になると受験準備に忙しい子が多くなり、メンバーの構成も難しくなる。コーチも頭が痛い。しかし現代の子どもの心身の発育にはスポーツの課す役割も大きい。そのつど折り合いをつける方法を考えましょう。



創生期 (1期～9期)

1968年(昭和43年)11月23日(祝日)のたちばなキッカーズ創部から約10年間を「創生期」と命名し、当時の戦績、チームカラーを振り返ってみました。

当時、ここ下田界隈はまだ「田園丘陵地帯」の面影を残していましたが、東京圏の人口が急速に伸びつつあった時代であり、下田小から昭和42年に日吉南小が、昭和48年に駒林小が独立する程、児童数が急増していました。一方、東京オリンピック以来、家庭の主婦が気軽にジャージ姿で買物に行く等、スポーツが身近になってきた頃でもありました。

「たちばな」では本当にサッカーが好きな少年達だけが集まり、サッカーを楽しんでいました……。

第1期 1969年度(昭和44年度)卒業生

シーズンレビュー

- ・昭和43年11月23日(祝日)朝 下田小学校校庭に16名?が集まり初練習を行う。曾田監督の長女(葉子さん:マネージャー)の呼びかけでチーム発足。5年生以下の下田小学校生徒でスタートする。

L (1969年度(昭和44年度))

- ・8月24日(日) 「たちばなキッカーズ」が出来てから初めての対外試合を下田小校庭で実施。相手は当時日吉町にあった「若草クラブ」(故石垣一雄氏が指導)。5-0で大勝利。
 - 1点目:敵のハンドによるフリーキックを竹沢君が蹴り、それを土屋君が速い出足でブッシュ
 - 2点目:竹沢君がゴール正面からシュート
 - 3点目:今橋君からのパスを森下君がゴール正面から左足でクリーンシュート
 - 4点目:加藤君からのパスを今橋君がゴール左上にクリーンシュート
 - 5点目:加藤君が相手のバックをドリブルで抜き左足でクリーンシュート
- ・9月 下田小校庭に初めてシュート板が設置される。
- ・11月 日吉地区少年サッカー大会を初めて行なう。参加チームは、朝日、南日吉、たちばな、若草クラブの4チーム。優勝は朝日。たちばなは3位。

チーム紹介

“三十年前を振り返って” 第1期生 賀久 哲郎 (創立30周年記念誌より)

たちばなキッカーズ三十周年おめでとうございます。

九月の初め、会社から帰宅したところ、家内より

「曾田さんと言う方から電話があったわよ」

「曾田さん?」

「そう、たちばなキッカーズの件で」

三十年間途絶えていた私の一本の記憶の糸が復活しました。さっそく森田葉子さん(旧姓曾田葉子さん)へ電話をし、当時の懐かしい思い出話にしばしはまり込んでしまいました。その後、お父様の曾田監督からもお電話を頂き、当時の懐かしい話をさせて頂きました。

当時の「たちばなキッカーズ」の記憶は、下田小学校卒業と共にだんだんと薄れ、現在ではほとんど完全に忘れていました。しかし、お話をさせて頂いているうちに出てくる名前、「村上君」「桜井君」「飯田君」「瀬戸君」等、お聞きすれば瞼にすぐ当時の懐かしい仲間の顔が浮かんできました。本当にうれしい連絡でした。

三十年前、当時五年生で、私は東京から下田小学校へ転校してきました。最初はなかなか友達が出来ず、ただ毎日フラフラしていました。そんなある日の日曜日の午前中、たまたま下田小学校の校庭へ行くと、曾田監督以下五年四組の何人かがサッカーの練習をしていました。曾田監督は私に気さくに「一緒にやらないか」と声をかけてくれました。そして、それから毎週日曜日は一日中夢中になってサッカーに行くようになりました。当時は野球がとても盛んで、現在のようにサッカー熱は無く、ほとんどの小学生は野球に夢中になっていました。私も授業でサッカーをやる程度でしたが、曾田監督の熱心なコーチに引かれ、すぐ夢中になってしまいました。おかげで、友達も早く

出来、毎週日曜日が楽しみでした。

現在はJリーグやワールドカップへの出場等サッカー熱が盛んなため、それぞれの学校では父兄が中心になり、ユニフォームからグランドの施設、ボール、ミニゴール等恵まれた環境でプレイできますが、当時はまったくその様な環境は無く、ボールはゴムボールでユニフォームは無く、何箇月かしてやっとグリーンのストッキングが揃えられた記憶があります。私はゴールキーパーでした。何故キーパーになったのかは良く覚えていませんが、一度試合で、たぶんたまたまキーパーをさせられていた時、チームの皆から「スゲー、かっこいい」とべたほめられた記憶があります。この満足感は今でも覚えています。また当時はルール等にほとんど精通していなかったため、よく監督のお宅に集まって勉強会を開いて説明を受けた思い出があります。そして、その説明のために監督とサッカーゲームの玩具を買いに行ったことも覚えています。その様な状態ですから他にチームも少なく、練習試合もなかなか出来なかった状態でした。でも皆一丸となって本当に楽しみながら練習をしたと思います。

さて時は過ぎ、もう三十周年ですね。本当に早いものです。そして現在のたちはなキッカーズの繁栄にはびっくりしました。これも本当に曾田監督の御努力の賜物だと思います。本当にご苦労様でした。そして私にとっては今回の出会いが、今後素晴らしいものとなるような気がします。出来れば同窓会でも開きたいですね。

私の息子は今年一年生で、現在駒林小学校へ通っていますが、偶然にも駒林サッカーチームで土・日曜日がんばっています。コーチもしっかりした方で、とても熱心に行なってくれています。また、父兄の方々のバックアップもあり、練習には必ずどなたかが交代で立ち会い、飲み物や救急対応もして頂いています。練習試合も多く、月に2から3回くらいは他のチームと試合を行っています。この様な環境の下では思う存分サッカーに熱中出来ると思います。私達の頃より格段の差で恵まれていますね。

今日も我が息子様はグリーンのユニフォーム・青のトランクス・プロテクター・グリーンのストッキングに身を包み、公式のサッカーボールを持ち、学校へ練習に行かれます。もちろん車での送り迎え付き。

「さてと、では息子を送りに行くか」

………息子よ、お父さんみたいな人生の素晴らしい思い出を作れよ………

メンバー紹介

ポジション	名前
FW	村上 三紀夫
FW	飯田 隆
GK	賀久 哲郎
FW	木口 純一
FB	小林 泰和
FW	里見 清行
HB	瀬戸 永祐
FB	高木 浩司
HB	田中 仁志
HB	豊田 雅彦
FB	鈴木 正
FB	橋本 康司
マネージャー	森田 葉子 (旧姓 曽田)



たちはなキッカーズ・ペナント

第2期 1970年度(昭和45年度)卒業生

シーズンレビュー

L (1970年度(昭和45年度))

・4月 第2回日吉地区少年サッカー大会開催

1位: 南日吉

2位: たちばな

3位: 若草

(資格は小4から中1の為、年長者の多いチームが有利であった)

チーム紹介

“サッカー人生” 第2期生 小山 栄(創立15周年記念誌より)

私が初めてボールを蹴ったのは、今から何年前になるでしょうか。もう二十年以上も前の事ですからはっきりとは覚えておりませんが、下田小学校の同じクラスの友人に誘われて、たちばなキッカーズにお世話になったのではないかと思います。その頃の私はサッカーというスポーツを全く知らずにいましたから、たちばなキッカーズにお世話になる時も友人がやっているから自分もやってみようという様な軽い気持でサッカーをやり始めた訳です。

しかし、しばらくボールを蹴っているとサッカーには不思議な魅力がある事が判り、どんどんサッカーに引かれて行きました。ボールを蹴る楽しさ、ボールを止める難しさ、今思うとこの頃から私のサッカー人生が始まっていたのです。

ある時、下田小学校のサッカーチームを作る事になり、人数を集め、選手の選考が行なわれました。結果、運良く私は選手に選ばれ、当時七人制(GK:1名、DF:2名、MF:1名、FW:3名)のチームのMFをやらせて頂き、日吉台小学校や日吉南小学校と毎週の様に試合をしておりました。何試合かしていますと、対人プレーとはいかないまでも、敵がいる時のプレーなどを色々考えたりする様になりました。

中学校(日吉台中)に入学すると、小学校時代に試合をした他校の友達がほとんど集まり、みんなでサッカー部に入部しました。細かな事は覚えていませんが、私が入学した頃は戦績も素晴らしいしかったのではないでしょうか。

高校は都内の学校で、サッカーでは無名の駒沢高校に入学しました。自宅が横浜市内であった為、時間の関係もあってクラブ活動はしないつもりでしたが、サッカー部の練習を見ているうちに、やはり自分にはサッカーしか無いと考え、入学してから一ヶ月後にサッカー部に入部しました。高校ともなると、先輩、後輩がはっきりしていて、一年生の時は、苦しい思いばかりでしたが、一年生の夏から私は試合に出る事が出来たので、そんな事は言ってられませんでした。

高校が大学の付属という事で、大学生とよく試合をしたり、練習を見てもらったりするのが、その頃は大変勉強になりました。

当然の様に高校を卒業すると、大学のサッカー部に入部しました。しかし、自分のサッカーが大学でどこまで通用するか心配でなりませんでした。私の入学当時、駒沢大学は関東リーグの下の東京都リーグでしたが、努力のかいあって、秋には関東二部のチームとの入れ替え戦で勝ち、念願の関東リーグに名を連ねる事が出来ました。そして、私が二年生の時に関東二部リーグ一年目にして優勝し、今度は関東一部との入れ替え戦を行いましたが、一部の壁は厚く、大敗しました。

私が三年生の時、今年こそ一部の壁を破ろうと、関東二部で全勝優勝を果たし、二年連続の一部

との入れ替え戦を行ないました。その結果、勝つ事が出来、念願の関東一部入りを果たす事が出来ました。

私が四年生の秋は、駒沢サッカー部創立以来初めて関東一部リーグで戦う事が出来ましたが、力の差がはっきりしており、気が付いてみれば今度は関東二部のチームとの入れ替え戦をやるはめになつており、結果は惜敗し、一年間だけの一部という最悪の状態になつてしましました。現在の駒沢大学は後輩の力で関東一部で堂々と試合をしております。私の大学時代は四年間、毎年入れ替え戦を戦うという大変な四年間でした。

現在、私は日立製作所に入社し、今年で三年目(現在は十八年目)を迎えたが、学生時代とは違い、サッカーだけやっていれば良いというものではなくなり、社会人としての自分の立場も極めて難しいものになりました。

サッカーの方でも昨年やつとリーグ戦などに出場する事が出来ましたが、自分としてはまだまだ他のチームに通用しない面が多く、また、これから課題も多々あると感じています。

今後は、より一層「技術・体力・精神力」を身につけ、これから日立のサッカーを背負って行きたいと考えております。

メンバー紹介

ポジション	名前	初の対外試合の出場選手 (対若草クラブ)				
FW	小山 栄	OL	IL	CF	IR	OR
FW	今橋 和彦	飯田	今橋	土屋	竹沢	加藤
FB	大野 昭	(木村)		(森下)	(鈴木)	
HB	岡見 圭					
FW	加藤 公規					
FB	横田 浩	LH			RH	
FB	大川 哲		小山		瀬戸	
HB	金子 賢				(高野)	
FW	長谷川 研二郎	LB		CH		RB
HB	竹沢 克衛			渡辺		田中
FW	土屋 至孝	大川		(森)		(安達)
HB	森 隆一郎	(小林)				
FB	安達 均				GK	
FB	木村 理貴				横田	
FW	森下 祐至				(宮下)	
FB	小松 良輔					
FW	岩城 祐二					
FW	渡辺 秀志					
GK	太田 明					
HB	村井 元					
HB	楠瀬 輝一					
FB	越智 和志					
FW	漆原 明					
	梅原 健一					

・カッコ内の選手は後半出場

第3期 1971年度(昭和46年度)卒業生

シーズンレビュー

L (1971年度(昭和46年度))

- ・6月 横浜サッカースポーツ少年団結成に加わる。宮西FCほか12チーム参加。
- ・7月 第5回全国スポーツ少年団サッカー大会 横浜地区予選に出場(公式戦初出場)。
山王谷と共に横浜代表となり、県大会出場。準決勝で鎌倉おなりと1対1PK戦で惜敗(おなり優勝)。
- ・7月 クラブの規約を作る
- ・7月 初めてスポーツ障害保険に加入。
- ・11月 初めてユニフォームを決める。シャツはオレンジ、パンツは白(後に紺)。
- ・11月 第3回横浜国際チビッ子サッカー大会に初参加 ジュニア(現在のL)：予選4位
- ・12月 初めて東京遠征(中山先生の紹介) たちばな 0対0 浜田山小
- ・3月 第1回港北区少年サッカー大会 中学生の部 優勝

チーム紹介

“当時を振り返って” 第3期生 鈴木 陽二 (創立30周年記念誌より)

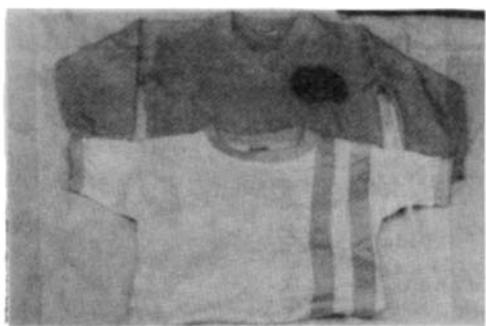
正直、昔の話で、小さい頃の記憶なので不確かな所もあるかと思いますが、ただサッカーが好きで、毎日ボールを追っかけていたのを覚えています。

私たちの年代のメンバーのほとんどは、もともと下田小学校の学校サッカーのメンバーでした。その頃、下田小学校は非常にサッカーが盛んで、朝に夕方に学校で7人制のサッカーをしていました。それが、小学校6年の頃から、土曜日の放課後、日曜日になると、下田小学校のメンバーがそのまま11人制のサッカーをするようになりました。今にして思えば、それがたちばなキッカーズとの出会いだったと思います。自分たちの認識として、学校サッカーと、たちばなのサッカーとの区別はほとんどありませんでした(いつのまにか、たちばなの一員になっていたという感じです)。

ユニフォームもチームの借り物でしたが、学校とたちばなは同じユニフォームで試合をしていました。スパイクなんて履いている者はひとりもいなく、ストッキングだけは自前だったように思います。サッカーの練習はもちろん、試合でも父兄が付いてくることはなく、いつも曾田さんと当時下田小学校の池畠先生にお世話になっていたように思います。

私たちの年代はサッカーがうまいというより、サッカーが好きというメンバーが多かったので、メンバーの多くの消息は分らなくなっていますが、今でもあの頃の思い出を持って、いまだにサッカーから離れられないでいるのではないかと思います。

▼なつかしい応援旗



▲胸のマークも新しい
初めてのユニホーム
たちばなカラーのオレンジ

メンバー紹介

ポジション	名前	出身小学校	紹介
FB	鈴木 陽二	下田小	栗山君とコンビでセンターバックを担当。不器用ながらも体を張った堅実なプレーが身上。
FB	栗山 久史	下田小	長身でパンチ力のあるキックで味方のピンチを救う。バックの中心となったセンターバック。
FB	渡辺 彰雄	下田小	堅実なプレーで味方に信頼されていた。右サイドバック。
FB	山下 孝夫	下田小	小柄ながら粘り強いディフェンスで相手FWに嫌がられました。
GK	松井 耕一	下田小	神奈川県でNo.1に選ばれた。キック力もあり、1対1にも強いスーパーGKでした。
HB	町田 宏	下田小	地味ながらディフェンシブなハーフで、左右からのクロスボールが得意技でした。
HB	舞山 日良	下田小	ドリブルの名手で、スピードのある切り返しで敵を振り切るプレーはピカ一でした。
HB	船倉 直樹	下田小	ポジションの取り方は抜群で、曲者の存在で攻撃の起点となった切り込み隊長でした。
FW	佐藤 丈二	下田小	頭脳的なプレーで相手の裏をかくドリブルが得意でした。
FW	橋本 良	下田小	走力、キック力、ヘディング、持久力と全てにバランスのとれたチームの中心的プレイヤーでした。
FW	椿 哲也	下田小	恵まれた体格で力強いプレーとポストプレーも出来るプレイヤーでした。
FW	横山 論	下田小	スピードのあるドリブルで相手ディフェンスを中央突破するプレーが身上。
FW	斎藤 均	下田小	タッチラインを攻め上がっての精度の高いセンタリングはチームの大きな武器でした。
FW	城風 智行	下田小	スピードのあるドリブル、キープ力、キック力とバランスのとれたプレイヤーでした。
FW	東出 信太郎	下田小	バック、ハーフ、フォワードとどこでも出来る便利なプレイヤーでした。
FW	深沢 道裕	下田小	右サイドからの攻めのスペシャリスト。FWながら、スライディングタックルによるディフェンスも得意でした。
FW	篠原 宏	下田小	
FB	高橋 裕明	下田小	
FW	伴 英明	下田小	
GK	佐藤 明久	下田小	県下No.1キーパーの松井君の影で、ファイトあふれるプレーでチームを盛り上げたムードメーカー。
	牛島 雅彦		

第4期 1972年度(昭和47年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1970年度(昭和45年度))

- ・4月 第2回日吉地区少年サッカー大会開催。たちばなは2位。

L (1972年度(昭和47年度))

- ・7月 第6回全国スポ少サッカー大会
横浜市予選1位。横浜代表として山王谷、つばめと共に県大会に出場。県大会は2回戦で優勝の秋葉台に8対1で敗退。
- ・9月 初めて千葉県に遠征(2年生以上)。たちばな4対0常盤平団地。低学年も勝利。
- ・9月 第1回たちばな杯リーグ戦
各学年を通じ、学校の組分けを利用して4チームに分ける。
- ・11月 第4回横浜国際チビッ子サッカー大会 9チーム中7勝1敗で準優勝。
この年だけ厚木のゴールプランダーズが特別参加し、優勝をさらう。
- ・3月 第2回港北少年サッカー大会 中学生の部 優勝
- ・3月 横浜少年選抜チームが韓国遠征
笠松、小菅、菅沼(以上6年)、大場、坂本(以上5年)が参加。

チーム紹介 第4期生 笠松 文雄 (創立30周年記念誌より)

—チームの特徴

第4期生は全体的にたちばなに入るのが遅く、多くが5年生位からサッカーを始めました。一つ下の第5期生は3年生位から始めた人が多く、その関係からかパワーとスピードの4期生、テクニックの5期生、と大きく特色が分っていました。レギュラー11人のうち、5人位は5期生で、6年6人、5年5人のチーム構成は、攻守にバランスがとれ、6年と5年の協力の下、即ちパワー・スピード・テクニックが融合した面白いチームでした。自由奔放で、試合で何が起きるか予測の出来ないチームだったと思います。それだけ、おじさん(当時、曾田監督は「おじさん」とみんなに呼ばれていた)が自由にサッカーをやらせてくれ、その指導のおかげで自分達で自由に考え、行動するサッカーが身に付いたのだと思います。今のように子供が一人1個のサッカーボールを持っていた訳ではなく、たちばなにあった2、3個のボール(確か5角形の部分が水色?)を個人的に借りていって練習した、そういう時代でした。

—横浜国際チビッ子サッカー大会

やはり一番記憶に残るのは、夕暮れせまる三ツ沢陸上競技場でのゴールプランダーズ(GP)戦です。当時非常に強かったアメリカンスクールのセントジョセフカレッジを1対0で破り(この勝利は本当に嬉しかった)、7戦全勝で迎えたGP戦。試合開始時間になんでもGPはいっこうに現われません。夕焼けで西の空が真っ赤に染まった三ツ沢陸上競技場。試合開始時間より遅れること20分、このまま不戦勝で優勝!!と思いつきや、GPは現れたのでした。今では神奈川の少年サッカーでその名を知られているGPも、当時は厚木にほとんどチームがなく、横浜や他の市の大会があるといっては特別参加させてもらうと言うように、ゲームをするのに非常に苦労をしていた様でした。但し、当時から非常に強いチームでした。

さて試合の方ですが、先制点を取られ、1点を追う非常に厳しい展開で、その後の1点が勝負を左右するといった緊迫した試合でした。その後、先にチャンスが訪れたのはたちばな、ゴール前に高く上がったボールをHBの笠松が地面へたたきつける様なヘディングシュート。右サイドから右ウ

イングの久保寺が猛ダッシュでつめ、スライディングシュート。ボールはゴール前 1m からクロスバーの上を超える、ノーゴール。決定的チャンスをものに出来ませんでした。その後、ゴール正面 25m のフリーキックを GP の荒井(その後相工大付属高校から日本リーグのフジタ工業“現ベルマーレ平塚”に在籍)に決められ 2-0 で敗け、その結果、GP が 7 勝 1 分で優勝、たちばなは 7 勝 1 敗で準優勝という結果でした。あと一歩のところで優勝を逃し、非常に悔しかった想い出です。

ーたちばなに思う事、曾田さんに思う事、サッカーに思う事

当時(もう 26 年も経っているのかと思うと、本当に時の流れは速いなあと思ってしまいます)、「日曜日の朝 7 時から下田小の校庭で練習と言うより曾田さんと子供達がボールを蹴り合って遊びながらサッカーを楽しんでいた」と言うのが当っているかも知れません。サッカーコートのラインを引いていた訳ではないので、本当に校庭全面がコートで、時にはブランコの柵を飛び越えながらボールを蹴るようなゲームをよくしていました。本当に自由な雰囲気の中で、自由にやらせてくれる曾田さんの指導方針は、自由な発想と自分で考えてやってみるという事を自然に身に付けさせてくれたと思います。たちばなに入るまでは、「絶対プロ野球選手になる!」と誓っていた自分を、サッカーのとりこにさせてくれた曾田さん。本当の意味でのサッカーとの出会いを演出してくれた曾田さんに本当に感謝しています。

中学、高校、大学、社会人とチームは変われど、ずっとサッカーを続けて来る事が出来たのは、このサッカーとのいい出会いがあったからだと思います。今、自分の子供も小学 3 年生になり、サッカーをしています。その関係で、藤沢の明治 SS の 4 年生以下のチームのコーチをしています。自分がサッカーをやると大違いで、子供達に教えるのは非常に難しい。ただ、一人一人の可能性を伸ばせる様な指導を心がけています。そして、子供達が将来もサッカーを続けて行きたいと思える様に、曾田さんが自分にしてくれた様に、子供達に本当のサッカーとのいい出会いをさせてあげられる様に、と思います。

最後に、たちばなキッカーズ創立 30 周年、本当におめでとうございます。曾田さんはじめ、永田さん、大島さん、佐野さん(故人)ほかコーチングスタッフ、父母のみなさん、愛好会のみなさん、各時代の子供達の努力の成果だと思います。そんな素晴らしいたちばなキッカーズといつか試合が出来ることを楽しみにしています。

“たちばなキッカーズ”のホームグラントである下田小学校校庭と
今は無き円形校舎



メンバー紹介

ポジション	名前	小学校	紹介
FW	笠松 文雄	下田小	通称「リュウショウ」6年生当時、身長160cm、100m走13秒8の大型、俊足FW。テクニックよりもパワーとスピードで相手FBを切り裂いた。第4期キャプテン。
GK	川辺 圭一	下田小	通称「ペッチャン」とにかくでかくて大きいGK。キック力抜群で、下田小校庭でパンチキックを相手ゴールまで飛ばした。
FB	草生 裕文	下田小	通称「クサオ」色白、茶髪のたちばなきってのハサムボーグ。プレーの合間によく髪型を気にしていた？
HB	石村 泰三	下田小	通称「タイゾウ」体は小さいが、ボールに飛び込んでくる相手をかわすドリブルは大きな武器。守備も堅い。
	木村 敏夫	下田小	通称「キム」ボールタッチの固さとスピード不足が弱点。しかし、サッカーが好きで中学でも続けた一人。
HF	島村 昌彦	下田小	通称「チヨウさん」理論家。技術は別として、よくサッカーの戦術を話していた。
	小林 敬一	下田小	通称「コバ」テクニック、得点力に優れるMF。横浜国際サッカーチャンピオンズ大会での1試合7得点は第4期での最多記録(試合は14対0で大勝)。
	加藤 友基	下田小	通称「トモキ」小柄なテクニシャン。4期の中では一番早くたちばなに入った事もあり、しっかりととしたテクニックの持ち主。
FB	小黒 修一	下田小	通称「チヨグ」猫背でドリブル、猫背でキック。背中を丸めてのプレースタイルが独特だった。
FW	召田 充弘	下田小	通称「メスちゃん」非常に姿勢が良かった。常に背筋を伸ばして、胸を張りプレーしていたのが印象的。
	藤田 淳	下田小	通称「あっちゃん」常に温和。いつもニコニコ笑っていた「あっちゃん」そのプレーにも優しさがあった。
FW	久保寺 和彦	下田小	通称「クボ」右ウインガー。力強いドリブルで突進し、センタリング、シュートを放つ。寡黙だがやる時はやる強い意志の持ち主。国際サッカーチャンピオンズ大会のGP戦でゴール前1mの右内サイドショットを真上に上げて外してしまったのは、今でも記憶に残る。
FB	福地 貴博	下田小	通称「アメリカ」長い手足に彫りの深い顔。どう見てもアメリカ人。その長い手足を駆使するも、腰高の弱点があり。
HB	菅沼 敏行	下田小	通称「カズマ」細身で色黒。誰もがだまされるキックフェイントの名手。FWもこなし、得点に絡む。第4期一番の「マリーシア(ポルトガル語で「さるさ」)」の持ち主。
FW	小菅 基成	下田小	通称「コチヨグ」身長160cm以上、太もものまわり50cm?西ドイツの爆撃機「ゲルミュー」を彷彿させる体型で、その太ももから繰り出されるシュートは破壊力抜群。たちばなのCF。ボイントゲッター。
HB	瓜田 利明	下田小	通称「カタ」後に続く瓜田兄弟の長男。細い体でサッカーにまじめに取組んだ。
	高岡 孝次	下田小	
	舟川 洋一	下田小	
	石田 明文	下田小	通称「メイブン」
	重田 隆史	下田小	
	関根 大輔	下田小	
	山口 浩満	下田小	
	小谷 秀一	下田小	
	渡辺 邦彦	下田小	通称「クニ」
	森 英二	下田小	
	深沢 敏裕	下田小	

第5期 1973年度(昭和48年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1971年度(昭和46年度))

- | | |
|------|---|
| ・6月 | 横浜サッカースポーツ少年団結成に加わる。 宮西FCほか12チーム参加。 |
| ・7月 | クラブの規約を作る |
| ・7月 | 初めてスポーツ障害保険に加入 |
| ・11月 | 第3回横浜国際チビッ子サッカー大会(初参加) リトル(現在のLL) : 準優勝 |
| ・12月 | 初めて東京遠征(中山先生の紹介) たちばな(4年) 0対1 浜田山小(5年) |
| ・3月 | 第1回港北区少年サッカー大会 小学生の部 優勝 |

L (1973年度(昭和48年度))

- | | |
|------|--|
| ・4月 | 横浜少年サッカー大会 準優勝 |
| ・7月 | 第7回全国スポ少サッカー大会 県予選で強豪秋葉台に1対0で惜敗(秋葉台優勝) |
| ・8月 | 島根県大社町で初めての合宿を行なう 参加者は5・6年生30名 |
| ・11月 | 第5回横浜国際チビッ子サッカー大会 |
| ・1月 | 第1回港北区新春スポーツ大会 たちばなホワイト(6年) 3位 |

チーム紹介 第5期生 間瀬 浩之 (創立30周年記念誌より)

「日曜日にサッカーをやっているから一緒にやろうよ」と後のキャプテン岩崎君の誘いに、当時野球少年だった4年生達が徐々に集まってきた様に記憶しています。ろくにサッカーを知らない少年達が広い校庭でのびのびとボールを追いかけるうちに、足の速い者は前線に、冷静な技巧派は中盤に、キック力のある者は守備に、といった具合にポジションが定まっていった様に思います。皆、それぞれの役割を果たすべく、自主的にフェイントやドリブルの練習をしたり、シュート版を相手に暗くなるまでボールを蹴っていました。

当時のたちばなキッカーズは、和気あいあいとした雰囲気があり、曾田監督のことを「おじさん」と呼んでいましたが、横浜国際チビッ子サッカー大会の出場を機に、やっと「監督」と呼ぶ様になりました。その監督から唯一授かった戦術は、「オープンスペースをねらえ」と言う事でした。その結果、準優勝という成績を収める事が出来ました。この大会では二つの思い出があります。ひとつは、どのチームか憶えていないのですが、試合の後に円陣を組んでたちばなにエールを送ってくれた事です。この試合から、たちばなも勝敗に関わらず相手チームにエールを送る様になりました。もうひとつは、優勝した原小のGKがハーフタイムにレモンをまるかじりしているのを見て、僕達もやろうと次の試合からハチミツ漬けのレモンスライス(まるかじりは酸っぱすぎてダメでした)が用意される様になった事です。初めての大会出場という事もあって、全てが新鮮でした。

その後も善戦は続き、島根の合宿という大イベントもあり、楽しかった事しか思い出せませんが、監督をはじめ、関係者の方々に見守られながら、色々な事を学び、それを自分達の流儀で実行できる積極的な姿勢と創造力を兼ね備えたチームだったと思います。そして、サッカーを通して培われた創造性が基盤となって、今日に至っている事を痛感している今日この頃です。

メンバー紹介

ポジション	名前	小学校	紹介
HB	岩崎 延宏	下田小	愛称“イヨン”野球ではエースピッチャーと球技万能のサウスポー。小柄ながらも巧みなフェイントで相手を翻弄させるチームの要。
GK	久保寺 清	下田小→駒林小	愛称“キ”最後部からチームを押し上げる守護神。
FB	賀川 正規	下田小	愛称“エーチャン”流れる様なフォームで前線にボールを送り込むたちはなの壁。
FB	間瀬 浩之	下田小	愛称“マゼ”たまに見せるオウンゴールもご愛嬌の迷バック。後に膝の病気の為、応援にまわる。
FB	吉川 薫夫	下田小	愛称“孖”気性が激しく、いつも怒りながら大きな声で中盤に指示を送る。
FW	坂本 俊也	下田小	愛称“トッペ”足は速いが、ご愛嬌のプレーを連発する。チームのムードメーカー。
FB	小林 守	下田小	愛称“マモちゃん”大きな体と素晴らしいキック力でゴール前を守る。
FW	大場 浩正	下田小	愛称“オバ”ボールを持ったらまっしぐら。右サイドから切り込む熱血派プレー。
FW	鈴木 邦彦	下田小	愛称“ケ”恵まれた体格と横浜の陸上大会に出場する程の足で、敵のゴールへ走り込む。
HB	木村 亮	下田小	愛称“リップ”小柄ながらも切れの良い動きでフィールドを走りまわる。
HB	鈴木 充彦	下田小	愛称“ヨシコ”リズミカルなステップでボールを送り出す。
	斎藤 清	下田小	愛称“サトーくん”寡黙な努力家。
FW	竹内 正昭	下田小→駒林小	愛称“マーチャン”的確な判断と俊足を兼ね備えた知性派のボイントゲッター。
HB	阿久津 正人	下田小	愛称“アツ”大きな瞳で相手を圧倒する突進型の熱血派プレー。
	田中 潤	下田小	
FW	石井 正人	下田小	愛称“イッパケ”体は小さいが運動能力とスピードを兼ね備えたプレー。
HB	鈴木 彰浩	下田小	中学に行って、ゴールキーパーとして開花した。



▲第3回国際チビッコサッカーリトル（低学年）準優勝 浜小学校にて



▲準優勝を祝してささやかなパーティ

第6期 1974年度(昭和49年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1972年度(昭和47年度))

- | | |
|------|--|
| ・9月 | 初めて千葉県に遠征(2年生以上)。たちばな4対0常盤平団地。低学年も勝利。 |
| ・9月 | 第1回たちばな杯リーグ戦。各学年を通じ、学校の組分けを利用して4チームに分ける。 |
| ・11月 | 第4回横浜国際チビッ子サッカー大会 |
| ・3月 | 第2回港北少年サッカー大会 |

LLの部は参加せず

小学生の部 優勝

L (1974年度(昭和49年度))

- | | | |
|------|---|---|
| ・1月 | 第1回港北区新春スポーツ大会 | たちばなレッド(5年) 2位 |
| ・4月 | 第1回横浜スポーツ少年団サッカー大会 | Lの部はこの年なし |
| ・8月 | 第8回全国スポーツ少年団サッカー県大会 | 準優勝の六会(藤沢)にPK負け |
| ・8月 | 第1回団地少年サッカー大会 | A(高学年) 優勝
この時TBSテレビで放映される。 |
| ・9月 | こどもの国サッカーフィールドにけら落としに参加。模範試合を行なう。 | |
| ・11月 | ペレ、少年サッカー指導のため2度目の来日。11月23日東急本店屋上にて、たちばな全員がペレの指導を受ける。ペレにほめられ感激! | |
| ・11月 | 第6回横浜国際チビッ子サッカー大会 | Lの部はペレ騒ぎで調子を崩す |
| ・1月 | 第2回港北区新春スポーツ大会 | 小学生の部 優勝 |
| ・3月 | 横浜選抜チーム韓国遠征(2回目) | たちばなからは、中村、吉原、早川、岩村、池沢、川村(以上6年生)及び、川村君のお母さんが参加。 |

チーム紹介 第6期生 吉原 昌利 (創立30周年記念誌より)

曾田監督を当時は「おじさん」と呼んでいた私達は、それこそ朝から晩まで授業以外はすべてが「おじさん」や仲間とのサッカー中心の生活でした。誰もいないグランドで、一人ボールを蹴っていても自然と仲間達が集ってくる、そんなサッカー少年の集まりでした。日曜日は当然、平日も放課後暗くなるまで皆でボールを追いかけました。試合はもちろんの事、当時放映していた「ダイヤモンドサッカー」で観た有名選手のフェイントを見よう見まねで練習したり、ボールリフティングや、シュート板に向かって目標の的に何回当てられるかを競ったりと、少しづつでも上達していく自分達を実感し、本当に充実した毎日でした。そんな私達を「おじさん」はいつも暖かく見守り、指導してくれました。他のチームでは試合中でも監督が恐い顔をして怒っているのを尻目に、私達「たちばな」は自由奔放にサッカーを楽しみ、そして勝利する事の喜びを感じていた様に思います。

島根遠征、いくつかの大会での勝利、ペレのサッカー教室、6人が横浜代表として日の丸を付けて参加した韓国遠征、と素晴らしい思い出ばかりですが、一つだけ苦い記憶と言えば、横浜チビッ子サッカー大会での敗退でしょうか。優勝候補と言われながら、ペレと会った興奮が冷め残らず、横浜朝鮮にあえなく完敗してしまいました。あの時ばかりは「おじさん」が「君たちはきれいな芝生の上で格好よくサッカーをしようと考えている!」と怒られたのを鮮明に覚えています。

さて、当時のサッカー少年も今は30代半ばの「おじさん」になりました。会う回数は減りましたが、今でもみんなとは連絡を取り合って、近況を知らせ合っています。私達の中に少年時代のサッカーを通じた共通の思い出がある限り、この親友関係は途切れる事はありません。そして、そんな素晴らしい仲間を作ってくれた曾田監督ご夫妻と「たちばなキッカーズ」に本当に感謝しています。

メンバー紹介

ポジション	名前	小学校	紹介
FW	中村 浩人	下田小	同期の中では抜群の運動神経を持ち、全員が彼に憧れてサッカーを始めた。キャプテン兼センターフォワード。愛称“ヤジ”。
FW	池沢 正彰	下田小	“仔”は練習熱心でセンス抜群。右ウイングでいつも格好良く相手を抜き去り、シュートやセンタリングを放つ。
FW	吉原 昌利	下田小	左ウイングでフェイントで相手を惑わす。ボールリフティングを小6の時に千回出来たのが今でも自慢。
HB	三井 英一	下田小	ヤジと一緒に早くからサッカーを始めた。“ミイ”は都会的センスでいつもスマートなプレー。
HB	早川 司	下田小	不動のゲームメーカー。背が高く、足も速い。“ヤッショ”はヤジと並ぶチームの柱。
FB	岩村 佳広	下田小	重量感あふれる“ワムジー”は気が優しくて力持ち。後に日吉台中サッカー部のキャプテンとなる。
HB	川村 利一	下田小	チーム一番の俊足。スピードを生かして相手陣内へ攻め込んで行く“カリ”は切り込み隊長。
HB	砂子 雅史	下田小	兄弟でたちばなに入団した“ナゴ”は時に鋭いシュートを放つ。守備も上手いオールラウンドプレー。
FB	野道 尚行	下田小	線は細いが技巧派で、堅実なバック。相手のボールをカットし、確実に前線へ流し込む。愛称“ハビ”。
FB	藤盛 一弘	下田小	愛称“テーラー”はサッカーに関してチームの理論派、物知り。
FB	田代 裕之	下田小	チームの体格を誇る“タフ”のセンターバックには迫力が感じられる。
GK	村井 淳季	下田小	“ムッショ”はキーパーとしての素質もさる事ながら、ミッドフィールダーとしても優れたプレーを見せる。
HB	高橋 浩明	下田小	あだ名の“サル”的通り、足が速くて小回りがきき、時に何人もの相手選手をドリブルで抜き去る。
FB	龍野 智久	下田小	
FB	鈴木 善裕	下田小	
HB	高塚 直樹	下田小	
HB	加藤 弘	下田小	“マカ”はいつも堅実なプレーで要所を締める守備的ハーフ。
	鷗田 正人	下田小	
	北村 健	下田小	
FW	村井 進	下田小	



ペレを囲んで
(渋谷・東急デパート)

第7期 1975年度(昭和50年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1973年度(昭和48年度))

- ・11月 第5回横浜国際チビッ子サッカー大会 3位

L (1975年度(昭和50年度))

- ・4月 第2回横浜スポーツ少年団サッカー大会 4位
- ・7月 第9回全国スポーツ少年団サッカー県大会 強豪善行に4対0で敗れる
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿 (この年から富士緑の休暇村での合宿が始まる)
- ・8月 第2回団地少年サッカー大会 A(高学年) 3位
- ・9月 たちばな杯を、子どもの国サッカー場を借り切って盛大に行なう。
- ・10月 第7回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・1月 第3回港北区新春スポーツ大会

チーム紹介 第7期生 笠松 吉雄 (創立30周年記念誌より)

自分達7期生は、これといった成績も残していない様に思います。

しかし、あたりまえの事ですが、みんなサッカーが大好きで、小学校(たちばなキッカーズ)を卒業後、日吉台西中の第一期生として、ゼロからサッカー部を創部したり、たちばなOBとして中学時代の大会に参加したりと、小、中学校時代を文字通り「サッカーブーム」と言う状態で過ごしていました。その後、高校へと進んだ後は、どういう風にみんながサッカーとかかわって来たかは個人個人で違うと思うので、何とも言えません。しかし、その時、自分が“たちばなキッカーズ”に籍を置いて経験した事を後悔した人は一人もいないはずです。私自身も小学4年生でたちばなキッカーズに入団しサッカーを始めて以来、高等専門学校を卒業する10年間は、常にサッカー部に在籍し、サッカーのことを何よりも優先して過ごしてきました。その事が、自分の思い出として、数多くの場面を心地よく蘇らせてくれます。たちばなキッカーズで過ごした時間、様々な学んだ事こそが、後の私の大きな財産になったと思います。

これから多くのSOCCER BOY達を世に送り出して行ってほしいと思います。



▲ペレに手づくりのペナントを贈る

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
HB	5	鈴木 一浩	下田小	愛称「ジジキ」チームのスピードとパワーの持ち主。曾田さんに「こりやスズ!!」とよく怒られた。
FW・GK	9	大森 亭	下田小	双子の兄「トオル」FWもGKもこなし非常に器用。
FW	7	瓜田 和彦	下田小	愛称「ウリ」スピードは遅いけどキープ力は抜群。
FW	11	岩城 一夫	下田小	愛称「カズオ」派手さはないが堅実さが売り。
FB	2	笠松 吉雄	下田小	愛称「ヨシクン」器用なサドバッック。
HB	6	大森 亘	下田小	双子の弟「ワタル」いかにも弟らしく、兄弟喧嘩の仕掛け役。
GK	23	田辺 誉	下田小	愛称「ホマレ」安定している様な、していない様な。でも上手い。
FW	8	石本 広之		
HB	21	坂村 武		
HB		山中さだのり	下田小	
	22	斎藤 理	下田小	愛称「ニヤンコ」
		久保寺 一仁	下田小	愛称「カジット」
		太田 秀一	下田小	
	24	村井 進	下田小	愛称「ライム」
	25	佐藤 稔	下田小	愛称「みのる」
	40	川口 秀之	下田小	
	31	荏原 利明	下田小	愛称「えばくん」
	41	山口 勇司	下田小	愛称「ゆうじ」合宿での肘の脱臼は印象的。

ペレを囲んで たちばなキッカーズ全員



第8期 1976年度(昭和51年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1974年度(昭和49年度))

- | | | |
|------|---|------------------|
| ・4月 | 第1回横浜スポーツ少年団サッカー大会 | 準優勝 |
| ・8月 | 第1回団地少年サッカー大会 | B(低学年) 優勝 |
| | | この時TBSテレビで放映される。 |
| ・11月 | ペレ、少年サッカー指導のため2度目の来日。11月23日東急本店屋上にて、たちばな全員がペレの指導を受ける。ペレにほめられ感激! | |
| ・11月 | 第6回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 優勝 |

L (1976年度(昭和51年度))

- | | | |
|------|-------------------------------------|-----------------|
| ・2月 | 第1回横浜少年サッカー大会(新人戦) | 3位入賞 |
| | この年から5年生以下の新人戦として、又、学校チームも含めて開催される。 | |
| ・5月 | 第3回横浜スポーツ少年団サッカー大会 | 準優勝 |
| ・7月 | 第10回全国スポーツ少年団サッカー県大会 | |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・8月 | 第3回団地少年サッカー大会 | A(高学年) 準優勝 |
| ・9月 | たちばな杯を新日鉄グランドで行なう | |
| ・10月 | 第8回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 3位 |
| ・1月 | 第4回港北区新春スポーツ大会 | たちばなホワイト(6年) 2位 |
| ・1月 | 第3回神奈川県少年サッカー選手権大会 | 羽鳥に敗れる |
| ・2月 | バザーを行なう。純益金約16万円 テント購入 | |

チーム紹介 第8期生 木下 圭 (創立20周年記念誌より)

今でもあの頃の楽しかった事は、最近の事の様によく覚えています。同期の仲間とも、よく会って思い出話をしたりしています。私がたちばなキッカーズにいた頃は、現在の様な少年サッカーも、盛んではなく、県内のチーム数もとても少なかった様に思います。その中で、たちばなキッカーズは、とても強く、私達のチームも何度か優勝をしました。特に、強くて印象に残っているのは、私よりも二つ年上の池沢(兄)さん、吉原さん達のチームでした。そのかっこうの良さ、強さ、サッカーの技術にいつも憧れていたものでした。

現在はどうなのかわかりませんが、私達の頃は、練習用のユニフォームの他に、レギュラーにしか渡されない15枚のユニフォームがあり、それを貰う事はとても名誉な事で、皆で競い合っていました。また、たちばなは日曜日しか練習がなかったので、学校の休み時間は勿論の事、放課後に皆と集ってミニゲームなど楽しんだり、朝の登校時間にも、私の家の前で皆が集まるまでリフティングをしたりして、ほとんど毎日ボールに触っていました。その頃の誕生日プレゼントなども、スペイクやボールなどで、全てがサッカーに結びついたものでした。

私はたちばなを卒業した後も、中学校、高校、大学とサッカーを続け、さらに、ある鶴見の少年サッカーチームを一年間程教えていました。その時驚いたのは、子供達がサッカーを楽しんでいる様には見えず、まるで習い事か、塾に来ている様に見え、しかたなくやっているのではないかと思える程でした。また、何に対しても無気力なところが目立ち、時々子供達が、どこか冷めた大人の様に見えた時もありました。とても恐い事です。私達の頃とは違い、今の時代は、情報が氾濫しているために、自分自身での発見が少なくなつて、ただ与えられるものだけに適応していくだけになっているのではないかでしょうか。

子供は、何にでも興味を持ち、もっと元気で無邪気な姿が本当ではないでしょうか。たちばなではこれからも、サッカーの技術的な事はもとより、仲間や友達とサッカーを楽しむ事を通して、もっと大切な事を子供達に教えていってもらいたいと思います。

メンバー紹介

第8期のメンバー

ポジション	背番号	名前
FW	9	黒岩 典正
GK	1	杉山 信次郎
FB・GK	2	佐野 祐一
FB	3	友藤 信英
FW	4	滝山 佳男
FB	5	砂子 泰彦
HB	6	木下 圭
FB	7	田辺 博之
FW	8	安沢 芳生
FW	11	篠原 力
FW	12	堀尾 哲司
HB	10	舞山 春輝
FW	17	落合 佳人
	18	高橋 篤男
FW	28	関根 圭介
FB	30	藤 英明
		池上 努
		豊原 義行
		芹田 弘
		中丸 清
		鈴木 一也
		下村 学昭
		川森 隆弘



第1回横浜少年サッカー大会

ブロック大会

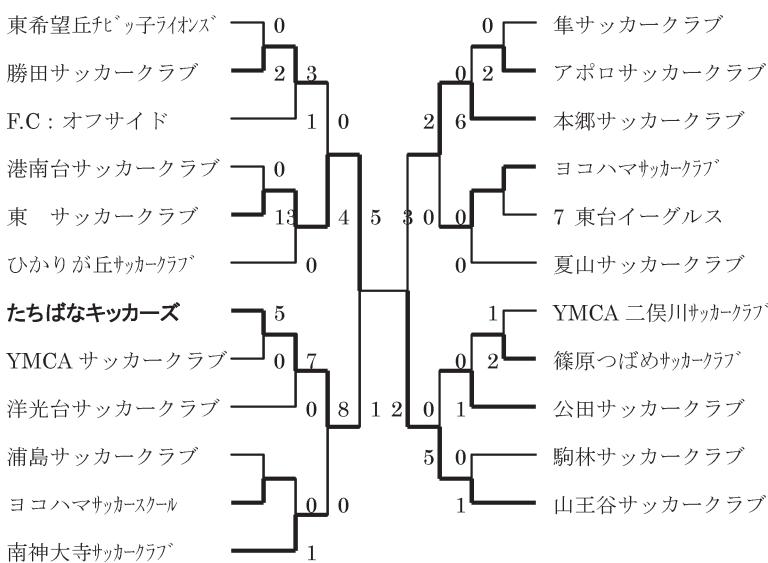
昭和 51 年 2 月 22 日・29 日

於 戸塚高校

準決勝・決勝

昭和 51 年 5 月上旬

於 三ツ沢球技場



決勝戦

山王谷 0-0 東

PK戦 3-1

三位決定戦

たちばな 1-0 本郷

第9期 1977年度(昭和52年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1975年度(昭和50年度))

- ・4月 第2回横浜スポーツ少年団サッカー大会 準優勝
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿 (この年から富士緑の休暇村での合宿が始まる)
- ・8月 第2回団地少年サッカー大会 B(低学年) 3位
- ・9月 たちばな杯を、子どもの国サッカー場を借り切って盛大に行なう。
- ・10月 第7回横浜国際チビッ子サッカー大会 3位

L (1977年度(昭和52年度))

- ・1月 第4回港北区新春スポーツ大会 たちばなレッド(5年) 3位
- ・2月 第2回横浜少年サッカー大会(新人戦) 準優勝
- ・4月 **第4回横浜スポーツ少年団サッカー大会** 優勝
- ・7月 第1回全日本少年サッカー神奈川県大会 4位
- ・8月 富士緑の休暇村での合宿に際し、セルジオ越後氏の指導を受ける。この時の合宿は浜見平と一緒に行なう。
- ・8月 **第4回団地少年サッカー大会** A(高学年) 優勝
この年から中央大会はよみうりグランドで開催
- ・9月 国立競技場で、全日本対コスモス(ペレ出場)の試合を観戦 (小・中学生45名)
- ・10月 **第9回横浜国際チビッ子サッカー大会** 優勝
- ・12月 読売少年サッカー冬季大会に初出場 2回戦でアストラジュニア(準優勝)に敗退
- ・1月 第5回港北区新春スポーツ大会 3位(LAは県大会と重なり出場せず)
- ・1月 第4回神奈川県少年サッカー選手権大会 4位
- ・3月 第1回大京杯少年サッカー大会

チーム紹介 第9期生 三木 健司 (創立30周年記念誌より)

第9期(1977年度卒業)のたちばなキッカーズチームメイトに聞いた「たちばな」の印象ベスト5。

1. 強い 2. 監督が良い 3. ユニフォームが良い 4. 市では一番になれたが、県では優勝出来なかつた 5. 月謝が安い サッカーが生活の一部になった。

1. 強い

フォーメーションは今ではほとんど考えられない3-3-4という徹底的な攻めのチームであった我々は、ダブルヘッダーを含め、年間50数試合を行なったが、ほとんど負けた事がないという印象をみんな持っている。しかし、強かった理由はと聞くと、意見がそれぞれ違う。左ウイングのヒロキは、今ではすっかり染まった大阪弁で「みんなまとまってたから強かったんちやうか」と言うし、まだ九州弁には染まっていない右サイドバックのマキは「ようわからんけど強かったんは事実だ」と言う。横浜の他のチームの人間に言わせると「他のチームは監督に教えられたサッカーをするが、たちばなは教えられたサッカーをしない」と言う。これはどういう事かと言うと、他のチームは忠実に監督に言われた通りにプレイしようとするが、我々たちばなはセオリー通りのプレイをしないので、何が飛び出して来るか判らない独創的なチームだったと言う事だ。他のチームには、たちばなはこの様な印象を持たれていた。

最後に、ただ今名古屋弁を勉強中のキャプテン ジュンに総括してもらうと「徹底的に攻めのチームだった我々の時代のたちばなは、ディフェンスのマキ(右)、オーチン(左)、キーパーのホリエにはかなり負担だったと思うが、少ないディフェンスでも守りは堅かった。この堅いディフェンスに支えられ、実はチームの得点の半数近くをたたき出していたムラカミシゲハルとみんなをまとめるキ

ヤプテンのジュンと言うオフェンシブな中盤陣。フォワード陣は、逃げ足も速いが、とにかく速い右ウイングのマスヤマ、ドリブルさせたらチーム一のテクニシャン左ウイング ヒロキ、真ん中に遊びのアイデア抜群で遊びの中心、サッカーでもみんなの中心的な存在のハヤシヨウスケ、スピードのあるミキ、と言う4人で攻めて、攻めて、攻めまくったチームである。とにかくチームにはあせりとか、悲壮感とかは全く無く、みんなボールを取ったら我先にゴールへ向って行った。それがうまく回転して勝てたのではないか」と言う事だった。

とにかく我々は“強かった”と書いておいてくれとみんな言っていた。

2. 監督が良い

楽しく、自由奔放なサッカーを我々が出来たのは、全て曾田さんのおかげだとみんな感謝しています。ハーフタイムの我々は馬耳東風で、曾田さんはイライラしていただろうと今では思いますが、サッカーが楽しいものだと教えてくれたのは曾田さんです。我々の多くは小学校を卒業した後もサッカーを続けましたが、サッカーを通じて多くの仲間と知り合いになれました。これも曾田さんのおかげです。とにかく、楽しい小学校(たちばな)時代を送れた事に感謝します。又、毎週土曜日の午後に我々につき合ってサッカーを教えてくれた下田小学校の中山先生にも感謝しています。

3. ユニフォームが良い

TKCのロゴの入ったオレンジのユニフォームは小学生ながらもみんな誇りに思っていました。

4. 市では一番になれたが、県では優勝出来なかった

その頃の横浜市の三強は、たちばな、山王谷、東であり、新春の大会を除いて優勝する事が出来た。しかし、県大会の方では、準決勝でゴールプランダーズに 0 対 1 で敗れた。そして、三位決定戦でも、百合ヶ丘に惜敗し、関東大会に出場出来なかった。我々に勝った百合ヶ丘が関東大会で優勝した。我々の悔しい思い出である。

5. 月謝(200円)が安い

月謝とは比較にならない程の経験をさせていただいた監督、スタッフのみなさん、そしてたちはなの仲間に感謝してこの原稿を終りたいと思います。



メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
HB	7	池沢 潤	下田小	愛称「ジュン」チームのキャプテン。毎試合完全燃焼でチームを引張る。
FW	10	林 陽介	下田小	遊びの方のキャプテンの「ヨウケ」サッカの方も攻めの基点としてチームを引張る。林のお父さんの車で試合に行くとケーキが食べられた。
FW	11	早川 裕樹	下田小	左足で蹴らしたらチームの左ウイング「ヒキ」テクニック抜群、得意のドリブルで必ず一人は抜く。こどもの国の試合でウサギのうんこを踏んでしまった事を後悔している。
FB	3	大島 宏樹	下田小	「オーチン」少ない我々のディフェンス陣の一人。おとなしいが堅い守りで左サトウを固める。
HB	2	木下 牧	下田小	ちょっと長めの髪をなびかせ、右サイドを守る「マキ」。曾田さんの信頼は厚い。緑のちょっと運転にくそうなショッパーハンドルの自転車に乗る男。
HB	6	鳥海 秀之	下田小	そばかすがチャームポイント?のハーフ「トリカミ」頭のきれるハーフ。ギターも上手い。
GK	1	堀江 浩	下田小	我々のチームの最後の砦「トリエ」見ていて安心のゴールキーパー。
FW	8	三木 健司	下田小	背は小さいが足は速い「ミキ」よくオサトウになっていた。
FB	5	村上 滋春	下田小	ヒマがあると一人ショット板に向って練習する努力家「ムカミシゲハル」試合中は冷静そうで実は熱い。
FW	12	軽部 浩一	下田小	「カハビ」実は野球の遠投が上手い。
FW	4	増山 祐一	下田小	快速右ウイング「マヤマ」とにかくボールを取ったらスピードを生かしてゴールまでまっしぐら。しかし、5年の時1回だけ自陣のゴールへナイスシュート。
FB	22	井手 裕二	下田小	Bチームのキャプテン「ユーダ」今でも下田に住む数少ない仲間の内の人。左ききの左ハーフ、左からのセンターリングで相手をくずす。
FW	27	石川 淳之	下田小	冷静だが内に秘めたる闘志は熱い。Bチームのゴールキーパー「イシカリ」バスケットも上手いスポーツマン。
FW	25	玉手 弘章	下田小	「タマデ」おとなしいが話すとめちゃめちゃ物知りでおもしろい男。
HB	28	佐藤 隆造	下田小	ちょっと太めの右ハーフ「サトウ リュウゾウ」家に行くとキンレモンが飲めた。右サトウからのセンターリングで相手を崩す。
HB	26	網代 茂三 (旧姓 内田)	下田小	一時キーパーをやっていた「ジミ」背は小さいが小回りの効くプレイをする。
		小林 透	下田小	「コンビ」と呼ばれていた体のでかい男。
		林 史郎	下田小	カマキリとか昆虫を手で取らせたらめちゃくちゃうまい「ハヤシシロ」。
		岡本 哲知	下田小	大学生の兄貴がいて、我々の知りたい情報を教えてくれる「オカモト」
		渋谷 淳一	下田小	一番最初の背番号は100番台の「シブヤ」
		白石 智	下田小	ちょっと太めの「シライ」テクニシャンだったが途中でやめてしまった。

第9期のメンバー



“たちばな KC の誕生と揺らん期”

たちばなキッカーズ元監督 曽田 弘治

(創立 30 周年記念誌より)

1998 年、某月某日

曽田 「30 年前の、メキシコオリンピックの記録を調べると、日本が 3 位を決めたのは 10 月 24 日、決勝が 26 日（釜本氏得点王となる）、28 日夜羽田に帰着している。それからわずか 1 ヶ月後の 11 月 23 日に下田小校庭でたちばなの初練習だ。とても早い」

森田 「あの直後だったから、クラスで私がちょっと声をかけただけで 20 人近くも集まつたと思う」

曽田 「その前に、当時まだ貴重品だった少年用ボールを、区役所に申請してやつと 4 号ボール（ゴム製）を貰えたからチームが出来たんだ」

森田 「たちばなの子がいつでも使えるよう家の軒先にぶら下げていた、あのボールね」

曽田 「そもそも区役所主催の、体育指導委員向けのサッカー講習会があつて、現横浜協会会長の片岡さんや西海さん（故人）の指導を受け、その際『少年サッカーのチームを育てればボールを支給したい』という申し出があつた。「銅メダル」以前から、役所でも学校でも、「少年にサッカーを」という気運が高まつていたに違ひない。少なくとも横浜では」

森田 「でも小学校の体育の授業でサッカーをやつたのは銅メダルの後だったと思う」

曽田 「たちばな誕生の前も、土曜日の午後下田小の校庭にボール（これは 5 号）をもつて行くと、いつの間にか子どもが集まつて、一緒に暗くなるまでボールを蹴つたよ。小山君は、学校（7 人制）では日吉台小や日吉南小とよくやつたと 15 周年記念誌に書いている」

森田 「小山君は 1 年下だからもう状況が違つてきたのよ」

曽田 「昭和 44 年 11 月、下田小を借りて初めて日吉地区少年サッカー大会を 4 チームでやつた。日吉南は学校チーム、若草クラブは子供会チーム、一番強かつた『朝日』は大人の指導者がいなかつたが…」

森田 「朝日は桜井君達、下田小の代表選手がそろつていたと思う」

曽田 「みんな自信をもつてたように思う。中学生が指導してたのかな？」

森田 「それは桜井君に聞かなければ…連絡先が判ればいいけど…」

（森田の心当たりを通じて連絡先をキャッチし電話する）

曽田 「もしもし桜井君、私を覚えている？あのころの『朝日』のことを聞きたいんだ」

桜井 「あれは野球チームだったんです。4 年のとき宮下達とつくって、慶應のグランドに勝手に入つて、そのうち同じメンバーでサッカーをやるようになって、5 年のときは子母口小とも試合しました。中学生だった小幡の兄さんは、指導者ではなく一緒にボールを蹴つたんです」

曽田独り言「子どもの遊びにまだ『自由』があつた…」

桜井 「たちばなとの試合はよく覚えてます。あの時、僕の蹴つたパントキックが直接たちばなのゴールに入ったんです…」

曽田 「学校の対外試合はあったの？」

桜井 「僕達のとき、下田小で初めて選抜チームが出来て確か綱島小でやりました」

受話器の向うからくる声は、30 年前の小学生、今もサッカーマンの彼は懐かしそうに話してくれた。

- 注：森田 旧姓曾田葉子。たちばな1期生マネージャー。
- 小山君 小山栄。たちばな2期生。日吉台中、駒沢大学を経て日本リーグ時代の日立製作所（現在のJリーグ、柏レイソル）で活躍した。
- 桜井君 桜井守夫。下田小時代森田のクラスメート、当時の「朝日」の中心選手、後に日吉台中のGKとして2年連続県大会優勝、たちばな1期の練習にも参加。

日本サッカーにエポックが来て、次代を担う子どもたちにも活気があった。しかしたちばなの子等が突破すべき「朝日」は、桜井君等の中学進学と共に残念ながら消滅した。たちばなは延々30年続いている。初期の基礎固めの時期、学校側（柏木加太郎校長）の協力が大きかった。中山体育主任、池畠先生ほか諸先生それに用務員の昆さん（故人）にも大変お世話になった。学校管理の立場からすれば、部外者は出来るだけシャットアウトした方が面倒がない筈なのにとても協力的だった。まだ「社会体育」という言葉も一般化してなかったと思う。

昭和45年までは、まだ公的な試合がないので、毎日曜日朝7時に集まって9時までボールを蹴り合って楽しむ程度だったが、私がちょっと遅くなると「おじさん、サッカーやろうよ」と玄関ドアを叩いた。お陰で私自身もリフレッシュできた。その代わり、当時人気の日本リーグ（小学生は無料）を見に連れて行ったりした。さくら幼稚園の栗原先生にバスを出して貰って、全員で国立競技場へ行ったこともある。

公式戦への参加は、昭和46年7月のスポ少大会横浜地区予選からで、初体験の緊張も無く、遂に県大会の準決勝まで勝ち進んだ。このときは、学校サッカー（池畠先生担当）で鍛えられた子達が主力で、ユニフォームまで下田小から借りて戦った。なお、この年には生糸の「たちばなっ子」も育っていて、秋の国際チビッ子リトルの部（現在のLL）で準優勝。このとき会場の浜小（山王谷の根拠地）に、初めて父母が応援に来て歓声が上った。

たちばなの「規約」が出来た（これも池畠先生作成）のも昭和46年で、その後、年末にかけて、笠松君（現明治SSSコーチ）等5年生が多数入ってきて人数も増え、クラブとしての体裁が整って、メンバーづくりが容易になった。翌年の秋には、国際チビッ子大会で優勝を狙える程チーム力が付いていた。しかし、この時代の懐かしい思い出としては、通学地域（北下田、中下田、公団など）で分けて、又は各学年の組分けを縦割りして戦った“たちばな杯争奪戦”（慶應堂スポーツ店がトロフィ寄贈）。現在の合宿で行う班対抗戦よりもっとエキサイティングだった。この日が来ると、6年生の顔つきがとてもきびしくなった。

揺らん期における画期的な「経験」として、昭和47年9月の千葉県常磐平団地遠征も加えたい。このときは、まだ父母の参加は無い。2年生を含む40名の子どもを、往復5時間の電車内も、会場で待つ間も、キャプテンの笠松君と数名の中心選手が「仕切った（誇張して言えば）」。

この自立した「一種のたくましさ」がサッカーのプレーにも出ていた。主力選手の頼もしいキャプテンシー、子どもらしいたくましさ。そして子どもらしい発想が貯えられ、引き継がれて、後の黄金期（昭和52年～55年あたり）へと進んで行ったと考えることも出来る。

以上駆け足で、たちばなKC誕生の前後と揺らん期を振り返った。

いわゆる「少子化時代」が長く続き、諸事万端恵まれている現代とは、対照的な時代ではあった。

“たちばなキッカーズ” の皆さんへ

たちばなキッカーズ故佐野コーチ奥様

佐野 純子

(創立 30 周年記念誌より)

“たちばなキッカーズ” の皆さん、創立三十周年を迎える、心から御祝を申し上げます。

今でこそ日本中の人がサッカーの醍醐味を知って、ワールドカップに湧き上る時代が来ましたが、昭和四十年代始めの頃は、漸く少年サッカーの芽が吹き出した時期でした。

曾田監督の「子供達にサッカーの楽しさを伝えたい」との信念に佐野も感動して、息子が卒業した後もコーチ陣の一人としてお手伝いをさせて頂きました。試合には毎回、監督の奥様が同伴して下さって、子供達の世話ををして頂きました。監督が地面に次の作戦を説明されると、メンバー達はグラウンドに飛び出して行き、伸び伸びとプレーをしていました。母親達の熱心な声援にますます元気になって、トーナメントを勝ち抜いて、横浜市内では強豪チームの一つと成っていました。その頃、サッカーの神様と言われたブラジルの“ペレ”が来日した際には、直接の指導を受ける幸運に恵まれたり、“たちばなキッカーズ”は輝いていました。その少年達も三十歳代後半に入り、既に社会で活躍中です。

後輩であるその時低学年だった子の中から、日本ジュニアユース代表選手や、Jリーガーが出ました。国体の選手になった子もいるとのことです。創立以来、監督、コーチ、父母、OB の和やかな交流に支えられ、次々とたくましい若者が育つて行く様子を想像し、我が事の様に嬉しく思いました。

素晴らしい歴史を刻み続ける“たちばなキッカーズ”が益々発展されることを心から祈念いたします。

病気療養中の佐野が、細くなった足をさすって、「下田町に行ってボールを蹴りたい」と願いながら遠く逝つて七年になります。夫に代わり、創立三十周年記念誌に寄稿させて頂いたことを厚く感謝申し上げます。

曾田監督とありし日の佐野コーチ（左）



発展期 (10期～19期)

創部から約10年を経て、横浜地区での強豪チームに成長し、他チームから目標とされ、「発展期」を迎えました。当時の戦績、チームカラーを振り返ってみました。

当時、団員数は急増し、団員メンバーも下田小以外に広がり、活動地域範囲も拡大していましたが、既にサッカーと受験との板挟みに悩む少年も目立ち始めた頃でした。

少年サッカーは確実に裾野を広げ、少年サッカー人口は増加の一途をたどりました。一方、トヨタカップに代表される様に、日本国内でも国際トップレベルのゲームをじかに見られる様になった為か、日本サッカーリーグが長期低迷期に入り始めた頃でもありました。

第 10 期 1978 年度(昭和 53 年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1976 年度(昭和 51 年度))

・5月	第3回横浜スポーツ少年団サッカー大会	優勝
・8月	富士緑の休暇村で合宿	
・8月	第3回団地少年サッカー大会	B(低学年) 優勝
・9月	たちばな杯を新日鉄グランドで行なう	
・10月	第8回横浜国際チビッ子サッカー大会	準優勝
・1月	第3回神奈川県少年サッカー選手権大会	優勝
・2月	バザーを行なう。 純益金約 16 万円 テント購入	

L (1978 年度(昭和 53 年度))

・1月	第5回港北区新春スポーツ大会	
・2月	第3回横浜少年サッカー大会(新人戦)	優勝
・4月	第5回横浜スポーツ少年団サッカー大会	優勝
・7月	第2回全日本少年サッカー神奈川県大会	準優勝(優勝は逸したが藤沢の壁を初めて破る)
・8月	富士緑の休暇村で合宿	
・8月	第2回関東少年サッカー大会	優勝(於 藤岡市)
・8月	第5回団地少年サッカー大会	A(高学年) 予選で敗退 (LA は関東大会のため出場せず)
・10月	第10回横浜国際チビッ子サッカー大会	優勝
・12月	12月 17 日 創立 10 周年記念行事を行う	
・12月	FC 清水招待試合	24 チーム中 8 位
	上位 7 チームは全て全国各地の選抜チームであり、単独チームとしては No.1	
・1月	第1回全国少年ミニサッカー大会	優勝
	神奈川県代表として、横浜港北選抜、横浜東、駒林・つばめ連合、たちばなが参加	
・1月	第5回神奈川県少年サッカー選手権大会	

チーム紹介 第 10 期生 安沢 祐之 (創立 30 周年記念誌より)

52 戰 42 勝 7 敗 3 分 (勝率 8 割) 総得点 253、総失点 47。圧倒的な得点力と安定した守備力。私が小学 6 年の 1 年間記したノートをひも解くと、予想通りの結果が出てきました。当時を思い返すと確かに強いチームでした。しかし、勝利至上主義ではなく、あくまでも「サッカーを楽しみ」、結果として勝っていた正に「たちばなキッカーズのサッカー」を具現していたチームだったと思います。

絶対有利を予想された県大会のいづみキッカーズとの一戦に 0 対 1 と敗れ、読売グランドへの夢は惜しくも断たれましたが、その後の関東大会の思い出は、私のサッカー経験の中でも最も輝かしいヒトコマとして今でも心の中に残っております。宿舎の従業員さんたちの予想に反し、決勝戦まで残りました。毎試合前の円陣で、「明日も泊まろうね」と皆で確認し、試合に臨んだ事が懐かしく思い出されます。当時の記憶として自分の頭の中に残っている映像は僅かなものですが、その時の「溢れる様な充実感」は、体の記憶として残っています。のびのびサッカーは、関東大会を制覇しました。当時を冷静に分析すると、県大会の緊張感から開放され、肩の力が抜け、「関東大会」という目標に向ってチームの集中力が結集し、本来のたちばなサッカーに戻ったのでしょうか。

サッカーを通じて学んだ事柄が私に多大な影響を与えてくれました。毎週ご指導頂いた曾田監督

をはじめ、関係者の方々に、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。又、30年にもわたりサッカーを通じ、多くの子供達に「生きる喜び」を与え続けている事業に対し、心から敬意を表したいと思います。

最後に、近況を申しますと、現在同じくたちばな出身の兄貴と同じサッカーチームに属し、兄弟で汗を流しています。この歳になっても兄弟でボールを蹴られる喜びは何ものにも代え難いものです。機会があれば、当時の仲間とボールを蹴りたいものです。その時は、多分小学6年の夏の日に戻れる事でしょう。

昭和53年度勝敗表

No.	日付	対戦相手	スコア	勝敗	備考	本間	増山	大場	戸田	宮沢	渡井	安沢	松原	目形	自殺
1	3/21	洋光台	0-9	勝		5	3		1						
2	4/9	上中里	1-9	勝		4	2	3							
3	4/16	六浦	0-7	勝		2	4								1
4	4/16	東	1-4	勝			3	1							
5	4/29	大崎	0-15	勝		4	6	3	1	1					
6	4/29	岩井原	1-14	勝		3	6	2	2		1				
7	5/5	富岡	0-10	勝		1	3	4	1			1			
8	5/5	公田	2-5	勝		1	1	3							
9	5/14	ヨコハマS	0-15	勝		2	4	7						2	
10	5/27	山王谷	1-3	勝	横浜市大会決勝	1			1		1				
11	5/28	港南台	0-7	勝			3	3				1			
12	5/28	つばめ	0-6	勝		2	2	1	1						
13	6/11	南足柄	0-3	勝		1		2							
14	6/11	鶴沼	0-5	勝			3	2							
15	6/25	山王谷	1-3	勝		1			1			1			
16	6/25	善行	0-0	PK勝											
17	7/2	下和田	0-1	勝		1									
18	7/2	村岡	0-1	勝				1							
19	7/9	いづみ	1-0	負	県大会準優勝										
20	7/16	駒林	1-5	勝		2	2	1							
21	8/19	町田SSS	2-2	引分け				1			1				
22	8/19	長泉北	4-1	負			1								
23	8/20	西豊田	4-2	負		1							1		
24	8/20	曾谷	0-5	勝		1	2	2							
25	8/25	鹿西レグ'ルス	0-2	勝		1		1							
26	8/26	習志野	0-4	勝		1	2	1							
27	8/27	部屋小	1-4	勝			1	2	1						
28	8/27	栗野	1-3	勝	関東大会優勝	1	1	1							
29	9/15	アストロゼニア	1-1	引分け			1								
30	9/15	滝山	3-1	勝									1		
31	10/1	ヨコハマS	0-14	勝		4	5	3		1	1				
32	10/15	公田B	0-16	勝		9	2	3		1		1			
33	10/15	はたぶさ	0-8	勝		1	6	1							
34	10/22	YIS	0-5	勝		1	2	1						1	
35	11/3	本郷	0-9	勝		3	2			1	1	2			
36	11/3	YMCA	0-14	勝		5	5	3						1	
37	11/5	東B	0-1	勝		1									
38	11/19	藤田	0-7	勝		1	3	2		1					
39	11/19	瀬ヶ崎	1-6	勝		2	2	2							
40	12/3	東A	0-2	勝	横浜市大会優勝		1	1							
41	12/25	清水FC	2-5	勝		3	1				1				
42	12/25	FC町田	5-0	負											
43	12/26	富士	2-2	引分け				2							
44	12/26	広島大河	0-4	勝		2	1	1							
45	12/27	神戸	1-2	勝			1	1							
46	12/27	藤枝	2-0	負											
47	12/28	浜松	6-0	負											
48	1/21	西綾	0-2	勝		1	1								
49	1/21	おなり	0-5	勝			3	2							
50	1/22	桜井	0-2	勝			1	1							
51	1/28	天台	0-1	勝				1							
52	2/4	村岡	3-1	負			1							2	1
	合計		47-253			68	87	65	9	1	7	6	7	2	1

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW	9	本間 真一郎	下田小	愛称「しんちゃん」抜群のリーダーシップと卓越した技術は小学生ばなれ。正に「でかい」頼れる存在。
FB	11	村上 祐也	下田小	愛称「ゆうや」後ろからの甲高い声での指示は的確。安定した守備の要。
HB	7	安沢 祐之	下田小	愛称「ひろ」
FB	4	目形 康	下田小	愛称「めがちゅん」
FB	2	熊木 卓也	下田小	愛称「たくや」アンドンぱりの甘いマスクで相手攻撃陣を粉碎。堅実的アーリヤ。
HB	5	戸田 和彦	下田小	愛称「まるき」
FB	3	西尾 健	下田小	愛称「にしお」鉄壁の左サイドバック。ふくよかなお腹が特徴。
HB	12	渡井 哲	下田小	愛称「わたらい」
GK	1	落合 尚人	下田小	愛称「おち」頼りになる守護神。常にボーカルフェース。
HB	6	松原 茂徳	下田小	愛称「まつん」
HB		田島 泰彦	下田小	
FW		三宅 元	下田小	
HB		木下 忠幸	下田小	
HB		本宿 冬郎	下田小	
FW		丹治 一功	下田小	愛称「たんたん」
FB		小須田 雅	下田小	

実力伯仲の8チム

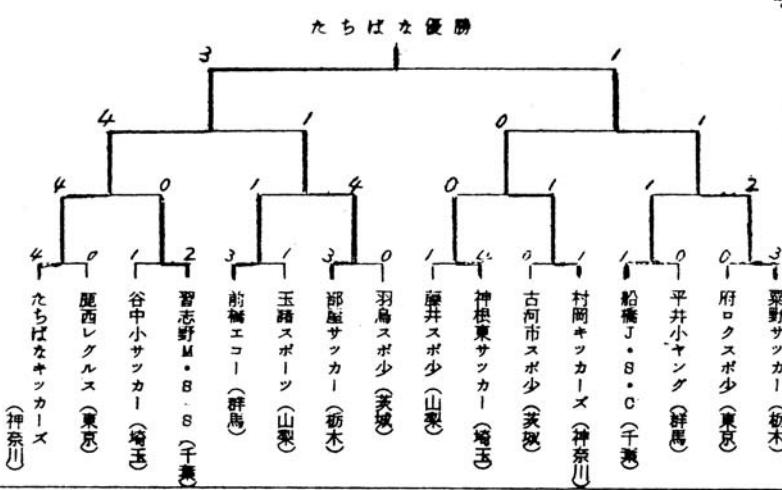
いよいよ決勝トーナメント

力と技、好試合を展開か

第二回開幕式年会ノカニ太会其会結果

於・群馬県藤岡市

昭和53年8月25日～8月27日



第 11 期 1979 年度(昭和 54 年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1977 年度(昭和 52 年度))

- ・4月 第4回横浜スポーツ少年団サッカー大会 3位
- ・8月 富士緑の休暇村での合宿に際し、セルジオ越後氏の指導を受ける。この時の合宿は浜見平と一緒に行なう。
- ・8月 第4回団地少年サッカー大会 B(低学年) 優勝
この年から中央大会はよみうりグランドで開催
- ・9月 国立競技場で、全日本対コスマス(ペレ出場)の試合を観戦 (小・中学生 45 名)
- ・10月 第9回横浜国際チビッ子サッカー大会 優勝
- ・1月 第4回神奈川県少年サッカー選手権大会 優勝

L (1979 年度(昭和 54 年度))

- ・2月 第4回横浜少年サッカー大会(新人戦) 優勝
- ・3月 なの花カップ(館山) 優勝
- ・4月 第6回横浜スポーツ少年団サッカー大会 優勝
- ・7月 読売旗争奪読売少年サッカー夏季大会 5対5でPK負け
- ・8月 第3回全日本少年サッカー神奈川県大会 準優勝
- ・8月 第3回関東少年サッカー大会 初戦 茅崎(山梨)に4対5で敗退)
この年の優勝は茅崎(於 千葉)
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿 全日本で優勝した甲府FCの選手9名を持つ玉諸チームと親善試合、4対3で敗れる
- ・8月 第6回団地少年サッカー大会 A(高学年) 優勝
- ・10月 第11回横浜国際チビッ子サッカー大会 3位
- ・1月 港北区少年サッカー大会 ベスト8(於 宇都宮)
- ・1月 第2回全国少年ミニサッカー大会 4回戦まで進出 FC504に1対1でPK負け
- ・1月 第6回神奈川県少年サッカー大会

チーム紹介 第 11 期生 大場 賢治 (創立 30 周年記念誌より)

僕等の時代、勉強よりサッカー、食事よりサッカー、遊びはサッカー、学校へ行く時も、スパイクを履きながら、ドリブルで登校、下校し、寝る時も常に枕元にボールを置いていた。とにかくサッカーが全てであった。監督さんにも恵まれていて、練習内容も非常に充実し、特にゲーム形式の練習が多く、バリエーションに富んでいて、とても楽しく自由にプレーさせてくれた。それにチームワークが良かった。僕の頭の中では、試合にはあまり負けた記憶がない。

LL、L の時代に全国大会の神奈川県大会予選では、数多いチーム数の中で、一試合一試合と勝ち進んで行き、決勝戦まで行った。チームは一丸となり、ボルテージは最高に上がっていた。自分達は必ず勝つと信じていた。しかし、結果は負け、皆グランドで泣いていた。でも悔いは残っていない。何よりもすばらしいゲームをしたのだから。そして、関東大会へ進み、すばらしい成績を残し、全国に“たちばなキッカーズ”の名前が広がった。

本当にここまで来れたのは、チームの皆の力と曾田監督のすばらしい指導のおかげだと思う。そして何よりもこの頃の僕等は心の底から本当にサッカーが大好きでした。

この思いは大人になっても変わらない。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW	10	大場 賢治	下田小	愛称「ケンちゃん」
FW	8	増山 高弘	下田小	チームの俊足でテクニックもあり、ゴールを決めるセンスは抜群。愛称「カボー」
HB	15	永田 俊策	下田小	愛称「ショーンちゃん」 ファイト溢れるプレーをし、テクニックもあり頭脳プレーで試合の流れを読む。
HB	2	岡本 享	下田小	愛称「チャール」 体は小さいがテクニックがあり、頼りになる牛若丸
FB	14	藤 純司	下田小	1対1やペディングが非常に強く、ディフェンスラインをまとめる左利きのディフェンダー。
FB	3	高崎 進	下田小	グランドの外では実に物静かであるが、いざ試合になるとファイト溢れるプレーをする。
GK	1	山口 光晴	下田小	本当に頼りになるキーパーで、良く声を出し、非常に的確な指示を出す。
HB	13	末山 靖	下田小	愛称「エエ」 中盤の指揮官。ボディにの様な華麗なパスで、何度もアシストし、自らシュートもうてるプレーヤー。
HB	17	高橋 利明	下田小	愛称「トクン」
HB	19	金田 健一	下田小	愛称「キタ」
HB		西村 繁	下田小	
FB		藤本 和敏	下田小	
FW		宮本 圭介	下田小	
FW		金子 博樹	下田小	愛称「ヒデキ」
		行司 秀俊	下田小	
	16	三木 俊二	下田小	愛称「ショーンジ」
	9	秋元 研二	下田小	愛称「アキッちゃん」

第4回横浜少年サッカー大会（新人戦）優勝（三ツ沢球技場）





第 12 期 1980 年度(昭和 55 年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1978 年度(昭和 53 年度))

・1月	第 4 回神奈川県少年サッカー選手権大会	低学年の部 優勝
・4月	第 5 回横浜スポーツ少年団サッカー大会	優勝
・8月	富士緑の休暇村で合宿	
・8月	第 5 回団地少年サッカー大会	B(低学年) 準優勝
・10月	第 10 回横浜国際チビッ子サッカー大会	準々決勝で敗退
・12月	12月 17 日 創立 10 周年記念行事を行う	
・1月	第 5 回神奈川県少年サッカー大会	

L (1980 年度(昭和 55 年度))

・2月	第 5 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	3回戦で夏山に 4 対 1 で敗退
・4月	第 7 回横浜スポーツ少年団サッカー大会	
・5月	第 4 回全日本少年サッカー神奈川県大会	ベスト 8 中央大会で前年度優勝の浜見に 4 対 2 で勝ち、前年度の雪辱を果たしたが、準々決勝で GP に敗れる
・8月	富士緑の休暇村で合宿	
・8月	第 7 回団地少年サッカー大会	A(高学年) 準々決勝で浜見平に 3 対 2 で敗退
・10月	第 12 回横浜国際チビッ子サッカー大会	優勝(決勝は黒滝に 5 対 0 で完勝)
・1月	港北区少年少女スポーツ大会	たちばなホワイト(6 年) 準決勝で大曾根 SC に敗れる
・1月	第 3 回全国少年ミニサッカー大会 瓜田と大滝が優秀選手賞受賞	3 位 (於 三島市)
・1月	第 7 回神奈川県少年サッカー大会	宿敵浜見に PK 負け

チーム紹介 第 12 期生 大滝 友男 (創立 30 周年記念誌より)

私は小学 2 年からたちばなに入り活動していましたが、当時のたちばなはとても強く、特に 1~2 学年上級の先輩方は県大会準優勝という 2 年連続での成績を残しました。私達が 6 年生になり、今まで一緒にプレーしていたキャプテンら 3 名が受験で退会する事になり、残ったチームメイトは大会に出ても思った様に勝つ事が出来ず、悔しい日々を過ごしました。人に頼り過ぎていた我々は、自分達で頑張る事を覚えて行き、県大会ではベスト 8、秋の市大会では優勝するまでになりました。

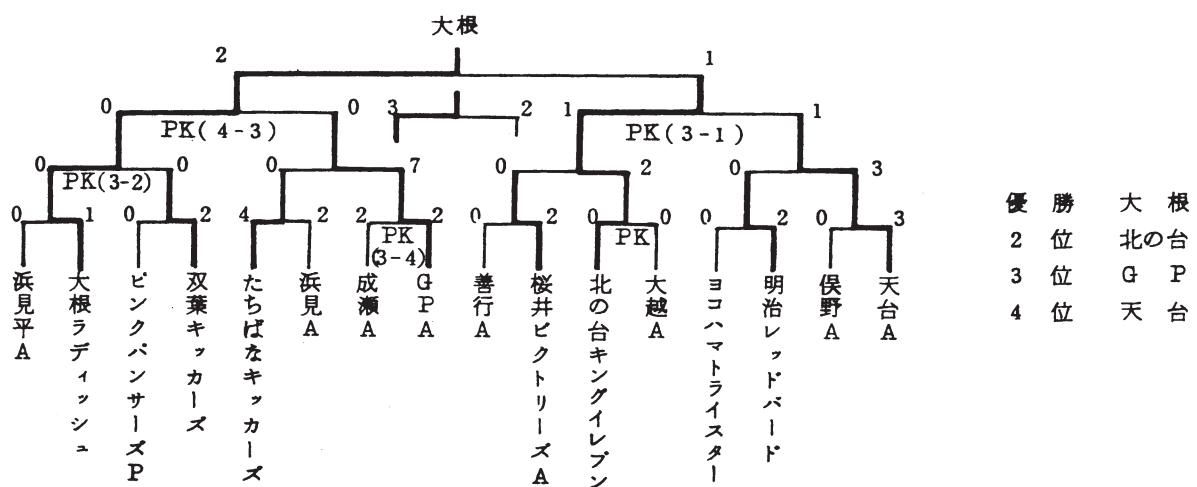
人に頼る事は楽かもしれません、頼っているだけでは自分がうまくならないと思い、後輩であるちびっこ達にも、自分が“がんばろう”、自分が“うまくなろう”という気持ちを持ってプレーしてほしいと思います。しかし、決してチームメイトの事はどうでもいいと言う事ではありません。人は一人では生きて行けないと思いますし、サッカーと言うスポーツは一人では出来ません。お互いに、本当の意味で助け合う気持ち、思いやりの気持ちを忘れる事なく頑張ってほしいと思います。

最後に、私を育てくれたコーチの皆様にお礼を申し上げると共に、今後とも“たちばなキッカーズ”が“のびのび”と育って行く事をお祈り申し上げます。

メンバー紹介

ポジション	名前	小学校	紹介
CH	瓜田 直樹	下田小	ウリちゃん。背の高い相手にも負けないジャングル力。困った時の頼もしいキャプテン。
CB	山田 光裕	下田小	ミッちゃん。左利きのスペシャリスト。器用なボーラタッチで敵を抜く。
RW	大滝 友男	下田小	トモリン。右サイドからのドリブル突破は抜群だが、落ち着きのない所がたまに傷。
ST	石井 洋平	下田小	ヨウヘイ。オットセイにも勝るボールコントロールの達人。おでこに乗せたボールはめったに落ちない。
RH	今仲 浩康	下田小	イマナカ。スピードに乗ったら誰も止められない。正に野人の先輩。
LH	上野 貴生	下田小	ウエノ。音楽好きな、ちょっとおかしなチームメイト。獲物を狙う動物の様な目をしてボールを追う。
CF	桑山 法久	下田小	ノリくん。大きな敵の間をすりと抜け出てゴールを狙う。ねずみの様なすばしっこさ！
GK	佐藤 靖英	下田小	ヤーリン。チームに勝利をもたらす守護神だ。皆を引張るアニキ肌。
FB	青木 元	下田小	ゲンちゃん。GKと共にゴールを守るが、なかなか本気を出さない彼。本気を出せば誰もゴールを決められない。
FW	馬瀬 智行	下田小	マセ。努力家で毎日の様に練習に励む。左右両方使えるのも努力のおかげ。
FB	江川 有明	下田小	エガワ。体が大きく気が優しいが、彼を怒らせると相手チームでも止められない。
HB	大武 一伯	下田小	オオタケ。何事をやっても器用で頭を使ったプレーが持ち味。
FB	古賀 達也	下田小	コガ。普段は物静かなプレー。フィールドでの存在感は大きく頼れるバック。
HB	篠原 要	下田小	シノ。ひょうきん者でいつも皆を笑わせていた。特に合宿でのお楽しみ会は彼の一人舞台。
FB	南雲 啓一	下田小	ナグモっちゃん。明るく優しい人柄。敵を目前にすると巨体を生かしゴール前の壁となる。
FW	前島 輝	下田小	マエジマ。人にとても優しく、サッカーの時でも困っているとほっておけない性格。
HB	牧野 健人	下田小	マッキー。
HB	村上 治雄	下田小	ムラ。名門トヨタ生まれのプレー。その粘りのあるプレイは天下一品。
HB	山崎 洋一	下田小	ヨウチ。
GK	鎌田 聰明	下田小	カマタ。
	村上 晋也	下田小	シンヤくん。みんなの信頼も厚く、キャプテンとしてプレーしたが、受験の為退会。
	岩村 知広	下田小	トントン。左利きのスペシャリスト。上級のチームにも出ていたが、受験の為退会。
	出沢 達哉	下田小	イデサワ。足が速くすばしっこく、ボーラタッチも良い。引越し及び受験の為退会。
	井上 総一郎	下田小	ヘノ。小柄ながらもガツのあるプレーをし、一度火がついたらアンタッチャブルなファイター。
	長塚 正由	下田小	

第4回 全日本少年サッカー大会 神奈川県大会 (惜しくもベスト8)



第 12 回横浜国際チビッ子サッカー大会

優勝 (決勝は黒滝に 5 対 0 で完勝)

チーム名	前半	後半	PK	合計
黒滝	0	0		
たちばな	3	2		5



第 13 期 1981 年度(昭和 56 年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1979 年度(昭和 54 年度))

- ・4月 第 6 回横浜スポーツ少年団サッカー大会
- ・8月 富士緑の休暇村での合宿
- ・8月 第 6 回団地少年サッカー大会
- ・10月 第 11 回横浜国際チビッ子サッカー大会 4 位
- ・1月 港北区少年サッカー大会
- ・1月 第 6 回神奈川県少年サッカー大会

L (1981 年度(昭和 56 年度))

- | | | |
|------|-----------------------------|--------------------------|
| ・2月 | 第 6 回横浜少年サッカー大会(新人戦) | 優勝(1対0 港南台) |
| ・4月 | 第 8 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 4 勝 1 負で 2 位 |
| ・6月 | 第 5 回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 決勝トーナメント 1 回戦で横浜東に PK 負け |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | 2 回戦で村岡 A に敗退 |
| ・8月 | 第 8 回団地少年サッカー大会 | |
| ・10月 | 第 13 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 2 勝 1 負 3 分け |
| ・1月 | 第 4 回全国少年ミニサッカー大会 | 準々決勝で仙台向山に PK 負け |
| ・1月 | 第 8 回神奈川県少年サッカー大会 | 1 回戦で敗退 |

チーム紹介 第 13 期生 中野 純(創立 20 周年記念誌より)

僕達の時代は、中学生の頃に市大会や県大会で良い成績を残しました。その時のメンバーで「旭高校」に進んだ若森君は、正月の選手権大会に出場し、準々決勝に駒を進めました。その他のメンバーもそれぞれの高校で活躍していました。

それもみな「たちばなキッカーズ」の楽しくのびのびとした素晴らしいチームカラーや、監督、コーチの方々のご指導と、よく面倒をみて頂いた先輩方のおかげだと思っています。僕達の多くは、曾田さん、大島さん、佐野さん、永田さんのお世話になりました。いたずら盛りの僕達を怒ろうとはせず、勝手にプレーしていても、「こうしろ」とは強制せずに、個性を伸ばす様な指導をしてくれました。

先輩方の中にもジュニアユースの日本代表になられた方や、現在、日本のトップレベル JSL の名門、日産サッカーチームに所属している方が身近にいて、僕達の憧れの人であり、目標とするプレーヤーでもありました。これ程の環境に恵まれたチームは、当時の横浜には「たちばなキッカーズ」の他にはなかった、と今でも誇りに思っています。

最近「たちばなキッカーズ」は、あまり調子が出ていないと聞いています。しかし、先日、練習や試合を見て安心しました。「たちばな」特有のチームカラーもよく出ていたし、スピードも他のチームに決してひけをとりません。そして何よりも「たちばな」伝統の抜群のテクニックは、昔も今も変わらず横浜でもトップレベルのものだと確信しました。むしろ現在の方が技術の面では優れている様な感じさえしました。ただ、一つだけ言わせてもらうなら、“何か”が足りない様な気がします。

“何か”とは、接戦を勝利に結びつける“何か”であり、実力では数段上の相手に勝つ“何か”です。これは技術がいくらあっても出できません。でも、きっとやってくれると思います。監督・コーチの方々の素晴らしい指導があります。先輩もいます。伝統も歴史もあります。

今の「たちばな」のみなさんも、これから「たちばな」のみなさんも是非、誇りを持って頑張ってほしいと思います。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW	10	鈴木 孝春	下田小	愛称“タカハル”チームの指令塔として皆をまとめた。ポイントゲッター。
GK	1	渡井 巧	下田小	愛称“ワタイ”守護神。いつも元気な最後の砦。
FB	5	龍野 文範	下田小	愛称“タツノ”独特のディフェンススタイルを持つタイプ。
FB	3	藤 裕治	下田小	愛称“トウチン”長身で当たり負けしない。
HB	4	中野 純	下田小	愛称“ナカノ”中盤の指揮官。オールラウンドプレーヤー。
FB	2	江浜 克明	下田小	愛称“エハマ”バックの要。
HB	6	安田 知司	下田小	愛称“ヤスキノ”グランドを縦横無尽に駆け廻るプレーヤー。
HB	8	丸山 智治	下田小	愛称“マルちゃん”鋭いドリブルで相手をゴボウ抜き。
HB	7	若森 彰	下田小	愛称“ワカちゃん”体格が良く、力強いドリブルで突進し、得点に絡む。
FW	11	絹村 誠		愛称“キヌちゃん”俊足でテクニックもあり、頼れる人。
FW		唐 泰三	下田小	愛称“タイゾウ”小柄ながらBチームのキャプテンで且つポイントゲッター。
FB		岩城 俊彦	下田小	
FB		森部 達彦	下田小	
FB		麿谷 育		
HB		小笠原 直樹		
HB		横川 英俊	下田小	
HB		笛谷 次郎		
FW		今野 英一	下田小	愛称“コンちゃん”Bチームの中盤の指揮官。後にブラジルでプロになった人。
GK		富吉 龍玄	下田小	愛称“リュウゲン”恵まれた体格を持ち、頼りになるキーパー。
HB		阿部 靖	下田小	
HB		今井 英智		
GK		高倉 泰介	下田小	
HB		池田 新吾		
FB		松井 茂		
FW		三宅 稔		
		堀川 昭博		

第6回横浜少年サッカー大会（新人戦） 優勝（1対0で港南台に勝利）



第14期 1982年度(昭和57年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1980年度(昭和55年度))

- | | | |
|------|----------------------|----------------------------|
| ・4月 | 第7回横浜スポーツ少年団サッカー大会 | |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・8月 | 第7回団地少年サッカー大会 | B(低学年) 優勝(決勝は港南台と1対1でPK勝ち) |
| ・10月 | 第12回横浜国際チビッ子サッカー大会 | |
| ・1月 | 港北区少年少女スポーツ大会 | |
| ・1月 | 第7回神奈川県少年サッカー大会 | |

L (1982年度(昭和57年度))

- | | | |
|------|---|-------------------------------------|
| ・2月 | 第7回横浜少年サッカー大会(新人戦) | 4位(準決勝で横浜東にPK負け、3位決定戦では山王谷にPK負け) |
| ・4月 | 第9回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 5勝1分けで1位 |
| ・6月 | 第6回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 決勝トーナメント準々決勝でFC本郷に敗れる |
| ・7月 | 第4回全国子供ミニサッカー神奈川県大会 | 予選ブロック準決勝で鶴ヶ台AにPK負け |
| ・7月 | 57年度読売旗争奪読売少年サッカー夏季大会 | 予選トーナメント準決勝でOSジュニアに負け |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | 第二次予選リーグ3位 |
| ・8月 | 第9回関東団地少年サッカー大会 | A(高学年) 準々決勝で山崎ZにPK負け。
この年は山崎Zが優勝 |
| ・9月 | 第2回こどもの国キリンカップ少年サッカー大会 | |
| ・10月 | 第14回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 4勝2分けで1位
決勝トーナメント4位(3位決定戦で駒林に敗退) |
| ・11月 | 57年度読売旗争奪読売少年サッカー秋季大会
国際チビッ子3位決定戦と重なりLBで対戦 | 第二次予選リーグ3位 |
| ・1月 | 第9回神奈川県少年サッカー大会 | 3回戦で南大野コスモスにPK負け |
| ・1月 | 第5回全国少年ミニサッカー大会 | 8人制の部準決勝で十和田にPK負け、4位 |
| ・2月 | 創立15周年記念行事実行委員会発足 | 9月に記念式典開催、記念誌発行の予定 |

チーム紹介 第14期生 落合 明人 (創立30周年記念誌より)

当時L-Bのキャプテンをしていたと言う事で、チーム紹介をさせて頂きます。

L-Bチームの6年というのは、皆Aチームに入れなかったという事で、サッカーへの情熱が薄れている時期なので、勝利へのモチベーションを保つのが大変でした。しかし、14期のL-Bチームは、なかなかバランスのとれた良いチームだったと思います。右FW石川、左に桑山、CF渡部、ハーフに私や谷山(途中からAに移ったので、GK山田がハーフに転向)、バックスに福田、柏瀬、村山、横山ら。馬瀬もバックスとゴールキーパー兼任でしたが、どちらのポジションも器用にこなしていました。下田小ではなかったのですが、西ヶ谷、田畠も毎週、遠くから来て、頑張っていました。

優秀な成績は残せませんでしたが、皆にとって、「たちばな」はサッカーへの入り口として大きな意味を持っていたと思います。

たちばなキッカーズの益々の発展を祈って結びにかえさせて頂きます。

メンバー紹介（各人の自己紹介）

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
HB	9	吉村 幸大	下田小	毎日、日が暮れるまでボールを追っかけていました。体が小さかったので、皆にはいつも一生懸命頑張っているという印象が強い。
FW	7	山本 和人	下田小	小柄だがテクニックはチーム No.1。随所にセンスあるプレーが光っていました。
HB	5	田村 誠	下田小	キック力がなく、いつもいい所まで突破しては誰かにラストパスを出していた。アシストならチーム No.1 だったかもしれません!?
GK	1	平方 雅之	川中島小	あまり上手ではありませんでしたが、キーパーを任されていました。背だけは高かったです。
FB	2	杏 敏男	下田小	
FB	3	松本 哲也	下田小	たちばなのユニフォームに憧れて始めたサッカーも今年で 20 年近くになりました。今でこそバックをやっているが、当時は FW とかもやってました。
CB	4	川合 康弘	下田小	スライディングはよくやりました。また、キック力があり、クリアはほとんどなかったと思います。本当かな?
FW	6	中林 明彦	下田小	
HB	8	谷嶋 輝樹	下田小	ロングキックとペディングを武器としてよく得点していた記憶があります。横浜選抜がさわやか杯で初優勝した時のメンバーとして参加出来たのも、たちばなでプレイしていたからだと思います。
FW	11	佐世 真一		
FW	20	谷山 一也	下田小	サッカーは僕にとって、今でも一番思い出深いスポーツです。皆で楽しく一生懸命やった事がなつかしく思います。僕の得意技は、何と言っても顔面ヘッド、ドリブルシュートなんてね!?
FB	12	神田 信幸	下田小	
HB	17	落合 明人	下田小	身体能力は高くありませんでしたが、読みとポジショニングで勝負する HB でした。
FW	18	桑山 和也	下田小	
FW	19	石川 和夫	下田小	
GK/HB	21	山田 功	下田小	
FB	22	福田 一	下田小	センターバック。足が速くてすばしっこく、体は小さいがタックルには自信があった。リフティングが不得意でバックをやらされていた。
FB	23	柏瀬 秀一	下田小	入った時からバック一筋で、永田さんと佐野さんに教えてもらいました。ずっとサブでしたが、高校に入ってやっとRegularExpressionになれました。
FB	24	村山 精一	下田小	
HB	25	横山 大輔	下田小	
FB/GK	26	馬瀬 直人	下田小	
HB	27	藤田 宏	下田小	サッカーが上手にならず、一時はやめようとも考えましたが、最後まで続けられた事が現在の自分に生かされている。
HB	28	西ヶ谷 聰享		
HB	29	田畠 裕三		
	42	渡部 貴	下田小	入った時に初めてやったポジションが LL-B の CF でした。当時の自分にとっては点取屋としてのアレッシャーを感じながらも練習に明け暮れた日々でした。その時の経験を生かして今の仕事もアグレッシブに頑張っているつもりです。
		平山 昌和	下田小	
	13	長塚 真也	下田小	たちばなキッカーズでサッカーをやめてとてもいい思い出となりました。
		配野 学	下田小	
	50	野里 洋介	下田小	根性が無く途中退会となりましたが、今でもサッカーは好きで、個人的なエクササイズとして時にはボールを蹴ってサッカーを愛し続けています。
		笛子 貢		
		松本 典浩		
		辛 洪山		
		日比野 誠		
		山崎 浩		
		小宮 浩一郎		

昭和 55 年 9 月 6 日 THE KEY より



◀第14回国際チッコサッカー大会 4位

第 15 期 1983 年度(昭和 58 年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1981 年度(昭和 56 年度))

- | | | |
|------|-----------------------|-------------|
| ・4月 | 第 8 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・8月 | 第 8 回団地少年サッカー大会 | |
| ・10月 | 第 13 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | LL-A 2 部で優勝 |
| ・1月 | 第 8 回神奈川県少年サッカー大会 | LL の部 4 位 |

L (1983 年度(昭和 58 年度))

- | | | |
|-----|---|---------------------------|
| ・2月 | 第 8 回横浜少年サッカー大会(新人戦) | 3 位 |
| ・5月 | 5 月 8 日 バザー開催 | |
| ・4月 | 第 10 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 4 位 |
| ・5月 | 第 7 回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 予選ブロック 2 位 |
| ・7月 | 第 5 回全国子供ミニサッカー神奈川県大会 | 優勝(於 伊勢丹屋上) |
| | 全国大会 1 回戦 4 対 3 で仲ノ木に勝つも合宿と重なる為、以降の試合は棄権 | |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿
あざみ野 FC、八潮 SC(埼玉)、中西バーバリアン(東京)と親善試合を行う。
二日目昼食は飯盒炊飯 | |
| ・8月 | 読売少年サッカー夏季大会 | 二次リーグで 2 位(準決勝進出出来ず) |
| ・8月 | 第 10 回関東団地少年サッカー大会 | A(高学年)決勝トーナメント 1 回戦西上尾に敗退 |
| ・9月 | 9 月 18 日 創立 15 周年記念式典開催 | |
| ・9月 | 第 15 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | |
| ・1月 | 第 1 回クラブ対抗ミニサッカー大会 | 3 年～6 年生 総合 2 位 特別 T 優勝 |
| ・1月 | 第 10 回神奈川県少年サッカー大会 | 3 回戦で敗退(PK 戦負け) |
| ・2月 | 58 年度読売旗争奪読売少年サッカー冬季大会 | 第一次予選リーグで惜敗 |

チーム紹介 第 15 期生 鈴木 信二郎 (創立 30 周年記念誌より)

私がたちばなキッカーズを卒業してから、もう 15 年がたとうとしている。もう、ずいぶん記憶が薄くなりつつも、楽しかったあの時代は忘れられない。特に、次の二つの事は思い出深く残っている。

一つは、私達の代の成績である。

私達の代より前のたちばなキッカーズは大変強かった。市内ではもちろん、県内でもその強さは有数であったと記憶している(勿論、今ほどチーム数は多くなかったと思うが)。市内ではベスト 4 は勿論、優勝も多かったと思う。だから、秋の国際チビッ子は A の部に出るのは本当に当然の事であった(今は知らないが、当時は春のスポ少の結果により秋の国際チビッ子の A の部、B の部が決っていた)。しかしながら、私達は見事に B の部にまわされた。スポ少で惨敗だったからである。これは、おそらくたちばな史上初めての出来事であろう。とても悔しかったのを覚えている。私達はその悔しさをバネに頑張った。そして、国際チビッ子では、B の部ながら優勝、その勢いで冬の県大会でも見事 3 位になる事が出来た。ほかの大会ではあまりすばらしい成績を上げる事が出来なかつただけに、これはとても印象に残る出来事であった。

もう一つは指導者の方々である。私達の代は主に、LL の頃は永田さんに、L の頃は曾田さん、大

島さん、佐野さんに指導を受けた。みなさんとも優しい方々であった。練習も和気あいあいと言う感じで、本当に楽しかった。ただ一度だけ、合宿の時に余りふがいない練習試合をしてしまい、試合後とても怒られ、1時間位ひたすらヘディングの練習をした事があったが…………。それ以外はあまり怒られた記憶はない。

又、いつも誉めて頂いた。私自身3年生の頃、曾田さんに「君はヘディングがうまいな」と誉められ、とても自信が付いた。その後、中学・高校・大学と、私はたいして背は高くないが、ヘディングの競り合いには自信を持って取り組み、競り合いにも強かったと思う。

私は今、小学校の教師をしているが、子供に対する接し方や誉める事の大切さ等、たちばなキッカーズの指導者のすばらしさを実感する。感謝の一語に尽きる。

この様に文章を書いていると、当時の思い出が少しずつよみがえってくる。今のたちばなキッカーズのメンバーにも、すばらしい思い出を数多く作ってほしいと思う。

たちばなキッカーズと指導者の方々の、ますますの御活躍を期待し、この文章を終わらせて頂く。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
MF	7	田辺 実	下田小	たんべ。チームの指令塔として活躍。左右両足から繰り出されるパスは正確で数多くのチャンスを作り出した。
FW	8	伊藤 淳平	下田小	いとちゃん。スピードがあり、切れがあり、そして力強いドリブルで相手を次々とかわして鋭いシュートを決める。
DF	2	中林 真人	下田小	マンゴ。全体のバランスをよく見ながら守って、1対1に強いディフェンス。相手との駆け引きには負けなかった。
DF	3	波多野 晓宏	下田小	はたの。粘り強いディフェンスで、一度くらいたたら絶対に離れないしつこさがあり、相手に一番嫌がられるDF。
FW	5	辛 煙日	下田小	しん。相手をあっという間に置き去りにするスピードでサボをドリブル突破して多くの得点に絡む。
MF	6	鈴木 信二郎	下田小	しんじろう。ヘディングに強く、当たり負けをしない。周囲に指示を出し、守りを固めるDFの中心人物。
FW	9	佐藤 勇	下田小	いさむ。小柄な体格ながら、体を上手に使いプレーする。いつの間にかゴール前に現われ得点をする。
DF	12	守口 貴広		
GK	1	山本 亮	下田小	やまさん。経験は少ないが、チームの背の高さと素晴らしい運動神経でゴールを守る。チームの守護神。
FW	10	河本 充弘	下田小 (馬絹小)	かわもと、ちよび。チームの中心人物。まさに大黒柱。ドリブル、パス、シュートどれをとっても小学生離れしたスーパープレーヤー。
GK/MF	17	大村 慎二	下田小	しんじ。チームのムードメーカー。ガッツ溢れるプレーでチームを引っ張る。Bチームのキャプテンを務める。
MF	18	小笠原 直広	下田小	ガチャマン。意外性のあるプレーで、同じチームの選手もびっくりする様なプレーを得意とする。
DF	19	草野 真裕		
FW	21	白岩 俊明		
		稲田 和彦		
DF	22	望月 基		
		今村 和郎		
		柳原 新太郎		
		服部 博之		
		小林 啓寛		

▼第5回全国子供ミニサッカー大会
優勝

たちばなキッカ
ーズが優勝飾る
ミニサッカー県予選
第五回全国子供ミニサッカ
ー大会県予選(毎日新聞社主
催、大蔵製紙など協賛)は二
十九日、東京・新宿伊勢丹前
上の会場で行われ、二二二一
ムが参加、決勝戦ではたちば
なキッカーズが2対0で上南
サッカーライブを破り優勝し
た。たちばなキッカーズは八
月四日から同会場で行われる
全国大会に出場する。



▲第8回横浜少年サッカー大会新人戦
試合を終え拍手で迎えられるたちばなイレブン



▲第10回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 ハーフタイム

▷ 第7回全日本少年サッカー大会
神奈川県大会



第 16 期 1984 年度(昭和 59 年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1982 年度(昭和 57 年度))

- ・4月 第 9 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・8月 第 9 回関東団地少年サッカー大会
- ・10月 第 14 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・1月 第 9 回神奈川県少年サッカー大会
- ・2月 創立 15 周年記念行事実行委員会発足。9 月に記念式典開催、記念誌発行の予定とする。

L (1984 年度(昭和 59 年度))

L-A

L-B

- | | | |
|--|-----------------------|---------|
| ・2月 第 9 回横浜少年サッカー大会(新人戦) | 2回戦で本郷に敗退 | — |
| 曾田監督 現場に復帰 | | |
| ・4月 第 11 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 3勝で予選 1位 | 3負で 4 位 |
| | 決勝トーナメント 1回戦で敗退 | |
| ・5月 第 8 回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 予選 2 回戦で敗退 | — |
| ・6月 下田小グランド整備終了、永田コーチ長期出張から復帰 | | |
| ・7月 第 6 回全国子供ミニサッカー神奈川県大会 | 優勝の大根ラディッシュに 3 回戦で敗退 | |
| ・8月 富士緑の休暇村で合宿 | 鷺沼、八潮 SC(埼玉)と親善試合を行う。 | |
| ・8月 第 11 回関東団地少年サッカー大会 | 予選リーグで敗退 | |
| ・9月 鶴間 10 周年招待試合 | 準優勝(静岡の長泉南が優勝) | |
| ・9月 勝田 SS 10 周年記念招待試合 | 優勝 | |
| ・10月 第 16 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | | |
| ・11月 港北区ジュニアスポーツ大会 | 優勝 | |
| ・1月 第 11 回神奈川県少年サッカー大会 | 県予選ブロック 1 位 | |
| 4年ぶりに県中央大会に進出するも 1回戦で惜敗。330 チーム中 16 位。 | | |
| ・3月 清水招待試合に参加 | | |

チーム紹介 「鶴間 10 周年で準優勝」(たちばなニュースより) 第 16 期生 配野 治

鶴間 10 周年記念招待試合の決勝リーグは良く晴れた日曜日に行われました。芝生の緑が目にしみるコートで、すでに勝ち進んだ 3 チームによって争われます。たちばなキッカーズは優勝ムードで臨みました。負けてもカップが貰えると、皆そう思っていました。

南大野戦は前半 1-2 でリードされましたが、後半 2 点を入れて、3-2 で逆転しました。次に静岡の長泉南との対戦でしたが、エースストライカーの足の故障もあって、惜しくも 0-1 で負け、準優勝となりました。しかし、今日は勝つぞというムードがあつたのは良いことでした。

スポーツは「試合中にいい言葉を沢山使う事が大切だ」とある人がいっていた。自分に自身を持たせるいい言葉を口から出し、自分を奮い立たせることだ。

試合開始前に円陣をくんで、「気合を入れて行こう、頑張って行こう、オー！」もひとつのあらわれである。だいぶ前であるが、NHK の番組で、子供達が「越後角兵衛唐獅子」を演じていた。その中で技に入る前に「ハッ、ハッ」の掛け声をかけていた。これは大脳生理学でいう脳波パターンをフェイズ 2(平常の意識レベル)の状態からフェイズ 3(少しエキサイトした意識レベル)の状態にするための科学的手法である。私達が日頃無意識で使っている「セーノ」「ヨイショ」などの掛け声も同じ事である。

試合開始前、ポジションについたら皆で「ハッハッ」と掛け声をかけたらどんなになるであろうか。相手は不気味に思うであろうか?味方は奮い立つであろうか?一度やってみたい試みもある。

ともあれ、準優勝!初めてのカップおめでとう!!

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
MF	7	配野 治	下田小	チームのまとめ役、小さな体で声を張り上げチョコチョコとチームに喝をいれる。
FW	9	内田 昇	下田小	身体能力を活かし、パスにシュートにオールラウンドプレーヤー。
DF	6	樺沢 健二	下田小	バックの要。長身を活かしたディングシュートも得意。
MF	11	田中 剛	下田小	ラインぎわを駆け抜ける直線的ドリブルからの強烈なシュート。
FW	10	野里 拓也		足が早く点取り屋「拓ちゃん」。巧みなドリブル。
DF	5	篠原 雄太		ピッチを救うスライディングタックルが得意。
FW		河本 利弘	馬絹小	トシップ。相手の裏をかく意表をつくプレーが得意。
MF	17	笠原 宣広	下田小	鋭いドリブルで相手をごぼう抜き。
DF		仁平 圭	下田小	巧みな左足とガツツあるプレーが身上。
MF		塙本 茂樹	下田小	大型 MF。パワーで相手を跳ね除ける。
GK	1	室伏 太地	下田小	がっちりした体がたのもしい「太ちゃん」。横跳びも得意な力強い GK。
DF	14	篠原 晃	下田小	1対1では絶対の自信を持つスピードのある左サイドバック。
FW		白鶴 清治	下田小	細かいドリブルで短いパス。まさにたちばなのサッカー。
DF		横川 英明	下田小	落ち着いたプレーを身上とする。
MF		森木 龍也	下田小	小さい体ながらも体力とガツツでかばー。
MF	5	有村 昌雄	下田小	左足から繰り出すキーパースが得意。
FW		桑山 真	下田小	巧みな技とコンビネーションでいつも素晴らしいプレーを見せる。
MF		山室 淳史	下田小	
MF	8	永長 勝行	下田小	ナガピン。チームのスピードを誇り、グランドを縦横無尽に駆け廻る。
GK	2	斎藤 登	下田小	のっぴん。安定したセービングでゴールを守る。
MF		増田 克彦	下田小	スピードとバネを活かしたプレーヤー。敵に回すと最も嫌なタイプ。
DF		佐藤 礼和	下田小	
FW		辛 燐碩	下田小	スピードもあり、力強いプレーヤー。
MF		中鉢 要介	下田小	
DF		新井 弘展	下田小	
DF		新山 武志	下田小	力が有り余るパワーバック。
MF		久保寺 徹	下田小	
MF		国房 太郎		
MF		大西 文夫		
		今仲 浩和		
		平方 哲郎		



△第16期卒業生「お別れ会」

第 17 期 1985 年度(昭和 60 年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1983 年度(昭和 58 年度))

・5月	5月 8日 バザー開催	
・4月	第 10 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	
・8月	富士緑の休暇村で合宿	
・8月	第 10 回関東団地少年サッカー大会	B(低学年) 予選リーグ 2 位
・9月	9月 18 日 創立 15 周年記念式典開催	
・9月	第 15 回横浜国際チビッ子サッカー大会	LL-A 2 部で準優勝
・1月	第 1 回クラブ対抗ミニサッカー大会	3 年～6 年生 総合 2 位 特別 T 優勝
・1月	第 10 回神奈川県少年サッカー大会	LL-A 3 回戦で敗退

L (1985 年度(昭和 60 年度))

	L-A	L-B
・2月	第 10 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	1回戦で敗退
・5月	第 12 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	3勝 1 負 2 分で 3 位 2 勝 2 負で 3 位
・5月	第 9 回全日本少年サッカー神奈川県大会	予選ブロック 2 回戦で敗退
・6月	第 1 回港北区サッカー協会大会	1回戦敗退
・8月	富士緑の休暇村で合宿	あざみ野と親善試合を行う。
・8月	第 12 回関東団地少年サッカー大会	決勝トーナメントで尾山台に敗退
・9月	旭高校サッカー部	新日鉄グランドにてたちばなを指導
・10月	第 17 回横浜国際チビッ子サッカー大会	1勝 1 負 3 分で 3 位 4 負 1 分で 6 位
・11月	港北区ジュニアスポーツ大会	優勝 2 回戦敗退
・1月	第 12 回神奈川県少年サッカー大会	県予選ブロック 2 位

チーム紹介 第 17 期生 田辺 義昭 (創立 30 周年記念誌より)

同期の人数は少なかったが、下級生との仲が良く、明るく元気のあるチームでした。

以下、20 周年誌から抜粋

「たちばなでの思い出」 田辺 義昭

僕は 2 年生からたちばなに入りました。その中で一番思い出になった事は、6 年生の時の合宿です。今までの合宿では上級生の人達と一緒にいれば良かったけれども、6 年の時の合宿では、合宿に行く前に班を決めたり、班の人達をまとめなくてはなりませんでした。試合や隠し芸とかは、とても楽しく出来たと思います。それに夜は皆で色々な話をしたり、ふざけたりして、とても楽しかったです。この様な楽しい思い出や、頑張った思い出は今でも残っています。だから僕はたちばなに入つてよかったですとおもいました。そして、これからも色々と頑張って行きたいと思います。

「たちばなでの思い出」 前島 瞳

僕がたちばなに入ったのは 1 年生の時でした。その時 SL はなかったと記憶しています。

一番楽しかった事は、夏の合宿でした。6 年生の時の合宿では、僕のチームが優勝し、僕が最優秀選手に選ばれました。

今でも中学でサッカー部に在籍していますが、期待に反して活発に活動していないのが残念です。夏までの半年間、悔いの無いようにがんばりたいと思います。高校生になってもサッカーは続けて行きたいと思います。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
DF	3	前島 瞳	下田小	背が高くヘディングが得意。
MF	4	土谷 悟	下田小	ガツツあるプレーでチームにとって欠かせない存在。ムードメーカー。
FW	6	関谷 明大		リフティングが得意で、ボールキープが上手だった。
DF		南間 利之	下田小	サイドバックとしての守り方は非常に上手だった。
FW		大野 樹里	下田小	とにかく足が速くて追いつける人はいない。
DF	8	小栗 周一	下田小	ボールキープ、パスセンス共に素晴らしい技術力でチームのゲームメーカー。
MF	10	田辺 義昭	下田小	チームのキャプテン。ドリブルには自信があった。
FW	11	丸山 大助	下田小	正確なシュートでストライカーとして活躍。
MF		大島 健	下田小	Bチームのキャプテンで、下級生をうまくまとめ、信頼が厚い。
FW		三宅 弘幸	下田小	背が高くヘディングが得意だった。
MF		平田 浩二 (旧姓 難波)	下田小	
MF		西口 剛史		



第 15 回横浜国際
チビッ子サッカー大会
LL-A 準優勝

第 17 期生



第18期 1986年度(昭和61年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1984年度(昭和59年度))

		LL-A	LL-B
・4月	第11回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	4勝で予選1位 決勝トーナメント1回戦敗退(PK戦負け)	4負で5位
・6月	下田小グランド整備終了、永田コーチ長期出張から復帰		
・8月	富士緑の休暇村で合宿		
・8月	第11回関東団地少年サッカー大会	予選リーグで敗退	
・10月	第16回横浜国際チビッ子サッカー大会	準優勝(優勝は夏山)	
・11月	港北区ジュニアスポーツ大会		
・1月	第1回クラブ対抗ミニサッカー大会	サロンフットボールの部 優勝	
・1月	第11回神奈川県少年サッカー大会		

L (1986年度(昭和61年度))

		L-A	L-B
・2月	第11回横浜少年サッカー大会(新人戦)	2回戦で上星川に敗退	
・3月	61年度読売旗争奪読売少年サッカー春季大会	予選リーグ1位、ブロック決勝で惜敗	
・4月	第13回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	3勝1負1分で2位 1勝4負で5位 決勝トーナメント1回戦敗退	
・5月	第10回全日本少年サッカー神奈川県大会	予選ブロック2位	
・6月	第2回港北区サッカー協会大会	3回戦敗退	3回戦敗退
・7月	第8回全国子供ミニサッカー神奈川県大会	県予選2位、全国大会4位	
・8月	富士緑の休暇村で合宿		
・8月	GPフェスティバル5年生大会招待試合	予選リーグ2位、決勝リーグ浜松JFCに惜敗	
・8月	第13回関東団地少年サッカー大会	予選リーグ2位、決勝トーナメント進出出来ず	
・10月	第18回横浜国際チビッ子サッカー大会	3勝2負1分で4位 2勝2負1分で4位	
・11月	第6回港北区ジュニアスポーツ大会	準優勝	
・1月	第13回神奈川県少年サッカー大会	2回戦敗退	

チーム紹介 第18期生 吉村 正輝 (創立30周年記念誌より)

月日の経つのは速いもので、私がたちはなキッカーズというサッカーを通じた遊びに出会ってから、16年近く過ぎました。当時を振り返ると、遊びという感覚、自由という面白さに魅せられて、毎日の様にボールを追いかけていました。そして今でも思い出すのは、何でも好き勝手にプレーさせてもらい、子供である私達の発想に全てを任せていた、という事である。これがたちはならしさと言っても過言ではないと思います。また、仲間と一緒に過ごした素晴らしい思い出がたくさんあります。サッカーで学んだ事は多いけれど、勝って笑い、負けて泣く。そこには苦楽を共にした仲間がいる。そこで培われてきたものは、何事にも代え難い本当に大切なものです。

私達の頃はSLと言うチームはなく、3年生や4年生に混じってサッカーをしていた思い出があります。ひとつ覚えている事は、千葉のサロンフットボール大会で優勝して、ラモス選手やセルジオ越後さんに讃められたと言う事です。4年生になる頃には、一人一人の技術とたくましさが加わり、ようやく試合が出来る様になりました。横浜国際チビッ子サッカー大会においては、一試合毎に力を付けて行き、試合が楽しかった思い出があります。決勝トーナメントでも勝ち進み、決勝戦まで行く事が出来、非常に充実していた事を覚えています。

6年生になるとお互いを理解し合い、チームとしてまとまりが出てきました。平日でも放課後に皆で集まり、自ら工夫してサッカーをする楽しさを自然と身につけていた様に感じます。全国子供ミニサッカー大会では、前年優勝チームである OS ジュニアを PK 戦の末破り、見事全国大会への切符を手にする事が出来ました。全国大会でも、さまざまな経験を積む事が出来ました。大会では準決勝まで勝ち残り、最高の経験をする事が出来ました。

また、合宿やたちばな杯を通して学んだ団体行動のあり方なども、自然と身についていた様に感じます。この意味でも、たちばなから学んだ事は今でも私達の基本となっています。そして、曾田監督や佐野さん、大島さん、永田さんなどコーチの方々には本当に感謝致します。また、子供である私達をお世話してくれた父母の方々にも心から感謝致します。そして、30周年を迎えた“たちばなキッカーズ”の御祝いと今後の発展を心より祈念致します。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	遠藤 誠	下田小	愛称「マコト」上に絶対の自信を持つ GK。特に左に飛んでボールを取る宇宙遊泳は名人芸。但し、右下に落とし穴あり。
DF	2	安土 有一郎	下田小	愛称「ヤシ」走るスピードが速く、長いリーチを生かしてカットも抜群。オバーラップを得意として、スローインも上手い。
DF	3	福谷 和彦	下田小	愛称「フクさん」冷静な読みとかバーリングを得意とするスイパー。中盤からの殺人シュートは入っても入らなくても敵・味方からオーッと声が出る。
MF	4	越前 恒雄	下田小	愛称「エヨゼン」おもしろいドリブルをする。独自のフェイントが性格を表している。リフティングもおもしろい芸人。
DF	5	芳賀 優樹	馬絹小	前身バネのかたまりで、走ること、縄跳び、何でも達人である。どこでもこなせるホールラウンドプレーヤー。集中力が少し足りない。
FW	7	伊藤 謙三	下田小	愛称「ケンちゃん」重心の低いドリブルと歩幅の大きいプレースタイルが特徴。黄金の左足シュートは得点確率が高い。
MF	8	草野 光雄	下田小	愛称「みっちゃん」状況判断が優れていて、ボールタッチも柔かく、フェイントに意外性がある。たちなばの伝統を継いだ人。
FW	9	室伏 勢	篠原小	愛称「ちから」ゲーム勘の良さは大人なみ。体でブロックしながらのボールキープ、逆襲からの独創シュートでチームを盛り上げる。
MF	10	吉村 正輝	下田小	愛称「マサキ」ゴールの「狩人」。相手 DF のミスは絶対に見逃さない。狙った所へシュートする気迫がすばらしい。
MF	18	山岸 治	下田小	愛称「ヤマジ」チームのキャプテンとして、皆をリードする。大きい体を利用して守備をし、たまに打つシュートにも力がある。
FW	19	安土 健太郎	下田小	愛称「ケタロウ」技術とセイは相手をうならせるものがある。体調の維持が課題である。
FW	21	相原 且登	下田小	愛称「かずと」小さい体を補うファイターで、スライディングを得意とするタックルが上手。
DF	22	箕輪 吉利大	下田小	愛称「ミノゴン」足の速さとキック力に絶対の自信を持つ。特にセットプレーのプレーの技術は抜群。
DF	25	関 貴士	下田小	愛称「タクシ」相手のエースを殺す程のエースキラー。常に全力投球する努力家である。
MF	26	家次 崇太	下田小	愛称「エジ」スローインを得意とし、見ている人をうならせるアバタマン！感動させるプレーをする。
FW	27	近藤 大輔	下田小	愛称「コンチ」ボールを持たせたら得点を期待させる技巧派プレー。より強い気持と強引きが必要。
DF	28	伊藤 文彦	下田小	愛称「ビビコ」スライディングタックルを得意とする。キーパーもこなす万能選手で、チーム貢献度は抜群である。
MF	30	阪本 学	下田小	愛称「まなぶ」左利きのアシスト王。左サイドからのスルーパスを得意とするアデアマン。
		波多野 公士		
		酒井 寿和		
		浅井 康介		

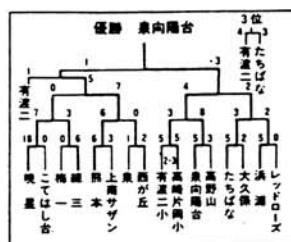


△「ゴール」12月号より

第8回全国子供
ミニサッカー大会

7/31
8/3

7月31日㈯ 8月3日㈰ 8月4日㈪
にわかつて、東京・新宿伊勢丹の
屋上を会場に開催された第8回全
国子供ミニサッカー大会では、
全国から各地予選を勝ち抜いた16
チームが参加、優勝をめざして激
戦した。



第19期 1987年度(昭和62年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1985年度(昭和60年度))

- ・5月 第12回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- ・6月 第1回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・8月 第12回関東団地少年サッカー大会
- ・9月 旭高校サッカー部
- ・10月 第17回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 港北区ジュニアスポーツ大会
- ・1月 第12回神奈川県少年サッカー大会

LL-A

- 2勝3負で4位
- 3回戦敗退
- あざみ野と親善試合を行う
- 予選1勝1負
- 新日鉄グランドにてたちばなを指導
- 3勝1分で1位
- 決勝トーナメント1回戦でPK戦負け
- 3位入賞

LL-B

- 4負で5位
- 1回戦敗退
- 1回戦敗退
- 新日鉄グランドにてたちばなを指導
- 4負で5位
- 1回戦敗退

L (1987年度(昭和62年度))

- ・2月 第12回横浜少年サッカー大会(新人戦)
- ・3月 62年度読売旗争奪読売少年サッカー春季大会
- ・4月 第14回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- ・5月 創立20周年準備委員会組織発足
- ・5月 第11回全日本少年サッカー神奈川県大会
- ・6月 第3回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
腰越(鎌倉)、矢崎(府中)、町田SSと親善試合実施
- ・8月 第14回関東団地対抗少年サッカー大会
- ・9月 9月20日 バザー開催
- ・10月 第19回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 鶴見川(亀島橋下流)河川敷
- ・11月 第7回港北区ジュニアスポーツ大会
- ・1月 第14回神奈川県少年サッカー大会
- ・2月 第7回セルジオ杯記念サッカー大会

L-A

- 第2戦ではやぶさにPK負け
- 決勝トーナメント準々決勝で惜敗
- 6勝で予選1位
- 準々決勝で駒林にPK戦で惜敗

L-B

- 4回戦 いずみKCに惜敗
- 3回戦敗退
- 1回戦PK戦負け
- 決勝トーナメント1回戦で惜敗
- 3勝3分で2位
- 準々決勝で若葉台に惜敗
- たちばな専用グランド整備開始
- 3回戦敗退
- 2回戦敗退
- 県予選ブロック1回戦敗退
- 3位
-

チーム紹介 第19期生 田辺 貴之 (創立30周年記念誌より)

SL時代は、チームとしてはメンバーが11名ぐらいしかいなく、試合内容等は全く覚えていない。しかし、この年代だけにチームに小原君という人がいて、2年生の時に地方に引っ越してしまい、仲の良い友達との別れがあった事だけ覚えている。コーチは永田さんにお世話になり、ボールを蹴る楽しさを優しく教えてくれた人である。

LL時代は、大島コーチのお世話になり、サッカーの基本を忠実に教えて頂く事が出来、且つ、たまに私達に見せる厳しさはチームに喝を入れてくれた。子供達と一緒にサッカーをプレーし、その場で個々の長所、短所を見極めてくれた事を覚えている。

Lの時代は、とにかく国際チビッ子予選リーグ、相手はFC奈良、日産FC、文庫FCといった強敵ぞろい。大会前から周りは予選敗退と思った人もいたと思う。しかし、FC奈良、文庫と2試合を

終了して1勝1分け勝ち点3。次の日産FC戦では引分け以上で予選通過というところまできた。迎えた最終戦、相手に先制され、後半のギリギリでついに同点に持ち込み、同点で終了した。この時のうれしさ、みんなの笑顔、曾田監督・コーチ等の喜ぶ姿はこれからも一生忘れないと思う。何よりこんなに強敵がいながら、一つも負けなかった事は自信も出来たし、強い相手だろうと試合をやってみなければ分からなかったと思った。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW	10	田辺 貴之	下田小	愛称「タベ」センターフォワードとして数多くの得点を記録。キャプテンとしてチームをまとめた。
MF	9	海野 貴男	下田小	愛称「たかお君」たちばなNo.1のテクニシャン。自分からチャンスを作り、シュートも出来る指令塔。
FW	8	小田 俊直	下田小	愛称「タベ」相手DFを力でねじ伏せる。パワーはチームNo.1!!
DF	3	山口 昌平	下田小	愛称「グッピー」DFとしてボールを奪うテクニックが非常にうまい。
FW	7	出口 浩一郎	下田小	愛称「デグリン」右ウイングで相手を得意のドリブルとスピードで抜き去るテクニックは天下一品。
FW	11	十河 康	下田小	愛称「ごっち」左ウイングで左からのセンターリングは正確で幾度もの得点チャンスを作り出した。
DF	2	横山 惣一	下田小	愛称「横しょ」たちばなDFの最後のとりで。ハドタックルでここを抜いていくのは至難の技!!
DF	5	岩渕 寿洋	下田小	愛称「岩くん」右サドバッックでオーバーラップを得意とする。攻守の切り換えが早い。
DF	4	田中 誠	下田小	愛称「タコ」センターバックでたちばなNo.1のがッツマン。脅威のスライディングは100%カットする信頼出来るDF。
MF	6	近藤 宏樹	下田小	左足のテクニシャン。この左足から出されるパスはきっちり味方の所に出される。
DF	17	高木 辰有	下田小	愛称「タツリ」LBチームのキャプテン。チームのまとめ役としても活躍してくれて落ち着いた状況判断は群を抜いていた。
MF	20	薦木 浩一	下田小	愛称「つたご」守備的MF。相手の攻撃の芽もすばやくつぶしてくれる。DFとしては、何度も彼に助けてもらった。
FW	21	児島 健一	下田小	愛称「こじくん」どんな体勢からでもシュートがうてる。得点能力が高い選手。
MF	22	田端 淳記	下田小	DFとFWの間に入り、確実にくさい役の仕事もこなした。
FW	23	那須 隆行	下田小	ロングキックの正確さはすごい。コーナーキックでは、彼の正確なキックで数多く得点した。
FW	24	岸 健司	下田小	左ウイング。体は小さかったが、足技が非常にうまく、彼のアシストによる得点が一番多かった気がする。
FW	25	松久 友隆	下田小	センターフォワード。点で合わせるペディングは努力の結果。
DF	26	窪田 寛	下田小	右サドバッック。それでいて一度も怪我をしなく、このポジションは一年間固定されていた。
DF	28	小泉 裕希	下田小	左サドバッック。どんなに大きい相手でも恐れず、チームに気迫が伝わって来る。
GK	29	久保田 宏	下田小	GKとして一番後ろから声を出し、味方にとっては信頼出来るGKだった。
DF	30	佐々木 大輔	下田小	相手のフェイントにかからないのが特徴で、しっかりボールを見て、且つボールを奪う。基本に忠実。

1987年当時のLのメンバー



セルジオ越後氏を囲んで (LL 当時)



発展期のたちばなキッカーズ(第10期～19期)

たちばなキッカーズ元代表 永田 欣也

(創立30周年記念誌より)

たちばなキッカーズ創生期後半の繁栄時代を継承した第10期から19期の活動は、その前半はLLクラス及びLクラスに於いて引き続き県、市、区主催の各種大会で常に優勝を争う強豪グループの一翼を担っており、昭和56年までは横浜市の3大会のうち、1つは必ず優勝出来るチーム力でした。この時代で一番忘れ難いのは、昭和53年度及び54年度の全日本少年サッカー大会の神奈川県大会で、二年続けて準優勝に泣いた事でした。又、この年代からJリーグ選手が二名（第11期:大場賢治、第15期:河本充弘）が出たのは、後輩の子供達に大きな憧れと目標を与えてくれました。

この年代の後半は、少年サッカーチーム数の急増、及び新興強豪チームの台頭により、前半程の成績は収められませんでしたが、第16期～第19期の各チーム共、横浜市の春のスポーツ少年団サッカー大会、並びに国際チビッ子サッカー大会で上位に入賞する活躍がありました。

第10期～第19期の各チーム共夫々、ユニークな子、卓越した特技を持った子、目立たぬが黙々と努力する子等、の集団でしたが、「伸び伸びサッカー」をモットーにサッカーを楽しんでいました。中には中学校及び高校でもサッカーを続け、高校全国大会の神奈川県大会で、その年々の決勝大会出場チームの中心選手として活躍し、コーチ陣・子供達・父母・OBを熱狂させてくれたのも楽しい思い出となっています。有力高校チームの監督には、よく「たちばな出身の子供は応用力があり、教えがいがある」と言われたのですが、これもたちばな時代の「大人のサッカーではなく、自分達で考えるサッカー」に依る所が大きいと思います。

更に、この年代の特筆すべき事柄は、これまで、たちばなキッカーズのメンバーは下田小学校の学童のみで、僅かにたちばなのメンバーの引っ越し先で友達になった子が加入するケースが2～3例あったにすぎませんが、この時代の最後の頃から、高田小から数名が加入したのを始めとし、最近では高田東小、子母口小等、その範囲も広がり、又、たちばなキッカーズのメンバーに占める割合も増加しつつあります。小学校の学童数の減少から、横浜市内の少年サッカーの各クラブ共、单一小学校の学童のみでL、LL、SL各クラスを維持するのは困難な状態になりつつありますので、たちばなキッカーズも下田小学校区外の学童の確保が一層不可欠になると思われます。

たちばなキッカーズは創立当初より、下田小学校校庭をホームグラウンドに、その数年後より高田小学校校庭をサブグラウンドとして、両小学校の諸先生方、並びに下田町及び高田町関係者のご高配の下に、練習・試合(SL及びLLクラス)に使用してきております。

一方、たちばなキッカーズはクラブ加入者全員の公式試合出場を目指し、横浜市主催の春・秋の大会には試合会場を提供して、L、LL、SL各クラス共A及びBの2チームを参加させてきました。下田小及び高田小の校庭はLLまでの試合には対応出来ますが、Lの試合には狭すぎるため、会場確保には苦労し、当時は、元住吉の県の警察学校空き地、或いはアルプス電気(株)のグラウンドを借用していました。その後、新日本製鐵(株)先端技術研究所(川崎市高津区井田)のグラウンド、昭和53年度からは市立日吉台西中学校、更に昭和63年度から市立高田中学校のグラウンドを、少年サッカー活動に対する深いご理解と暖かいご支援により使用させて頂ける様になりました。これよりLクラスの幹事チームの役目を果たす事が出来る事は誠に心より感謝する次第であります。

祝 たちばなキッカーズ 30周年

旧 LL 担当コーチ 末山 本村

(創立 30周年記念誌より)

私の次男が“たちばなキッカーズ”にお世話になったのは 21 年前からの 3 年間ですが、当時の父母達のすごい熱心さをいまでも思い出します。寒い冬の朝、雨あがりの校庭のあっちこっちにたまつた水をスポンジで吸い取らせたり砂を運んだりした事、誰言うとなくライン引きまでおやじ連がやった事など、今思えば懐かしく思います。日曜日の朝は、大抵父親が 5~6 名いたと思います。私は現在も時々グランドに顔を出しますが、今はお母さん達は多いものの、父親らしい人があまり見当たりません。お父さんもぜひグランドに来て、子供達のさわやかな汗を見てあげて下さい。

古い話で恐縮ですが、私にとって忘れられない想い出をちょっと紹介しましょう。昭和 53 年の夏、“たちばな”は全日本少年サッカーワールド大会県大会の決勝で負け、代表を逃しました。その前年は 4 位でした。しかし、関東 8 県の 2 位と 3 位を合計し、16 チームで優勝を争う関東大会出場の権利を得て、その年は群馬県藤岡市へ行きました。他の都県からは、東京の鹿西レグルスや府ロク、栃木の栗野(前年全国 3 位のチーム)など、名の通ったチームもいて、“たちばな”が「一番先に帰るだろう」と宿のおかみさんに言われたとの事でした。ところがどうして、あれよあれよと言う間に勝ち上がり、準決勝に進んだと言う通知に父母達はたちまち「応援に行こう」と連絡し合い、翌日の朝 3 時半に下田小学校に集合し、車 4 台 総勢 15 名位で群馬県まで行きました。この熱烈な応援の後押しで準決勝は逆転で勝ち、決勝では、みんなが一番やりたかった栗野をも倒して優勝しました。県大会の悔し涙を嬉し涙に変えたのです。下田に帰り着くまで車内は親子共々歓声が尽きなかつたことを覚えています。

その翌年の夏は初めから優勝候補と言われ、予選を順調に勝ち上りました。準々決勝からは藤沢の県体育センターサッカーフィールド、午前の試合を先ず勝ち、午後の準決勝まで 2 時間半。真夏のカンカン照りの中をどう過ごすか? 車で 10 分位のところにある社宅の集会室を借りました。すぐにゴザやタオルケットが運ばれ、子供達はその上に寝そべって十分休養が出来ました。OB の父親のお世話だった事を後で知りました。おかげさまで準決勝は村岡 A に 3 対 0 の完勝でした。次の日曜日の決勝戦は、別の OB の親から激励の電報まで届いたのですが、子供達が固くなり PK 贠け、またしても「悔し涙」になりました。

子供の父母達だけではなく、OB や OB 父母にも支えられている事を実感しました。これが“たちばな”的「財産」だと思います。これからも“たちばな”がいつまでも栄えるよう祈っています。

がんばれたたちばな !!

輝かしい優勝カップ・トロフィ・タテ





▲ペレと曾田監督

世界の名選手から
コーチを受ける
たちばなキッカーズ



▲ペレにドリブル



▲ペレにトラップ



◀セルジオ越後
マリニョ▼



◀セルジオ越後◀下田小にて



成熟期 (20期～29期)

創部から 20 年を経て、横浜地区のサッカーチーム数も急増し、主要大会での上位入賞が難しい時代となりました。大人のサッカーの様な至上主義チームが台頭する中、子供が主役のたぢばなサッカーは「成熟期」を迎えました。

少子化が進み、子供のサッカーポップularityが減る中で、1993 年にJリーグが発足し、サッカーポップularityが復活してきた時代がありました。Jリーグの影響で子供のサッカーにも高度な戦術が盛り込まれる様になった時期もあります。

当時の戦績、チームカラーを振り返ってみました。

第20期 1988年度(昭和63年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1986年度(昭和61年度))

- ・4月 第13回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- ・6月 第2回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・8月 第13回関東団地少年サッカー大会
- ・10月 第18回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第6回港北区ジュニアスポーツ大会
- ・1月 第13回神奈川県少年サッカー大会

LL-A

- 4勝1負で1位
- 決勝トーナメント2回戦敗退

LL-B

- 5負で6位
- 1回戦敗退(PK戦負) 1回戦敗退

予選リーグ 2位、決勝トーナメント進出出来ず

1勝2負2分で5位 2勝3負1分で5位

2回戦敗退

—

L (1988年度(昭和63年度))

- ・1月 第13回横浜少年サッカー大会(新人戦)
- ・2月 藤沢市新人戦交流大会
- ・4月 63年度読売旗争奪読売少年サッカー春季大会
- ・4月 第15回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- ・5月 第12回全日本少年サッカー神奈川県大会
- ・6月 第4回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・8月 第15回関東団地対抗少年サッカー大会
- ・9月 創立20周年記念ガーデンフットボール大会
- ・10月 第20回横浜国際チビッ子サッカー大会
- 下田小学校修学旅行の為、高田小学校から3名を補充して試合を実施した
- ・11月 第8回港北区ジュニアスポーツ大会
- ・1月 第15回神奈川県少年サッカー大会
- ・2月 第8回セルジオ杯記念サッカー大会

L-A

1回戦PK負け

—

予選リーグ3位、3位パート優勝

一次予選リーグ1位、二次予選リーグ1位

決勝トーナメント4位

6戦全勝で1位 予選リーグ7位

決勝トーナメント2回戦敗退

予選ブロック優勝、中央大会1回戦でGPに惜敗(GPが県代表となる)

優勝 2回戦敗退

予選ブロック1位

決勝トーナメント2回戦敗退

雨天の為、Lは中止

3勝1負1分で1位 予選リーグ6位

決勝トーナメント1回戦敗退

準々決勝で敗退 2回戦敗退

予選ブロック決勝で敗退

3位決定戦で駒林にPK戦で敗退

チーム紹介 第20期生 田島 直宗

たちばなキッカーズ！40周年おめでとうございます！

先日、たちばなの仲間と話していた時、こんな話しが出ました。

『ちょうど俺達の代が20周年だったよね。早いもんだね。みんな元気かな？』と・・・。

メンバーと共に又ボールを蹴れる事を期待しながら、20期のチーム紹介を私の方からさせて頂きます。

まず最初に・・・。

メンバーのチーム構成は、下田小学校・高田小学校の2校で構成されていた。平日は会えないメンバーもありましたが、週末になると朝から晩までボールを蹴りあっていた。

本当に仲が良く、チームメイトであり、友達であり、家族のような存在だった。週末しか会えない仲間だったが本当に最高の仲間達だった。

最高の仲間達の目的は・・・

①楽しくサッカーをやること②上手になると③勝つこと。の3つだったと今でも思っております。その目的を達成したメンバーを私の方から紹介させて頂きます。

1 GK：秋元（マリモ）・・・我が20期の守護神。マリモがいたお陰で、試合は負ける気がしなかった。

2 DF：佐々木（チョチョギ）・・・鉄壁DF。ヘディングが強くいつも頼っていた。

3 DF：青木（アオタン）・・・DFだけではなく時にはオーバーラップして点に絡んでいた。

4 DF：城（タコチュウ）・・・やたら、スライディングが凄かった。

5 MF：薄木（タケ）・・・ドリブルが上手く、細かなパスが上手だった。

6 FW：斎藤（マート）・・・スピードがあり良くGOALを決めていた。

7 MF：今井（ケン）・・・ドリブラー。彼のフェイントは誰にも止められない。

8 FW：猪狩（ガッチョン）・・・20期の得点王。攻撃だけでなく、良く守備もフォローをしてくれた。

9 MF：辻（ツジベ）・・・良く点に絡み、ここぞという時は必ずボールの近くにいた。

1 1 FW：梅林（ウメチャン）・・・スピードがあり、良く点に絡んでいた。

1 2 DF：加藤（カトチャン）・・・ジャンプ力があり、ヘディングが強かった。

1 9 DF：中村（ナカヤン）・・・ナカヤンの左足キックは誰にもかなわない。

2 0 MF：勝田（カッチャン）・・・ドリブルが上手でかなりの努力家。

2 1 DF：野崎（ノザマン）・・・面白キャラで良く皆を笑わしてくれた。

1 0 MF：田島（タジオ）・・・最後に私。20期のキャプテンを任せられた。皆に言いたい。『有難う、最高のメンバーだった。』

このメンバーで試合をやれば、今（現在メンバー32歳）でも、負ける気がしない。

監督：曾田監督・・・私達の恩師。サッカーだけでなく、人の大切さ、仲間の大切さを教えてくれました。心より感謝しております。

最後になりましたが、これからも、たちばなキッカーズの皆さまのご活躍とご健勝を心より祈願しております。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	秋元 洋平	下田小	愛称「マリモ」とても素晴らしいGKだった。彼は能力の優れたGKだけではなく、精神的にもたちばなのGKだった。マリモはいつまでも私達チームの守り神だ。
DF	2	佐々木 弘一	下田小	愛称「サ」体は大きいが、運動神経が全身に行きわたっている。ドリブルはチームNo.1。サッカーセンスはチームメイトの憧れ。サがオーバーラップをしたら誰にも止められない。
DF	3	青木 健二	下田小	愛称「アタン」スポーツ選手としての素質に恵まれていて、反転力、走力が大変優れている。何よりもアタンの笑顔は苦しい試合でもチームメイトを安心させてくれた。
DF	4	城 宏隆	下田小	愛称「タコ」彼らしい活躍はチームの大ピッチに出る必殺タックル!相手のエースを粉砕する。あのタックルは今でも忘れない。いつかまたそのタックルを見せてほしい。
MF	5	薄木 雄	下田小	愛称「タケ」ボールタッチの柔かさが素晴らしい。PKも最高に上手だった。終始冗談が出来るユーモアマン。タケの存在はいつもチームを楽しくさせ、サッカーを楽しくさせてくれた。
FW	6	斎藤 将人	高田小	愛称「マート」すぐにトライア进入の脚力。全速でドリブルしても崩れないボディーバランス。マートの所にボールが行くと、必ずチームの得点につながっていた。
MF	7	今井 洋一	高田小	愛称「ケン」サッカー技術、バランスの保ち方、全てが安定していた。ケンは今アリカにいる。遠い国から日本にいるたちばなの仲間をいつも見守っていてくれるケンに一言“Thank You”
FW	8	猪狩 浩二	高田小	愛称「カッチョン」落ち着いたプレーから一転して早い攻め、そして正確なフリッショ、必ず得点をしてくれた。FWだけではなく、つらい時はいつも助けにDFってくれた。オールラウンドFWだ。
MF	9	辻 真弘	下田小	愛称「ツジベ」たちばなの牛若丸。タイシグよく飛び出すスピード、センスは天性のもの。ツジベのサッカーセンスはチームの見本であった。今後はツジベの生き方もチームの見本になる事間違いない。
MF	10	田島 直宗	下田小	愛称「タジオ」いつもチームメイトの代表として仲間を助ける様に努力していた。時にはチームを支え、時には仲間に支えられてきた。たちばなあっての今までの私、今の私、これから私の私だと考えます。今でも心にあります“たちばなキッカーズ”
FW	11	梅林 健治	高田小	愛称「ウメタン」ライン沿いでスピード豊かに相手に突進。いつも攻撃に絡んでくれた。FWだけではなく、粘り強く守備もやってくれた。責任感旺

				盛だ。ウメタンのおかげでピ。ンチもピ。ンチと思わなかつた。
DF	12	加藤 靖	下田小	愛称「カトちゃん」ハードな守りと大きいキック、そしてソフトなカトちゃん。守りの読みが素晴らしい、鉄壁の守備者である。大ピ。ンチには必ずカトちゃんが私達を守ってくれていた。
DF	19	中村 拓史	下田小	愛称「カガヤン」いつも仲間の事を考え、そしてチームの事を考えている選手。プレーも素晴らしい、又、チームメイトの代表として日々努力をしていた選手。
MF	20	勝田 尚義	下田小	愛称「カッチャン」フィールドを縦横無尽に駆け抜けて、チャンスを作るタフな選手。
DF	21	野崎 秀和		愛称「ノマツ」ディフェンスだけでなく、戦を見つけて攻撃参加をするという判断力のある選手。
MF	22	工藤 崇広	下田小	愛称「ドヤッ」中盤の中心選手。二列目からの攻撃参加は相手にとって脅威だ。
MF	23	大輪 光広	下田小	愛称「ダイン」サイドからの切り込みはチームNo.1。試合では多くのチャンスを作った選手。
FW	27	藤本 武志	宮前小	愛称「フジモ」スピードあるドリブルから自ら得点する選手。チームにいなくてはならない選手だった。
DF	28	遠藤 豊	下田小	愛称「エッチャン」とにかく確実に守備をする選手。チームのピ。ンチを幾度も救つた。
MF	30	南間 貴之	下田小	愛称「ナンチャン」体型からは想像もつかない力強いプレーをする選手。そのプレーで中盤を支えた一人。
FW	31	村松 孝広	下田小	愛称「ムラマ」神出鬼没に表われ、得点を取ってしまう。相手にとって最も嫌な選手であった。
FW	32	鹿子島 光康	下田小	愛称「カボ」とにかくガッツのある選手。ボールを取られても自ら取り返しに行く選手だった。
DF	33	本山 龍祐	下田小	愛称「リュウスケ」DFにもかかわらず、テクニックもあり攻撃のチャンスを作れる選手だった。
DF	34	小松 正博	高田小	愛称「コマちゃん」小柄ながら当たりが強く、タフな選手。試合が終わるまで動きは止まる事がなかった。
FW	35	大野 智有	下田小	愛称「チアリ」スピードはチームNo.1。彼のドリブルを止める事の出来るDFはなかなかいないだろう。
DF		丸島 大輔	下田小	愛称「マル」小学生離れしたパワーの持ち主。そのキック力には「脱帽」としか言ひようがない。
		和氣 正紀		
		松山 英一郎		
		岡田 比呂樹		
		世良 貴久		

第20期生



第 21 期 1989 年度(平成元年度)卒業生

シーズンレビュー

LL (1987 年度(昭和 62 年度))

- ・4 月 第 14 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- ・5 月 創立 20 周年準備委員会組織発足
- ・6 月 第 3 回港北区サッカー協会大会
- ・8 月 富士緑の休暇村で合宿
- ・8 月 第 14 回関東団地対抗少年サッカー大会
- ・8 月 9 月 20 日 バザー開催
- ・10 月 第 19 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11 月 鶴見川(亀島橋下流)河川敷
- ・11 月 第 7 回港北区ジュニアスポーツ大会
- ・1 月 第 14 回神奈川県少年サッカー大会

LL-A

4 勝 1 負 1 分で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退

LL-B

3 負 2 分で 5 位 1 回戦敗退

L (1989 年度(平成元年度))

- ・1 月 第 14 回横浜少年サッカー大会(新人戦)
- ・4 月 第 16 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会
- ・5 月 第 13 回全日本少年サッカー神奈川県大会
- ・6 月 第 5 回港北区サッカー協会大会
- ・8 月 富士緑の休暇村で合宿
- ・10 月 第 21 回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11 月 第 9 回港北区ジュニアスポーツ大会
- ・1 月 第 9 回セルジオ杯記念サッカー大会
- ・1 月 第 16 回神奈川県少年サッカー大会

L-A

1 回戦敗退 5 勝 1 分で 1 位 決勝トーナメント 1 回戦で敗退

L-B

— 5 負で 6 位 1 回戦敗退

2 回戦で敗退 3 位入賞 3 勝 1 負 2 分で 2 位 決勝トーナメント 1 回戦で敗退

1 回戦敗退 1 回戦敗退 1 勝 4 負 1 分で 6 位

3 位入賞 1 次リーグ 2 位、2 位グループで 1 位 4 回戦敗退

チーム紹介 第 21 期生 吉川 元宏

たちばなキッカーズからは「自主自立の精神」と「努力」という大切な事をサッカーというスポーツを通じ私達は教わったと思います。

曾田監督をはじめ、各コーチ達の指導は私達の自主性を一番に考えてサッカーは楽しいスポーツという事を教えてくださいました。私の代のチームメイトには学区外のメンバーもおりましたが、週末の下田小学校での練習には皆休まず参加しておりました。

また練習という「努力」を積み重ねる事により、試合が待ち遠しくなり勝つ事に喜びを感じ負けたときは皆で泣きました。

私たちは自分達の意思でサッカーをやりそして練習という努力を積み重ね結果を出すという本当に大切な事をたちばなキッカーズから学ばさせていただけた事に心より感謝しております。

週末の全員での練習、学校が終わってからは仲間を集めてのサッカーの練習と今思い出してみると、本当に毎日サッカーボールを蹴っていました。

そんなサッカー漬けの毎の中でも特に印象に残っている事は、千葉の館山への遠征試合です、泊り込みでの遠征試合だったこの大会では同行していただきました父兄の皆様にも感謝しております。

この大会での思いでは B リーグ決勝戦、チームメイト・監督・コーチ・父兄の皆がひとつになって勝ち取った勝利だと思います。

大会の最終日との事もあって、精神的にも肉体的にも限界の中、皆で最後まで頑張って得た勝利であった為、今でも当時の事は鮮明に覚えています。

楽しむ事によって人は努力できるという事を実感させて頂けた、たぢばなキッカーズの曾田監督・コーチの皆様のすばらしさを実感しております。

今のたぢばなキッカーズの子供達にも私達が教わった様にサッカーを楽しみそして努力する大切さをこれからも伝えていって欲しいと思います。

たぢばなキッカーズ創立40周年、これからも益々のご繁栄心から願っております。

「たくましく、たのしく、ちからいっぱい、ばんななショートでも、なんでもござれ！」

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	沼田 隆利	宮崎小	なよなよとして、これでGKが務まるかと思う身体つきだが。相手のシュートコースを読む眼がよく、かのいい動きが光る。あぶない！と思った瞬間、必ずポールに手が届いている。この一年、立派にゴールを守った。筋力がほしい。
DF	3	今西 哲也	下田小	集中力抜群。リテイningもうまいが、ポールをよく見て蹴るのでキックが正確でよく飛ぶ。敵の心が読める様になれば一段とたくましくなる。
DF	4	高橋 宗漢		
DF	5	内山 大輔	下田小	背中がまっすぐ伸びて精かん。スパートマンの素質十分。どの試合でもエンジンがフル回転するようになれば最高。サッカーをやっている時はそれに集中し、自分の技をみがけ！
MF	6	藤井 光治 (旧姓 三田)	下田小	相手のウラをとる名人。特に相手の逆をつくスローインでよくチャンスを作った。ドリブルはボールを持つ姿勢がいいので、あの体でスイシと抜いていく。
DF	7	辰巳 輝	下田小	サンバのリズムが体内にひそんでいるようだ。ジャンプヘッドも空中で力をためて打てるので威力がある。この上はドリブルに緩急をつけ、正確なキックをマスターしてもっともっとサッカーを楽しめ！
FW	8	沢田 直樹	下田小	GKからFWへのコンパートがぴったり。並はずれた走力と馬力と意欲で次々と得点を重ねた「ゴールの狩人」。相手とのかばきを覚えれば将来はばら色。
FW	9	坂本 充	下田小	いつもにこにこ天真らんまん。「ミル」はピートの代名詞、まさに神出鬼没。たった今最後尾で敵のFWを料理していたはずが、いつの間にか相手ゴール前でジャンプヘッドしている！きびしい面構えになるのは何年後だろうか。
FW	10	吉川 元宏	下田小	横浜No.1の強ショーター。まっ芯に当たればどんなGKも反応できない。これから左足キックの強弱の使い分けが素直に出る様になれば申し分ない。サッカーは足だけでなく全身のバランスとリズムが大切。それが身につく様になれば希に見る大物。
FW	11	小島 健一	下田小	やさしい心と体の、一見サッカーと無縁のよう。ところがどうして、切れ味のいい技の持ち主。くろうと好みのフェイントとかのいい動きで楽しめてくれた。県大会でのダメ押しの1点も光る！ダメも水準以上。あとは筋力と意欲のみ。
DF	18	田端 祐介	下田小	6年生わずか4人という状況の中でキャプテンとしてその苦労は大変だったと思う。FWタイプだが、試合が良く見えているのでスイーパーとして何度もチームのピッシュを救ってくれた。ご苦労さん。
FW	19	杉島 聰	宮前平小	チーム1の頑張り屋、小さな身体の全てがアバトの塊の様なプレーをする。どんな大きな相手でも粘り強さと勇気をもって、厳しいタックルを見せてくれた。これからも楽しくサッカーを続けてほしい。
FW	20	中村 洋介	下田小	普段はおとなしいが、相手FWと対して前へ出て勝負する時はすごく頼もしい。キック力があり、特に左足のキックは抜群だ。正確さが出てくればもっといいのだが。これからも頑張ってほしい。
DF	21	山本 圭一	宮崎小	地味な存在だが、チームの要であり、そのセンスと技術ならAチームでも十分

				にやっていけたと思う。今後はプレーにスピードがつけば、今以上にサッカーが楽しくてしょうがない状態になるにちがいない。
		布藤 淳之介 (旧姓 柴田)	下田 小	

各メンバーの思い出

沼田 隆利：たちばな KC に入ったのは、近所の友達に誘われた小学4年生の時だったと思います。自分の家は、たちばな KC とは全く無縁な場所にあり、自転車で片道40~50分もかけて下田小学校まで通いました。小4、小5の時はBチームにいたので、小6になった時にAチームのGKとして背番号1をもらえた時は正直、かなり嬉しかった。この3年間を通じて数多くの友達ができ、合宿などでは先輩、後輩などの人間関係も勉強になったと思います。でもたちばなに入り、得る事が出来た一番の収穫は、時間をかけて通い、きつい練習にも耐えた事で健康的な体力が作れ、精神的にも強くなった点だと思います。たちばな KC を卒業し、9年も経ちましたがこの経験が今でも、そしてこれからも役立つ事でしょう。

今西 哲也：たちばな KC には小学3年の時に入団しました。最初はボールの扱いが上手く出来なかったのですが、練習を重ねるにつれ徐々に上手になっていきました。その練習の成果か、僕は1年後、LL-Bのキャプテンに選ばれました。Aに上がれなかつたのは残念でしたが、キャプテンになれたので良かったです。そして、2年が経ち、ようやく僕もAに上り、合宿ではリタイングで賞を取るまで上達しました。あんなにへたくそだったリタイングで賞を取った事がすごく嬉しかったです。今でもリタイングはボールがあるとたまにやります。これからもサッカーに関心を持ち、そして色々な事にチャレンジしていきたいと思います。今、たちばな KC でサッカーをしている皆さん。何事も諦めず頑張って下さい。そして、チームメイトだった皆、本当に楽しい思い出をありがとうございました。

内山 大輔：たちばな KC に入部したきっかけは、いつも買い物の帰りに小学校の前を通り子供達の元気な声が聞こえ、校門の中に入つてみるとオレンジのエフオームを着た子供が楽しそうにサッカーをやっていました。自分も皆と一緒にサッカーをやりたいと思い、たちばなに入りました。サッカーをやり始めて行くうちに、だんだん好きになってきて、たちばな卒業後、中学、高校、今現在もサッカーを続けています。サッカーで学んだ事は「何事もチーム全員で協力しあえば必ず良い結果が生れる」と言う事です。

辰巳 輝：今は日本でもサッカーは大人気。初のワールドカップ出場、結果はどうあれよく頑張ったと思う。今でもたちばなを通して中、高とサッカーをやっていればフランスのフィールドに立っている様な気がしました。

沢田 直樹：僕は高校3年間まで計11年サッカーをやりました。転勤で下田小学校に来たのは小学校2年の時で、その時たちばな KC に入れてもらいました。千葉の館山へサッカーの試合を行つた事が、今でも一番印象に残っています。とにかく小学校の頃のサッカーは楽しかった。中学校、高校と上がるにつれ、苦しかった事ばかりが思い出されるけれど、今でもふと思い出して声を掛けたくなる友の名前は、たちばな KC の頃の友人です。当時の友人が何といつても一番です。

坂本 充：私はたちばなでのサッカーを通じて色々な事を学びました。皆で協力して一つの目標に向かって頑張る事、友人の大切さ、努力する事。それら全ては私にとって今でも必要なものです。これからもずっと大切にしていきたいと思っています。

吉川 元宏：私はサッカーと出会つてから、はや13年目になりました。そのスタート地点がたちばな KC でした。サッカーの事など、何も知らなかつた私に、仲間を通してサッカーの楽しさを知つたチームでもありました。一つのボールを追う事で苦しかったり、楽しんだ事を今も忘れる事はありません。6年生ではキャプテンを努めさせて頂き、館山での遠征では本当に皆で頑張り、2位パート優勝という好成績を残す事が出来ました。コーチや保護者の皆さんにも多くの声援ありがとうございました。たくましくたのしく、ちからいいっぱい、バナナシュートでもなんでもござれ！たちばなキッカーズ

小島 健一：小学校から家が近い事もあって、時々たちばな KC のエフオームを着ている小学生を見ては懐かしく思っています。私がたちばな KC でサッカーをやり始めたのは、小学2年生位だったと思います。小学生の時にサッカーをやっていた事は今でもとても想い出深く、そして、色々な経験をさせて頂きました。

した。想い出の中の一つとして覚えているのが試合の時です。対戦するチームというのはとても強く、そして大きく見えたりしたものでした。それとは逆に、チームの皆が頼もしく思えたりと、いつもと少し違った空気を味わえた事を印象強く覚えています。たしかに KC で過した時間は今でも一番の想い出となっています。

田端 祐介：思い出と言えば、やはり最後の年、6年生の時にキャプテンとして LB のチームを率いた事です。正直、自分にこの立場が務まるだろうか？そんな無謀な話があつていいのか？と思いました。実際にやってみると、試合の結果などそっちのけのボーダーチームであり、仲間意識とやる気のみを武器にして戦っていた様な気がします。ただ、その二つさえあれば、何とかチームとして出来るという事を学びとる事が出来ました。中学、高校とささやかながらサッカーを続ける事が出来たのも、たしかに楽しむサッカー、和のサッカーが基盤となっていたからだと思います。楽しい思い出をありがとうございました。

中村 洋介：私がたしかに KC に入ったのは、小学校3年の夏でした。それから小学校を卒業するまでの約2年半の間に、多くの事を学び、そして経験しました。とても暑かつた夏合宿、皆であたたかい豚汁を食べた事、試合に勝った事、負けた事など、どれもとてもいい思い出です。最後に、お世話になった監督、コーチの方々、チームメイトの皆さん、ありがとうございました。

第21期生



1989年読売少年サッカー春季大会 於 読売サッカー場 平成元年3月19日



第 22 期 1990 年度(平成 2 年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1986 年度(昭和 61 年度))

- | | | |
|------|------------------------|--------------|
| ・4月 | 第 13 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 3 勝 3 負で 5 位 |
| ・6月 | 第 2 回港北区サッカー協会大会 | 4 位入賞 |
| ・8月 | 第 13 回関東団地少年サッカー大会 | 3 位入賞 |
| ・10月 | 第 18 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 3 勝 4 負で 4 位 |
| ・11月 | 第 6 回港北区ジュニアスポーツ大会 | |

LL (1988 年度(昭和 63 年度))

- | | |
|------|------------------------|
| ・4月 | 第 15 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 |
| ・8月 | 第 4 回港北区サッカー協会大会 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 |
| ・8月 | 第 15 回関東団地対抗少年サッカー大会 |
| ・9月 | 創立 20 周年記念ガーデンフットボール大会 |
| ・10月 | 第 20 回横浜国際チビッ子サッカー大会 |
| ・11月 | 第 8 回港北区ジュニアスポーツ大会 |
| ・1月 | 第 15 回神奈川県少年サッカー大会 |

LL-A

- | | |
|------------------|-----------|
| 4 勝 1 負で 2 位 | 予選リーグ 5 位 |
| 決勝トーナメント 1 回戦で敗退 | |

LL-B

- | | |
|------------------|-----------|
| 2 回戦敗退 | 1 回戦敗退 |
| 予選ブロック 3 位 | |
| 雨天の為、LL は中止 | |
| 1 勝 2 負 2 分で 4 位 | 予選リーグ 1 位 |
| 決勝トーナメント 2 回戦敗退 | |
| 3 回戦で敗退 | 1 回戦敗退 |
| 1 回戦敗退 | — |

L (1990 年度(平成 2 年度))

- | | |
|------|------------------------|
| ・1月 | 第 15 回横浜少年サッカー大会(新人戦) |
| ・4月 | 第 17 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 |
| ・5月 | 第 14 回全日本少年サッカー神奈川県大会 |
| ・6月 | 第 6 回港北区サッカー協会大会 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 |
| ・10月 | 第 22 回横浜国際チビッ子サッカー大会 |
| ・11月 | 第 10 回港北区ジュニアスポーツ大会 |
| ・1月 | 第 17 回神奈川県少年サッカー大会 |
| ・2月 | 第 10 回セルジオ杯記念サッカー大会 |

L-A

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 回戦敗退 | — |
| 4 勝 2 敗で 3 位 | 1 勝 5 敗で 6 位 |
| 予選ブロック優勝で中央大会へ | |
| 中央大会 1 回戦敗退 | |
| 全日本大会の為棄権 | 1 回戦敗退 |
| 2 勝 3 敗 1 分で 4 位 | 2 勝 4 敗で 5 位 |
| 2 回戦で PK 戰負け | 2 回戦敗退 |
| 3 回戦敗退 | — |

L-B

チーム紹介 第 22 期生 佐藤 敏久の父 (佐藤 敬) より (30 周年記念誌より)

「たちばなキッカーズ」30 周年を迎えるからお慶び申し上げます。

22 期生 18 名はたちばなキッカーズを卒業して 7 年、20 歳になりそれぞれの道を一生懸命歩んでおります。22 期生程、秋元キャプテンを中心にまとまつたチームはないと自負しております。その一番印象深く残っているのが卒業を間近に控えた第 17 回神奈川県少年サッカー選手権大会でした。文庫 FC との試合、体調の悪かった秋元が元気がなく前半はいいところなし、それでもイレブンはガンバリ 0 対 0 で引き分けました。だが後半は変わりました。応援のお父さんお母さん、サブそしてイレブンが一つになり相手を圧倒、終わってみれば 2 対 0 の圧勝でした。いつもこの時の気持ちを心の片隅においているのが 22 期生なのです。

心に残る楽しい思い出はやはり夏の合宿です。班別対抗で連帯感と対抗心が生まれ、SL から L まで優勝に向かってまっしぐら、優勝して喜びに浸る者、負けて悔し涙にくれる者、でもお昼のお父さんお母さんたちの心地よいお焦げの入ったカレーライスとスイカ、又最後の夜の仮装大会とほんとうに楽しい合宿でした。

私たちが卒業して J リーグが生まれ、日本代表のワールドカップ出場、又日本でのワールドカップ開催、とますますサッカー熱は盛り上がるばかりです。「たちばなキッカーズ」の今後の益々の繁栄とご活躍をお祈り申し上げます。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
MF	10	秋元 純	下田小	低学年の時からたちはなのエースとして皆から期待され、頼りにされてきた。ヘッディング、胸トラップ、キック等の基本技やワンツーパスなどの基本動作は小学生段階を越えているが、ひざの痛みもあり、試合ではまだ力を出し切ってない。あせらず海外遠征の経験も生かして大選手への道を登れ！
MF	6	内田 耕平	下田小	5年生の時から、速さと思い切りのいいプレーとスローインのうまさで活躍したが、このところ状況判断が格段に進歩し、シュートもうまくなつた。反射神経も筋力も素質は十分。持ち前の早い頭の回転と気力が一つになれば申し分ない。
DF	5	鈴木 悠介	下田小	手足がどんどん伸びる時期で、速いプレーがまだ出ないが、あの柔らかいボールさばきと素晴らしい得点感覚は将来に大きな期待を抱かせる。今うちに基本技術をしつかりマスターしてほしい。
FW	9	佐藤 敏久		5年生の夏、6年の代役で出場、大活躍をしてから急速に力を付ける。たちはなのポインティング、救世主。勝負所で機敏に敵のガードを突き冷静にシュートを決める。あのルーバーなサッカーはあの丸顔からは想像し難い。早く大きくなれ！
MF	7	関 桂介	下田小	サッカーが楽しくてしょうがない。いつも自分のアドバイスでサッカーをやる最もたちはならしい選手。強敵長津田ドラゴンズの攻撃の起点、俊足ウイングに仕事をさせなかつたプレーは記憶に鮮やか。今後も自主性を失わずに大成を期待。
		井関 裕哉	井田小	
DF	2	春原 康之	下田小	「真ん中の守りは俺にまかせろ！」と相手FWに思い切り身体を寄せ、パワーで立ち向かう典型的なツッパー。キックが強く、ゴールキックも高く飛ぶ様になつた。敵の攻撃をすばやく読み、次から次へと危ない場所をかばーする様になればDFとして最高。
DF	3	久保田 旭	下田小	足腰のしっかりした恵まれた体格。前でダッシュして相手ボールを奪い取るたくましさが特徴。キックの威力も抜群。あれを生かしてもっとシュートを打つてほしい。そのためにもイングランドばかりのドリブルで突進する技を磨け！
FW	12	松永 範導	下田小	合宿で出したスローインのたちはな記録にはびっくりした。君の筋力は素晴らしい。力の配分もよかつたのだろう。蹴る、走るだけがサッカーではない。敵と競り合いながら反射神経を磨け、素質を生かせ！
MF	8	中野 貴宏		個性豊かなサッカーセンス。フリーでボールを持った時の無心のプレーは見ていて楽しい。得点感覚にも独特なものを持つ。肥り気味になってきたのが気になる。サッカー以外の運動も積極的に活発にやって体をしほれ！
		小山 優		
DF	13	横山 正幸	下田小	距離の出るキック力とボールタッチの柔らかさが持ち味。絶妙なコナキックとピングから一転かんたー攻撃への最大の武器となった。これから筋力がつけば軽快さが出てくるだろう。
FW	11	上江 亮	下田小	おとなしい、地味、得点力もいま一つ。それなのに君には存在感がある。大事な時に大事な所へ動き、やるべき事は冈とやっている。もっと思い切りのいいプレーが出来れば力が倍増する。沢山食べ、体もたくましくなりたいな。
		田尻 正和		
DF	4	田賀糸 朋		たちはなNo.1の明るい男。カッコよさはないが、すぐトップギアに入るスピードと抜群の集中力が売り物。本番の試合で力が出る。サッカーは足だけでなく、全身を巧妙に芸術的に使うスポーツである事を分かってくれれば将来の大物。
DF	14	森木 智也	下田小	パワーを生かした厳しいマークで相手フォワードを恐れさせ、見ている物にまでその気迫が迫ってくる。オーバーラップからのロングシュートを打てる様になつたら最高だ。
FW	15	田川 浩幸	下田小	直線的であるが、ライン沿いから相手ゴールに切り込んでいくドリブルは、相手DFを楽に振り切るスピードがある。練習熱心で、陸上選手のような大きなストライプの走り方が特徴だ。
DF	16	小松 弘典	下田小	体は小さいが、ゲームに集中している時は素晴らしい動きをする。特に、一対一の守りは絶対だ。6年の夏以降はキック力もついて、スピードにパワーが加わり信頼度増した。
GK	1	小蒲 公太	下田小	刈りした眼がトレードマーク。あの眼でシュートを正確に読み、体を張って守る。やられた！と思った瞬間、体を投げ出して防ぐ。GKの要素として一番大切な勇敢さでたちはなの伝統を守った。ジャンプ力が付き、手がもう少し伸びれば言う事なし。
GK	17	平田 順基	下田小	「たちはなのバーダー」瞬発力と反射神経が優れており。余裕のプレーか、必死なのか、ときどきドリブルで攻め上がる。見ている方はハラハラだが、本人は真面目にプレーしているようだ。
MF	31	高島 大輔	下田小	攻めてよし、守ってよしのオールラウンドプレーで、人一倍負けん気が強く、どんな試合でも最後まで動き周る。地をはうロングシュートはかっこいい。これからは、切れるフェイントの開発に努力してほしい。

1987 年当時の LL メンバー



第 22 期生



第 23 期 1991 年度(平成 3 年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1987 年度(昭和 62 年度))

- | | | |
|------|-------------------------------|-----------------------|
| ・4月 | 第 14 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 4 勝 1 敗 2 分で得失点差で 3 位 |
| ・6月 | 第 3 回港北区サッカー協会大会 | 3 位入賞 |
| ・10月 | 第 19 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 3 勝 1 敗 1 分で 2 位 |
| | この年は 1 位しか決勝トーナメントに進出出来ず、涙をのむ | |
| ・11月 | 第 7 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 準優勝(優勝はつばさ) |

LL (1989 年度(平成元年度))

- | | | |
|------|------------------------|---|
| ・4月 | 第 16 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | LL-A 4 勝 1 敗で 2 位
LL-B 5 敗で 6 位
決勝トーナメント 2 回戦敗退 |
| ・6月 | 第 5 回港北区サッカー協会大会 | 1 回戦敗退 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・10月 | 第 21 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 5 敗で 6 位 |
| ・11月 | 第 9 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 4 回戦敗退 |
| ・1月 | 第 16 回神奈川県少年サッカー大会 | 2 回戦敗退 |

L (1991 年度(平成 3 年度))

- | | | |
|------|------------------------|---------------------------|
| ・1月 | 第 16 回横浜少年サッカー大会(新人戦) | L-A 3 回戦で PK 戦負け
L-B — |
| ・4月 | 第 18 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 4 勝 2 敗 1 分で 3 位 |
| ・5月 | 第 15 回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 予選 1 回戦敗退 |
| ・6月 | 第 7 回港北区サッカー協会大会 | 2 回戦敗退 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・10月 | 第 23 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 4 勝 2 敗で 3 位 |
| ・11月 | 第 11 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 1 勝 5 敗で 7 位
準優勝 |
| ・1月 | 第 18 回神奈川県少年サッカー大会 | 2 回戦敗退 |
| ・2月 | 第 11 回セルジオ杯記念サッカー大会 | — |

チーム紹介 第 23 期生 木津 謙太郎 (30 周年記念誌より)

小学校時代の 6 年間を振り返ってみて思いおこされるのが、まず第 1 にこのチームでサッカーをしていたと言う事だと思います。その位、今となってはなつかしい、いい思い出となっています。また、このチームでいろいろな人間関係を築きあげられた事にも感謝したいと思います。そして、SL、LL と思いおこしてみると、この頃はまだリフティングで 100 回を超す様な者もおらず、特にズバ抜けた選手がいなかった様に思えますが、チーム一丸となって数々の勝利を手に入ってきた様に思えます。また、L 時代になると僕ら 6 年生は 11 人に満たないという状況の中、メンバー構成などに苦労しましたが、皆、それぞれ自分自身のポジションを責任を持ってこなしてくれてとても助かったし、大きな混乱もありませんでした。

この頃になると、皆それぞれの特徴を出してくれる様になり、チームとしてもまとまりが出てきた様に感じられました。得点パターンなどは、MF からのスルーパス、ロングパスなどにスピードあふれる FW 陣が決めるという形がほとんどでした。また、DF 陣も気合の入った守りで何度も助けてくれ、とても頼り甲斐がありました。

今から考えてみると、小学校時代は何も考えずにただボールを蹴っているだけで、戦術などもなく、ただ単純にサッカーを楽しくやらせてくれたのが良かったと思います。監督、コーチも試合中は特に目立った指示も出さずに、僕らに自由にやらせてくれ、自分達で考えてプレーする事を学ばせてくれたのかなと思います。自分自身も、中学・高校とサッカーを続けていたのですが、それ位

の年代になると、今度は勝負にこだわる様になってきて、ただ楽しくやるだけではすまされなくなりました。そんな状況の中にあっても、何らかの形で小学校の時からやってきた事などが生かされていたのかなと思いました。

僕らの代は、小学校を卒業してから、半数以上の人間が違う中学に進学したので、皆バラバラになってしまったのですが、それぞれの中学でサッカーにたずさわっていてくれたのが嬉しく思えました。最後になりましたが、6年間もの長い間面倒を見て下さった監督以下、コーチ、父母の方々には皆を代表して感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	遠藤 崇	下田小	愛称「エちゃん」いつのまにか手足が逞しく伸びた。もやしの様ではなく針金の様。スピード、キック共に抜群のNo.1。性格も大らかで、鍛えがいのある素材。これから本当の意欲が出れば、理想のGK像が浮かぶ。
DF	2	伊地知 俊行	下田小	愛称「ブッシュ」きやしゃな体つきと温厚な性格で目立たない存在だったが、6年になり、右DFとして厳しい守りを会得した。本番に強く、頼りがいのあるDFとなった。最も進歩した選手の一人。
DF	4	莊司 一磨	下田小	愛称「マル」ストッパーらしいハードな守りに徹する。気合の入った時のプレーは素晴らしい。DFの要としてアイト一杯の声を出せ。日頃ボールを触る回数を増やし、プレーに余裕が出れば格段の進歩が期待出来る。
DF	5	小橋 史和	下田小	愛称「かくん」DFを希望しただけあり、守りに絶対の自信を持つ。危険地帯への帰りが早く、絶対的。ソの瞬間には足が伸びてカットしている。味方DFやMFに指示する声が欲しい。
FW	6	藤本 康志	宮前小	愛称「フジモ」左サブから強引に突破して、強いシュートを打つ。破壊力で5年から頭角を表し、ジャンプヘッドも打点が高く空中戦にも強いので中盤の守りも頑張った。今後、大きなフェイントを覚え、キックが正確になればすごい選手になる!!
MF	7	小橋 史典	下田小	愛称「ソクン」プレーのスピードがすばらしい。反射神経が豊か。こぼれ球を見逃さず素早く寄ってシュートする速さは最高の魅力。さらに相手のウケをつくフェイントとキープ力を身につければ鬼に金棒。
MF	8	金高 俊介	久末小	愛称「デカボン」5年生までは休みも多く、頼りない感じがあったが、6年で変身。別人の様に闘争心が出る。強敵相手にアシストが出る。相手ボールをカットする時の体の寄せ、危険を察知する読み、チャンスで上がる速さなど素晴らしい。日頃の練習で個人技を高めたい。
FW	9	辻 剛史	下田小	愛称「ツジ」ゴール前の鋭い動きとスピードが持味。日曜日はテントと重なり持てる素質を発揮出来なかつたが、30m走No.1の地位は誰にも譲らず。今後、思い切りのいいプレーを心掛け、サッカーを楽しんでほしい。
FW	10	木津 謙太郎	下田小	愛称「エちゃん」たちばなのワマン。キープ力、フェイント、シュート力共に抜群で、特に振り向きざまのハーフボレーシュートは天下一品。今後は判断力を肥やしスルーパスなど一段高いサッカーを目指せ。
FW	11	浜田 雄貴	下田小	愛称「ユウキ」5年までは右ウイングとしてバランス良いフェイントでのドリブル突破が売り物だったが、6年後半からフェイントが一段と柔らかくなり一皮むけた。ボールから目を離してキープし、ワンツーパスも通す。シュートも正確になった。今後は体力を付け、競り合いに強くなれば申し分ない。
		依田 剛	下田小	
		渡辺 哲平	下田小	
		沼田 拓也	下田小	
		横山 士朗	下田小	
		山本 玲		
		内山 寛基		
		上村 秀明		
		三井 周太郎		
		石井 崇暉		
		樋本 大輝		
		鶴田 智文		

1987年当時のSLメンバー



第16回横浜少年サッカー大会
(新人戦) 横浜スタジアムにて



第11回港北区
ジュニアスポーツ大会
L-A 準優勝



第 24 期 1992 年度(平成 4 年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1988 年度(昭和 63 年度))

- | | | |
|------|------------------------|---|
| ・4月 | 第 15 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 5 負 1 分で 7 位 |
| ・8月 | 第 4 回港北区サッカー協会大会 | 1 回戦敗退 |
| ・9月 | 創立 20 周年記念ガーデンフットボール大会 | 雨天であったが、SL はアムゼル、つばさ、大曾根、たちばなの 4 チームで実施 |
| ・10月 | 第 20 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 6 勝 2 分で 2 位
決勝トーナメント 1 回戦敗退 |
| ・11月 | 第 8 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 1 回戦敗退 |

LL (1990 年度(平成 2 年度))

- | | | |
|------|-----------------------------|--|
| ・4月 | 第 17 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 1 勝 2 負 2 分で 5 位 |
| ・6月 | 第 6 回港北区サッカー協会大会 | 3 位入賞 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・10月 | 第 22 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 4 勝 1 分で予選 1 位
優勝(決勝戦は緑少年少女に 2 対 1 で勝利) |
| ・11月 | 第 10 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 1 回戦敗退 |
| ・1月 | 第 17 回神奈川県少年サッカー大会 | 2 回戦敗退
3 回戦敗退(準決勝に進出出来ず) |

L (1992 年度(平成 4 年度))

- | | | |
|------|--|--------------------------------|
| ・1月 | 第 17 回横浜少年サッカー大会(新人戦) | 1 回戦敗退 |
| ・4月 | 本年度も昨年に続き下田小校庭が校舎建て替えの為使用出来ず | — |
| ・4月 | 第 19 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 3 勝 3 負 1 分で 5 位 |
| ・5月 | 第 16 回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 2 回戦で PK 戦負け |
| ・6月 | 第 8 回港北区サッカー協会大会 | 優勝 |
| ・8月 | 富士急河口湖ロッジで合宿 | 1 回戦敗退 |
| | 富士緑の休暇村で実施予定であったが、下田小の臨海学校(5 年生)が重なり急きよ変更。 | |
| ・10月 | 第 24 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 7 戰全勝で予選 1 位
決勝トーナメント 3 位入賞 |
| ・11月 | 第 12 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 優勝(春・秋初連覇)
2 回戦敗退 |
| ・1月 | 第 19 回神奈川県少年サッカー大会 | — |
| ・2月 | 第 12 回セルジオ杯記念サッカー大会 | |

チーム紹介 第 24 期生 杉本 光広

たちばなキッカーズ創立 40 周年おめでとうございます。

これからも子ども達のための遊び場・学びの場として、在り続けて欲しいと思っております。

たちばなを卒業してから、16 年という月日が経過した今、当時の思い出、記憶を振り起してみたいと思います。

まず最初に飛びこんでくるたちばなキッカーズの印象はとってもアットホームで明るくおおらかで、自由で柔かく ゆるい (笑)。

そのたちばな特有のゆるさ、僕にとってはとてもとても魅力的で、サッカーを純粋に楽しむコトを知るコトができた、体感するコトができた理由のヒトツかも知れませんね。週末がくるのが楽しみ

でワクワクしてました。子供には強制ではなく解放、それが上達するためにも楽しむためにも続けるためにも大切なコトのように思えてきますね。

そろそろ僕らの代のチーム紹介に入りましょう。

僕らの代のチームは強くもなく弱くもない、ごくごくふつうのチームでした。

勝って喜んだり、負けて悔しんだりとまんべんなく味わってました。

メンバーは皆仲良かったですね。今でも連絡を取り合っている仲間もいます。

今回メンバー全員に連絡して、たちばなの思い出やら記憶に残るシーンを聞いてみたところ、皆が口にしていた事は山中湖での合宿・合宿でのスポーツテスト・1年生から6年生混合での大会・たちばな杯・冬に行われたのか少々記憶はさだかではないんですが、その時食べた豚汁。この豚汁は皆印象が強かったのか、皆言つてましたね。もうちょいサッカーの話、メンバーの話聞きたかったんですが、けっこう皆適当な発言してましたね(笑)。今もたちばなからもらったゆるさ健在(笑)。

なので僕が独断と偏見ちりばめ、そんなゆるいメンバーをとりあえず紹介したいと思います。

☆ GK 浦田・・・チーム1の長身少々小心(笑) 気合が入ると長い手足を伸ばし飛び込んでいくガツツあるたのもしいやつ。

☆ DFは野人スタイルで狙った獲物は放さないけものの箕輪。

☆ 小学生ながら、中学生、高校生並みの発達した筋肉から爆発的なキック力でゴールキック、ロングシュート、フリーキックを担当谷嶋。

☆ 腕が折れてもグランドに立ち冷静な判断でDFの舵取り最終ライン春原。

☆ 背が高く、がたいのいい、おちゃめな堀口。浦田が試合に出れないときは、堀口がGKをつとめた。結構うまい。

☆ MFは気さくで、てきとう、チームのムードメーカー小田。総合的にセンスが良く、中盤からのセンスの良いパスをくり出していた。

☆ たちばなNo1のガツツマン、元ベルディ北澤やら元アントラーズ本田風のプレイスタイルではげしいディフェンスとオフェンスをくり広げる池野。対戦相手に彼がいるとそーと一嫌です。

☆ いつもヘラヘラあやしい雰囲気かもし出すムードメーカー野崎。走り方もヘラヘラしていたが、焦点が定まるととてつもないパワーを発揮しゴールを決めていた。

☆ FWは長い手足でくにやくにや柔かい動きでゴールを決めたり、センタリングを担当、気の優しい竹原。

☆ 小柄な体でゴール前センターでちょこまか動き回りゴールを狙う浜田。

☆ ポッチャリだけども精度の高いパス、シュート、センタリングをもつ森。ごつつかんゴールで有名、元ベルディ武田とも呼ばれていた。

☆ 12番目の選手、中村・染森・石川・村岡・小関・大鍛治・持丸・渡辺も試合になると練習のときには見られない(笑)プレーをしてくれた。

☆ 僕のポジションは一応MFだったがいつも試合前のミーティングの時には曾田監督じきじき「にやん、いつもどおり動きまわれ」と動き回ってゴールを量産。たのもしい中心人物でしたね。

森 和也とこの文章を書きながら電話で「どんなだった?」と聞いたところ「お前恐かったよ、もっと走れよって、すげー言われたよ」と、少々熱くなりすぎていたかもしれませんね。

以上のメンバーで構成されていた僕らのチーム、強くもなく、弱くもない、普通だったチームも小6の時には一致団結し港北区で1位にもなり、国際チビッ子でも何位か忘れましたが、好成績をつかめる強いチームに成長していました。多分なによりも大事なメンバー間の絆だったり信頼関係がしっかり根付いていたということがこういう結果・成長に繋がっていったのかもしれませんね。

もちろん、そこには未熟でやんちゃな僕らをあたたかく見守ってくれて、指導してくださった曾田監督・コーチの方々の思いも沢山つめこまれ、みんなの証となって、今でもいい少年時代の思い出として胸に刻み込まれています。そろそろ三十路に手がかかりそうなメンバー皆の胸の中にも共に共有した貴重な少年時代の熱い時間・出会い・学び・遊び・サッカー・たちばなキッカーズが在ることでしょう。子供の頃サッカーをただただひたすら純粋に楽しんでいました。その楽しみの中には様々な学び、感受性の広がり、人と人のコミュニケーションがあり、無邪気な鼻たれ小僧もたちばなキッカーズで様々なナニかを全身で感じさせてもらっていたのではないかと思っています。そんな環境機会をセットして頂いた曾田監督に感謝しています。ありがとうございます。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	2	浦田 一毅	下田小	身長もぐんぐん伸びたが、精神的成长も素晴らしい。合宿の班対抗での優勝からまた一段と頼もしくなった。筋力が未発達で不安もあったが、精神力と冷静な読みで堂々とプレーし、数多くのピンチを救い、皆の期待に答えた。
DF	3	谷嶋 正樹	下田小	肥満タイプと思っていたのだが、6年で別人になった。たくましく速く、1対1に絶対強い。オフサイドトラップのリーダー。キックの強さ、スローインのうまさは中学生なみ。直接狙うCKもよく曲がり、GKを泣かす。肉体的にも精神的にも頭一つ出ているが、今はどのポジションもこなす意欲もほしい。
MF	4	小田 俊輔	下田小	練習ではふざけて皆を笑わす名人だが得点感覚は素晴らしい。キックも正確、合宿も班対抗で得点王になったし、対外試合でもよく貴重なダメ押し点を奪った。もう一つたくましさが出て、敵との競り合いに強くなれば最高。
DF	5	春原 健司	下田小	たちばなのかけがえのないストップ。長身を生かして空中戦にも強く、敵の攻めを寸断した。低い弾道のシュートも威力がある。国際ピッズの決勝トーナメントで負傷したのは、たちばなにとっても痛手であったが、休んでいる間、サッカーを見て学ぶ機会が多く、何かをつかんだはず。
DF	6	箕輪 亮佑	高田小	第一の特徴は重心が低い事。。体をうまく預けて相手FWのペースを殺す。キープ力もあり、それを過信して突破されハラハラさせる愛嬌もある。概ねいい位置で守り、楽にボールを処理しているのは読みがいいから。キックの正確さが課題。
FW	7	竹原 石裕	下田小	しなやかな上半身を使った大きなフェイントが魅力。美しい体の線が崩れる事がない。下半身が強いせいか、センタリングも素晴らしい。近い将来、ここ一番という時、小刻みなステップで強引にバックラインを突破する爆発力が出てくるのを待ちたい。
MF	8	池野 遊	下田小	グランドいっぱい動き回るあのピッピした動きは最高に頼もしい。体が小さいのに競り合いで跳ね飛ばされる事がない。キックも速く、PKにも強い。シの強い体と気性は適性十分。相手のウを取る事に興味があれば、格段の進歩が期待出来る。
FW	9	森 和也	下田小	体が大きく重そうになったのに、逆に細かい高度なテクニックが使える様になった。特にシュートを打つタイミングが抜群。キックも正確。これからうんと体を絞って、行動範囲も広くなれば申し分ない。
FW	10	杉本 光広	高田小	たちばなのが攻撃のエース。細くて小さいのに、試合時のドリブル、キープ力、シュート力、気合、練習時のタケ、集中力、好奇心など抜群(サッカーが面白くてしょうがない!)。今後は、キープしないで一発で抜くフェイントなど速いプレー、スペースの使い方など、より高度な技術に挑戦してほしい。
FW	11	浜田 慶大	下田小	体に恵まれないが、ゴール前での嗅覚、スペース感覚は鋭い。リフティングなどゴール扱いは自然でリズムもいい。タケもある。課題は突破力。持ち前の軽いタケで自由自在に動き、ツイーザーを多様するなどして相手バックラインを突破して欲しい。
DF	12	中村 光伸	下田小	いつもニコニコ人柄が良く、チームメートの信頼も厚い。強力なインステップキックが武器。秋以降、中盤でレッシャーをかけるのもきつくなり、厳しさが出て来た。最終ラインへの戻りが速くなれば言う事なし。
FW	13	小関 正浩	下田小	ペースならLでNo.1。合宿以降最高にペースアップし、相手ディフェンス陣を振り切って行く突破力はAチームで充分に通用するだけの力を身に付けた。空中戦に強くなってくれたらと思う。
FW	14	野崎 大輔	下田小	中盤の底で責任感のあるいい働きをしてくれたが、もともとはFWの選手、得点感覚は素晴らしい。練習量が増えれば目に見えて伸びる素質あり。さらに体を鍛えて自信を大きく持て欲しい。
MF	15	西田 圭吾	下田小	チームのキャプテンとして、1年間本当にご苦労さんでした。チームの全員によく気を配り、ケンカ一つありませんでした。体格は恵まれたものがあり、キック力もあるが、一試合フルに動ける体力を身に付けて欲しい。
DF	16	村岡 健一	下田小	練習を休む事なく、6年生になってから精神的に大きく成長した。消極的なところがなくなり、試合にも積極的に出たいというようになり、事実粘り強い守りを見せてくれる様になつた。
FW	17	小谷 剛史	下田小	5年生で入って来て、ペディングの練習にいきなりジャンプヘッドをやつたのにはビックリした。この1年間チームから離れていたが、中学に行つた

				ら目一杯体を動かしてほしい。
DF	18	堀口 勝	下田小	北海道からたくましくなって帰って来た。強い当たりと長い足で、相手FWをサイドラインへと追い詰め、よくピッチを救ってくれた。長身をいかしたヘッドの競り合いにも強い。キックの正確さなど基礎技術が上達すればFWでもやれそう。
FW	27	大鍛治 大介	下田小	チームの点取り屋で、ムードメーカー。どんな時でも精一杯のプレーをしてくれる。合宿の班対抗でも彼への声援が多かった。見ている者に何かを期待させてくれる選手である。
DF	30	染森 宏二	下田小	6年生の夏前に入って来たのだが、体格、スピードなどに潜在的に恵まれており、せめて5年生からチーム入りしていたら、と悔やまれる。今後はゲームを経験しながら、試合が見える様になってほしい。
MF	31	石川 直樹	下田小	染森君と一緒に、チームに入って来たのが遅く、練習ではさほど目立っているわけではないが、ゲームになるとハッスルする選手で、体をはったプレーを身上とし、時々スライディングタックルも見せてくれた。
MF	32	岩倉 聰	東横学園	秋の国際チビッ子大会中に大鍛治君の薦めでチーム入りし、学校が皆と異なっていたが、明るさで馴れてくれた。体は小さいがその分細かなドリブルは高度なものを持っている。



第24回横浜国際
チビッ子サッカー大会
L-A 3位入賞

第12回港北区ジュニアスポーツ大会 L-A 優勝（春・秋初連覇）



第24回横浜国際チビッ子サッカー大会 L-A 3位入賞



第 25 期 1993 年度(平成 5 年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1989 年度(平成元年度))

- | | | |
|------|------------------------|------------------|
| ・4月 | 第 16 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 1 勝 3 負 2 分で 5 位 |
| ・6月 | 第 5 回港北区サッカー協会大会 | 1 回戦敗退 |
| ・10月 | 第 21 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 1 勝 3 負 4 分で 6 位 |
| ・11月 | 第 9 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 1 回戦敗退 |

LL (1991 年度(平成 3 年度))

- | | | |
|------|------------------------|-------------------------|
| ・4月 | 第 18 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 1 勝 4 負 1 分で 6 位 |
| ・6月 | 第 7 回港北区サッカー協会大会 | 4 位入賞 (3 位決定戦で駒林 B に敗退) |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・10月 | 第 23 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 1 勝 4 負 1 分で 6 位 |
| ・11月 | 第 11 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 3 回戦敗退 |
| ・1月 | 第 18 回神奈川県少年サッカー大会 | 2 回戦敗退 |

LL (人数が少なく 1 チーム)

L (1993 年度(平成 5 年度))

- | | L-A | L-B |
|------|------------------------|------------------|
| ・1月 | 第 18 回横浜少年サッカー大会(新人戦) | 1 回戦敗退 |
| ・4月 | 第 20 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 3 勝 4 負で 5 位 |
| ・5月 | 第 17 回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 1 回戦敗退 |
| ・6月 | 第 9 回港北区サッカー協会大会 | 1 回戦敗退(PK 負け) |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | 2 回戦敗退 |
| ・8月 | 第 20 回関東団地対抗少年サッカー大会 | 2 勝 3 負 1 分で 4 位 |
| ・10月 | 第 25 回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 5 負 1 分 |
| ・11月 | 第 13 回港北区ジュニアスポーツ大会 | 1 回戦敗退 |
| ・1月 | 第 20 回神奈川県少年サッカー大会 | 1 回戦敗退 |
| ・2月 | 第 13 回セルジオ杯記念サッカー大会 | — |

チーム紹介 第 25 期生 渡辺 大策

私が、たちばなキッカーズでプレイをしていたのは今から 15 年も前の話になってしまいます。今、思いだせば私の時代は J リーグ発足の影響もあり、周りの友達は野球よりもサッカーをしている子供の方が多かったと思います。先輩、後輩関係なく学校の放課後、毎日サッカーをしていたのを思い出します。

たちばなキッカーズでの成績はというと、あまり自慢できる成績ではなく敗北の連続だったのを思い出します。負け惜しみではないのですが、その分、勝ったときはみんな、大変な喜びようでした。

一番の思いではというと、私が 6 年生の時の最後の夏合宿です。

たちばなキッカーズの伝統とも言える夏合宿のチーム対抗戦は私の代も大変、白熱しました。

各キャプテン (当時の同級生) の中には全くチームをまとめるキャラではないのに、今まで以上の力を発揮し、勝って当然という試合は 1 試合もありませんでした。

私のチームはその年優勝することができたのですが、今でも思い出すのは最後の試合で 2 点差以

上をつけて勝利しなければ私のチームは優勝することはできませんでした。

相手は今まで無敗チーム、キャプテン「タバヤン」のチームでした。大方の予想はタバヤンチームの優勝でしたが、予想をくつがえし、私のチームが優勝できた最大の理由こそが、たちばなキッカーズの教えそのものだったと私は思います。最終戦まで思い通りのチーム結果が出せなかつた私は苛立ち、時にはチームメイトを怒鳴り、チームの雰囲気を自ら悪くしていました。最終戦前に私、開き直り試合を楽しむことを第一に考えることにしました。

チームメイトのミスには「ドンマイ！」と声をかけ、いいプレイには「ナイスプレイ！」と声を掛けることをチームメイトにも求めそして実行しました。

するとどうでしょう、みんなサッカーを楽しみ、全ての試合の中で一番のプレイをすることができ、結果、4-0で勝利することが出来ました。

曾田監督をはじめ、各コーチ、たちばなを卒業した先輩方からは本当にサッカーを楽しむことを教わりました。本当にありがとうございました。

勝利することはもちろん重要ですが、サッカーを楽しめなければ、上手くなることも、勝利したときの感動も感じることが出来ないのだと私は思います。

そして、たちばなで教わった「楽しむ」ということはサッカー以外の場面でも私の力になっていきます。

これからも、たちばなキッカーズの子供達が楽しんでサッカーをプレイし続けることを心から願っております。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK/FW	2	真田 和宏	下田小	GKとFWのどちらでもやれる。決してあわてない。意外と長いリーチが相手を圧倒する。ファットがのると、生き生きとしてびっくりする様なファインプレーが出来る。いつも目の前の事に全力でぶつかり、持てる素質を全開せよ！
DF	3	塙本 伸男	下田小	DFとしていつも集中して守り、体力の無さを十分バーした。特に早めに相手を追い詰める時は好調で、思い切った上がりからの意外性のあるツグショットもよかったです。これから体づくりに心掛けよ！
GK	4	大八木 紘之	高田小	いつもはっきり自分の意思を表現する。さわやか！試合中大きい声で、皆に指示する役目のGKに最適。GKとしては体格に恵まれないが、調子がいい時はゴールの方が小さく見える！
DF	5	松久保 信介	下田小	サッカーをやりながら、体が大きく強くなった。リフティングもキックも集中力の持続が素晴らしい。注意された事はすぐ実行出来る。ファットも充分。あとはサッカーセンスをみがくこと。いいプレーを見て盗め！
MF	6	阿南 誠	下田小	足首が柔らかく、インステップキックが素晴らしい。喘息で練習量が少なかったが、ボーットをやりながら体調と気力を高めていくのが最高。サッカーの楽しみ方を自分で工夫せよ！
MF	7	中川 綾	下田小	体が小さく、おとなしくて、目立たない存在であったが、5年の後半から急速に上達した。体のバランスが良く、状況判断も良く動きもいい。あとは体力を付けて自信を持つ事。
FW	8	渡辺 大策	下田小	この一年、キャプテンとしてサッカーに集中してきた。合宿の班対抗では、逆転優勝をして自信を深めた。だが、チームをまとめる事がどんなに難しいかを体験した。サッカーは、自分のテクニックだけでは勝てない。中学ではもう一段高い戦術を覚えよう！
DF	9	長尾 健太郎	下田小	6年になったFWからDFにサポート、粘り強い頑張りと真面目さが生きたと思う。上背もあるしディシングも強い。後方から声もよく出る。

				チームを引っ張っていった一人である。もっと集中すればまだまだ上達する。目標を高く！
MF	10	持丸 純也	下田小	ゴールへ向って走り、何が何でもシュートする積極性が魅力。すばしっこさもタキも背筋も最高。だが、仲間とツツーを決めたりする協調性と冷静さも必要。リーダーの様な選手を目指せ！
FW	11	田端 祥太	下田小	ボールを持つ姿勢がよく、急発進、急停止、右に左に相手を抜き去る素質は十分。試合でもっとチャレンジせよ。リーダーの一人としていつもチームワークを心掛けている。あとは粘り強さと意欲だけ！
MF	27	九鬼 準	高田小	名前(はやぶさ)と一致するたくましいスピードの持ち主。トップギアに入ってもバランスが崩れない。反射神経も最高。サッカーマンに最適の素質をどの様に生かすか？もっとボールに親しみ、まず、ドリブルでは誰にも負けない力をつけよ！
DF	39	久保田 光	下田小	たちばなに入ってまだやっと半年。短距離は抜群に速いし、体格は大人なみ。性格も素直だ。遅ればすぐに取り戻せる。中学入学後も、この恵まれた素質を十分生かして、また試合を見て学び、しっかりサッカーを楽しんでほしい！



第7回港北区
サッカー協会大会
LL 4位入賞

1989 年当時の SL メンバー



第 25 期生



第 26 期 1994 年度(平成 6 年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1990 年度(平成 2 年度))

・4月	第 17 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	3 負 3 分
・6月	第 6 回港北区サッカー協会大会	1 回戦敗退
・7月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会	予選リーグ 4 位
・10月	第 22 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 3 負 1 分で 4 位
・11月	第 10 回港北区ジュニアスポーツ大会	1 回戦敗退

LL (1992 年度(平成 4 年度))

		LL・A	LL・B
・4月	第 19 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	6 負で 7 位	6 負で 7 位
・6月	第 8 回港北区サッカー協会大会	2 回戦敗退	1 回戦敗退
・8月	富士急河口湖ロッジで合宿		
	富士緑の休暇村で実施予定であったが、下田小の臨海学校(5 年生)が重なり急きよ変更。		
・10月	第 24 回横浜国際チビッ子サッカー大会	4 勝 3 負で 4 位	7 負で 8 位
・11月	第 12 回港北区ジュニアスポーツ大会	1 回戦敗退	1 回戦敗退
・1月	第 19 回神奈川県少年サッカー大会	2 回戦敗退	—

L (1994 年度(平成 6 年度))

		L・A	L・B
・1月	第 19 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	1 回戦敗退	—
・4月	第 21 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	4 勝 1 負 1 分で 3 位	7 負で 8 位
・5月	第 18 回全日本少年サッカー神奈川県大会	予選準決勝で敗退	—
・6月	第 10 回港北区サッカー協会大会	準優勝(城郷に完敗)	1 回戦敗退
・8月	富士緑の休暇村で合宿		
・10月	第 26 回横浜国際チビッ子サッカー大会	2 勝 2 負 2 分で 4 位	6 負で 7 位
・11月	第 14 回港北区ジュニアスポーツ大会	準々決勝で城郷に負	1 回戦敗退
・11月	第 14 回小田原カップフェスティバル	グループ 2 位で決勝大会進出ならず	
・1月	第 21 回神奈川県少年サッカー大会	1 回戦 PK 戦で敗退	—
・2月	第 14 回セルジオ杯記念サッカー大会		

チーム紹介 第 26 期生 菅野 力鳴 (30 周年記念誌より)

僕等のチームメートは、個性豊かな仲間の集まりで、それぞれが自分らしさを発揮し、時にはぶつかる事もあったが、「みんなサッカーハーだ好きだ」という点においては一致していた。

たしかに SL から卒業までお世話になったのは、僕を含め 4 人で、ほとんどが 4、5 年からサッカーを始めた仲間で、最初はチームワークがうまくいかないで、出る試合負けてばかりだった様な気がする。それが最後の頃には息もぴったり合って、「僕達も結構強いんだな…」と思える様になって来て、一試合、一試合がとても楽しかった。

曾田監督はいつも僕等に自由にプレーをさせてくれて、見守っていてくれた。自分で考え、自分の思い通りにプレーが出来た時の満足感は今でも忘れられない。

現在、僕は高校生になりサッカーを続けているが、たしかにキッカーズで得た大切なものは、いつも僕の心の中にしまってある。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	大井 真作	下田小	低学年の時から GK に専心。テクニックは中学生なみ。6 年になって頭上を抜かれる不安も消える。「後ろの声は天の声」、もっと指示の声を出せれば最高。GK は守りだけでなく、攻撃の起点と思え！
DF	2	天野 順平	下田小	2 年前の春、L に入って来た時の印象が強い。ボールに向かう気持が常に一直線！ その前向きな姿勢があつてこそそのスポーツだ。今後は、それプラス「遊びごころの入ったテクニック」でまた一段と楽しいサッカーをやろう。
DF	3	九鬼 優士	高田小	背筋が真っ直ぐで、細かい事は気にしない超男性的。競り合いには上も下もめっぽう強い。たまにポカもあるが。当面の課題は、抜群に強いヘッドを攻撃に生かす事、相手 FW のスピードを殺す守り。将来有望！
DF	4	岩田 和久	下田小	足の速さも、キックの強さも、フェイントも、これという武器(特徴)を持たないのにプレーにそつがない。サッカーセンスは最高。相手のスペース(危険地帯)をすばやくつぶす判断力と捨て身の動きは見事！
MF	5	杉山 満	下田小	6 年になりすっかり変身した。自分勝手なプレーから卒業？ し、スルーパスのタイミングも覚えた。キックは正確になり、FK や CK を度々ものにした。ここにきて守備にも意欲が見える。次々と向上するのは積極性があるから。このまま伸びて欲しい！
MF	6	山口 洋樹	駒林小	強気なレジスタンス精神と繊細なハートを合わせ持ち、個性的なプレーが次々と出る。危ないとなればペナルティーエリアまで下がって体を張るし、チャンスには牛若丸の様に相手ゴールに迫る。早く大きくなれ！
FW	7	松田 賢幸	下田小	足腰が強い上、すぐにスピードに乗れるサッカーレンジで選手向きの恵まれた体質。思い切りのいいプレーがでる時、目覚ましい活躍をする。真面目で自分で自分を抑える傾向がある。いいプレーをイメージして自分のサッカーを追求せよ。
MF	8	佐野 正樹	高田小	練習量が少ないはずなのに、状況が読めるのか動きがよく、非力な体力を十分保っている。DF としても、体の寄せ方が速く、そつなく守る。今後もクバーなサッカーを目指せ！
FW	9	九鬼 優飛	高田小	5 年から入って来たが僅か 2 年足らずで恵まれた資質が見えてきた。背筋を立てたままの自然なフェイント、対敵動作中は膝も折れる。ジャンプヘッドもかっこいい。「俺が絶対入れてやる！」という執念はいつ出るか！
MF	10	菅野 力鳴	下田小	選手とコーチの両方の立場に目を向けるリーダー。集中力抜群で、スピードテストのドリブルもキックも No.1。しかし、サッカーは「遊び」もほしい。集中力+イマジネーション。自分の頭に浮かぶイメージで創造的なサッカーが出来れば最高！
DF	14	古川 貴浩	下田小	普段は真面目でおとなしいが、ゲームでは 1 対 1 の守りに強く、自分の出来ることを確実にゲームに出て行くなかなかの努力家である。大きな体を生かせばもっとスケールの大きなサッカーが出来る。合宿後の膝痛のために、秋以降の大会に参加出来なかったのが残念だ。
MF	15	福間 聰	下田小	足の速さを生かし、左サイドからライン沿いのオーバーラップを期待してサイドバックにしたが、本人はオフトーが好きな様だ。しかし、どんな状況からでも、どの位置からでも攻守の切り替えを早くするには、足の速い、ボールの持てるディフェンダーが望まれているのである。
FW	16	山辺 恵一郎	下田小	一つ一つのプレーはかっこいいわけではないが、どんな試合でも精一杯のプレーをしてくれた。合宿での活躍を思い出せば分かるが、リード位置で味方からのパスが来ると、相手との間にスッと体を入れ、回転するだけで敵をかわしてドリブルから吊りショットを見てくれた。
MF	17	篠原 啓輔	下田小	攻めてよし、守ってよしのオールラウンドプレイヤーで、技術的にも A チームでやれる力は十分あった。足の速さと前後半フルに動けるタフさがあり、素質は十分だ。今後は敵を確実に振り切るフェイントを身に付け、もう一歩上のサッカーを楽しめる様に努力してほしい。
DF	32	徳永 晋也	下田小	この一年間で成長を一番期待した。瞬発力、ジャンプ力など運動能力が抜群でスピード選手としての素質は十分である。今後はどの道を選択しても、素質を生かすには、もっと積極性と研究心を持ってもらいたい。更に期待する。
FW	33	高杉 久志	高田小	6 年の合宿前に入った為に、サッカーのキャリアについては判らないが、個的なサッカーセンスを持っている。中盤をやるとパスワーク、トップをやれば正確なインステップキックと豊かな感性を持っており、今後が楽しみだが、肥り気味が気になる。サッカー以外の走る運動を積極的にやって体を絞れ。



第10回港北区
サッカー協会大会
L・A 準優勝



夏期合宿の各賞受賞者



第14回
セルジオ越後杯
サッカー大会

第 27 期 1995 年度(平成 7 年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1991 年度(平成 3 年度))

・4 月	第 18 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	1 分け 3 負、2 不明
・6 月	第 7 回港北区サッカー協会大会	2 回戦敗退
・7 月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会	予選リーグ 3 位、3 位トーナメント 2 回戦で敗退
・10 月	第 23 回横浜国際チビッ子サッカー大会	2 勝 4 負 1 分け 1 不戦勝、1 不明
・11 月	第 11 回港北区ジュニアスポーツ大会	1 回戦敗退

LL (1993 年度(平成 5 年度))

・4 月	第 20 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	LL-A	3 勝 1 負 2 分で 3 位	LL-B	6 負で 7 位
・6 月	第 9 回港北区サッカー協会大会	準優勝(優勝は城郷)	1 回戦敗退	—	—
・8 月	93 年関東団地サッカー大会	2 回戦敗退	—	—	—
・8 月	富士緑の休暇村で合宿	—	—	—	—
・10 月	第 25 回横浜国際チビッ子サッカー大会	2 勝 2 負 2 分で 4 位	1 勝 5 負で 6 位	—	—
・11 月	第 13 回港北区ジュニアスポーツ大会	準々決勝で敗退	2 回戦敗退	—	—
・1 月	第 20 回神奈川県少年サッカー大会	準決勝で敗退	—	—	—

L (1995 年度(平成 7 年度))

・1 月	第 20 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	L-A	1 回戦敗退	L-B	—
・4 月	第 22 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	4 勝 1 負 1 分で 2 位	1 勝 5 負で 6 位	—	—
・5 月	第 19 回全日本少年サッカー神奈川県大会	決勝トーナメント 1 回戦敗退(PK 戦負け)	—	—	—
・6 月	第 11 回港北区サッカー協会大会	グループ決勝で敗退	—	—	—
・8 月	富士緑の休暇村で合宿	3 位(準決勝で城郷に負) 2 回戦敗退	—	—	—
・10 月	第 27 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 3 負で 4 位	5 負 1 分で 7 位	—	—
・11 月	第 15 回港北区ジュニアスポーツ大会	1 回戦敗退	1 回戦 PK 戦で敗退	—	—
・1 月	第 22 回神奈川県少年サッカー大会	1 回戦敗退	—	—	—
・2 月	第 15 回セルジオ杯記念サッカー大会	—	—	—	—

チーム紹介 第 27 期生 小瀬村 大亮 (30 周年記念誌より)

戦績としては、あまり良い結果が残せませんでしたが、A、B 共に仲良く、楽しくサッカをする事が出来たと思います。しかし、時にはコーチ達をがっかりさせてしまう様な事もあったと思います。練習をふざけ半分でやっていたり、勝とうという気持ちが見られない試合をやったり、と色々ありました。それでも、チーム全体の気持ちが通い、それが一つになった時は良い結果が出せた事が多かったと思います。それでも負けてしまった時、それぞれ皆が、励まし合えたチームだったと思います。

何より、コーチ達が伸び伸びと、自由にサッカーをやらせてくれたので、皆生き生きと、自分のプレーが出来て、とても良かったと思います。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	渡辺 啓太	下田小	ボールに向かい、真正面で取る。あの気力はすごい。秋以降判断力が早くなり、守備範囲も広がる。ボールをこぼす癖は、練習を重ねて指が強くなれば少なくなる。体も大きくなりそう。GK の良いプレーを数多く見て、技を盗み、自分のものにしよう！
DF	2	北島 秀樹	下田小	思い切りのいい突進力でアピールする。スピードはたっぷり No.1 ! ロングスローで度々チャンスを作る。早い攻撃参加も目立ち、MF もやれそう。課題は正確なパスと冷静な守り。これらをクリアすれば期待大。

DF	3	阿南 慶	下田小	センターバック。守備力中心のチームの要であり、5年生の多いチームのキャップテンとして皆をよくまとめて頑張ってくれた。この経験を生かして欲しい。
DF	4	小蒲 文郎	下田小	無口で控え目、素直に指示に従うたちばなでは少ないタイプ。だが、内に秘めたアシストは十分。バックラインでのプレーは確実で、こぼれ球をキープし、落ち着いてパスを出す。ピッチには大きくクリアする。体格もいい。今後は体の芯を鍛え、堂々とプレーして欲しい！
FW	5	小谷 篤史	下田小	昔のマドンナの様に走り出したら止まらない。急停止するだけでフェイントが大きくなる。だが、ドリブルにも工夫が必要。相手との間合いを考えれば何人でも抜けそう。ただマドンナはパスを出すのが最高にうまい。テレビで見てその場面をイメージせよ！
DF	6	小川 大武	高田小	ストッパー。サッカーは荒削りだが、強靭な背筋力と瞬発力は今後が大いに楽しみだ。精神的にも優しい顔に似合はず気が強く、何事にも挫けることなく向って行くタイプだ。
MF	7	成瀬 真一	下田小	サイドハーフ。6年生になって成長が目覚ましく、1対1の守りに強く、確実にポジションを取ると思っていたが、体調を悪くして、大事な大会に出られなかつたのが残念だ。ペディングがうまく、ピッチを救う。
MF	8	内山 和也	下田小	5年から6年にかけて格段に進歩。来るパスを迎えに行く動きも速く、ワントパスの狙いもよく、キックの振りも速い。体のバランスも良くなつた。これで自己満足する事なく、目標を高く持ちたい。精神的成长も期待する！
FW	9	松久保 直樹	下田小	立ち足の膝が柔かで、ボールタッチに無理がない。方向転換がスムーズ、スピードもある。もっとシュートを失敗を恐れずポンポン打て。そうすれば逆サイドへのパスもうまくなる。4年生の時のボーラーの様な走りを思い出せ！
MF	10	小瀬村 大亮	下田小	こだわりのない性格。対外試合でもマペースでプレーする。5年の後半から安定したキープ力を発揮。中盤の守備はしつこく、相手の攻撃を寸断する。最近はジャングルヘッドも目立つ。あとは決定的なスルーパスとニアで合わせるシュートを期待したい！
FW	11	小西 翼	高田小	低学年の時からNo.1のボイドゲッター。ゴールへの執念がすごい。ワンタッチで相手の裏を取る。ヘッドシュートもうまい。体負けして動けない事もあるが、それをしのいで新しい技が生れる。反則で対応したら成長は止まる。技のズードをみがけ！
FW	12	永田 勝利	高田小	5年生から入って来て、キャラは浅いが、ゲームの中心であるセンターハーフとして活躍した。サッカー選手として、その資質はかなり高い。今後は確実に相手を抜くフェイントを身に付ける事。
MF	13	羽田野 慶太	高田小	サイドハーフ。6年の後半になってから急激にキック力がついて、積極的になった。ディフェンス面が身につければ攻撃力にもっと幅が出てくると思う。今の気持で楽しくサッカーを続けて欲しい。
GK	14	坂川 光平	高田小	夏合宿からゴールキーパーにコンバートしたが、チームとしては勿論、本人にとつてもアラスだったと思う。相手を恐れない勇気が一番で、体もガッカリしており、今後が楽しみだ。

第27期のL・A メンバー



第 28 期 1996 年度(平成 8 年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1992 年度(平成 4 年度))

・4 月	第 19 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	予選 8 チーム中 4 位
・6 月	第 8 回港北区サッカー協会大会	3 回戦敗退(4 位)
・7 月	GP サッカーフェスティバル 2 年生大会	予選リーグ 3 位、3 位グループで 3 位
・8 月	富士急河口湖ロッジで合宿	SL から小野、尾崎、昆、緒方、堀内、細井の 6 名が参加
		富士緑の休暇村で実施予定であったが、下田小の臨海学校(5 年生)が重なり急きょ変更。
・10 月	第 24 回横浜国際チビッ子サッカー大会	予選リーグ 2 位、決勝トーナメント 1 回戦敗退
・11 月	第 12 回港北区ジュニアスポーツ大会	3 位入賞(参加 12 チーム)

LL (1994 年度(平成 6 年度))

・4 月	第 21 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	4 勝 2 負 1 分で 4 位
・6 月	第 10 回港北区サッカー協会大会	優勝
・8 月	富士緑の休暇村で合宿	
・10 月	第 26 回横浜国際チビッ子サッカー大会	3 勝 1 負 2 分で 3 位
・11 月	第 14 回港北区ジュニアスポーツ大会	1 回戦 PK 戦で敗退
・1 月	第 21 回神奈川県少年サッカー大会	1 回戦 PK 戦で敗退

L (1996 年度(平成 8 年度))

・1 月	第 21 回横浜少年サッカー大会(新人戦)	1 回戦敗退
・4 月	第 23 回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	4 勝 1 負で 3 位
・5 月	第 20 回全日本少年サッカー神奈川県大会	1 回戦敗退
・6 月	第 12 回港北区サッカー協会大会	1 回戦 PK 戦で敗退
・8 月	富士緑の休暇村で合宿	
・10 月	第 28 回横浜国際チビッ子サッカー大会	6 戰全勝で 1 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退
・11 月	第 16 回港北区ジュニアスポーツ大会	3 位入賞
・1 月	戸塚少年 SC 招待読売杯	準優勝(16 チーム参加)
・1 月	第 23 回神奈川県少年サッカー大会	1 回戦敗退
・2 月	第 16 回セルジオ杯記念サッカー大会	—

チーム紹介 第 28 期生 横山 隆太郎 (30 周年記念誌より)

僕達の“たちばなキッカーズ”時代はちょうど J リーグが始まった時と重なって、日本でものすごいサッカーブームが起きました。僕達も SL の頃からプロのゲームを見に行って、サッカーのスピードや、体を激しくぶつけ合って、ボールを取り合うプレーにびっくりしました。「サッカーってすごいな」これが皆の感想でした。そして、自分達も朝早くから夜遅くまで、主に公園の中央公園に集って、ほこりまみれになってボールを追っていました(その頃、下田小学校は新校舎を建設中で校庭は使えなかった)。だから、たちばなの練習も高田小・中や新日鉄グランド、あすなろグランドを利用していました。

メンバーの入会の時期はバラバラですが、SL の終わりから LL に移る頃、ほぼチームの形が整つ

て来て、試合や練習に、僕達も親達もものすごく熱中しました。その時のコーチは、大島コーチ、村松コーチ、緒方コーチでした。コーチは優しく励ましてくれたり、誉めてくれる事もありましたが、試合中は大きな声で僕達を注意し続けていました。

「たちばなかたまるな！」「たちばな集中！集中しろ！」「逆サイドを使うんだ！」「オープンスペースを生かせ！」「こらこら！」

今でもコーチの大声が耳に残っています。初めはコーチの指示がよく分からぬ事が多く、皆どうやつたら良いのか自信がなくて、足が止まってしまう事もありましたが、そのうちコーチから怒られる回数が増えるごとに僕達のプレーもだんだんサッカーらしくなって来た様で、試合が楽しくなりました。ここで僕達のチームメートで仲良くサッカーをした仲間のうち、飛び抜けて上手で、その頃Jリーグのサテライト組織(ジュニア)に移った二人を紹介します。

初めは、緒方隆人君。体も大きく、パワーも抜群で、数回のテストでヴェルディに入りました。たちばなSL時代、すでにグランドではひときわ目立つメンバーで、技術的にも相手のコーチ達を驚かせしていました。もう一人は長尾慎二郎君。足が速くてボールさばきがうまい。MFやFWにぴったりのプレイヤーでフリューゲルスに入りました。彼も相手チームのコーチをうならせるセンスの持主で、のびのびとしたプレーが目立ちました。

僕達も5年生になるといよいよLで頑張る時が来ました。チームはかなりまとまった機動力のあるチームだったと思います。6年生に小西先輩というすごいストライカーがいたので、点が取れるチームでした。僕達はとにかく先輩達の取ってくれる点を守ってがむしゃらに闘いました。試合では、大きな大会で勝利を得た事もあれば、意外な取りこぼしもあってサッカーの難しさも経験しました。

6年生になるといよいよ僕達のチームになり、責任も大きくなりました。たちばなの先輩達が残した記録を塗り変える様なチーム作りをしなければなりませんが、残念ながら得点力が弱くなり、厳しい試合が続きました。それでも試合運びを大切にして、他のどこの強力なチームにも負けない位よく練習をしました。たちばなキッカーズでは勝つ喜びはもちろんですが、負けた悔し涙も思いっきり流してサッカーを楽しみました。

クラブ外でもチームメートは一緒でした。それだけ仲間意識が強く、先生やお母さん達からも「いつも一緒に、悪い事をしても皆でかばい合うから困るわ」と言われる位、チームワークだけは抜群でした。

第24回横浜国際チビッ子サッカー大会にて (SL当時)



メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	長田 孟	下田小	ゲームをする度にキーパー技術を身に付けて、チームを支えてくれた。長身、気が強く、負けず嫌い。
GK	2	佐藤 洋	下田小	難しいキーパーの役目も黙々と努めてくれた。練習でキック力が強くなったり、フォームもすごくきれいだ。
MF	3	石井 智	高田小	チームの明るい男。練習や試合でも思いっきり走り廻って楽しくみんなを引張ってくれた。
DF	4	庄司 壮志	下田小	軽快な動きと、怪我を恐れないアシストで何度もチームのピッチを救った。足も速く、相手のマークをはずすのがうまい。
DF	5	鳥見 寛	下田小	性格はおとなしいけれどプレーは積極的。相手の動きを見て、走り廻ってチャンスを作ろうとがんばった。
MF	6	新井 健太郎	新吉田小	いつも一生懸命ボールを追って相手の勢いを止めようとした。サッカーの激しさに負けないアシストの持主。
MF	7	白石 健也	下田小	バックスの役目を誰よりもよく知っているチーム一冷静な男。大きな体を器用に使って敵の突進をつぶした。
FW	8	昆 恵介	中川小	足が速く、SLからLL時代はFWを務めた。途中で転校して参加出来なくなっても最後まで「たちばな」を忘れずにいてくれた。
FW	9	鈴木 健之	下田小	チームの俊足で、一気にゴール前に飛び込んでいくガツツのあるプレー。負けず嫌いの性格はサッカーにぴったり。
MF	10	横山 隆太郎	下田小	サッカーが好きで無我夢中で練習や試合に参加した。強い相手に負けずに向っていくサッカーの大切さを身に付け様とした。
FW	11	小野 佑樹	高田小	すごいガツツのかたまりのプレー。汗まみれになって、猛烈にボールを追っていく姿は本当のFWだ。
GK	12	金指 健太	下田小	SLの時代からキーパーの厳しさに挑戦した。つらい役目だったけれど、黙々とやりとげてゴールを守った。
DF	13	菅田 堅之	下田小	どんな相手に対しても一生懸命バックスの役目を果たしてゲームを有利に運ぼうとがんばり続けた。
		緒方 隆人	下田小	Lの時代にウェルディに移籍。テクニック、パワー共に申し分なく、中盤のキーマンとして活躍した。
		長尾 慎二郎	下田小	LLの時代にブリューゲルスに移籍。スピードがあり、ボールコントロールが抜群。廻りがよく見えており、左足からのスルーパス、センタリングは絶妙。



1992年当時の
SLメンバー



1994年当時の
LLメンバー



横浜スタジアムでの
横浜少年サッカー
大会(新人戦)



第28期生

第16回港北区ジュニアスポーツ大会 L・A 3位入賞

第29期 1997年度(平成9年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1993年度(平成5年度))

- | | | |
|------|----------------------|--------------------|
| ・4月 | 第20回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 予選8チーム中6位 |
| ・6月 | 第9回港北区サッカー協会大会 | 4位入賞(参加17チーム) |
| ・7月 | GPサッカーフェスティバル2年生大会 | 大雨で到着が遅れ、初日に棄権 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | SLから堀内、細井、鷺沢、宍戸が参加 |
| ・10月 | 第25回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 予選7チーム中4位 |
| ・11月 | 第13回港北区ジュニアスポーツ大会 | 3位入賞(参加19チーム) |

LL (1995年度(平成7年度))

- | | | | |
|------|------------------------|-----------------------|-----------|
| ・4月 | 第22回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | LL-A | LL-B |
| ・6月 | 第11回港北区サッカー協会大会 | 2勝2負2分で5位 | 1勝2負2分で4位 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | 優勝(2年連続優勝) | 1回戦敗退 |
| ・10月 | 第27回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 4勝1分で1位 | 5負で6位 |
| ・11月 | 第15回港北区ジュニアスポーツ大会 | 決勝トーナメント準々決勝で帷子にPK戦負け | |
| ・1月 | 第22回神奈川県少年サッカー大会 | 準々決勝で城郷に負 | 1回戦PK戦で敗退 |
| ・4月 | 第1回東急カップちびっこフットサル大会 | 2回戦敗退 | — |
| | | 3位(参加32チーム) | — |

L (1997年度(平成9年度))

- | | | | |
|------|--|---------------|---------|
| ・1月 | 第22回横浜少年サッカー大会(新人戦) | L-A | L-B |
| ・4月 | 第24回横浜市春季少年サッカー大会 | 2回戦敗退 | — |
| | この年から大会の名称が変更となり、木村和司杯と副題も付く | 4勝2負で3位 | 6負で7位 |
| ・5月 | 第21回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 2回戦敗退 | — |
| ・6月 | 第13回港北区サッカー協会大会 | 3位入賞(参加17チーム) | 1回戦敗退 |
| ・7月 | 7月13日(日)に創立30周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約40万円 | | |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | | |
| ・10月 | 第29回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 2勝2負2分で4位 | 3勝3負で4位 |
| ・11月 | 第1回港北区区民サッカー大会 | 2回戦敗退 | 1回戦敗退 |
| ・1月 | 戸塚少年SC招待読売杯 | | |
| ・1月 | 第24回神奈川県少年サッカー大会 | 1回戦敗退 | — |
| ・2月 | 創立30周年準備委員会組織発足、コーチが主体となり開催準備を実施する事とする | | |
| ・2月 | 第17回セルジオ杯記念サッカー大会 | | |

チーム紹介 第29期生 堀内 慶太

40周年おめでとうございます。

私のチーム29期生の紹介をします。私たちのチームは、決して強くはありませんでした。しかし、チームワークとサッカーを楽しむという点においては、どのチームにも引けをとらない自信があります。なかでも、楽しくサッカーが出来たのは、当時のコーチやOBや活動を支えてくれた皆さんのおかげです。学校が終わって、下田小学校に行けば、必ずそこには先輩や仲間がいて、一緒にサッカーをしてくれたこともサッカーが楽しくなった理由の一つです。そのおかげで、いまでも仲間や先輩たちとサッカーが出来る環境が続いています。29期生にかぎらず、たちばなキッカーズの良

いところは、こういう点にあると思います。いまでもその当時の仲間たちとチームを組んでサッカーの試合に出たりしています。私は良いキャプテンではありませんでしたが、良いチームメイトには恵まれたと思っています。たちばなキッカーズが40周年を通過点として、まだまだこれから先も繁栄していくよう私たちも応援し続けていきたいと思います。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	徳永 哲也	下田小	愛称“トク” 身長がすらりと伸び、もう大人を超えた。キックだけではなく30m走もNo.1。1対1での前への飛び出しが抜群。驚くべき素質を開花させるのが楽しみ。
DF	2	高井 大輔	高田小	愛称“タカもんもん” 1対1の守りの強さは抜群。ボールを取った後、状況に応じてキープしたり、スピードに乗って攻め上がったりの判断が出来る。
DF	3	御手洗 匡史	下田小	愛称“ミタ” 守りの指令塔。大きな声で全員に指示を出す。オフサイドトラップをかけるのが上手い。ただ試合を見過ぎて1対1の対応が遅れる事があり、守りにもっと厳しさがほしい。
DF	4	松田 滋	高田小	愛称“まっちゃん” 体は小さいが運動能力も意欲も最高。攻め上がるスピードもいい。ユニークなキャラクターであり、宴会では一番の芸人。
DF	5	宍戸 将晃	下田小	愛称“シシ” 体が大きくなるにつれ、ストッパーとしての技術、守備力が付き安定してきた。ヘッドも強い。競り合いの強さをもっと前向きに。
MF	6	佐藤 燐	下田小	愛称“ショウ” 左ハーフとしてライン沿いに上がるスピードが見せ場で、左足のセンタリングも弾道が低くて早い。右足のシュートも強い。相手の裏を取る工夫がほしい。
MF	7	関口 亮	高田東	愛称“セキさん” 5年の時から右サイドで攻め上がるスピードが注目を集め、6年になってシュート力がついた。思い切りのいいヘッドシュートもよく決まる。
MF	8	白石 直人	下田小	愛称“ナオト” 相手が強くて激しい試合になればなるほど実力を發揮する。潜在能力が高いのは確か。集中が切れると落とし穴に入り、いいプレーが出来ない。
FW	9	細井 雄輔	下田小	愛称“ホソちゃん” ボールを持つと細い体がリズムに乗る。ボールタッチの柔かさは最高。ボールを受ける前の速さや、パスした後の早い動きが今後の課題。
FW	10	堀内 慶太	下田小	愛称“ホリ” ドリブルとリフティングで画期的な記録を作った。意欲、集中力抜群なキャプテン。試合では、集中のあまりボールのとりこになる場合あり。
MF	11	宮川 克彦	高田小	愛称“ミッシェル” ボールを持つ姿勢がいい。腰の位置が下がり、常にルックアップして周囲がよく見える。6年ではパス出しに気を取られすぎ、持味のスピードが出ない。
DF	12	鷺沢 弘太	下田小	愛称“ワシ” インステップキックの強さ、うまさはNo.1。恵まれた体、足腰の強さを生かして守りに徹する。もっと積極的なロングシュートがほしい。
DF	13	小林 孝資	高田小	愛称“コバ” LBキャプテンとしてチームをまとめあげた統率力は抜群。確実、しつこい守備には定評がある。これからはスピードが必要。
FW	14	片山 翔	下田小	愛称“ショウちゃん” LB一番の頑張り屋。ゴール前のポジショニングが良く、LB一の点取り屋。スピードで相手を抜ける様になれば本物だ。
MF	15	小野田 篤嗣	下田小	愛称“オノダ” 集中力と判断力があり、LBのゲームメーカー。敵の裏を突いたシュート、スルーパス、等多彩なプレーが出来る。テレ屋から脱皮し、もっと自分をアピールしよう。
DF	16	石川 紀良	下田小	愛称“キヨシ” どのポジションもこなすオールラウンドプレーヤー。GKも何気なくこなす。チーム一の明るい男。
DF	17	阿南 祐典	高田小	愛称“アナン” 足が速く、サッカーセンスは抜群。技術も進歩したが、センスだけでは物足りない。今後練習を積み重ねれば本物になれる。

MF	18	城田 貴之	高田小	愛称“シロちゃん” 本当にサッカーが好きな努力家。しつこいマークで敵に自由にプレーさせない。キック力もあり、フリーキックからのシュートがうまい。スピードが課題。
GK	19	古田 裕介	下田小	愛称“ふるちゃん” 厳しいシュートを何気なくキャッチする。ハンドキックは正確で飛距離も充分。ゴールキックはトウキックで何処に行くかはボールまかせ。
DF	36	岳野 洸一郎	下田小	愛称“タケノ” 6年の時に引越して来て入会。足の速さとガツツなプレーは最高。LBのディフェンスのキーマンとして活躍。
DF	37	水島 瞬	下田小	愛称“ミズシー” 6年の時に引越して来て入会。普段はおとなしいが、ゲームでは1対1の守りに強く、堅実なプレーをモットーとしている。積極性がほしい。

第13回港北区ジュニアスポーツ大会 3位入賞 (SL時代)



1995年当時の LL メンバー

第 29 期生



L 最後の太尾招待試合（準優勝）



卒団記念旅行（久能山にて）



成熟期（20期～29期）を思い返して

フリーコーチ

前島 宏行

（当時LLコーチ）

40周年を迎える、10年前ならまだしも、はるか20年前を振り返るという暴挙に挑む姿は我ながら呆然自失の感があったが、当時の名簿を捲るうちに走馬灯のように色々な事が思いだされ、

その一つひとつが自身にとっても等身大の記憶となっていることを思い知らされることとなった。

20期生のメンバーがLLの頃、なんと約80人のメンバーが所属していた。そのうちの20名前後がLL-Aとなり、今は亡き大島コーチが担当、残りの約60人をLL-Bとして三人のコーチ（村松さん、私と、亡き薄木さん）で担当していた。

折りしも1986年の第13回W杯メキシコ大会で、「五人抜き」と「神の手」で話題となったディエゴ・马拉ドーナの率いるアルゼンチンが優勝、その前の1982年、第12回W杯スペイン大会ではハットトリックを演じたパオロ・ロッシのイタリアが優勝などなどがあり、日本のマスコミも高額な放映権をものともせず本格的に大会の詳細を実況とともに伝えるようになった。サッカーファンのみならず、一般大衆もこの血を沸き立たせるような世界的なスポーツの祭典に目を向けるようになった。これに乗じてこの年頃のサッカー好き少年の親御さんたちが少年サッカーチームに子供を送り込んだというのが、メンバー激増の遠因であり、「たちばなキッカーズ」成熟期へ向けての萌芽と言えよう。

成熟期を語るに当たっていさか本題から逸れるが、このLL時代の苦労話は後を絶たない。メンバーは60人いても試合に連れて行けるのは20人、残りの40人は担当コーチが付いてホームグラウンドの下田小で練習である。試合のメンバーも攻守の軸となる6、7人をほぼ固定し、後の12、3名を目頃の練習の成果を見ながら交代で連れて行くのである。この選に漏れた子の口惜しがりようは、コーチとして慰めようもなくひたすら練習に励むことで解消させたものであった。日頃の練習でも「身体を張るコーチ」をモットーにしていたので60対3の言わば逆スバルタ方式となり、毎土、日ヘトヘトになるまで、文字通り叱咤激励で付き合うのであるが、子供達もコーチも疲労感の中に、ある種の満足感が得られたものである。一人ひとりの技量もさることながら、生活行動面での些細なこともふとした会話の中で話し合える雰囲気づくりに腐心し、やがてはLLを卒業してLに送り込むに相応しく育成したいと願うコーチが四人いたのである。

この十年間での大きなトピックと言えば、待望のJリーグ発足と下田小学校の大改修工事であろう。Jリーグの発足は1993年である。丁度、「たちばな第25期生」の頃で、サッカーファンも増え、その人気はプロ野球と二分する勢いであった。それでもW杯への出場はまだ夢のまた夢であった。その後プロ・スポーツとしての素地が確立され、数々のJリーグプレーヤーが海外のチームでも活躍するようになると、Jリーグのサッカー選手を夢見る子供たちや世界の有名選手に憧れる子供たちが増え、「たちばな」でも1、2年生のチビッ子も増え始めた。

そして一方、下田小学校の大改修に端を発した約一年半のホームグラウンドの一時的喪失とシンボルでもあり校歌にも謳われている円形校舎の消滅ほど打撃を受けた事はなかった。この間の練習場の確保に奔走された父兄の皆さまを始め、ご協力いただいた近隣の小・中学校の皆さまには改めて感謝の気持ちで一杯である。そういうハンディを負いながらも団員数も戦績もそこそこという成果を挙げることができたよき時代でもあったのである。ジプシーのようにグラウンドを転々としながら、これも一重にメンバーの自覚による一致団結の心のつながりだったのか、開き直りだったのか・・・おそらく両方であ

つただろう。

昨今の一般的社会通念とはいえ、時期がくると進学問題に揺れ動く子供心に大いに同情するが、「文武両道」という言葉はもうすっかり過去のものとして追いやられてしまったのであろうかと思うこともしばしばである。それにもめげず子供たちは必ず戻ってくる。現役として、OBとして・・・。

練習や試合のためのグラウンドの提供があり、サッカーを楽しむことを無上の喜びとする沢山の子供たちと、「たちばなキッカーズ」を支援してくださるご父兄の皆さんに支えられて活動するチームである事、そしてなによりも曾田さんの「のびのびサッカー」に基づいた指導方針こそを、時代を超えて浸透させ、「たちばなキッカーズ」を末永く愛し続けて行きたい。

指導者として甚だ力足らずではあったが、この成熟期の10年間にLJを通過していった子供たちに教えられた事の数々を自身の宝とさせてもらえた事に心から感謝したい。

たちばな創設者曾田さんと前島コーチ（右）



成熟期のたちばなキッカーズ

旧 L 担当コーチ 南間 正次

(30周年記念誌より)

たちばなキッカーズの第20期から29期までの10年間を考えるに、曾田監督の言葉を借りるならば、まさに地域スポーツクラブとしての活動が広がった10年ではなかったかと思われます。

それ以前からも川崎市の下田近隣地域から一人、二人と在籍しており、長く現在に至っても継続されておりますが、高田小学校の子供達が多数「たちばなキッカーズ」に入って来るようになりました。それは、名前を思い出す事が出来ず申し訳ないのですが、高田小学校に熱心にサッカーを指導された先生がおられ、交流試合を重ねて来た事が今日に大きく影響していると思われます。また、ご父兄の方々も非常によく協力していただいた事もあり、下田小学校の子供達もご父兄も、学校の枠をとりはらい、一緒になって盛り上げて下さった事も忘れられない事です。

社会的にも子供の人数そのものが減少傾向にあっただけに「たちばなキッカーズ」にとって大きな戦力となり、子供達も頑張って活躍してくれました。また、家庭の事情により遠方に転校された子供も少なくありませんでしたが、ほとんど退会する事なく最後のお別れ会まで通い続けてくれました。子供自身もそうですが、ご家族の方のご苦労は大変なものだったと思います。この頑張りがその子にとって、いつかきっと役立つ事があると感謝の気持ちを込めて切に願いたいと思います。

当時は各試合への遠征も、電車やバスを乗り継いで行く事が多く、自然に大人も子供も会話が多くなり、サッカーの事だけではなく、ふだんの子供達の学校での事や、遊びの事など「子供の世界」を知ることができ、私にとって非常に参考になりました。東京の私立小学校に通っている6年生が合宿後に入つて来た時は私も少々驚きましたが、練習も休む事なく、秋の大会で立派に頑張ってくれました。

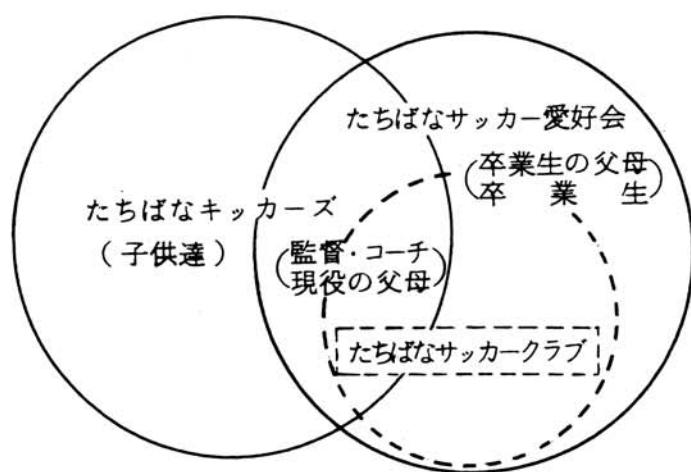
それと相い前後して、「“たちばなキッカーズ”の活動の支援と会員である父兄の連帯と親睦、ならびに地域社会の発展に寄与する事」を目的として発足した「たちばなサッカー愛好会」の活動も活発になりました。夏の合宿にも多くの方が参加され、盛況を得ました。その後も、我々子供達のチームが大会で幹事チームとなった際には、グランドの設営から大会本部の運営において協力を頂き、さらには遠征試合には応援に駆けつけて頂くなど、さまざまな形で今までご支援を頂いております。

チームの活動の場としましても、下田小学校だけではなく、高田小学校、日吉台西中学校、新日鉄グランド、あすなろグランド、鶴見川河川敷グランド、後には竣工したばかりの高田中学校も借りられる様になりました。毎月グランド取りする当番のお母さんの苦労は大変だったと思いますが「たちばなキッカーズ」の活動はその努力により広範囲になり、ホームグランドである下田小学校のグランドが学校の立替え工事で使用出来なくなった時に効果を発揮してくれました。それでも大会の前は実践ゲームの練習に困り、近くのチームに無理を言って試合を組んで頂きました。特に今回の30周年記念試合に来て頂くチームには心から感謝申し上げます。

こうした状況の中で「たちばなキッカーズ」の一時期が過ぎて行きましたが、5年前に発足したJリーグの影響により、少年サッカー界も大きく変化し、勝利への執着に拍車をかける結果となつたと思われます。15年位前には某テレビ局でサッカー教室の番組を放映しており、子供達にとっても私にとっても楽しみであり、大いに参考になりました。しかし、サッカーが盛んになった今日、Jリーグの試合中継だけが増え、その結果だけが重要視される傾向にあるように感じられます。確かにサッカーは楽しいもので、ゲームに勝つ事が最大の喜びではありますが、それだけではないと思います。中学、高校と子供達が成長する中で飛躍する時期はそれぞれに違いがあり、一人一人の成長を見つめてあげたいと思います。

「たちばなキッカーズ」らしい指導方針を今後も続けていけたらと思います。OBをはじめ、父兄の方々のご協力とご理解を望むしだいです。

たちばなサッカー愛好会のメンバー（1988年当時）



キッカーズと愛好会の関係

たちばなキッカーズと重なる思い出

旧 LL 担当コーチ 横川 芳江

(30周年記念誌より)

「たちばな」で育ったわが家の子供たちも各々独立し、もう十分大人になっているのに、「たちばな」と聞くとボールを蹴っていたあの頃のままの姿が思い出されます。私自身、昨年までコーチとしてお手伝いさせていただいて、思い出いっぱい、学んだこといっぱいあります。今でもボールを持っている子供を見ると一緒に遊びたくなります。

17、18年前グランド当番で子供を見ているうちにサッカーの楽しさを覚え、曾田監督に紹介していただいて「横浜女子サッカークラブ」(後に全日本サッカークラブ、今の横浜フリューゲルスの前身)に入会しました。ルールもボールの蹴りかたも知らずただ体力勝負でしたが、若いピチピチギャルの中で厳しく揉まれ、サッカー漬けになりました。

1984年、卒業しても「たちばな」を応援したい、交流を続けよう、という父母達が「たちばな愛好会」を誕生させ、中でもサッカーの虜になったメンバーで「たちばなサッカークラブ」を作り、毎週土曜の夜にゲームを楽しむようになりました。OB が帰ってくる土台になつたらと願っていましたが、川崎リーグで勝っていくうちにあまりにも強くなりすぎて、五十雀には少々遠くなり、今は忘年会での交流になっています。30周年を機会に、新メンバーで新しいクラブを復活させて欲しいなと思います。

90年ワールドカップ・イタリア大会ではブラジルの追っかけをしてイタリア中を駆け回りました。アフリカ旋風の時で、カメリーン戦を見ましたが強靭なバネとスピードが強烈に目に焼きついています。アジアの代表は韓国でしたが、韓国サポーターと「米国内移動よりも日本と韓国の距離の方が近いのだから共同開催すれば良いのに」と話をしていました。日本がワールドカップに出場できる日が来るなんてその時は夢のまた夢でした。「たちばな」の子供たちが出場する夢もいつか叶うと思います。

土日の練習に参加出来ず、ご迷惑をかけることが多くなって引退いたしましたが、多くの方々と巡り会い、仲間として受け入れていただき、心から感謝しております。練習毎に成長していく子供たちを見ることが楽しくて続けることが出来ました。子供たちがもっと主体的に、生き生きと、自由なプレーが出来るような「たちばな」であるよう、これからもサポーターとして応援したいと思っています。

たちばなサッカー愛好会 レディースのメンバー (1987年当時)



港北区下田町の「たしばなサッカー同好会」はサッカーは初めてという人はばかり、男は約四十人、女は約四十人、男約四十人の集まりです。メンバーやのうち約十人が女性で、平均年齢は四十歳前後。下田小学校のサッカーチーム「たしばなギッカーズ」が母体となっていて、わが子を応援するだけでは物足りなくなってしまった父母亲たちが五年前についたたのチームです。

素人はかりのチームのためいろいろとハブニングがあり、試合の流れの面白さより

も、おかしいことのほうがたくさんあったそうです。練習は毎週土曜日の夕方六時半から夜九時まで、主に日吉台中学校のナイター設備を利用してしています。女性メンバーの横川芳江さんは「は次のように話していました。「サッカーを始めてから友達が増え、子供たちと共に通の話題ができた」「練習後のビールの味は格別です」「汗に光る横川さんの顔は美しく輝いていました。」



(次回は日曜日掲載)

ママがライバル



過去、現在そして未来に向かって

旧 SL 担当コーチ 伊藤 直和

(30周年記念誌より)

たちばなキッカーズ創立 30 周年、おめでとうございます。

さて、30 年前というと、私は少年サッカーのクラスでは SL 時代になります。その頃を思い出すと、ほとんどの少年が YG マークの野球帽を被り、空き地や公園で草野球をして遊んでいたという記憶が残っています。事実、私も少年野球チームに所属していました。そのような時代に、ボール一個あれば出来るスポーツとはいえ、11 人（野球より 2 人多い）以上が揃い、練習や試合をしていたということは、或いは当時のサッカーに興味を持たない第三者には、珍しい光景として映っていたかもしれませんと思います。このような時代から 30 年もの長い間、たちばなキッカーズが繁栄しているのも、曾田監督、永田代表をはじめ、諸先輩コーチ及び御父母の皆様のサッカーに対する、そして子供に対する努力と愛情があったからこそだと思います。

私は、中学と高校のクラブ活動でサッカーをしていましたが、サッカ一人気というのは、現在に比べればかなり低かったと思います。そんな時代でも、メキシコオリンピックでの銅メダル獲得や『赤き血のイレブン』というテレビアニメの放映などがあったように記憶しています。現在でいえば、ワールドカップ初出場や『キャプテン翼』に当てはまるのでしょうか。

では、現在のサッカ一人気の高さや少年サッカーハンマー人口増加の最大の理由を考えてみると、やはり J リーグの誕生が考えられます。それは、以前に比べてテレビ中継が増え、アニメやマンガの世界でしかなかつた憧れの選手が実在するようになったことだと思います。一時期は、サッカーが野球を上回る人気スポーツにランクされましたが、最近では、景気低迷による J リーグのチーム合併問題や、少子化現象に伴うチーム構成人数の減少など、これから少年サッカーを取りまく環境も過渡期を迎えつつあります。こうした問題をクリアしていく為には、子供達がサッカーに興味を持ち、楽しくプレー出来る環境（チーム）作りが今後の課題だと思います。

私は、長男が SL（小学 2 年生）の昨年春に、永田コーチの勧めでコーチを始めて二年目を迎えたばかりですが、昨年、今年と、SL はファイトのある選手が多いということを感じました。昨年の SL（第 33 期）は、毎年夏に招待される GP サッカーフェスティバル 2 年生大会での優勝をきっかけに、皆自信を持ったプレーが出来るようになったと思いました。春はポジションが決まらず、コーチ、選手共に戸惑いがあり、チームとしてはうまく機能していないようでした。市大会では、予選リーグ 2 位の戦績で決勝トーナメントへ進出したものの緒戦敗退。区大会も緒戦敗退という結果でした。そして、GP サッカーフェスティバル優勝をきっかけに皆が一つにまとまり、国際チビッ子大会第 3 位、セルジオ越後杯第 3 位、そしてアムゼルサッカーハンマー大会優勝という好戦績を残すことが出来ました。なかでもいちばん印象に残っているのは、セルジオ越後杯です。この大会は、風邪で 11 人揃わず、1 人少ない 10 人で予選リーグ、決勝トーナメントと戦い抜いたからです。特に決勝トーナメントでは、あざみ野 FC に 0 対 0 (PK 戰 4 対 2) で勝利を収め、本郷 FC に準決勝で 0 対 0 (PK 戰 3 対 4) で残念ながら敗れたものの、3 位決定戦では、原 FC に 2 対 0 で勝利するという内容でした。1 人少ない人数でも、強豪チームを相手にこれだけの結果を残せたということは、上のクラスに行っても、そして大人になっても忘れないでほしいものです。

さて、今年の SL に次男が所属しているため、もう 1 年 SL を担当していますが、今年も昨年同様、好戦績を収め頑張っています。（10 月 31 日現在）春の市大会ベストエイト、区大会優勝、GP サッカーフェスティバルも昨年に続き優勝。そして、現在進行中の国際チビッ子大会や、これから始まる区大会での好戦績を目指して、練習で汗を流しています。これは特に、今年度から入部した新人の成長が、チームに良い結果をもたらしていると思います。

最後に、この節目の年に現役のこれからに対して願うことは、第30期（現小6）は、まさに記念の年に最上級生としてサッカーを学びました。たちばなキッカーズの練習や試合、そして合宿などで身につけたことを基本に、上のクラスでの活躍を期待します。また、第31期（現小5）から第36期（現年長）は、来年度は次の節目へ向かっての第一歩となる年になります。現役全員が、次の節目を迎える後輩達の良き手本となるように、更なる飛躍を期待します。特に第31期生は、最上級生の自覚を持ち、サッカー選手としてよりいっそうの飛躍を期待します。そして、我々指導者も、たちばなキッカーズが40周年、50周年と長い歳月が経っても発展し続けるように、御父母の皆様をはじめ、地域の皆様、愛好会やOBの方々の御協力と子供達の頑張りと共に飛躍していきたいと思います。

小学生におけるスポーツのあり方

旧L担当コーチ 宮戸 正人

(30周年記念誌より)

たちばなキッカーズ創立30周年、おめでとうございます。

私は、6年前に息子が「たちばなキッカーズ」に入部して以来、今まで何らかの形でお手伝いをさせてもらっています。息子がSL当初は、いわゆるお父さん応援団の一人であり、試合に勝っては喜び、負けては悔しみ、一喜一憂したものでした。ある意味では一番楽しく試合を観戦できた様に思えます。息子がLLになったタイミングで、お父さんコーチとしてスタッフの一人となりました。息子はLL・A、私はLL・Bに分かれ、一緒に行動出来ず日曜の対応が大変でした。息子のチームは上手い選手もあり、勝率も高く、勝つ事の楽しさを満喫していました。一方、私の方は、試合に勝つ事の難しさ、子供達の目標を何処に置くべきか等考えさせられる時期がありました。

息子がLに上がったタイミングで私もL担当となり、私がL・A、息子がL・Bとなり、今度は逆に息子が勝てない事の悔しさ、気合が乗らないもどかしさを味わっていました。親として、或いはコーチとして何といって励ませば良いのか考えたものです。

小学校時代のサッカー、いえスポーツはどの様にあるべきなのでしょうか？3年前、私は横浜市サッカー協会少年委員会が主催した小野剛氏の講演に出席する事が出来、少年の指導／育成についての考え方方が徐々に分かって来た様に思います。

スポーツにおいては勝負がつきものであり、勝つ事が全てと考えがちです。しかしこれは、プロスポーツレベル或いは大学生程度の話です。「子供は小さな大人ではありません」目先の勝負にこだわり、勝つ事だけを目標に指導／育成するのはどんなもんでしょうか。小学生時代は人間の成長過程の中で最も重要な時期（人生で一回しか訪れないゴールデン・エイジ）であり、神経系の発達が最も進む時なのです。小学生時代に自転車乗りを会得するのは簡単ですが、大人になってからでは大変なのと同じ事です。この時期はサッカーで考えれば、全てのテクニックを身に付ける事が出来る時期であり、「如何に技術を上達させるか、豊かな発想を身に付けさせるか」に主眼をおいた育成に心掛けるべきでしょう。スピードとパワーにものをいわせて勝ち進むチーム、ベンチのコーチの指示にキッチリ従うチーム、があったとしても、それを羨む必要はありません。目指す必要もありません。

小学生のスポーツは、勝つ事が目標ではありません。とは言え、やはり「勝利」は嬉しく、「敗戦」は悔しいものです。「勝つ事」と「育てる事」には大きなミゾがあり、決して埋められるものではないでしょうが、これを埋める事は永遠のテーマであり、これが我々の使命でしょう。

「サッカーを楽しむ事が基本であり、その上で子供達の技術／発想レベルを高め、出来れば試合に勝ち、10年先に如何に大きく成長させるか」が我々の目標です。私も子供達に教えられ、成長しています。将来、皆が大きく成長し、活躍される事を楽しみにしています。

審判は何処へ行く？

—ワールドカップフランス大会を見て—

たちばなキッカーズ旧コーチ

旧二級審判員 中林 由行

(30周年記念誌より)

15年程前に二人の息子たちが「たちばなキッカーズ」にお世話になって以来、私もすっかりサッカーにのめり込んでしまった。4級の審判員の資格をとって4年、3級で3年、2級になって8年、今は指導をしているが、約15年間審判をやってきたことになる。何とか一度はワールドカップを見に行きたかったと思っていたが、このフランス大会でその夢を果たす事が出来た。

審判にとってもW杯に選ばれる事は大変な名誉であるが、一方でミスは許されないという大きなプレッシャーを受けるつらい立場もある。近年の一連のルール改正、たとえば、GKへのバックパスの制限、オフサイドの解釈の変更、アドバンテージの積極的な採用、ダイビングへの警告、決定的な得点の機会を反則で阻止した場合の一発退場、後方からの危険なタックルの一発退場などは、サッカーをよりフェアで面白いものにするためであるが、一方で審判にとっては難しい判定が多くなり、大きな負担となりつつある。中でもレッドカードを出すことは、試合や選手に大きな影響があるために審判にとっても勇気のいることである。W杯では、準々決勝のオランダ対アルゼンチン戦の終盤にオルテガがペナルティーエリアの中で倒されたのをダイビングであると的確に判定し、その後の乱暴な行為で退場にしたカルテル主審(メキシコ)、また準決勝のフランス対クロアチア戦では、満員のフランス人観衆の前でプランを一発退場にしたアランダ主審(スペイン)などの多くの勇気ある判定に感動したが、一次リーグではレッドをめぐるトラブルも多かった。スピードや技術がより高度になっていく現代サッカーの中で、審判の負担はこれからも増える一方であろうと思われる。日本でもこれからサッカーくじが導入され、勝敗が過熱してくると、真面目な人ほど審判を続けて行くのが難しくなるのではないかと心配である。全ての選手がフェアプレーに徹してくれれば審判の悩みの大部分はなくなるのであるが、そうでないしたら、いずれは主審を両エンドに一人ずつ置くような事が必要になるのではないか、というのが私の個人的感覚である。

振り返ってみると一番プレッシャーがなく楽しくできたのはチビッコサッカーの審判だったような気がするが、ここはここで審判技術の未熟さが常に問題になっている。チビッコサッカーの審判をやる人は恵まれた環境に甘えることなく審判技術をもっとみがいてほしいものである。

GKに頭突きをして退場を宣告されるオルティガ。(週間サッカーダイジェスト

98/8/23 増刊号より)



飛躍期

(30期～39期)

創部から 30 年、日本全体でサッカーは人気スポーツに成長しました。U23 日本代表チームはメキシコオリンピック以来のアトランタオリンピックに出場しブラジルに勝利、その勢いで、日本代表チームは悲願のフランスワールドカップに初出場を果たし、新たな1ページを刻みました。日本のサッカーレベルは確実に向上し、中田英寿選手がイタリアセリエ A に移籍し、世界レベルで活躍するまでになりました。

たちばなキッカーズは子供を主役としたサッカーを維持しつつ、「10 年先の完成期にいかに大きく成長させるか」をモットーに、チームの更なる発展を目指し、「飛躍期」を迎えました。

飛躍期のチームの戦績、チームカラーを振り返ってみましょう。

第30期 1998年度(平成10年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1994年度(平成6年度))

- | | | |
|------|----------------------|-------------------|
| ・4月 | 第21回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 予選8チーム中7位 |
| ・6月 | 第10回港北区サッカー協会大会 | 2回戦敗退(参加20チーム) |
| ・7月 | GPサッカーフェスティバル2年生大会 | 予選2位で決勝進出、決勝1回戦敗退 |
| ・10月 | 第26回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 予選7チーム中6位 |
| ・11月 | 第14回港北区ジュニアスポーツ大会 | 2回戦敗退(参加18チーム) |

LL (1996年度(平成8年度))

- | | | | |
|------|--------------------------------------|---|---------------------------------|
| ・4月 | 第23回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | LL-A
3勝2負で3位 | LL-B
5負で6位 |
| ・6月 | 第12回港北区サッカー協会大会 | 2回戦敗退 | 1回戦敗退 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | | |
| ・10月 | 第28回横浜国際チビッ子サッカー大会 | | |
| ・11月 | 第16回港北区ジュニアスポーツ大会
3位決定戦はたちばな同士となる | 3勝1負2分で2位
決勝トーナメント1回戦敗退 | 3勝3負で4位
準決勝:城郷Aに負 準決勝:つばめBに負 |
| ・1月 | 第23回神奈川県少年サッカー大会 | 3位入賞 | 4位入賞 |
| ・4月 | 第2回東急カップちびっこフットサル大会 | 4回戦(予選ブロック決勝)で南百合ヶ丘に敗退
準優勝 (決勝でFCゼブラBに惜敗) | |

L (1998年度(平成10年度))

- | | | | |
|------|--|--------------|-----------|
| ・1月 | 第23回横浜少年サッカー大会(新人戦) | L-A
3回戦敗退 | L-B
— |
| ・4月 | 第25回横浜市春季少年サッカー大会 | 4勝2負で3位 | 2勝3負1分で5位 |
| ・5月 | 第22回全日本少年サッカー神奈川県大会 | 2回戦敗退 | — |
| ・6月 | 第14回港北区サッカー協会大会 | 準優勝 | 1回戦敗退 |
| ・7月 | 7月20日(月)に創立30周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約40万円 | | |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | | |
| ・10月 | 第30回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 1勝3負2分で7位 | 6負で7位 |
| ・11月 | 第2回港北区区民サッカー大会 | 1回戦敗退 | 1回戦敗退 |
| ・1月 | 第25回神奈川県少年サッカー選手権 | 1回戦敗退 | |

チーム紹介 第30期生 菊地 雄一郎

たちばなキッカーズ…始めて練習に参加したのが小学校の1年生の春。小学校を卒業するまでの6年間、私は毎日サッカーボールで遊んでいた気がします。もうあれから10年経ちます。今ではあの頃の思い出が懐かしくてたまりません。

たちばなキッカーズを通して得た経験は今の私にとって掛けがえのない財産となっております。本当にいい仲間、コーチ達に出会えた事を心から感謝いたします。きっと私の年齢になる頃にみなさんもこの気持ちを味わうことだろうと思います。

小学校の時期の大切な事の1つに「心から打ち込める事を経験する」という事が挙げられますが、私はたちばなを通じて心身共に成長できました。

みなさまも心からサッカーを楽しんでください。余計なお世話かもしれません、それほど素晴らしいチームです。誇りに思ってください。

私が1番印象に残っている事は、毎年恒例の合宿です。

サッカー以外にも、カレー作りや、キャンプファイヤーでの出し物、少しの夜更かしに、こんなに楽

しいイベントはなかなかないでしょう。思い出すとまた行きたくなってしまいます(笑)
他にも、数え切れない程の思い出達があります。

この機会を通じて私がみなさん伝えたい事は、このような環境を作ってくださった曾田監督はじめ、各コーチの皆様方、保護者の方々に「感謝の気持ち」を持つということです。

そして、これから歩む道は人それぞれですが辛くなったらたちばなキッカーズの事を思い出してください。

きっと心の支えになります。

改めて申し上げますが創立40周年を心から祝福いたします。

これからも50周年、60周年とたちばなキッカーズの繁栄を願っております。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	木虎 翔平	高田小	目立ちたがらないGK、無口で堅実で勇敢、小さい小さいと思っていたが、いつのまにか背が伸び、精神的成长も目立つ。試合では、執念のパフォーマンスでアピールせよ。
MF	2	守山 大輝	下田小	ボールさばきは腰が下りて、フェイントに無理が少なく、キックは左右共に素直で自然、あとは筋力が付くのを待つのみ。名選手の技を盗み自分の特徴をつくりたい。
DF	3	入月 誠也	川和小	重心が低く当たりが強い。ドリブルで上がっていく速さも魅力。スローインもよく飛ぶ。状況判断が速くなれば、もっと楽に守れるだろう。
DF	4	大井 薫	下田小	5年のときからカバリングの速さとキック力で頭角をあらわす。6年後半から攻めの意欲も強くなつたが、まだ結果は出ない。反射神経も目もいい。GKへ進む道もありそう。すべてはこれからだ。
DF	5	赤尾 健太郎	高田小	身体に恵まれないが、スペースへ動くのが速く、苦も無くサッカーをやっているように見える。100%の力を出し切ればもっと速いプレーが出来るはず。開き直ってやろう。
MF	6	木村 寛	高田小	右サイドの高い位置にいて、いつも攻撃を意識し、クレバーな攻めが特徴。右足センタリングのタイミングもいい。敵にカットされた場合、守りの速さが欲しい。
MF	7	佐藤 敦	下田小	ディフェンスの位置から、危険地帯をつぶして回り、攻撃にもからむ。いつも全力で立ち向かうファイター。思い切りのいいシュートも欲しい。
DF	8	佐藤 貴紘	高田小	必殺のタックルがトレードマークだが、5年の時の広範囲な動きが印象に残る。責任感旺盛。左足キックに自信を持てば、視界が広がり、サッカーがもっと変わるかも。
FW	9	徐 森	高田小	シュートのタイミングを逃がさない瞬時の判断がすばらしい。ジャンプヘッドのタイミングもいい。5年のとき、周りを見ながら、ボールをキープしていた。あれが良かった。
MF	10	菊地 雄一郎	下田小	ドリブル、リフティング、強いシュート全て抜群の優等生。時には、ボールをキープしながら、緩急の使い分け、1対1のかけひきをもっと楽しんで欲しい。ゲーム感覚を養うことも大切。
FW	11	佐藤 真	下田小	6年の初めのころと比べると、運動量も動きの質も、チームプレーもすっかり変わった。ゴールした後のパフォーマンスより、シュートに入る「決定的瞬間」での最高のパフォーマンスを見たい！
DF	12	飯田 雄介	下田小	合宿の班対抗戦での活躍が記憶に新しい。試合では、無心でプレーした時、その人の長所が出来る。キック力も生きる。サッカーは、個性と個性のぶつかり合いが面白いのだ。

試合に負けてしょんぼりの第30期生



第30期生



SL当時のメンバー

第14回港北区サッカー協会大会 L・A 準優勝



第16回港北区ジュニアスポーツ大会 LL・B 4位入賞

第31期 1999年度(平成11年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1995年度(平成7年度))

・4月	第22回横浜市スポーツ少年団サッカー大会	予選7チーム中3位
・6月	第11回港北区サッカー協会大会	2回戦敗退(参加15チーム)
・7月	GPサッカーフェスティバル2年生大会(20周年招待試合)	総合3位
・10月	第27回横浜国際チビッ子サッカー大会	予選7チーム中3位
・11月	第15回港北区ジュニアスポーツ大会	準優勝(参加15チーム)
・2月	第1回GPフットサル大会	決勝進出し4位(参加20チーム)

LL (1997年度(平成9年度))

		LL-A	LL-B
・4月	第24回横浜市春季少年サッカー大会	4勝1分で1位	6負で7位
この年から大会の名称が変更となり、木村和司杯と副題も付く			
・6月	第13回港北区サッカー協会大会	準優勝	1回戦敗退
・7月	7月13日(日)に創立30周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約40万円		
・8月	富士緑の休暇村で合宿		
・10月	第29回横浜国際チビッ子サッカー大会	4勝1負1分で3位	2勝4負で5位
・11月	第1回港北区区民サッカー大会	3位入賞	2回戦敗退
・1月	第24回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック2位	—
・2月	創立30周年準備委員会組織発足、コーチが主体となり開催準備を実施する事とする		

L (1999年度(平成11年度))

		L-A	L-B
・1月	第24回横浜少年サッカー大会(新人戦)	1回戦敗退	—
・4月	第26回横浜市春季少年サッカー大会	4勝2負で2位	—
決勝トーナメント1回戦敗退			
・5月	第23回全日本少年サッカー大会	ブロック優勝(中央大会進出)	中央大会1回戦敗退
・6月	第15回港北区サッカー協会大会	予選5勝1分で1位	—
優勝			
・8月	富士緑の休暇村で合宿		
・10月	第31回横浜国際チビッ子サッカー大会	3勝2負1分で4位	—
・11月	第3回港北区区民サッカー大会	5勝2負で3位	—
・1月	第26回神奈川県少年サッカー大会	1回戦敗退	—

チーム紹介 第31期生 庄司 政史

僕達が「たちばなキッカーズ」を卒業して、早いものでもう約9年になります。今ではたちばなで過ごした日々の記憶も薄くなってきてますが、それでも、毎週毎週サッカーを楽しみながら練習したことや、自分達が持てる力の限り頑張った試合。負けて悔し涙を流したこと。コーチに怒られたり、褒められたりしたこと。行事盛りだくさんの合宿。試合の送迎の中や、練習中のたわいの無い話など、思い返せばたくさんの良い思い出が次々に溢れ出でています。本当にたちばなで過ごした日々はとても楽しい時間でした。

僕達のチームはなんと言っても、とても仲が良く、チームワーク抜群のチームであったと思います。たちばなに入った時期や小学校は皆それぞれ違いましたが、土日だけでなく、平日も小学校の校庭に集まりサッカーをして遊んだりしました。また、サッカーとは関係ないところでも、友達の家に集まりゲームをしたり、映画を見に行ったり、プールに行ったりもして本当に仲の良い関係を築いていきました。そうしたことによって徐々にチームワークが良くなっていますのだと思います。

成績はどうだったかというと正直あんまり覚えていませんが、6年生の時はまあまあ強かったのかな?という印象が残っています。みんなの努力の甲斐もあり中央大会に出場することもでき、新聞に写真とチーム紹介が載り、とてもうれしく思ったと共に誇らしくも思ったことも覚えています。また、港北大会の決勝では、コーチからの激、父母の方々のびっくりするくらい大きな声援により、自分達が持てる以上の力を出し切り優勝することができました。試合終了のホイッスルの時には涙が出るくらいの嬉しさと、充実感でいっぱいでした。

たちばなキッカーズを卒業して、中学・高校はバラバラになりましたが、部活の試合で敵、味方は違えども、同じフィールドに立ちボールを追いかけることが出来た事も、また良い思い出であります。このたちばなで、未だに連絡を取り合うような関係になれた最高の友達に会えたことをとても嬉しく思います。

最後になりますが、監督ならびに、コーチ、父母の方々の協力があったからこそ、僕達はおもいっきりサッカーをすることができ、貴重な体験や、楽しい思い出をたくさん作ることができました。本当に心から感謝します。ありがとうございました。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	五嶋 裕輝	高田東小	今年、彼の悔し涙を見た記憶がない。それほど安定した守護神だったと思う。声も指示も良く出ていた。キャッチングをしっかりとすること。後ろへの対応を俊敏に。その為にはもっと体を絞ること。ガンバレ!
DF	2	箕輪 潔証	高田東小	ポジショニングの良さで、再三のピンチを防いでくれた。小さな体のわりに大きなプレーが目立った。秋からは、休会したにもかかわらず、メンバー不足のとき、試合に出場してくれてありがとう。
DF	3	高井 将太	高田小	バックの位置から上がっていったときの破壊力がすばらしい!特に、コーナーキックのボールに対する嗅覚は抜群で、何度もチームを勝利に導いてくれた。それにしても、初めての合宿での“お楽しみ会”の演技は最高!だった。
DF	4	石原 敏史	下田小	大きな体でキック力もあり、何度もチームのピンチを救ってくれたのを思い出します。秋の大会で、その頑張りを見られなかつたのが残念でした。これからも、スケールの大きなサッカーを続けて欲しい。
MF	5	小西 快	荏子田小	安定したディフェンスで幾度もピンチを未然に防いでくれた。落ち着いた動きで、味方にも安心感を与えた。ただ、足を痛めてから、引きずる様な走り方が癖になっているのが気にかかる。
MF	6	深瀬 剛志	下田小	ボールを持ってからのドリブル、フェイント、パスの安定感が出てきた。言葉少なめだが、堅実なプレーで味方を救ってくれた。相手との接触プレーの中でも負けないキック力をつけ、積極的にアピールできるようになろう。
MF	7	高井 唯人	高田小	君は、LBのキャプテンとして、1年間チームのために大変良くやってくれたと思う。ありがとう!キャプテンという立場で、チームを引っ張り、勇気付けてくれました。なかなか勝てない時、点が取れない時、いつも声を出して、最後まで諦めない姿勢は、チームにとって多大な功績を残した選手といえる。これからも、サッカーを続けることを望む。大いに期待できる選手に成長すると思う。
MF	8	樋口 聖	下田小	右サイドでのスピードとシュートをイメージできるとてもすばらしい選手でした。チームのムードメーカーでもありみんなを盛り上げながらプレーできる数少ない貴重な存在でした。

FW	9	鈴木 浩介	下田小	「右足の魔術師」。ゴール前での細かいドリブルとフェイントが持ち味で、思わぬところでゴールをあげる。パスを呼ぶ声もいい。中盤ではもっと顔を上げ、周囲をよく見ながらプレーすることが、これから課題だ。
MF	10	庄司 政史	下田小	個性的なメンバーが多かったこのチームを良くまとめてくれた。プレーは決して派手ではないが、中盤での活躍が、苦しい試合を勝利に導いたケースが随分あった。精神的にタフになれば、もっともっといいプレーができる。
FW	11	成田 秀平	高田小	恵まれた身体能力を生かし、ゴールを量産してくれた。サッカーセンスも抜群で、相手をおちょくるプレーもなかなかのものがある。これからもサッカーを続けて、ますますプレーに磨きをかけてほしい。
DF	12	若井 悅克	下田小	卒業おめでとう。Lになって数ヶ月しか一緒にサッカーができなかったのでとても残念でした。春の大会では、左サイドで頑張っていたけど1点も取れず、1勝も出来ずに終わってしまいましたね。その後、若井君と石原君が受験でいなくなつてからは、2人の穴を埋めるのに苦労しました。好きなサッカーを我慢して受験することは、とても大変でしたね。中学校へいっても、頑張ってください。
DF	13	長田 真	下田小	君が一番サッカーを楽しんでくれたと思います。何度も倒され、途中で病院に運ばれ、もうだめかと思っても、病院から戻ってきたらもう試合に出たがり、私も困ったり、驚いたりしましたが、これからは、自分の進む道をしっかりと見え、たくましく成長してほしい。
DF	14	金 根洙	下田小	金君、あなたはサッカーを、4年生の途中から始めた為、最初は大変苦労したと思う。しかし、あなたの一生懸命さは、チームのメンバー全員がわかつていたと思う。そして、持ち前の屈託のない明るい性格で、早くからチームに溶け込み、人気者として活躍するようになって、本当に良かったと思う。卒業してから、種々なスポーツにチャレンジすると思うが、持ち前の明るさと、失敗を恐れない気持ちを持った金君であれば、必ずやいい選手になること間違いないといえる。「本によく頑張ってくれました。ありがとう！」
MF	15	中川 領太	高田東	卒業おめでとう。君とは、練習であまり会わなかつたね。なぜ、練習に来ないのかな。仲間たちとうまくいかないのかと心配したこともありました。でも、大会には、時々参加してくれましたね。車での移動の時、みんなと大声で楽しそうでしたね。君は、本当は元気で明るい子なんだね。もっと、練習に参加すれば、もっと楽しくサッカーが出来たんじゃないかな。中学校に行っても、頑張ってください。
MF	16	加藤 卓也	橘小	体は大きくて、気持ちはとっても優しい性格でした。高学年になってBキャプテンも経験してすごく自信を持ってプレーしていました。守備型MFとして安定したプレーで活躍してくれました。
		金子 真育	横国付属小	







第32期 2000年度(平成12年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1996年度(平成8年度))

- | | | |
|------|----------------------|---|
| ・4月 | 第23回横浜市スポーツ少年団サッカー大会 | 4勝1負1分で1位
決勝トーナメント1回戦敗退 |
| ・6月 | 第12回港北区サッカー協会大会 | 準優勝 (参加15チーム) |
| ・7月 | GPサッカーフェスティバル2年生大会 | 予選リーグ4チーム中で2位
2位リーグ順位決定戦は雨天中止 |
| ・10月 | 第28回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 4勝2負で3位 |
| ・11月 | 第16回港北区ジュニアスポーツ大会 | 2回戦敗退(参加16チーム) |
| ・1月 | 第2回GPフットサル大会 | 予選リーグ2勝2負で3位
3位トーナメント1回戦敗退(黒滝にPK戦負け) |

LL (1998年度(平成10年度))

- ・4月 第25回横浜市春季少年サッカー大会

・6月 第14回港北区サッカー協会大会

- 本年度からSL、LLは予選リーグ、決勝トーナメント方式に変更
- | | | |
|------|--|------------------------------------|
| ・7月 | 7月20日(月)に創立30周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約40万円 | |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | |
| ・10月 | 第30回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 4勝1負1分で2位 5負1分で7位
決勝トーナメント1回戦敗退 |
| ・11月 | 第2回港北区区民サッカー大会 | 5勝1負で1位 1勝5負
準優勝 |
| ・1月 | 第25回神奈川県少年サッカー選手権 | ブロック優勝(15年振り中央大会進出)
中央大会1回戦敗退 |

L (2000年度(平成12年度))

- | | |
|------|---------------------|
| ・1月 | 第25回横浜少年サッカー大会(新人戦) |
| ・4月 | 第27回横浜市春季少年サッカー大会 |
| ・5月 | 第24回全日本少年サッカー大会 |
| ・6月 | 第16回港北区サッカー協会大会 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 |
| ・10月 | 第32回横浜国際チビッ子サッカー大会 |
| ・11月 | 第4回港北区区民サッカー大会 |
| ・1月 | 第27回神奈川県少年サッカー大会 |

LL-A LL-B

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 3勝2負1分で2位 | 1勝4負1分で6位
決勝トーナメント1回戦敗退 |
| 3勝1負1分で2位 | 4負で5位
優勝 |

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 4勝1負1分で2位 | 5負1分で7位
決勝トーナメント1回戦敗退 |
| 5勝1負で1位 | 1勝5負
準優勝 |
| ブロック優勝(15年振り中央大会進出)
中央大会1回戦敗退 | |

L-A L-B

- | | |
|---------------|-----|
| — | — |
| 3勝1負2分で3位 | — |
| 2回戦敗退 | |
| 予選2勝1負で2位 | — |
| 決勝トーナメント2回戦敗退 | |
| 2勝1負3分で3位 | — |
| 2勝1分で1位 | — |
| 決勝トーナメント | 第3位 |
| 1回戦敗退 | — |

チーム紹介 第32期生 関崎 亮

この度は、40周年記念おめでとうございます。

私がたちはなキッカーズを卒業してから 8 年が経ちますが、当時の記憶は鮮明に覚えています。その中でも特に印象深いのが、4 年生の時に出場した県大会です。15 年ぶりの中央大会出場ということで、当時の神奈川新聞に記載されました。惜しくも 2 回戦で敗退しましたが、とてもいい経験が出来たと思います。他にも、区大会などでは上位に食い込むなど良い結果を残していた記憶があります。

そんな私たち 32 期生は、みんな仲良く楽しく過ごしていた印象があります。サッカーの面でも、技術は高く一人ひとりがしっかりしていたと思います。SL・LL・L とキャプテンを務めた私ですが、今思うとキャプテンらしい事は何一つしていないと思います。試合中には文句ばかり言って、チームメイトには不快な思いをさせていました。その当時は、試合に勝ちたいがために言っていたのだと思います。今その当時のチームメイトに聞くと「本当にお前は醜いやつだった」と言われます。それも今はいい思い出なのではないでしょうか。

今思うと私のサッカーの始まりは、たちはなキッカーズだと思います。このチームでサッカーをやったことがきっかけで、小・中・高そして今現在でもサッカーを続けることが出来ているのだと思います。今は専修大学の体育会に所属し、関東 1 部リーグで頑張っています。こうして、今でもサッカーを続けている事は貴重なことだと思います。これもたちはなキッカーズで得た、サッカーの楽しさ難しさ、喜びや悲しみがあったからこそだと思います。これまで関わった、チームメイトや指導者の方々には大変感謝しています。

これからも、たちはなキッカーズという伝統が続くよう活躍を期待しています。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	細井 大輔	下田小	責任感が強い。「ポジション的にも要求される」これからも強い気持ちを持ち続けることを希望します（たちはなの守護神）。
DF	2	城戸 一祥	高田東小	真面目で継続性が有り、また一途な所が大変好感が持てます。「継続は力なり」。これからは気持ちをもう少し前に出そう。
MF	3	木虎 宏影	高田小	守備的 MF のポジションからミドルレンジ、ロングレンジからのシュートが豪快でした。生きたボールをたくさん蹴って、更に磨きをかけて下さい。
DF	4	松田 誠	高田小	体を張ったディフェンスは見事で、チームの要としてよく頑張ってくれました。対戦相手にとって、堅実なディフェンスとロングスローは大きな脅威だったと思います。区選抜大会優勝の原動力となつたプレーが記憶に残ります。
MF	5	本田 一光	下田小	
MF	6	浅原 順	下田小	試合での頭脳的なプレーが非常に印象的でした。巧なボールコントロールと、中盤下からの球出しはすばらしく、チームには欠かすことの出来ないプレーヤーの一員でした。
MF	7	永嶋 裕一	下田小	まじめな性格がサッカーにもよく現われ、最後まであきらめずボールを追う姿が印象的でした。6 年の春には L-B のキャプテンとしてみんなの面倒を良くみてくださいました。アリガトウ！
DF	8	海錚 ジョセフ	久末？	5 年生からサッカーを始め、最初は思うようにプレー出来なかつたが、今ではスローイン、ヘディング、スピード、スタミナ、どれを取っても引けを取らない。もともとセンスが良く、早くから始めていたら・・・と思うとオソロシイ存在。今後の活躍が楽しみ！
MF	9	森口 駿	下田小	静かなところにも秘めた気持ち、センスもあり技術的にもきらりと光るもののが見える。もう少し熱くなれば将来は大物か！！
MF	10	関崎 亮	下田小	本当にサッカーが好きで頑張りやでキッカーズの皆の良いお手本になつたと思います。区選抜、市選抜に選ばれ、そしてたちはなではキャプテンとして仲間をリードしてくれました。これからも活躍がとても楽しみです。ガンバレ！
FW	11	佐々木 秀一	下田小	ゴールへ向かって走るたくましいスピードの持ち主。トップギヤに入つてもバランスがくずれず、反射神経もバツグン。FW に最適の素

				質をどのように生かすか考え、ますドリブルでは誰にも負けない力をつけよう！
MF	25	鈴木 秀人	下田？	6年生になって他のチームからたちはなに入会、普段はおとなしいが、ゲームでボールを持つとバランスが良く、いつの間にかゴール前。最後は味方にパス。名前のようにシュートで終われるように自信を持ってプレーしよう！
FW	27	岩倉 賢	下田小	いろいろと質問をしてくれる姿勢が良いです。これからも基本練習をしっかりと身に付けてサッカーを楽しんで下さい。
DF	28	岩倉 潤	下田小	楽しくプレーしている姿が印象に残っています。楽しくプレーすることは「サッカーを好きになる気持ち」の基本です。この気持ち、大切に持ち続けて下さい。
		中村 康輔	下田小	

LL-A メンバー



第32期生



第14回港北区サッカー協会大会 LL-A 優勝 (SLとのアベック優勝)



たちばなキッカーズ

第32期 卒業生



細井・木虎・松田・海峰・佐々木・浅原・鈴木
岩倉(潤)・森口・関崎・永嶋・岩倉(賢)・城戸

第33期 2001年度(平成13年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1997年度(平成9年度))

・4月	第24回横浜市春季少年サッカー大会	5勝1負で2位 決勝トーナメント1回戦敗退 この年から大会の名称が変更となり、木村和司杯と副題もつく
・6月	第13回港北区サッカー協会大会	1回戦敗退
・7月	7月13日(日)に創立30周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約40万円	
・7月	GPサッカーフェスティバル2年生大会	優勝(参加24チーム)
・10月	第29回横浜国際チビッ子サッカー大会	5勝0負で1位 決勝トーナメント準決勝であざみ野に惜敗 3位入賞(決定戦で丸山台にPK戦勝ち)
・11月	第1回港北区区民サッカー大会	2回戦敗退
・1月	第3回GPフットサル大会	3位入賞
・2月	創立30周年準備委員会組織発足、コーチが主体となり開催準備を実施する事とする	

LL (1999年度(平成11年度))

		LL-A	LL-B
・4月	第26回横浜市春季少年サッカー大会	5勝1負で2位 決勝トーナメント1回戦敗退	1勝4負1分
・6月	第15回港北区サッカー協会大会	5勝2負で3位	1勝4負1分
・8月	富士緑の休暇村で合宿		
・10月	第31回横浜国際チビッ子サッカー大会	6戦全勝1位 決勝トーナメントベスト8	2勝4負
・11月	第3回港北区区民サッカー大会	4勝1負2分で3位	2勝5負
・12月	MEIJI SSS(藤塚杯)	5位	—
・1月	第26回神奈川県少年サッカー選手権	ブロック決勝敗退	

L (2001年度(平成13年度))

		L-A	L-B
・1月	第26回横浜少年サッカー大会(新人戦)	4回戦敗退	—
・4月	第28回横浜市春季少年サッカー大会	2勝3負1分で5位	—
・5月	第25回全日本少年サッカー大会	1回戦敗退	
・6月	第17回港北区サッカー協会大会	4勝2負1分で4位	—
・8月	富士緑の休暇村で合宿		
・10月	第33回横浜国際チビッ子サッカー大会	6戦全勝1位 決勝トーナメント4位	—
・11月	第5回港北区区民サッカー大会	3勝3負1分	—
・1月	第28回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック準決勝敗退	—

チーム紹介 第33期生 伊藤 輝紀

小学校時代のことを振り返ってみると、まず「たちばな」で過ごした六年間が頭に浮かびます。オレンジのユニフォームを身にまとい、夢中でボールを追いかけていたあの頃がとても懐かしいです。

SL 時代・・・国際チビッ子の 3 位決定戦で PK 戦を制し、三位になったこと。雪の中での GP 招待試合。

LL 時代・・・一步届かなかった中央大会。PK 戦までもつれたブロック決勝に敗れ、試合終了後には皆で大泣きしました。

L 時代・・・六年生になる頃には、自分達の学年は八人となっていました。それでも、国際チビッ子では五年生と力を合わせ、Ⅱ部で 4 位入賞を果たしました。このときの 3 位決定戦が、スタンドに囲まれた芝のピッチ三ツ沢で行われました。試合中はまさに、J リーガー気分を味わうことができました。

他にも、合宿やたちばな杯など忘れられない良い思いでばかりです。

今考えてみると、ただボールを蹴っているだけで楽しかったのが小学校時代でした。その後の中学校・高校では、勝つことを目的としたサッカーへと変わりました。サッカーから離れてしまった仲間もいましたが、選手権出場を目指して強豪校へと進んだ仲間もいました。自分は、プロになることを目指して横浜 FC へと進みました。部活とクラブでサッカーで顔を合わせる機会が無かった中、練習試合で顔を合わせたときは、とても嬉しかったです。ふと、あのときの仲間とまたサッカーができたらなと思いました。

苦しいときでも、仲間がいたからサッカーを続けることができました。それは、「たちばな」で過ごした時間があったからだと思います。そして、今もサッカーが大好きだと言えるのは、「たちばな」でサッカーをしてきたからだと思います。

共にサッカーをしてきた仲間、コーチや家族には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。たちばなキッカーズの益々の活躍を心から祈っています。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK/DF	1&4	鈴木 総司	下田小	まさに「たちばな」の守護神。この一年 GK として素晴らしい活躍をしてくれました。初めて LL の時に GK としてデビュー、あの時の危うさ、自分の所に飛んできたボールをハエタタキでたたき落とすしかなかった頃に較べたら月とスッポンだね。現在の積極性をこれからも維持して下さい。いつもニコニコしている持ち前の明るさと、大きなかけ声で味方にカツを入れましょう。
DF	3	赤尾 祐次郎	高田小	ベンチにいてもいつも真剣に、試合を、プレーを観察していました。それが勉強になって、今の赤尾君があります。大変カンのよいプレーで皆からの信頼感も増しました。もう少し筋肉がついて身体能力が向上したら、持久力もつき素晴らしいプレイヤーになりますよ。
DF	6	三浦 拓	高田小	外的には物事にあまり頓着しないよう見えるが、実際は細かい事にも気を遣うタイプ。ユーモアを解し、いつも笑顔を絶やさない「タク」も技術面での向上は目覚ましいものがあり、DF としての意地を見せてくれた。これからも、裏を取られないように、よく首を振って周囲を見ようね。
MF	7	入月 祐斗	川和小	予測してスタートする時の出足の良さは抜群です。状況判断は良いが頭の中だけで、次々と予測をしていると動きに遅れが出てします。目で見て判断したら、すぐ行動に移ることですね。足の速さを生かすためにも、積極的で、メリハリのあるプレーをイメージしよう。
DF	8	新岡 義弘	下田小	あの尊敬すべき井原選手が「アジアの壁」だった頃、君は「たちばな」の壁」だったんだね。ストライド走法で敵をコーナーに追いつめて行く姿は一見に値する。たまにウラを取られて追いつめ損なうところも見せてくれちゃってヒヤヒヤさせられたのも今となっては懐かしいシーンだね。接触プレーに強くなろうね、格闘技なんだからさ。
FW	9	井上 敬介	下田小	「たちばな」の主砲として、文字通りの実績を上げました。伊藤君とのペアでの破壊力は凄まじいモノがあったと思います。残念ながら 10 月の国際チビッ子大会初日での骨折事故で長期療養となってしまいましたが、我慢強くリハビリに励みようやく完治かな。心の中の口惜しさは想像を絶するものがあったと思いますが、逆境を克

				服した強みを武器にしてこれからも頑張ろう。
FW	10	伊藤 輝紀	下田小	最後に、絶対忘れてはならないこの男。「たちばな」の押しも押されぬ司令塔、身体能力も抜群で、ゲームメイクができるから、敵のマークにさらされる事もシバシバ、いつの間にか混戦からヌケだしたと思ったら、敵をなぎ倒したと濡れ衣を着せられることも数知れず。本当のところはどうだったのか、一度ジックリ聴いてみたい。親父コーチ達の怒声にもキヤプテンとしてチームメイトのためによくぞ耐えてくれました。感動した、アリガトウ。
MF	11	小西 哉人	荏子田小	L になってから体格がしっかりしてきて、骨太マッチョマンの感じがします。しばしば見せる後方からの列車砲のようなシュートは敵の意表をつくに充分な威力があります。これからもゴールマウスが見えたら積極的に狙っていきましょう。これは脅威になりますよ。
		木村 卓	高田小	
		小沢 俊介	高田小	
		笛木 倭平	子母口小	
		鈴木 祐介	下田小	
		金 熙洙	下田小	
		鈴木 剛流	下田？	
		伊丹 淳記	下田小	

第33期生





第18回セレシオ越後杯記念
少年サッカー大会 3年生会

第33期生



おい、チョット来い



第34期 2002年度(平成14年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1998年度(平成10年度))

・4月	第25回横浜市春季少年サッカー大会	5勝1分で1位 決勝トーナメント準々決勝で敗退(ベスト8) (参加チーム総数57)
・6月	第14回港北区サッカー協会大会	予選5勝1負で1位 決勝トーナメント 優勝
		本年度からSL、LLは予選リーグ、決勝トーナメント方式に変更
・7月	GPサッカーフェスティバル2年生大会	優勝
・7月	7月20日(月)に創立30周年記念式典資金集めの為にバザー開催、収益金約40万円	
・10月	第30回横浜国際チビッ子サッカー大会	4勝2負で2位 決勝トーナメント1回戦で駒林に敗退
・11月	第2回港北区区民サッカー大会	予選5勝2負で3位
・2月	フットサルGPカップ	予選リーグ1位 決勝トーナメント初戦敗退

LL (2000年度(平成12年度))

	LL-A	LL-B
・4月	5勝1分で1位	—
・6月	決勝トーナメント ベスト8	
・8月	7戦全勝で予選通過	—
・10月	決勝トーナメント 第3位	
・11月		
・12月	3勝2負1分	—
・1月	3勝で予選通過	—
	決勝トーナメント 1回戦敗退	
	3勝2敗で2位	—
	2位パート準優勝	
	プロック優勝	
	中央大会1回戦敗退	

L (2002年度(平成14年度))

	L-A	L-B
・1月	2回戦敗退	—
・4月	予選ブロック決勝敗退	
・4月	3勝2負2分で4位	—
・6月	3勝1負で1位	—
	優勝	
・8月	4勝1負1分で2位	—
・10月	決勝トーナメント 2回戦敗退	
・11月	4勝1負2分で2位	—
	決勝トーナメント 第3位	
・1月	予選ブロック 2回戦敗退	—

チーム紹介 第34期生 五嶋 健人

自分達のチームは、特に目立った人はいなかったが、とても仲が良くチームワークが良かったと思います。練習中や試合の合間によくふざけたり、遊んだりしていたのでそういう事からチームワークが築けていたのだと思います。

このチームは、SL、Lと区大会で優勝し、LLでは中央大会出場、横浜市大会でもベスト8など、数多くの結果を残せました。練習試合でもあまり負けることがなく、負けた時でもみんな前向きにサッカーを楽しんでいたので、日々成長できたのだと思います。

小学校時代にサッカーを楽しくやらせてくれたのがみんなが成長できた要因だと思います。

自分は現在高校生になりサッカーを続けていますが、この年代になってくると勝負の世界になってきて、チームの戦術や、監督の考え方などが優先になり、自由にサッカーができなくなっています。その中でも、たしかなでやってきた事が何らかの形で、自分のプレーにでてきてるのかな、と思いました。

たしかなで出会った仲間と過ごした日々を忘れずに、たしかなで学んだ事をこれからも生かしていきたいです。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1	伊藤 光城	下田小	いよいよ、最後は「たしかな」の守護神登場。文字通り押しも押されぬGKとして、ゴールを死守してくれました。昨年のチーム力との差は、PK戦をモノに出来るようになった事。これは、ひとえに「ミッチャン」の瞬発力がもたらしたものであると思っています。守りで勝ためにも、勇気あるプレーで前で勝負できるGKは大変貴重な戦力なのです。ゲームの流れの中で守勢、攻勢に合わせて柔軟にポジション取りをしましょう。
DF	2	桑名 岳	下田小	通称「ガク」。低い姿勢から獲物（相手の持ち込むボール）を狙っていたという印象があります。真剣に練習に励み、技術面でも随分と向上しました。ゲームでもMFやDFとして安定したプレーと意地を見せてくれた。これから成長過程で身体ができてくれる、将来楽しみなプレーヤー。
MF	3	佐瀬 大樹	下田小	LLの時から、ラッキーボーイの印象が強い。動きにはすばしっこさがあり、ゴール前での混雑になると大いに期待が持てるプレーヤー。今年は出番が少なかったが、正しい蹴り方を習得して、相手の一歩前で勝負すること。キックにパワーがつけば得点機を逃さぬプレーができるようになります、ホントだよ。
DF	5	石黒 翔太	下田小	君の最大の特徴は、素直さです。DFだけではなく、サッカー選手としてコーチの指導を良く理解、吸収して実践きました。サッカーというメンタリティに富むスポーツを通して技術的には勿論のこと、精神的にも大変に向上した一人だと思っています。一見ホソイけれど筋力がついてきたら、更に良いプレーができるでしょう。左足でも蹴れるというバランス感覚が良い。
DF	6	城戸 寿郎	高田東小	倒れても倒れてもすぐに起き上がって相手を追い詰めるという、実際に見上げた精神の持ち主。相手に最も嫌われるタイプで、味方にあっては、実に頼もしく、サッカーは格闘技であることをマザマサと見せつける男。いつも身体を張ってプレーしていました。タックルは時と場所を選んで仕掛けようネ。
MF	7	深瀬 貴晃	下田小	左MFとして活躍、売り物だった足の速さに溌剌とした動きが出て、今年はちと沈滞気味。スタートの時、足を細かく動かし、ピッチ走法でスピードに乗ろう。左からのドリブルとセンタリングの冴えを磨こう、左足から切り替えて右足でのセンタリング。トラップは優しく、身体のひねりは速く。
FW	8	椎塚 健太	下田小	「たしかな」の看板を背負って常に第一線に立ち、ポイントゲッターとして活躍してくれた。ボールが来なくて中央付近で寂しく立ち尽す孤独の人の場面もあったけど、懐の深い体勢からゴールを狙え

				るプレーヤーとして貴重な存在。余裕のプレーを目指せばゴールマウスも君を嫌ったりはしないぜ。
MF	9	村木 晃太	下田小	快足を生かしてアレヨ、アレヨという間に相手のゴール間近までボールを運んでしまうチャンスメーカー。それだけに相手のマークもキツクなる事を自覚して、背後の味方を信頼することも大切です。目の大きさに見合った状況判断を期待したい。たとえどんなに辛い時でも、持ち前のユーモアを忘れないようにしよう。
DF	10	五嶋 健人	高田東小	通称「ゴシケン」。キャプテンとしていつも真剣に、落着いてプレーをしていました。DFの要として前、左右への的確な指示、それが今の君なのだ。カバーリングは一流で味方の危機を随分救っていました。たまにミスキックをした時は、ベンチに暗雲が立ち込める程、普段はとても信頼の高いプレーヤーです。キャプテンの重責を立派に果たしてくれました。ご苦労様でした。でも、たまにはアガリたいよね！
FW	11	永山 謙	下田小	「ゴッツアン・ゴール」が多かった、ということは前に良く詰めたと言うことか。コーチに言われる前に基本的なプレーを、思いきりの良いプレーを心がけましょう。つぶされる前にシュートを放て！ゴール前でモタモタするな！DFとしての足運びは天性のものかな？プレスを良くかけていました。
MF	21	遠藤 純輝	下田小	6年生になって、四国・松山から「たちばな」に返り咲いた。LLの時の仲間達とスグに打ち解け、チームに足りなかつた司令塔、配球係として活躍。ソフトなボールタッチでのパッサーとして、また、ある時は内に秘めたファイトを前面に出してのプレーは見ていて爽やかさを感じる。チームにとっても太い芯の通ったフォーメーションができ上がった。将来楽しみなプレーヤー。
		田中 直樹	下田小	
		小澤 賢人	子母口小	
		友澤 誠也	子母口小	
		植木 陽也	下田小	
		会田 幸司	下田小	
		末次 匠吾	下田小	
		光畠 勇樹	子母口小	
		井出 宗一郎	子母口小	
		清水 貴之	子母口小	
		内田 竜二	下田小	

L 太尾招待たちばな最後の試合





L 最後の合宿で6年生全員



L 神奈川県大会



L 港北大会優勝



LL 港北大会 3 位



LL 神奈川県大会中央大会出場



SL 港北大会優勝

第30回横浜国際チビッ子サッカー大会 OBの大場さん(第11期生)と一緒に
(大場さんのサッカー経歴: 日産(JFL)→鹿島アントラーズ→柏レイル→川崎フロンターレ→現在コーチ)



試合開始直前に円陣を組んで気合を入れる

川崎フロンターレの選手と一緒に(@横浜国際総合競技場)



第35期 2003年度(平成15年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (1999年度(平成11年度))

・4月	第26回横浜市春季少年サッカー大会	3勝1負2分で1位
・6月	第15回港北区サッカー協会大会	3勝3分で予選通過 決勝トーナメント4位
・7月	GPサッカーフェスティバル2年生大会	予選4勝1分 準優勝
・10月	第31回横浜国際チビッ子サッカー大会	3勝1負1分で予選通過 決勝トーナメント初戦敗退
・11月	第3回港北区区民サッカー大会	予選5勝1負で予選通過 決勝トーナメント4位
・2月	フットサルGPカップ	予選リーグ3位 3位バート優勝

LL (2001年度(平成13年度))

LL-A	LL-B
・4月 第28回横浜市春季少年サッカー大会	5勝1負で2位
・6月 第17回港北区サッカー協会大会	決勝トーナメント2回戦敗退
・7月 横浜すみれ招待	5勝1負1分で2位
・8月 富士緑の休暇村で合宿	決勝トーナメント第3位
・10月 第33回横浜国際チビッ子サッカー大会	2勝2敗で3位
・11月 第5回港北区区民サッカー大会	—
・1月 第28回神奈川県少年サッカー選手権	—

L (2003年度(平成15年度))

L-A	L-B
・1月 第28回横浜少年サッカー大会(新人戦)	—
・4月 第30回横浜市春季少年サッカー大会	3勝3負で3位
・4月 第27回全日本少年サッカー大会	4回戦敗退
・6月 第19回港北区サッカー協会大会	3勝1負1分
・8月 富士緑の休暇村で合宿	決勝トーナメント1回戦敗退
・8月 35周年記念サッカー大会	2勝(対山王谷、篠原つばめ)
・9月 第1回三ツ池公園ちびっ子少年少女サッカー大会	—
・10月 第35回横浜国際チビッ子サッカー大会	2勝2敗
・11月 第7回港北区区民サッカー大会	3勝2負1分で3位
・1月 第30回神奈川県少年サッカー大会	2勝1負1分
	予選ブロック1回戦敗退

たちばなキッカーズ40周年おめでとうございます。

私たち35期生は、歴代の中でも6年生が非常に少なく、5人という人数でした。

本来なら、あと5人いたのですが、各自色々な理由で辞める事になってしまったのが、今でも残念でなりません。それでも残った5人という少ないメンバーで卒業まで、5年生やコーチの協力のおかげで、楽しく、がんばる事ができました。当時は、あまり何の感慨もなく、サッカーをしており、むしろ雨などで練習が休みの時は、喜んでいた事も今では懐かしい思い出です。また、たちばなには、いろいろなイベントがありますが、合宿とたちばな杯だけは、どの世代にとっても良い思いでとして今も残っているのではないでしょうか？私が6年のときは、班対抗戦で散々負けた上に、個人記録もとれませんでしたが、今となっては、それでも楽しかった良い思いでの一つになっています。たちばな杯では、毎年楽しく、熱くフットサルをした事、父兄の方々が前日から準備して作ってくれた豚汁は、本当においしかったです。

最後になりますが、たちばなでの人との出会いや数々の思い出が卒団した人数分だけあって、40周年を迎えたという事は、ものすごい事だと思います。これからも、たちばなの明るく、楽しいサッカーを大切にしていってほしいと思います。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK/DF	1、15	川辺 大地	下田小	久方ぶりの大型守護神、見るからにおおらかな性格でシンボル的存在。ゴールを死守しながらチームメイトを大声で叱咤激励して大活躍してくれた。その体格に似合わず繊細なところがあり、ドリブルやフェイントでも楽しんでいたね。足元にくるシュートの処理は今でもいささか不安が残るが、状況判断で前に出るタイミングを身に付ければもっと信頼感が厚くなる。ただ、君の声に呼応してチームメイトが答えてくれる場面が少なかったのと、君の素晴らしいハンドキックをものにできる場面が少なかったのは大変残念に思う。
DF	7	木村 晃	高田小	押しも押されぬ、たちばなの壁として君臨してくれた。今年は攻め込まれる場面が多かったので随分と忙しかったと思います。もっと自信をもって自分のプレーをすれば良いのにと思うときもありました。思いきりの良いプレーを心がけるようになってからファインプレーが多くなったように思います。謙遜するばかりでなく、もっと自分をアピールしよう。自信を持つと球筋の見極めができる、余裕のあるプレーにつながります。
MF	9	小林 悠	下田小	配球係としての役割は、周囲がよくみられるようになってから。上がるタイミングも抜群。持ち前のすばしっこさと出足で、ボールを取り返し前線への速いパスまわしでチャンスを何度も作っていた。誰よりも先にボールにさわって、確実にマイボールにし、周りを見てパスを出すという基本を十分にマスターしていた。ただパスの受け側がそれを意識していたかどうか大いに疑問が残るところであるが…。時として放つミドルレンジからのシュートも、敵の度肝を抜く効果は十分だった。早く配球係から配球士へ、やがては配球師となり司令塔を目指して欲しい。
MF	10	堀内 大夢	下田小	キャプテン。左MFとして活躍、売り物である出足の鋭さは一見に値する。敵陣に切り込んでサポートがいない苦しい場面があり、惜しいシーンが多かった。試合中にボールを追いかながら、あるいはボールを持ち込みながら、彼のつぶやき声を聞いた人がいるだろうか。納得の行くプレーが出来ている時、まるで自分に言い聞かせているような余裕のつぶやきである。時として華麗なプレーも見てくれたね、自分のアイデアで意外性を見せることが大切。どちらかというと静的で状況判断は的確、ほかのプレーヤーへの指示と自らのポジショニングを考えることにより、もっと

				成長すると思うよ。
FW	11	神谷 祐次	下田小	敵のゴール前で右に左に飛び回る君を見るとき、手に汗を握り、キックのタイミングで思わず体をよじってしまったよ。それほどのチャンスに恵まれた君の得点を増やすためには、鋭くキック、すなわち膝から下の速い足の振り。シュートコースを見極めた瞬間に放たれる速く強いシュートを常にイメージしていく欲しい。でも、怪我で泣くことも多かったね、状況判断がいまいちだったのかな。足の速さを大いに生かしてこれからも活躍して下さい。
		林 哲也	下田小	
		太田 裕介	下田小	
		守山 健二	下田小	
		園部 明	下田小	
		石永 聰	下田小	

OB の大場さん(第 11 期生)を囲んで

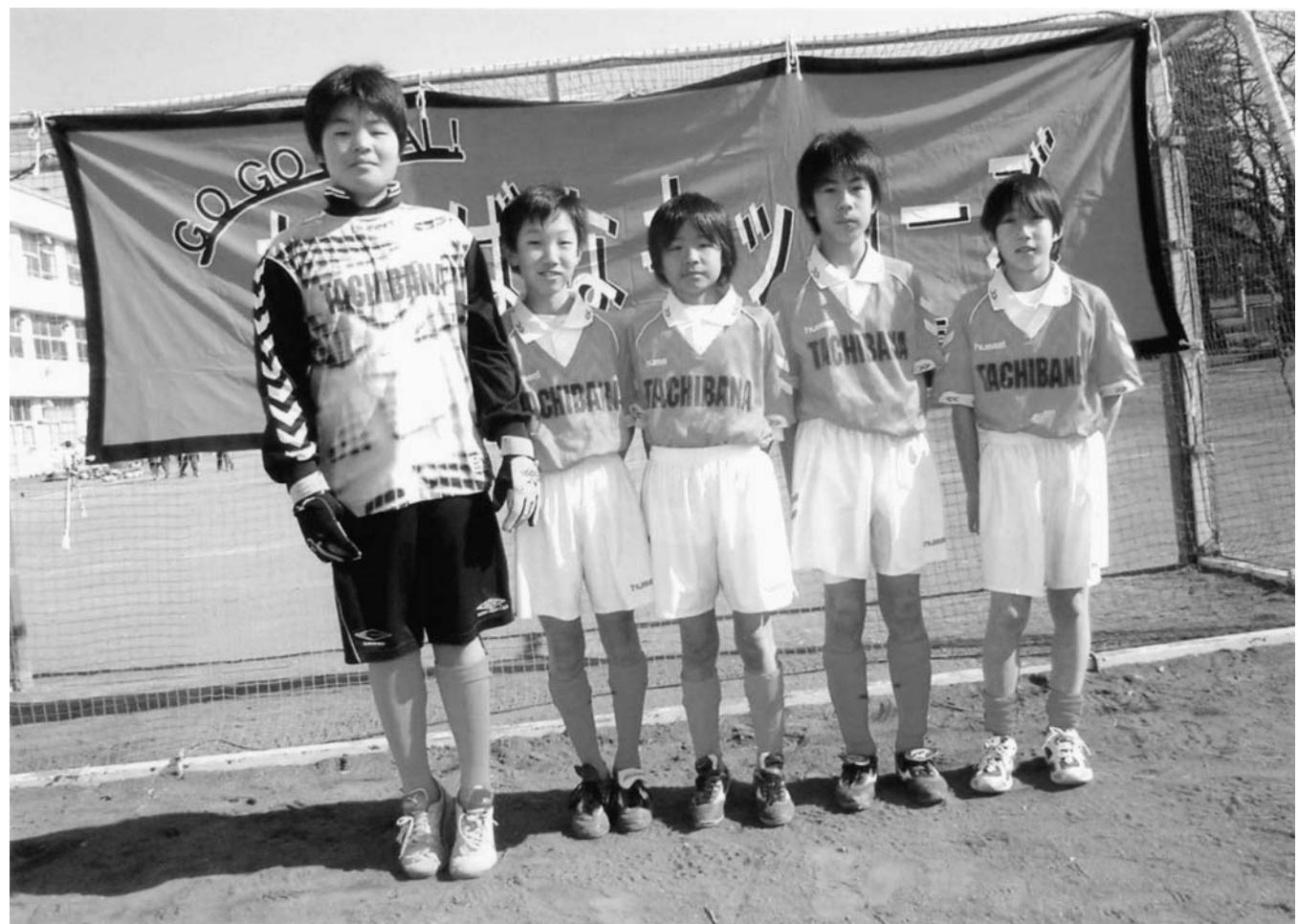


話が長いんだよなー！



SL 港北大会 4 位

LL 時代



第36期 2004年度(平成16年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (2000年度(平成12年度))

・4月	第27回横浜市春季少年サッカー大会	3勝2負
・6月	第16回港北区サッカー協会大会	4勝2負1分
・7月	GPサッカーフェスティバル	予選4勝ブロック1位
・10月	第32回横浜国際チビッ子サッカー大会	準優勝
・11月	第4回港北区区民サッカー大会	6勝で1位 決勝トーナメント初戦敗退
・2月	フットサルGPカップ	3勝1負2分で2位 決勝トーナメント4位 2勝2敗 予選リーグ3位 3位パート優勝

LL (2002年度(平成14年度))

	LL-A	LL-B
・4月	第29回横浜市春季少年サッカー大会	3勝2負1分
・6月	第18回港北区サッカー協会大会	4勝で1位 決勝トーナメント第3位
・7月	エルマーズ招待	優勝
・8月	富士緑の休暇村で合宿	
・10月	第34回横浜国際チビッ子サッカー大会	3勝2負
・11月	第6回港北区区民サッカー大会	4勝1負で2位 4負1分予選敗退
・12月	明治杯招待	3位 1勝1敗で2位 2位パート1勝1敗
・1月	第29回神奈川県少年サッカー選手権	予選ブロック決勝敗退

L (2004年度(平成16年度))

・1月	第29回横浜少年サッカー大会(新人戦)	1回戦敗退
・4月	第31回横浜市春季少年サッカー大会	4勝1負1分で2位 決勝トーナメント2回戦敗退
・5月	第28回全日本少年サッカー大会	1回戦敗退
・6月	第20回港北区サッカー協会大会	4勝1負 決勝トーナメント1回戦敗退
・8月	富士緑の休暇村で合宿	
・9月	第2回三ツ池公園ちびっ子少年少女サッカー大会	2回戦敗退
・10月	第36回横浜国際チビッ子サッカー大会	0勝4負2分で6位
・11月	第8回港北区区民サッカー大会	3勝2負で3位
・1月	第31回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック準決勝敗退

チーム紹介 第36期生 関崎 太央

40周年おめでとうございます。僕たちの学年はもともと人数が少ないながらも頑張っていました。僕たちの代が一番上の立場になる事とキャプテンと言う事のプレッシャーで大変だと思った時もありましたが、学年（チーム）は仲が良く楽しく過ごす事ができ練習の時も試合の時もどんなときでもサッカーを楽しんでやっている印象があります。そして仲間が苦しんでいる時に皆で励ましあったり大きな声を出しているチームでした。あまり良い成績は残せませんでしたが最後まであきらめない戦いをしてきました。僕たちが一番悔しい思いをしたのは区大会の予選で、あと一回勝てば決勝トーナメントに行けるかの大事な試合で惜しくも城郷Aに3対2で負けたことです。悔しくてみんなで泣いた事は今でも忘れません。

このチームで戦えた事を本当に良かったと思いました。たしかなキッカーズでの思い出は沢山あります。色々な事を経験させてもらい指導していただきました。そのおかげで今の自分があると思います。今現在僕は高校でサッカーを続けています。今でも苦しい時にたしかなチームメイトを思い出します。皆さんも楽しくサッカーを続けて欲しいです。チームメイトを大切にこれからも頑張って下さい。

メンバー紹介

背番号	名前	紹介
3	軽部 真斗	悪い意味ではなく、たまにいいボケをかまして、みんなを和ませてくれましたね。ありがとうございます。 お父さんはお元気ですか？ よろしくお伝えください。
4	八代 元気	家も近所なのでよく一緒に試合に行きましたね。 「やめろ」といったのに、キックオフシュートを決めた試合は今でもよく覚えています（笑） また見かけたら遠慮なく声をかけてくださいね。ガンバレもっくん！
5	御影 秋人	体は小さく、おとなしいイメージだが、負けん気は1人一倍、どんな時でも全力でぶつかり取り組んでました。 気分がのり、ファイトが全面に出たときは生き生きとビックリするプレーが出てました。 体力をつけて、自信を持ってサッカーを楽しんで下さい。
6	山岸 翔一	「コーチ、僕の一番悪いところは、自分に自信が無いことだね」と話していたことを思い出します。 でもそれを克服してプレーできたことも沢山あったよ。その時の嬉しかった感じをイメージして、どんなことにも失敗を恐れずチャレンジしていってください！ 誰でも初めから自信があるわけじゃないよね！
7	猪田 康夫	あまり目立たない、派手とは言えないプレー、しかし、その動き方、ボールの取り方、そのあとのパス、どれをとってもコーチ連中の評価の高かった玄人受けするプレーヤー、それが猪田君でした。あぶない！、と思うところに必ず顔を出し、相手チームの攻撃の芽を摘んでチャンスを作ってくれました。たまには上がっていって、シュートを打ってこいよ、というコーチの声は聞こえてたかな？
8	小川 雄太	キーパーからボランチからフォワードまでどんなポジションでも、コーチの言うことに「うん、いいよ」と答えてこなしてくれた、「素直で器用な」プレーヤー。そのなかでもボランチがいちばん合っていたようで、運動量は人一倍、どこにでも顔を出し、ときどきトップまで上がって行っては、ボールを取られるとトップスピードで戻ってきてディフェンスをやる姿が印象に残っています。
9	大谷 健悟	ドリブル・パス・シュートとボールタッチの柔らかさはチーム一、サッカーセンスも抜群でした。でも時折、孤立する事も度々ありました。周りとのコミュニケーションを取ればプレーの幅が広がります。自分のテクニックだけでは勝てない、高い戦術を覚えよう。
10	関崎 太央	この一年、キャプテンとしてのサッカーに集中し、チームを纏める難しさを体験しました。ゴールへ向かって走り、何が何でもシュート！「点を取る」積極性が魅力。俊敏さ、スタミナ・ファイトも最高。後はシュートの確実性、決定力をつければ「鬼に金棒」もう一段高いサッカーを目指そう。
11	林 翼	独特のリズム感でドリブルとフェイントで相手を抜いていく、相手ディフェンスのいやがるフォワードが翼君です。あのフェイントはコーチでもひつかかってしまうほどでした。センタリングだけじゃなく、切り込んで行っての右45度からのシュートも威力がありました。運動量も豊富で、ゲームではいつも真っ赤な顔で、汗をかいていました。

たちばなキッカーズ

第36期(2005年3月卒)

<チーム在籍メンバー>

軽部3 八代4 御影5 山岸6

猪田7 小川8 大谷9 関崎10 林11



第37期 2005年度(平成17年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (2001年度(平成13年度))

・4月	第28回横浜市春季少年サッカー大会	2勝4負で4位
・6月	第17回港北区サッカー協会大会	3勝1負3分で3位
・7月	GPサッカーフェスティバル	1勝1負2分で4位
・10月	第33回横浜国際チビッ子サッカー大会	4位トーナメント2勝
・11月	第5回港北区区民サッカー大会	3勝3負で3位
・1月	フットサルGPカップ2年生大会	4勝1負2分で3位
		決勝トーナメント1回戦敗退
		予選ブロック1位
		1位、2位トーナメント1勝1敗

LL (2003年度(平成15年度))

・4月	第30回横浜市春季少年サッカー大会	LL-A	LL-B
・6月	第19回港北区サッカー協会大会	4勝2負	0勝6負
・8月	35周年記念サッカー大会	5勝で1位	0勝5負
		決勝トーナメント 1回戦敗退	
・8月	富士緑の休暇村で合宿	1勝1負	1負1分
・10月	第35回横浜国際チビッ子サッカー大会	(山王谷、つばめ)	(山王谷A、B)
・11月	第7回港北区区民サッカー大会	2勝2負2分	2勝4負
・12月	明治杯招待	4勝1分で1位	5負
		決勝トーナメント 1回戦敗退	
・1月	第30回神奈川県少年サッカー選手権	1勝1敗で2位	
		2位パート1勝1敗 3位	
		予選ブロック1回戦敗退	

L (2005年度(平成17年度))

・1月	第30回横浜少年サッカー大会 (新人戦)	L-A	L-B
・4月	第32回横浜市春季少年サッカー大会	3回戦敗退	
・5月	第29回全日本少年サッカー大会	2勝2負2分で4位	2勝3負1分で5位
・6月	第21回港北区サッカー協会大会	1回戦敗退	
・8月	富士緑の休暇村で合宿	4勝2負で3位	0勝4負1分で5位
・9月	第3回三ツ池公園ちびっ子少年少女サッカー大会	1勝2負	
・10月	第37回横浜国際チビッ子サッカー大会	3勝1負2分で3位	
・11月	第9回港北区区民サッカー大会	2勝2負1分で3位	
・1月	第32回神奈川県少年サッカー大会	予選ブロック2回戦敗退	

メンバー紹介 第37期生 野田 哲司

僕がたちばなキッカーズに入団したのは、小学校4年生の夏でした。

同級生のなかで、入団したのは最も遅かったです。入団してすぐに参加した合宿で上級生や下級生

ともすぐに仲良くなれ楽しかったのを覚えています。

初めて出た大会は、秋の横浜国際ちびっこ大会で僕はフォワードで出場しました。僕たちのチームは公式戦でまだ勝ったことのないチームでした。1週目の試合は、勝つことが出来ませんでしたが、2週目の第1試合で前半右コーナーキックからのチャンスで僕がゴールした1点を守りきり、とうとう初勝利をあげることが出来ました。コーチやお父さんお母さん達もとっても喜んでくれました。佐々木コーチが初勝利を記念して選手全員の集合写真を撮ってください、写真の中のみんなはとてもいい顔で笑っていました。この写真は、僕の小学校時代の大切な宝物の一つです。

最上級生になった時、僕はキャプテンになり、ポジションもゴールキーパーになりました。最上級生で迎えた木村和司杯では、試合会場が横浜スタジアムでした。スタジアムのグランドやベンチに入ることが出来て、とても嬉しかったことを覚えています。大会ではPK戦等の接戦を勝ち抜き、横浜市でベスト32まで進出することが出来ました。

僕たちは中学受験をする仲間が多く、5月連休の大会以降、受験組は休部し5年生の多いチームとなりました。6年で残ったのは力強いドリブルのテッシー、キックがよく飛ぶヒロ、背が高くヘディングが強いヤスオ、インサイドキックがうまいコバ、トウキックが飛ぶセリちゃんと僕の6人となり、皆で頑張りましたが最後の大会も結局予選リーグを突破することが出来ませんでした。僕達はなかなか勝てませんでしたがサッカーはやっぱり楽しかったです。3月に受験組も復帰し、招待試合に15人で参加できたのは、嬉しかったです。

僕は西中でもサッカーを続け、高校でも続けたいと思っています。サッカーの楽しさを教えてくださった監督、コーチ、仲間に感謝しています。

後輩の皆さんも是非、よい思い出をたくさん作って欲しいと思います。

がんばれ！たちばなキッカーズ！

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1、33	野田 哲司	下田小	この一年、キャプテンとしてチームをまとめることがどんなに難しいかを体験しました。フィールドからGKにコンバート、GKとしては小さい方でしたが、持ち前の瞬発力で守備範囲は広く、前に出る気迫は凄いものがありました。中学校では、集中力欠けることなく、この恵まれた素質を生かして、サッカーを楽しんでください。
MF	2	植松 篤	高田小	中学受験で6年生になってからはなかなか練習、試合にもさ参加できなくなってしましましたが、試合の中で一生懸命ボールを追っかけている植松君の姿が思い出されます。たまには息抜きすることも必要です。中学に入ったら自分の思うことを精一杯頑張ってください。
MF	3	芹田 修平	高田小	練習も休まずまじめに頑張りました。走り方が重戦車のようで特徴的でした。公式戦で得点をしたときの芹田君の笑顔が忘れられません。6年生になってからは仲間が少なくなってしましましたがその中で一生懸命やっている姿は印象的です。これからも頑張ってください。
MF	4	西 康雄	下田小	サッカーをやりながら体が大きく強くなりました。キックとボールキープ力も素晴らしいになりました。ボランチとして積極的に攻撃の起点となりチャンスマイクしました。粘り強い頑張りと真面目さも素晴らしいです。もうチョット体力をつけ、個人技を磨いて視野の広い選手を目指してください。自信をもて！
MF	5	小林 亮	下田小	体に似合わずともおとなしい性格でサッカーにもそれが出ていたようです。ポジション的に難しい位置でしたがその中で一生懸命まじめに頑張っていた姿がとても印象的です。中学へ行っても

				そのまじめさを大事にしていろいろなことにチャレンジしてください。
FW	6	山岸 悠希	下田小	ガッツあるプレーは、劣勢のときチームに力をみなぎらせ、試合の流れを変えられることもある。そういう力のあるユウキは、サッカーに限らずいろんなことにもその持ち味を上手く生かしてガンバレ！ユウキ！ただし、集中は切らさないように（笑）
DF	7	加納 凌	下田小	試合中に時折みせるセンスの良さは、持ち前の運動神経の良さでしょう。LL 時代に L の試合に助っ人で来てくれた時、右サイドからのセンタリングにドンピシャで反応！久しぶりに見た美しいヘッドでのゴールは今でもハッキリ記憶しています。これからも練習で益々磨きをかけてください。
MF	8	笛原 章生	高田小	真面目で一生懸命な練習態度は、いつも感心していました。試合のときのモチベーションも高く、集中力もある MF として活躍していました。意地もあるので、取られたボールは取り返す！責任感のあるプレースタイルは任せて安心です。これからもその精神は忘れずに！
FW	9	手代木 凌	下田小	FW と DF どちらでもやれる。GK として B チームの「助っ人」、頼れる選手。時にはびっくりするようなファインプレーが出る。いつも目の前のこと全力でぶつかり、ファイトも充分。良いプレーを見て盗んで、サッカーセンスを身に付けて下さい。ワンタッチ目を大切にするためにもリフティングを練習しましょう！
MF	10	徳永 昌也	下田小	サッカーに対する熱い思い、誰よりも負けず嫌いな性格が、今後キミの人生に大きな力となって役立つことでしょう。負け試合のあと、悔しさあまりに涙をこぼしていたその気持ちを大切にして、今後幾多の苦難があった時も、力強い熱い思いを持って取り組んで下さい。そんなこだわりがキミを成長させていきます。
DF	11	新岡 弘和	下田小	右足でのインステップキックはチームで一番。ロングスローでは再三チャンスをつくる。ボールを優しく扱えるようにもつとリフティングを練習しましょう！左足でもボールを扱えるようになり、ディフェンスの意識を身に付ければ攻撃力にも幅が出来ます。プロの試合をよく見てサッカーセンスを身につけ磨いてください。
DF	12	伊藤 亘	下田小	物事にまじめに取り組む姿勢がキミの持ち味です。サッカーに対するまじめな姿勢は新鮮に伝わっていました。それゆえに B チームのキャプテンという大役が務まったのだと思います。物事に真剣に取り組む謙虚な姿勢をいつまでも忘れずに、何事にも一生懸命な気持ちを持ち続けて下さい。
MF	13	遠山 義明	下田小	パスをもらいドリブルする姿を忘れません。体が小さく、おとなしくて、目立たない存在でしたが、黙々と練習する姿勢に秘める闘志は素晴らしいです。後は体力を付け、自信を持つことです。スペースに動いてボールを受ける事を覚え、1対1の勝負をしてください。中学校では思い切り楽しいサッカーをして下さい。
FW	14	森 一史	下田小	シュートを決め、喜んでいる君の顔を忘れない！得点のにおいを感じ取る力は「ピカイチ」。一生懸命ボールを追いかけ、声を出して頑張っていました。時折、味方のドリブルコースを塞いだり、味方同士で衝突もしていました。周りを良く見て空いたスペースに動く事を習得して下さい。「笑顔」を忘れずにサッカーを楽しんでください。
FW	18	秋山 駿	下田小	どこのポジションでも任せられました。身体のバランスが良く、周りを見ての状況判断は素晴らしい、いい動きでした。身体を使って果敢にボールを奪い、冷静さと激しさを持ったプレーが魅力的でした。「頭はクールに、心は熱く」そのものです。中学校ではボールに親しみ、個人技を磨き、サッカーを楽しんでください。
		内山 慎也	下田小	
		峰 慶樹	下田小	
		池上 耕太郎	下田小	
		柏井 直樹	下田小	





第38期 2006年度(平成18年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (2002年度(平成14年度))

- ・1月 フットサルGPカップ1年生大会
(2001年度)
- ・4月 第29回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第18回港北区サッカー協会大会
- ・7月 GPサッカーフェスティバル2年生大会
- ・10月 第34回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第6回港北区区民サッカー大会
- ・1月 フットサルGPカップ2年生大会

SL-A SL-B

- 予選ブロック2負1分
- 3位、4位トーナメント1勝1敗
- 0勝6負で7位 —
- 4勝2分で2位 —
- 決勝トーナメント1回戦敗退
- 予選2勝1負で2位 —
- 1位、2位トーナメント2敗
- 3勝1負2分で2位 —
- 決勝トーナメント1回戦敗退
- 4勝1分で1位 0勝5敗で6位
- 決勝トーナメント1回戦敗退
- 予選2勝1分で1位
- 1位、2位トーナメント2敗

LL (2004年度(平成16年度))

- ・4月 第31回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第20回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・10月 第36回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第8回港北区区民サッカー大会
- ・12月 明治杯招待
- ・1月 第31回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A LL-B

- 4勝2分で1位 1勝5負
- 決勝トーナメント1回戦敗退
- 4勝1負1分 0勝6負
- 3勝2負1分 1勝5負
(抽選)で2位
- 決勝トーナメント1回戦敗退
- 4勝1負1分で2位 0勝5負
- 決勝トーナメント4位
- 3位パート準優勝
- 予選ブロック2回戦敗退

L (2006年度(平成18年度))

- ・1月 第31回横浜少年サッカー大会(新人戦)
- ・4月 第33回横浜市春季少年サッカー大会
- ・5月 第30回全日本少年サッカー大会
- ・6月 第22回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・9月 第4回三ツ池公園ちびっ子少年少女サッカー大会
- ・10月 第38回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第10回港北区区民サッカー大会
- ・1月 第33回神奈川県少年サッカー大会
- ・2月 大豆戸卒業杯

L-A L-B

- 2回戦敗退
- 2勝4負で5位 5負で6位
- 3回戦敗退
- 3勝2負予選敗退 6負予選敗退
- 1負2分予選敗退
- 2勝1負3分で4位
- 5勝で1位
- 決勝トーナメント4位
- 予選ブロック1回戦敗退
- 優勝

メンバー紹介

第38期生 伊藤 圭祐

僕たち38期生は、たちばなキッカーズ創立以来、初の女子卒団生を含む、19名のメンバーで卒団しました。

ちょうど僕たちがSL2年生の時に、2002年日韓共催ワールドカップが開催され、サッカーブームの波に乗って多くのメンバーが入団しました。数名は途中でやめましたが、結果的には19名という大所帯でがんばってきました。今でもほとんどのメンバーがサッカーを続けています。

僕は、LL、Lと2回キャプテンをやらせてもらいました。最初は不安ばかりでしたが、みんなで楽しくサッカーをしていたので、その不安はいつの間にかきえていました。

幼稚園生のころからサッカーをやっていた僕が、たちばなに入ったのは2年生の頃でした。幼稚園の頃は、まだ本気でサッカーをやってはいなかったのですが、たちばなにはいりサッカーの楽しさを知り本気で取り組むようになりました。

さて、僕たちの代の成績ですが、公式戦では予選リーグは突破するのに、決勝トーナメントでは早々に敗退し、悔しい思いをすることが多かったです(PK負けが多かった…。)

4年生の時の区大会では、強豪だった大豆戸FCを倒し3位決定戦まで進みました。

しかし、3位決定戦では、PK戦負けという悔しい負け方をし、みんなで涙しました。

あと、4年生のときの市大会ではくじ引きで決勝トーナメント行きを決定するという驚きもありました。

6年生になってからは、受験のために主力メンバーをかきながらも残ったメンバーでがんばり、区大会では4位という結果を出しました。

そして、メンバー全員がそろい、曾田前監督がいらしてくれた最後の大豆戸招待杯では、優勝!!、太尾招待杯では、準優勝!という結果を出せました。この結果が最後に出せたのがとてもうれし僕たちもやればできるという思いを残せることができました。

練習、試合、夏の合宿、たちばな杯etc…いろいろなことがありました。たちばなでの5年間は本当に楽しかったです。

たちばなキッカーズ創立40周年、本当におめでとうございます。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
GK	1、31	藤野 大貴	高田東小	LになってからGKを任せられ「たちばな」の守護神として活躍してくれました。チームとしてはなかなか良い成績は残せませんでしたが、その中で最少失点で抑えて勝利したゲームも多々ありました。また反面、集中力に欠けたプレーで失点したケースも何度かありました。気持ちの持ち方でプレーに差が出ることを覚えてもらいたいと思います。特にGKはそれが失点に直接にむすびつくからね!たちばなは卒業するけど、仲間はこれから藤野君にとって大きな財産になるよ!!
DF	2	小出 大	高田東小	「小粒でびりりと辛い」という言葉がぴったりのプレーを見せてくれました。大きな相手にも臆せず当っていく姿はみんなをとても勇気付けてくれます。そういう献身的なプレーが失点の少ないチームにしてくれました。たちばなでのサッカーは楽しかったですか?楽しかったのならば、それは良い仲間がいたからです。いつでも遊びにこいよ!皆で待っているよ!!
DF	3	田中 翔太	下田小	「タナ」は5、6年生になってからいい持ち味を発揮してくれました。体も大きくなって相手に対して当たり負けなくなったり、安定したディフェンスでチームに貢献してくれました。なんと言

				っても「タナ」の魅力は、バックから足を活かし攻撃に参加できることです。そんなプレーが出たときは見ているものに興奮と感動を与えてくれます。まだまだ伸びる選手です。中学でもぜひサッカーを続けてください。
MF	4	菅原 拓也	下田小	「タクヤ」は LL・B のキャプテンも経験し良く皆の面倒も見てくれて本当にコーチとしても助かりました。体は小さいけれどボールをコントロールしてドリブルで相手を抜くテクニックも身に付けました。ボールを持ったときの体のバランスがとてもいい選手と思います。ボールに寄り過ぎること、フェイントが相手に近過ぎること、もっとゲーム全体が見ればどこにパスを出せば効果的なのか、自分で抜くのがいいのか、パスがいいのか、の判断も出来たかと思います。まだまだ伸びる素質を持っています。頑張ってください。
MF	5	新保 和輝	下田小	6年生になってバックのポジションになったあたりから、新保君のいいところが出来るようになったと思います。ボールに対する勘所のよさ、相手をかわしてドリブルで前方へ上がる強みが新チームのスタイルを作りました。低学年のときは自分の思うプレーが出来なかったときにはふてくされていましたことが懐かしく思い出されます。支えてくれた仲間、家族に対して感謝しましょう！！
MF	6	尾関 大海	下田小	練習を休まず、苦しくてもへこたれずにもくもくと頑張っている姿が印象的です。サイドからの攻撃が出来るようになり、尾関君のプレースタイルとなりました。ボールコントロールをしっかりと、ゲームの流れを読む勘を更に養ってください。ここまで一緒に頑張ってきた仲間と、支えてくれた家族に対して感謝することを忘れないように！！
MF	7	佃 康平	下田小	チームの司令塔としてボールコントロール、キープ力ともに抜けた能力の持ち主です。箕輪が抜けたところで負担が大きくなり、その持味をなかなか発揮できない時期もありましたが、良く頑張ってくれました。いつもボールと遊んでいる姿が印象的で、その効果がリフティング記録となりました。みんなにも真似をしてもらいたいところです。中学でも是非頑張って続けてもらいたいな！
FW	8	佐々木 智仁	下田小	6年の夏からは受験で「たちばな」を休会したけれど、2月には復帰してくれてコーチも嬉しかったです。4年から5年にかけて技術的にとっても伸びました。サイドでボールを受けてゴールラインまで切り込んでのパスやシュートは「トモ」の一つのプレースタイル、持味になりました。コーチの話もしっかりと目を見ながら聞く姿勢が出来ていました。これからも「たちばな」の仲間を大切にね！
MF	9	箕輪 達秀	高田東小	「ミノ」は小さいときからサッカーが好きでお兄ちゃんの試合もずいぶん観戦していたね！！頑張りやで一人でも黙々と練習するタイプです。高学年になって体も大きくなり、その体をうまく使うプレーも出来ていたし、テクニックも覚えて攻守そろったまさにチームの要でした。中学でも是非サッカーを続けてもらいたいとコーチは思います。お兄ちゃんとはまた一味違ったいいプレイヤーになれるよ。ガッバレ！！「ミノ」
DF	10	伊藤 圭祐	下田小	「ケイスケ」キャプテン、本当にご苦労さんでした。圭祐の頑張りでチームもまとまり、どうにか最後の方でそれらしい試合が出来るようになりました。得点の取れないチームだったけど、相手に得点を与えるかったのは圭祐の頑張りとコーチは頭が下がります。LL からはバックのポジションが多くなってしましたが、どのポジションでもやっていける能力を持っているとコーチは思います。そのためには、もっとボールと仲良くならないとダメだよ！！ボールコントロールが大切。ドリブルとリフティングをしっかりやろう！！
MF	11	市村 拓弥	下田小	「イチ」のゴール前への飛び出しは SL のときから素晴らしいものがありました。それはサイドでの動きでも同じことが言えます。そのスピードをもっと活かすための努力が必要だったね！出されたボールへのファーストタッチの大切さ、「ここにでてくるはず」というゲーム勘を養うことが重要です。「たちばな」で楽しく、自由にサッカーが出来たと思います。もっともっとサッカーが好きになってもらいたい。
GK	12	澤田 祐麻	下田小	練習にまじめに良く通ってくれました。B チームでのキャプテンも努めいい経験になりましたね！何よりたちばなで楽しくサッカーが出来たのではないかと思います。「ユウマ」にはもっともっと

				サッカーが上手くなりたいという気持ちと、それに向かって一生懸命頑張るということが必要かなと思います。これはサッカーだけではなく全てのことに通じます。いろんなことにチャレンジしてください。
FW	13	山本 夏輝	下田小	いつもニコニコ明るく楽しそうにサッカーをしていました。技術的には経験も浅かったので他の仲間に比べられませんが、練習にもしっかりと出てきているし頑張ってくれました。たちばなで出来た仲間はこれから「ナツキ」とってとっても大事な財産です。これからも仲良くやっていってください。
FW	14	春山 良太	下田小	たちばなへの入会が5年からで、サッカーのほうは短い期間でしたが自分の出来ることを一生懸命取組んでいました。その結果が2月12日の練習試合での2得点に現れました。コーチはとても嬉しかったです。「ハル」はしっかり走れるので中学ではその辺を活かしたプレーヤーを目指してもらいたいと思います。
MF	15	磯 恭平	下田小	受験組みで6年生になってからはほとんど「たちばな」への参加が出来なくなってしまったね！体は小さいけどガッツ溢れるプレーはコーチの記憶にしっかりと残っています。特に前線での得点チャンスを感じ取る勘とプレー、飛び出しのスピードは他のだれも持っていない「磯」の持ち味です。ただ、スライディングが目立ったね！ぎりぎりのところでプレーしているから体勢的に余裕がなく、ボールへ飛び込む格好になっていました。「たちばな」は卒業しますが、ここまで頑張ってきた仲間はこれからも大切にしてください。
DF	16	小山 裕美	下田小	6年間よくサッカーを続けてくれました。男子ばかりの中でいつまで続くかと心配していましたが、逆にその男子を引っ張ってくれたのが「ヒロミ」だったようです。低学年のときは男子を引連れてたちばなに来ていたような記憶があります。プレーのほうも相手を怖がらず、しっかりととしたディフェンスが出来ていたし、相手をかわしてドリブルからパスへの連携も出来るようになりました。女子では初めての卒業生になるのかな？がんばったね！
MF	17	田島 泰希	下田小	「タジ」は4年生の後半あたりから成長痛のためサッカーが出来ない状態になってしまって本当に残念でした。もし成長痛が無ければこの代のチームにとって無くてはならない存在になっていたでしょう。ボールを持ってドリブルしたときのスピードと体のバランスがとても良い選手でした。サッカーに対してまじめに取組む姿勢と性格的にはおとなしそうでガッツ溢れるプレーはこれから「タジ」に健となって成長してくれるものと期待しています。
FW	27	石井 俊介	下田小	「シュンスケ」は6年の途中からたちばなの仲間に加わり、天性の足を活かしたプレーには目を見張るものがありました。相手ディフェンスを抜くときは見ているものを興奮させる魅力があり、左右からのシュートも迫力充分です。「シュンスケ」にはもっともっとサッカーを好きになってもらいたい。親からもらった大きな体を充分に活かしたプレーを自信を持ってやってもらいたいです。課題はキックの正確性、長身を活かしたヘッディング、ボールコントロールを身に付けよう！
GK	30	菅原 幹貴	下田小	「モトキ」は5年からたちばなを休会し受験に頑張ったようでその成果もきちんと出しましたね！ガッツあふれるプレーでみんなに勇気を与えてくれました。キーパーではナイスセービングをしたり、フィールドでも気迫のこもったドリブルからシュートまでコーチの記憶にしっかりと印象づけてくれました。受験が終わって久しぶりにたちばなに復帰した姿を見たとき、とても嬉しかったです。たちばなの仲間と共にまた元気な姿を見せてほしいと思います。
		佐藤 優樹	下田小	
		阪本 健太郎	下田小	
		吉田 圭佑	下田小	
		濱本 憲佑	下田小	

2007/3/4 卒団式



コーチ
ありがとう



大豆戸卒業杯優勝



曾田さんと



たちばな杯



合宿





SL 時代



第39期 2007年度(平成19年度)卒業生

シーズンレビュー

SL (2003年度(平成15年度))

- ・1月 フットサルGPカップ 1年生大会
(2002年度)
- ・4月 第30回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第19回港北区サッカー協会大会
- ・10月 第35回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第7回港北区区民サッカー大会

SL-A SL-B

- | | |
|------------------|---------|
| 予選ブロック 1勝2負 | |
| 3位、4位トーナメント 1勝1敗 | |
| 2勝2負2分で4位 | — |
| 4勝2負1分で3位 | — |
| 決勝トーナメント 1回戦敗退 | |
| 1勝4負1分で5位 | — |
| 3勝2負で3位 | 0勝5負で6位 |

LL (2005年度(平成17年度))

- ・4月 第32回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第21回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・10月 第37回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第9回港北区区民サッカー大会
- ・1月 第32回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A LL-B

- | | |
|---------------|---------|
| 2勝3負1分で5位 | |
| 3勝1負2分で3位 | 5負1分で7位 |
| 5勝1分で1位 | 6負で7位 |
| 決勝トーナメント ベスト8 | |
| 4勝2負で3位 | 2勝4負で5位 |
| 予選ブロック 1回戦敗退 | |

L (2007年度(平成19年度))

- ・1月 第32回横浜少年サッカー大会 (新人戦)
- ・4月 第34回横浜市春季少年サッカー大会
- ・5月 第30回全日本少年サッカー大会
- ・6月 第23回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・9月 第5回三ツ池公園ちびっ子少年少女サッカー大会
- ・10月 第39回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第11回港北区区民サッカー大会
- ・1月 第34回神奈川県少年サッカー大会

L-A

- | | |
|--------------|--|
| 2回戦敗退 | |
| 3勝2負1分で3位 | |
| 1回戦敗退 | |
| 1勝3負2分予選敗退 | |
| 1勝2負予選敗退 | |
| 1勝5負で6位 | |
| 3勝3負で2位 | |
| 決勝トーナメントベスト8 | |
| 予選ブロック 1回戦敗退 | |

メンバー紹介 第39期生 岡村 健太郎

僕たち39期生はSLの時からずっとメンバーの出入りが多く、また人数もぎりぎりでやってきました。サッカーで必要な闘志型のチームというよりよく言えばクールなチームです。そんなプレーをよくコーチに注意されたり、また楽しく指導してもらったけどなかなか思うようにいきませんでした。厳しい試合が多く勝つことの経験はあまり味わえませんでしたが、他のチームとサッカーを通してよい交流ができました。とはいってもチャンスもありました。港北大会も決勝トーナメントまで進むことができたし、4年生の時には市大会ベスト8に入りみんなで喜び合うこともできました。6年生の時には9人という寂しい人数の中で6人が受験で抜けてしまい、キャプテン不在のチームとなって

しまいましたが残った3人で協力しあってチームを盛り立ててくれました。39期生は個性豊かな仲間の集まりで、時々けんかすることもあったけど、それぞれが自分らしさを發揮し、6年間楽しくやってこれました。中学になってサッカーをしているのは半分くらいだけど、みんな運動部に所属して頑張っています。たちばなキッカーズで教えてもらった“サッカーを楽しむ”、“仲間の大切さ”はこれから僕たちの生活の中でも活かしていきたいです。

グランドでは僕たちのことそっちのけ？のお母さん達の笑い声や、試合中コーチやお母さん達の“たちばな集中～！！”は忘れません。

たちばなキッカーズ40周年おめでとうございます。これからも僕たちがいつでも行きやすいキッカーズでいてください。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
	2	松原 崇紀	つづきの丘小	4年生の国際チビッ子では、飛び抜けた身体能力で難しいシュートを次々と決め、チームのベスト8進出の立役者になりました。最後はケガで試合に出れなかったけど、早く治してまたあのプレーを見せに来てください。楽しみにしています。
	3	関口 龍樹	つづきの丘小	クールなキャラながら、果敢にサイドを駆け上がり多くのチャンスを作りました。太尾招待戦でも右サイドでゲームの起点を作り、得点チャンスをいくつも演出しました。中学も近くなので、いつでも遊びにきてください。
	4	広瀬 燐喜	下田小	6年春の県大会で味方FWの決定的なシュートの前に勢い余って飛び込んでしまい、見事にクリアしてしまったことが今でも強烈に印象に残っています。（＾＾； 得点をとるために一生懸命に走りすぎましたね。一番遅れて入部したにも関わらず持ち前の明るいキャラでチームを大いに盛り上げてくれました。
	5	西 健裕	下田小	もともと才能があるのに、その優しい性格のせいか、おとなしかったプレースタイルが6年の後半にガラッと変わりました。最後の太尾招待では、スピードに乗った強引なドリブルと強烈なフリーキックで試合を熱くしてくれました。
	6	岡村 健太郎	下田小	一見おとなしめの岡っかはご両親に似てとても楽しいナイスキャラ。数々のエピソードは立派に残してくれました。4年の時はディフェンスラインを統括し、多くのピンチを救ってくれました。6年最後の合宿で後輩たちを巧みにリードし勝ち取った優勝は今でも忘れられません。
	7	大谷 和也	下田小	強引ともいえるドリブルを最後の太尾招待でも存分に見せて観客を魅了してくれました。ドリブルのタイムトライアルでは、伝説のたちばな記録を塗り替え、記録会では区のナンバーワンに輝きました。自分で目標をたて、きっちり取り組んで結果を出せるところが凄いね。
	8	小澤 卓也	下田小	4年生の時は、キャプテンとしてリーダーシップを發揮し、チームを市大会のベスト8に導きました。また、サッカースクールで知り合った友達をたくさんたちばなに連れてきてくれました。数々の大事な試合で見せた柔らかいボールタッチとみごとなボディーバランスで相手を優雅に抜いていくドリブルは圧巻でした。
	9	飛田 将晃	下田小	去年のゼブラ杯の山王谷戦で決めた左サイドからの強烈なミドルシュートと先日のコーチチームとの対戦で決めた鮮やかなボレーシュートが鮮明に印象に残っています。6年生の後半は、受験で抜けた仲間に変わり立派にチームのリーダーシップを取ってくれました。
	11	鈴木 竜平	下田小	
	12	鶴野 勝利	下田小	試合に練習に常に全力プレーで臨み、熱くチームを引っ張ってくれました。太尾招待の試合でも、不動のボランチとしてガッツのある汗かきプレーと、広い視野でディフェンスラインのピンチまでカバーするいぶし銀のプレーを随所に見せてくれました。

				夏の合宿でもキャプテンとしてチームをみごとに統率しました。
		外島 淳太郎	日吉台小	
		横須賀 天紀	下田小	
		佐伯 照	下田小	
		横須賀 敦至	下田小	
		大宮 健吾	下田小	
		細谷 敏資	日吉台小	
		大江 修平	下田小	
		湯浅 智貴	高田小	
		石崎 健太	下田小	
		久染 健	日吉台小	
		塚原 達也	下田小	
		野呂田 優也	下田小	

第39期生





たちばな雑感 ～たちばなの魅力～

フリーコーチ
小林 徹

当時、小学1年生になったばかりの長男をどこのチームに入れようかと、土日のたびにあちこちのチームを見学に行き、話を聞き、クラブ見学の日々を過ごしていたのを思い出します。

でも結局「たちばな」を選んだ理由は、コーチが押さえつけたり、型にはめるのではない自由なサッカーをやらせてもらえそうだったからだと記憶しています。その後、堀内コーチに勧められ、縁あってたちばなのコーチを始めましたが、ほんとに楽しい時間が過ごせました。

楽しくなければ続けられない、続けることができるから次第に上手くなる、上手になると自信が出る、更に上を目指すというポジティブな感覚をつかませようと、ありとあらゆる教本を読んだり、独自でアレンジしたり、とにかく子供たちが真剣になれて、時には笑顔になれるように「楽しい練習」を通勤時や入浴時にさえ考え続けていたと思います。子供はそんな単純なほうが解りやすくて続けられるんじゃないかなと考えます。また、お母さん方は、明日の試合のために息子のウェアを洗濯したり、お弁当の用意をすることを少しも「苦」と思わず、お父さんは車出しを頼まれて、たまの休みでも早起きして車内をせっせと掃除する。たちばなは、子供が主役ということが「うたい文句」ですが、実は応援されるご家族も、コーチもみんながある意味「主役」であると思いますし、いつの時代も変わるものではない大切なことだと思います。

また、サッカーで大切なコミュニケーションですが、まず、練習や試合で声が出せない子供が今も昔も多くいることは事実だと思います。コミュニケーション不足から大人でもいろいろなトラブルが起きますし、子供たちも練習中に静いを起こしているのを、よく注意したことがあります。やはり大人がお手本を示すのが一番かと思います。実際コーチが、「声をだせ！」と言うより、コーチ自身が大きな声を出していると、自然に子供たちも声が出てくるようになります。

家庭でも同じことが言えると思います。みんなで大きな声で元気に挨拶して明るく楽しく過ごしたいものです。

最近は仕事などのため、ほとんど顔を出していないのですが、先日久しぶりに練習に行ったときに見た子供たちの真剣な顔と、笑顔、汗を見て、「たちばな」でやってきた喜びを感じました。最初は原稿を書くのをためらったのですが、いまだからこそ何かお手伝いできるのではないかと思い、つまらない話ですが書かせていただきました。

このたびは40周年を迎える、本当におめでとうございます。

これからも、サッカーが大好きで、人にやさしく、明るい元気な子供たちがたくさん育つチームとして、また精神面だけでなく、技術的にも素晴らしいプレーヤーが一人でも多く生まれるよう楽しみにしております。

たちばな雑感～40周年に思うこと～

LL担当コーチ
佐々木 勝幸

たちばなキッカーズ創立40周年おめでとうございます。

下田小学校を中心とした、地域に根ざしたサッカーチームとして40年間チームを継続することは関係する方々の大変な苦労があったればこそと改めて思う次第です。一貫した指導方針の下、子供たちが主役のたちばなキッカーズが今後もますます発展していくことを節に願っているひとりです。

サッカーの経験のない私が、たちばなキッカーズのコーチを担当させていただいたきっかけは、息子の試合の応援や合宿に参加させていただいた折、永田元代表に声をかけられたことによります。以来12年間、自分自身よく続いたな！と思います。30周年の時は、まさか自分が40周年の時に「たちばな」にまだ所属しているなど思いもしなかったことです。が、その当時の主だったコーチが今も現役コーチとして、また、会の運営にいろいろな面でサポートしていただいていることは尊敬すべきことです。このあたりが40年間会を継続できた理由なのではないかと思います。

たちばなキッカーズの良さは、「子供たちが主役」で“自由に”、“明るく”、“楽しく”サッカーが出来ること。小学生でサッカー燃え尽き症候群にさせない、将来サッカーを継続する基礎段階としてクラスごとに技術目標を定め、未来への橋渡しとしての役割を果たすことを目的としていることだと思っています。

夏の合宿などは、まさに子供たちが主役の、自主性を育てる場となっています。高学年の子は下級生の面倒を見る。対抗戦では優勝目指して自チームの戦略をたてる。お楽しみ会ではパフォーマンスにより合宿を盛り上げる。毎年上級生から下級生へと引き継がれてき「たちばな」の良き伝統となっています。

話は変わりますが、仕事の関係である会社の営業の方とお話をする機会があって、世間話のなかで、佐々木さんは日焼けしているが、なにをしているのか？と言う話題になって、“実は地域の少年サッカーのコーチをしているんです。”といいましたら、その営業の方も小学校時代サッカーをやっていて5年生の時九州へ転校したそうです。その後もサッカーを続けて、筑波大学のサッカー部でも活躍した経験があるとのことでした。よくよく聞いてみると、なんと、たちばなキッカーズに在籍していたそうで当時のコーチのことを懐かしそうに話していました。また、その当時とっても楽しくサッカーをさせてもらったことが記憶に残っているそうで、それが大学までサッカーをやる原動力になったそうです。この話を聞いた時、たちばなの理想とする目標が達成されているんだなとうれしく思いました。また、現在も進行形でたくさんのたちばなOBがそれぞれの目標に向かってサッカーを続けていると思います。我々みんなで応援したいと思います。 ガンバレ！！ “たちばな”

更なる飛躍へ (40期～46期)

創部から40年、日本全体でサッカーの人気は不動のものになりました。2002年には日韓共催でアジア初のワールドカップ開催、その大会で日本代表チームは初の決勝トーナメント進出を果たしました。その後のドイツワールドカップにも出場し、日本代表はワールドカップの常連へと成長していきました。Jリーグのクラブレベルでの発展も目覚しく、浦和レッズが2007年、ガンバ大阪が2008年にACL(アジアチャンピオンズリーグ)で優勝し、クラブ世界1決定戦であるトヨタカップ(世界クラブ選手権)出場を果たし、両チームとも第3位となりました。日本人選手の海外での活躍は続き、中村俊輔がスコットランドプレミアリーグ セルティックで優勝に貢献するなど、世界レベルで活躍する人材を排出しています。

たちばなキッカーズは子供を主役としたサッカーの伝統を維持しつつ、更なる飛躍へ向け走り出しました。

21世紀を担う少年・少女達の戦績、チームカラーを振り返ってみましょう。

第40期 2008年度(平成20年度)卒業予定

シーズンレビュー

SL (2004年度(平成16年度))

- | | | |
|------|------------------------------|----------------------------|
| ・1月 | フットサルGPカップ 1年生大会
(2003年度) | 下位パート準優勝 |
| ・4月 | 第31回横浜市春季少年サッカー大会 | 2勝2負1分で2位
決勝トーナメント1回戦敗退 |
| ・6月 | 第20回港北区サッカー協会大会 | 5勝1負1分で1位
決勝トーナメント3位 |
| ・10月 | 第36回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 3勝3分で3位 |
| ・11月 | 第8回港北区区民サッカー大会 | 5勝2負で3位
決勝トーナメント1回戦敗退 |
| ・1月 | フットサルGPカップ 2年生大会 | 1/2位トーナメントベスト8 |
| ・2月 | 第6回横浜すみれカップ | 優勝 |

LL (2006年度(平成18年度))

- | | | | |
|------|------------------------|---------------------------------|----------------------|
| ・4月 | 第33回横浜市春季少年サッカー大会 | LL-A | LL-B |
| ・6月 | 第22回港北区サッカー協会大会 | 3勝3負で4位
5勝1負で1位
優勝 | 3勝1負2分で3位
1勝4負で4位 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | 4勝1負1分で2位 | 5勝1負で2位 |
| ・10月 | 第38回横浜国際チビッ子サッカー大会 | A・B共決勝トーナメント1回戦敗退 | |
| ・11月 | 第10回港北区区民サッカー大会 | 6勝で1位
A:優勝 | 4勝1負1分で2位 |
| ・12月 | 明治杯招待 | B:決勝トーナメント1回戦敗退 | |
| ・1月 | 第33回神奈川県少年サッカー選手権 | 2位パート2敗 | |
| ・2月 | 第23回駒林カップ(4年の部) | 予選ブロック決勝敗退
優勝 | |

L (2008年度(平成20年度))

- | | | |
|------|------------------------|--------------------------------|
| ・1月 | 第33回横浜少年サッカー大会(新人戦) | L-A |
| ・4月 | 第35回横浜市春季少年サッカー大会 | 3回戦敗退 |
| ・5月 | 第31回全日本少年サッカー大会 | 4勝1負1分で2位 |
| ・6月 | 第24回港北区サッカー協会大会 | 決勝トーナメント1回戦敗退
予選トーナメント準決勝敗退 |
| ・8月 | 富士緑の休暇村で合宿 | 4勝1負で2位
優勝 |
| ・9月 | たちばな40周年記念大会 | 3位 |
| ・10月 | 第40回横浜国際チビッ子サッカー大会 | 4勝3負1分で4位 |
| ・11月 | 第12回港北区区民サッカー大会 | 1勝2負1分予選敗退 |

メンバー紹介

第40期生 秋葉 裕介の母（秋葉 祥子）より

伝統あるたぢばなキッカーズの記念すべき40周年のこの年に、第40期生として卒団できるこの学年は、大きな節目に活動することができた、恵まれた子供達だと思います。昨今ビジネスライクなスクールが盛んですが、地域の中に根付いているたぢばなだからこそ、代々のコーチのみなさまのつながりがあり、保護者の方々もまた繋がって、子供達がまるごと受け入れられ支えられ、のびのびと成長できているのだと実感することができます。

小学校に入って間もない1年のころは、試合のハーフタイムにコーチのお話を聞いているときさえも、いつの間にかグランドの土に絵を描き始めたり、砂をいじって目に入ってしまったり、試合で行つた他の学校の花壇の木の支えに登ってぐらぐらさせたりとちょっと目を離すと危ういこともありました。サッカーをするのが楽しいのか、友達とじゃれて遊ぶのが楽しくてグランドにいるのか分からぬようなころもあったように思います。GP戦では寒中の早朝集合にびっくりし、七輪に暖をとりながらカップめんをおいしく食べたことも今は懐かしく、実は親たちが楽しませてもらった6年間でもあったと思います。

LLになると、子供達はサッカーに対して本当に楽しそうに取り組むようになり、試合を楽しみ一戦一戦うまくなつていったように思います。相手が強いといい試合をし、それぞれが必死に走る姿を見て感動する機会も多くなりました。県大会低学年の部の予選ブロック最終戦でマリノス横浜に負けた試合の悔しさも次への励みになりました。

チームとしての力がまとまり、下の学年に助けられ、4年生の時にはLLの港北区大会で春秋連覇することができました。特に、秋の決勝はPK戦になり5人では決着がつかずもつれこみどこまで続くのか…と、蹴っている子供達よりも見ている親の心臓がバクバクしていたように感じたことも忘れられません。なかなか勝てない悔しさも味わいつつ、6年で再びLの春の港北区大会で小机競技場で優勝することができたのも本当によい思い出になっています。

チームのひとり一人が個性的で、プレーでも得意な分野がひかる子供達です。どんな相手にもひるまずぶつかっていく守りのスペシャリスト、キープ力抜群で攻撃にも参加する中盤、俊足で走りぬける前列、鋭いキックでゴールを狙う攻撃陣とバランスの取れたメンバーが強みの学年です。6年の夏からは例年以上に多くの子供達が受験生としても果敢にチャレンジしています。受験をする子もしない子も、そういうお互いを尊重できる関係であったのが誇りでもあります。ともにプレーできたことがこれからも子供達の自信になってくれると思います。

子供達を育ててくださった、たぢばなキッカーズの、これからの一層の発展をお祈りいたします。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW/MF	2	武岡 悠	下田小	全てのポジションの経験を持つオールラウンダー。LL時代のハットトリックが忘れられない。
FW/MF	3	斎藤 大暉	高田小	マンツーマンをやらせたらどんなプレイヤーも自由にさせないマンツーマンのスペシャリスト。得点時のパフォーマンスもバッチリ。
DF	4	須藤 聖朗	下田小	SL時代からサイドバックとして数多くのピンチを救ってくれた。裏を取られないクレバーなディフェンダー。
MF	5	浜田 理志	下田小	中盤の底でピンチの目を潰すと素早くチャンスに繋がるプレーで魅了させてくれた。ボランチがよく似合うミッドフィルダー。
MF/DF	6	水野 遼大	下田小	右サイドのスペシャリスト。君のセンターリングがたぢばなに数多くのチャンスを演出してくれた。
FW/MF	7	徳永 裕太	下田小	身体の成長に比例してゴールネットを揺らす回数もグーンとアップ。たぢばなの得点源として負けじ魂を持ったプレーが目に焼き付

				いている。
MF/DF	8	小川 峻太郎	下田小	どのポジションでもこなせるユーティリティープレーヤー。君の左足から放たれるシュートの威力はたちばなナンバーワン。
DF/MF	9	木村 大樹	高田小	ボールを奪いに来た相手をものともせずドリブルで突き進むプレーは圧巻。君の重戦車のようにパワフルなプレーがたちばなに勇気を与える。
MF/DF	10	秋葉 裕介	下田小	市大会大豆戸戦で決めたミドルシュートは圧巻でした。個性派集団をみごとにまとめ、チームを多くの勝利に導いたキャプテン。
MF/DF	11	戸塚 光	下田小	ターボくんの異名を持つ、たちばなーの快速俊足プレーヤー。港北大会優勝を決めた決勝ゴールはチームの誇り。
FW/MF	12	鈴木 郁矢	下田小	天性のサッカーセンスとクイックネスで周りを魅了。新人戦では美しいゴールを数多く演出してくれました。
GK/FW	13	笹原 崇生	高田小	時にはミラクルプレーを見せ、たちばなの守護神として活躍してくれました。FWとしてもオフサイドトラップをかいくぐりゴールを決めました。
MF	14	渡辺 達也	下田小	素直な性格で左右へのパス、ミドルシュートを武器にトップ下を任せられ、得意のFKとスルーパスで数多くの勝利に貢献してくれました。
-		田中 雄太	下田小	
-		鈴木 朋郎	高田東小	
-		峯岸 凌太	高田東小	
-		羽山 元晶	下田小	
-		鈴木 亮	下田小	

第40期生 数々の栄光と





第41期 2009年度(平成21年度)卒業生予定

シーズンレビュー

SL (2005年度(平成17年度))

- ・7月 フットサルGPカップ1年生大会
- ・1月 フットサルGPカップ1年生大会
(2004年度)
- ・4月 第32回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第21回港北区サッカー協会大会
- ・10月 第37回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第9回港北区区民サッカー大会
- ・1月 フットサルGPカップ2年生大会

SL-A

- 3/4位トーナメントベスト8
- 1/2位トーナメントベスト8
- 1勝4分予選敗退
- 1勝3負1分予選敗退
- 3勝3負予選敗退
- 6勝で1位 4負1分予選敗退
決勝トーナメント4位
- 1/2位トーナメントベスト8

SL-B

LL (2007年度(平成19年度))

- ・4月 第34回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第23回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・10月 第39回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第11回港北区区民サッカー大会
- ・12月 明治杯招待
- ・1月 第34回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A

- 3勝1負2分で2位 2勝3負1分予選敗退
決勝トーナメント1回戦敗退
- 4勝1分で1位 1勝3負予選敗退
決勝トーナメント1回戦敗退
- 4勝2分で1位 3勝3負予選敗退
決勝トーナメント1回戦敗退
- 6勝で1位 2勝3負1分予選敗退
決勝トーナメントベスト4
2位パート優勝
予選ブロック2回戦敗退

LL-B

メンバー紹介 第41期生 伊藤 峻平の母(伊藤 裕紀)より

我が家では、長男・圭祐(38期LL・L)と次男・峻平(41期SL)でキャプテンを経験させていただきましたが、それぞれまったく違うタイプの子供達を見てきました。

38期の方は、圭祐も含めメンバー半分以上が長男で、あまり手がかかるない穏やかなチームでした。

それに比べこの41期といえば、10人中長男1人・一人っ子1人・次男8人と、見事そろいもそろったというぐらいの次男坊集團となりました。

その実情はというと、負けず嫌い・態度が大きい・自己主張が強い、…よって喧嘩が多いetcと一見まとまりもまるでなさそうな10人なのですが、いざサッカーになれば(遊びも?)驚くほどの団結力を発揮し、まわりの大人を驚かせ、楽しませてくれる意外性の集團です。

試合の相手がどんなに強いチームでも、「俺たち勝つし!負けないし!!」と当たり前のように豪語するのです。(親たちは無理無理とひそかに思っていますが(^_^;)…)

そんなわけで、その力が存分に発揮されればいい試合になりますが、崩れるとものの見事にそろつてボロボロ…。しかし、立ち直りも早く、次に向かってみんなで練習。

この子たちの良い所は、練習や試合以外でもよく誘い合ってはみんなでサッカーボールを持って集まり、遊びながらでもサッカーから離れないところでしょう。

SL時代から今まで、とてもよい成績ばかりを残してきたとは言えないのですが、3年生・5年生の時にはひとつ上の学年の子たちに引っ張られ、港北大会で3度の優勝！という喜びを味わえました。

今度はぜひ、来年度Lの最高学年で、自分たちの思い出に残るような試合、そして成績を残してもらえるといいなと楽しみにしてます。

きっとみんな、「できるに決まってるじゃん！！」って言うのでしょうか(*^-^)☆

長男がたちばなに入会して以来7年、この40周年という節目の年にたずさわる事ができ光栄に思います。

たちばなキッカーズにかかわる子供達、コーチの皆さん、ご父兄の方々の今後一層のご活躍を期待しております。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
FW/MF	15	伊藤 峻平	下田小	サッカーボールがあるところに必ず峻平あり。天性の天才ドリブラー。
DF/MF	16	西川 裕貴	下田小	前線での裕貴&峻平のコンビプレーで相手ディフェンスをきりきり舞いにするパスセンスに優れたミッドフィルダー。
MF/DF	17	中野 啓心	下田小	献身的なプレーとガッツある積極的なプレーでチームを勝利に導くディフェンシブミッドフィルダー。
MF	18	林 航平	下田小	センタリングへの勇敢な飛込みと自ら中へ切り込んでの思い切りのいいシュートが魅力のサイドハーフプレーヤー。
MF/DF	19	池原 亜門	下田小	ミッドフィールド、ディフェンスなどどこでもこなせるハードワーカーでガッツ溢れるオールラウンダー。
DF/MF	20	小出 明	高田東小	小さいながらも1対1の強さとカーリングの読みに優れたディフェンシブプレーヤー。
GK/FW	21	山岸 優大	下田小	抜群の瞬発力と思い切りの良さが持ち味のGKからFWまで、どこでもこなせるオールラウンドプレーヤー。
DF/MF	22	大森 涼	高田東小	相手の攻撃を体を張って阻止し、正確なロングボールで攻撃も演出できるディフェンシブプレーヤー。
MF/DF	23	菅原 一輝	木月小	足元のテクニックとキープ力でためを演出、プレーにアクセントをつけられるプレイメーカー。
GK/FW	24	吉武 裕介	下田小	最後尾からのコーチングと勇敢な飛び出しでチームに安定感をもたらすGK。
MF	25	恩田 一希	下田小	柔らかいボールタッチで相手をかわしパスを供給するチームプレーを得意とするミッドフィルダー。
		加藤 篤	高田小	
		本城 晃	下田小	
		速水 幹	下田小	

SL区大会4位



明治杯 2位バート優勝



GP カップ



第42期 2010年度(平成22年度)卒業生予定

シーズンレビュー

SL (2006年度(平成18年度))

- ・8月 フットサルGPカップ1年生大会
- ・1月 フットサルGPカップ1年生大会
(2005年度)
- ・4月 第33回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第22回港北区サッカー協会大会
- ・10月 第38回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第10回港北区区民サッカー大会
- ・1月 フットサルGPカップ2年生大会

SL-A SL-B

- 1/2位トーナメント3位
- 1/2位トーナメントベスト16
- 2勝2負2分予選敗退
- 1勝1負3分予選敗退
- 3勝2負1分予選敗退6負予選敗退
- 5勝1負で2位
- 決勝トーナメント1回戦敗退
- 1/2位トーナメントベスト16

LL (2008年度(平成20年度))

- ・4月 第35回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第24回港北区サッカー協会大会
- ・8月 富士緑の休暇村で合宿
- ・10月 たちばな40周年記念大会
- ・10月 第39回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第11回港北区区民サッカー大会
- ・12月 明治杯招待
- ・1月 第35回神奈川県少年サッカー選手権

LL-A LL-B

- 3勝2負1分で5位
- 2勝1負1分で2位
- 決勝トーナメント1回戦敗退
- たちばなRed3位、WHITE4位
- 3勝3負で4位
- 3勝2負で3位
- 2位パート1回戦敗退
- 1回戦敗退
- 0勝4負1分で5位
- 3勝2負で3位
- 1勝3負予選敗退

メンバー紹介 第42期生 田崎 吏矩の母(田崎 道代)より

「頑張れ～！」「走れ～！」「負けるな～」応援席からは、ママたちの黄色い声援が飛ぶ。勝利への執念は、ママたちのほうが上かも？やさしい子が多い。試合のときは、そんなに遠慮しなくていいのに。砂遊びが好きで、試合後の桜並木では、必ずみんなで鬼ごっこ。仲良しはいいことだけど、その元気をもつと試合に使ってほしいな。

今18人在籍しているこの学年も1年生の時は6人からのスタート。夏のGP戦1年生大会は、内緒で助っ人を二人借りて行った。そのときの3位が自信をつけたのかどうかはわからないけれど、ずいぶんたくましくなった。

全員を試合に出してくださいり、事ある毎に誉めてくださるコーチたちのおかげで、のびやかにサッカーをしている。試合を重ねるたびに、一人一人が確実に力をつけてきているのがわかる。

先制点を許してしまった試合はなかなか勝てない。試合前、円陣を組んだ時の大きな声はどうしちゃったのかしら？あと1勝すれば決勝リーグに行けたのに…。という大会を何度も経験してきた。

今年春の区大会決勝リーグはPK負け。悔し涙を見せる選手がいる。一生懸命やった証拠。涙の数だけ強くなれるよ♪～これからもお互いを信じあえる全員サッカーで、いい汗とうれし涙、見せて欲しい。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
DF	2	石井 達也	日吉南小	“イッキー”の喰らいついたら離さない根性と、狙った獲物を追うスピードは一級品。たちばなの壁となり敵の攻撃を阻む。
DF	3	楯 遼太郎	下田小	持ち前の責任感を持ってディフェンスの真ん中でラインをコントロール、チームのバイタルエリアを堅守する「タテ」 PK戦突入時には、最初のキッカーとして“めちゃくちゃ緊張する”と言いかながらも、着実に決める頼もしい存在。
DF	4	小野田 海暉	高田東小	冷静で広い視野の持ち主“オノちゃん”。その落ち着いたプレーはチームに安定感を与える。積極的な守備と持ち前の俊足でピンチをチャンスに変える攻撃の起点。
MF	5	三木 恵介	下田小	右サイドの高い位置にいて、いつも攻撃の意識し、多くのチャンスメイクしてました。少し守備の面が見に付けば幅広いサッカーが出来ます。サイドのポジションでのオフサイドは気をつけよう！（もったいない）
MF	6	川本 杜彦	下田小	クールな表情の奥に闘志をみなぎらせながら、サイドから敵を突破する頭脳派プレーヤー。
MF	7	川村 悠人	下田小	GKからFWまで、どこでもこなす安心感のあるオールラウンドプレーヤー「カワムラ」。 キック力はチームNo1で、左足を使った強力なフリーキック、コナーキックはチームの大きな武器。
MF/GK	8	小野 裕矢	下田小	ゴールマウスは俺にまかせろ！！安定感が増し、果敢な飛び出しと気迫あるセービングでたちばなゴールを守る守護神“ユウヤ”。フィールドもこなすチームに必要不可欠な存在。
MF	9	佃 太志	下田小	粘り強い頑張りと真面目さはチームの見本。ボールタッチが柔らかく、中盤の要。シュートの意識を高く持って、貪欲に「ゴール」を狙って欲しい。後はサッカーセンスを磨き、良いプレーを盗め！
MF	10	田崎 吏矩	下田小	仲間から信頼の熱いキャプテン“リク”。どのポジションでもそつなくこなし、フィールド全体を縦横無尽に走り回るオールラウンドプレーヤー。
FW	11	河野 友貴	日吉台小	チームの攻めの中心選手、強烈な切りかえし、ドリブル、ワンツーで相手を翻弄する「コーノ」。 その力強いドリブル突破は、相手はファールでしか止められない。
DF	12	広瀬 健大	下田小	運動能力の高さはピカイチ。はかり知れない潜在能力でどこまで伸びるか楽しみ。勇気あるプレーでチームを鼓舞してくれる兄弟・仲間思いの心やさしき自由人“コウダイ”。
MF	13	秋口 丈太	下田小	Bチームのキャプテンとしての重任有難う。試合で見せるスルーパスは絶品のものがありました。これからは守りの意識と確実に相手を抜くフェイントを身につけて下さい。
DF	14	北本 翔大	下田小	チーム一の努力家“コウタ”。彼のマルセイユルーレットはジダンをも驚かせる。小柄だが彼の左足から繰り出されるシュートは敵を恐怖に陥れる。
FW	15	渡辺 伶	高田東小	3年生からの入団だが、成長著しく積極的なプレーが目立ってきた。最後まであきらめずにボールに絡むひたむきなプレーは周囲に感動を与える。目指せ初ゴール！！
DF	16	恩田 貴史	下田小	小さいながらも相手FWを着実にブロックする「オンド」最近では前の方もこなしプレーの幅を広げている。 攻める際のポジショニングは抜群で、秋の港北大会、駒林戦での得点は美しすぎた。
DF	17	井出 廉人	下田小	「イデッチ」は4年生からの入会ですが、とてもセンスのいいサッカーをします。主にディフェンスをしていますが、頼りになる守りは、チームを安心させる頼もしい存在です。これから上級生になり、色々なポジションを経験すると、さらに可能性を秘めた選手になると思います。
DF	30	猿渡 康太	下田小	「エンド」は実は気が強く、内に秘めたものがあります。コーチからの指示を理解し、それプラス、自分の考えを表現する感性のプレイヤーです。迫力あるプレッシャーとチェックは、相手を威圧するには充分です。さらに自信をつけていくと、もっと頼もしい選手になるでしょう。

FW	31	中澤 航大	下田小	とても優しいニューフェイス。下田町運動会のリレーのでは自慢の“俊足”をみせる。持ち前の“足”活かしたサッカーに大きな期待。“赤丸急上昇中”。
		大高 陸	井田小	
		小澤 知也	下田小	

第42期生



春港北大会決勝トーナメント





LL-A



LL-B



ハーフタイム

聞いてない？？？伝統？？？



SL-A
秋国際チビッ子



SL-B
秋国際チビッ子



冬 GP カップ
1年生大会

第43期 2011年度(平成23年度)卒業生予定

シーズンレビュー

SL (2007年度(平成19年度))

- ・1月 フットサルGPカップ 1年生大会
(2006年度)
- ・4月 第34回横浜市春季少年サッカー大会
- ・6月 第23回港北区サッカー協会大会
- ・10月 第39回横浜国際チビッ子サッカー大会
- ・11月 第11回港北区区民サッカー大会
- ・1月 フットサルGPカップ 2年生大会

SL-A

- 1/2位トーナメントベスト16
- 2勝2負1分で4位
- 0勝3負2分で5位
- 3勝3負で3位
- 3勝2負で3位
- 1/2位トーナメントベスト8

SL-B

メンバー紹介 第43期生 大谷 駿介の母(大谷 理恵)より

ひとりひとりを見てみれば、まじめな子、友だち思いの子、努力家な子、ねばり強い子、短気な子、個性豊かな面々ですが、「このチームの特長は?」と聞かれれば、『前へ、前へ』。兎に角、「点が取りたい!」、「勝ちたい!」、ちょっと悪く言えば「ガツガツした」、そして何よりも素直で子供らしい、それがこのチームの子供たちです。(でも負けた試合はすぐ忘れる『潔さ??』もこのチームの特長です。)そんな子供たちだから、父母たちは我が子だけではなく、みんなの成長に目を細め、時には“親バカ”と思えるほど一生懸命応援してしまうのです。子供たちが元気に楽しくサッカーする姿を見ることは親として大きな喜びであり、『たちばな』に感謝しております。

SLの時には、1チームに満たない少人数でのスタートでしたが、少しずつチームの仲間も増え、ようやく公式戦にも出場できるようになりました。特に、優しいコーチに導かれ、母たち特製の豚汁で勇気づけられ、ベスト8まで進んだ冬のGP戦は忘れられない思い出です。(あの寒さも忘れません。)

LL(3年生)になってからは、2つのチームに分かれ、上級生の中で戸惑うこともありましたが、自分たちの役割を、子供たちなりに学びがんばっています。これからもコーチの皆様方のご指導を仰ぎ、『前へ、前へ』、『次へ、次へ』がんばっていってくれることと思います。

終わりに、40周年を最後に転校してしまう鈴木響生くん。とても寂しいけれど“ヒビキ”とサッカーが出来たことはみんなの大切な思い出です。“ヒビキ”的とびっきりの笑顔を忘れません。また、『たちばな』に遊びに来てね。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
	18	和田 卓真	下田小	華麗なボール捌きで敵を抜き去り、シュートを放つ“タクマ”。何人の敵が立ちはだかろうとも、決してあきらめずゴールを目指す真のフォワード。
	19	尾関 陸人	下田小	バック、フォワードどこでもござれ。持ち前の負けん気でフィールド狭しと暴れまわり、相手をキリキリ舞いさせる。まさに平成のガキ大将“リクト”。
	20	大谷 駿介	下田小	大事な所では必ず決める、ナチュラル・ボーンFW「オオタニ」。攻めだけでなく、相手キーマンへのマンマークはヘビよりもしつこい、秋の国際チビッ子では、身長差約15cmの相手に対して仕事をさせず、僅差の勝利に大きく貢献。
	21	鈴木 韶生	下田小	「ヒビキ」は元気という表現が一番似合う子です。いつもニコニコし、回りを盛り上げるムードメーカーです。しかし人一倍負け

				ず嫌いで、根性とガッツは見上げたものがあります。彼の元気なプレーがチームを盛り上げます。本当にサッカーが好きなんだなと感じさせる選手です。
	22	広瀬 元志	下田小	責任感がとっても強い。ゴールキーパー、センターバック、ボランチ、ディフェンスは何でもピカイチ。チームの“守護神”。
	23	広瀬 思友	下田小	名前のとおり友だち思いで、とっても優しい。カウンターからのドリブルシュートは誰も止められない。トップからゴールキーパーまでこなす“オールラウンダー”。
	24	森戸 巧	下田小	「タクミ」は見た目がおとなしく、気の弱そうな感じがしますが、実は粘り強い、鋭いサッカーをします。中盤から下の方を守るケースが多くありますが、粘り強いそのプレースタイルは、上の方でも充分通用します。これから上級生になるのが楽しみな選手です。
	25	土井 悠平	下田小	正に“がんばりや”。どんなに疲れていたって、最前線から最後尾までディフェンスに駆け戻る。チームには無くてはならない“縁の下の力持ち”。
	26	古川 光太郎	下田小	冷静・沈着。でも本当は熱い情熱を心に秘めている。コーチの指示を必ず器用にやり遂げるのは陰での努力があつてこそ。器用に見える“真の努力家”。
	27	末原 功己	下田小	思いやりがあり、特に下級生にはとっても優しい上級生。マイペースのプレーで周囲を和ませる。チームの“ムードメーカー”。
	28	水野 寿哉	下田小	正義感がとっても強く常にポジティブ。得意技のロングスローと高速ドリブルで左サイドから敵陣に切り込む。左サイドの“F1”。
	29	大内 洋輝	下田小	普段はおとなしいけれど、誰にも負けない“粘り強さ”が持ち味。体力・スピードを活かしたプレスで相手中盤の動きを止める。チームの“ダイナモ”。

第43期生





PENALTY. 2007 FUTSAL GP CUP PENALTY TOURNAMENT
2007年 1月 8日 1年生大会 道満スポーツ広場 *UNITED PHOTO PRESS*

第44期 2012年度(平成24年度)卒業予定

シーズンレビュー

SL (2008年度(平成20年度))

・4月	第35回横浜市春季少年サッカー大会	SL-A	1勝5負予選敗退
・6月	第24回港北区サッカー協会大会		0勝5負予選敗退
・9月	たちばな40周年記念大会		5位
・9月	勝田サッカーカラーブ35周年記念大会		6位
・10月	第40回横浜国際チビッ子サッカー大会		4負1分予選敗退
・11月	第13回港北区区民サッカー大会		2勝3負予選敗退

メンバー紹介 第44期生 北本 真大の母(北本 美香子)より

この度は、たちばなキッカーズ40周年、誠におめでとうございます。こころよりお喜び申し上げます。

創立以来、幾多の困難を乗り越え、今日のご隆盛を成し遂げられたのは、ひとえにコーチ陣はじめ関係各位が、少年サッカーへの情熱と指導理念を守り続けた賜物と存じ上げます。

さて、今年度のSLチームは、春季の市大会、区大会においては人数確保に手一杯で、勝敗は二の次の状態でした。対戦相手よりも少ない人数で広いピッチに駆け出していく子供達を、微笑ましく思いいつも、心配な眼差しで見つめていました。

夏前、そんなチームに二年生一人が新たに仲間入りしました。猛暑の中、早朝から二日続けて参加したGP一年生大会。オープン参加ではありましたが、親子ともども勝つ事の喜びを初めて知ることができました。今あらためて、この時を機に子供達は大きく成長してくれたように思います。

秋季の市大会では、少しだけサッカーらしい試合ができるようになり、さらに一年生が三人入会した区大会では、なんとか二勝するまでにいたりました。

このように一年を通して子供達の成長を目の当たりにできたことは、素晴らしい経験であったと思います。一生懸命な子供達を応援しながら、時に勝利の喜びを味わい、負けることの悔しさを知ることが出来ました。

これからも子供達を応援し、喜怒哀楽を分かち合いながら共に成長し、歩み続けたと思います。

たちばなキッカーズにおかれましては、なにとぞこれからも40年の伝統と理念を守り続け、地域に根ざした少年サッカークラブとして、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

最後に、お忙しい中、子供達を熱心にご指導いただけるコーチはじめチーム関係各位、ご家族の皆様の御協力に感謝の意を表し、お祝いの言葉とさせて頂きます。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
DF	7	北本 真大	下田小	抜群のタイミングで相手FWに向かっていく！集中しているときは頼もしいが、どこかに行ってしまうと帰ってこない。
MF	8	松本 兼薪	高田東小	責任感が一番強いかな？どのポジションもこなしてくれる。なによりかわいいかな。
FW	10	水野 大地	下田小	左サイドを切り裂いていく！もっともっと見たかったけど、いろんなポジションをこなしたことはこれからの良い経験になつたはず。
MF	11	鬼澤 輔	下田小	キック力はナンバーワン。意外にオチャメな一面もあるが頼れるゲームメーカー。



SL 集合

第 44 期生



第45期 2013年度(平成25年度)卒業予定

シーズンレビュー

SL (2008年度(平成20年度))

・8月 フットサルGPカップ 1年生大会 6位

メンバー紹介 第44期生 河野 翔貴の母(河野 あすか)より

今年度のSLは6名からのスタートでした。その内、1年生は3名で、皆、幼稚園から入会しているものの、サッカーの右も左も分からぬ(ポジションなぞもってのほか!)お団子集団でした(笑)。その後入会者が続々と増え、春の市大会ではなんとか1勝できました。しかし、試合のたびに負け続ける子ども達を見ていると、私たち親も切なくなり、このまま自信を失ってしまうのでは?と心配する程でした。

けれども、心配をよそに、夏のGP戦では6勝2敗1分という好成績を治める事ができ、子ども達にとっても大いに自信とやる気に繋がったことでしょう。

この勢いに乗って、秋の大会では2勝3敗、4位という結果となりました。

半年前とは比べものにならない姿です。

子供の可能性は無限で私達の想像を絶するものです。

「たちばなキッカーズ」を通して精神的にも肉体的にも向上していく子ども達の姿に日々感動しております。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	小学校	紹介
DF	3	菊田 丈	下田小	いつもニコニコ練習している。みんなを明るくしてくれるね。
MF	4	大迫 颯太郎	下田小	ひとつつこい性格だけど、試合になると負けず嫌いな性格になる。練習がんばろう。
MF	5	藤原 拓也	下田小	きかんぼうの性格のまま、相手をとことん追い込んでいく、ボランチはピカイチ。
FW	6	白柏 孝太郎	日吉南小	だんだんみんなでサッカーができるようになってきたね。これからサッカーが楽しくなるよ。
FW	9	河野 翔貴	日吉台小	ドリブルが得意だね。何人も抜けるようにもっと練習しよう。
DF	12	澤田 来輝	下田小	試合より練習が好き。練習が好きならサッカーうまくなるね。
FW	13	橋本 渚生	下田小	まだ入って1ヶ月、思うようにいかないこともいっぱいあるけど諦めずにがんばってるね。
FW	14	山根 健斗	下田小	試合に出るたびに得点を決められる、なかなか誰もが持っているものではない。技術を身につけもっと得点をきめてほしい。

第45期生



第46期 2014年度(平成26年度)卒業予定

メンバー紹介 第46期生 大森 みかの母(大森 和子)より

祝40周年の記念の年に入会した、SL幼稚園の年長組、女の子1人・男の子2人、計3人でがんばっています。

まだ小さいながらも、一年・一年の成長が楽しみでもあります、不安でもあります。

一生懸命、走って練習してる姿をみると、少しずつですが“たくましく”見えます。

私たち親も子供たちを見守りながら応援して、一緒に新しい「たちばなキッカーズ」に向かって思い出を作っていくたいと思います。

40周年おめでとうございます。

メンバー紹介

ポジション	背番号	名前	幼稚園	紹介
	15	酒井 凜太郎	年長	みんなを明るくしてくれる、もっと遊びにおいて！！
	16	中澤 陸	年長	まだ赤ちゃんだけどサッカーセンスはかなりのもの、小学校に入ってからが楽しみだね！
	17	大森 みか	年長	8年ぶりの女子選手！将来はなでしこジャパン。

第46期生



更なる飛躍へ

代表兼監督
宍戸 正人

私が「たちばなキッカーズ」と出会ったのは1992年。息子の仲の良い友達が「たちばな」に入っていたり、その友達に誘われて、息子が「サッカーをやりたい」と言ったのがきっかけでした。当時は何処のサッカーチームに入れようかなどと迷うことなく、「何処のサッカーチームでも同じでしょ」と考え、余り深く考えず家から近くて便利な「たちばなキッカーズ」に入団させました。その後、「たちばな」が横浜で伝統のあるチームであること、当時の曾田監督の指導理念がすばらしいこと、その理念に共感したコーチ陣もすばらしいこと等々、徐々に「たちばな」の真髄を知るにつれ、少年スポーツの奥深さに驚かされることになりました。私も昔はサッカーをかじったことがあります、1994年からは名ばかりのコーチとしてスタッフの一員となり、その後今日までの15年間に亘って、色々なことを経験させてもらい、且つ学ばせてもらっています。

「たちばな」の指導方針は創設者である曾田前監督の理念に基づいて制定されたものであり、その考えは、本誌にも載せた「たちばなキッカーズ指導方針」、「TKCサッカートレーニング要綱」「たちばなキッカーズの各クラス主要基本方針」にまとめてあります。これらの根底にある考え方を判り易い言葉で表現すると、

「子供が主役」

「子供には楽しいサッカーを」

「型にはめるのではなく、自分達で考えさせる自由なサッカーを」

「何度も失敗するうちに子供は本能で悟る」

「子供は小さな大人ではない」

「怒鳴るより出来ることから教える」

等でしょうか。これらの考えは、多分サッカーだけに特化した考えではなく、少年時代の教育そのものにつながるのかもしれません。「たちばな」は横浜の少年サッカーチームとしては非常に古いチームであり、この指導方針の下、創生期、発展期には横浜でも有数の強豪チームとして君臨していました。

その後、時代と共に世の中は変化し、日本でもプロサッカーが発足し、Jリーグによる地域サッカー基盤も定着しました。現在、横浜のサッカーチーム数は160にも及び、各チームとも個別の指導方針に基づいて活動しています。少年サッカーも技術レベルが飛躍的に向上し、指導者の方針もチーム毎に千差万別であり、所謂強いチームが台頭して来ています。現在の強豪チームとは、能力の優れた選手が集まり、個人スキルだけではなく、パス回しを駆使し、チーム戦術に長けた大人顔負けのサッカーをします。見ている大人もびっくりです。そう言うチームを目指すことは非常に難しく、ここまで強いチームが出来上がることそのものには敬意を表します。

では、「たちばな」の様な地域に根ざしたサッカーチームが目指すべきサッカーとはどう言うものなのでしょうか？

昔と比べると世の中は大きく様変わりし、子供達の遊びも多種多様です。昔の様な缶蹴りや鬼ごっこと言う外での遊びから、テレビゲームやパソコンを使用した家の中での遊びが主流となり、青空の下でガキ大将がみんなを仕切る光景は皆無と言って良い状況です。サッカーも遊びの延長から習い

事のひとつと考えられている状況でもあります。ただ、そう言う中でも、サッカーが好きで好きでたまらない子供は昔も今も変わらず存在しています。

意識レベルの差こそあれ、少年時代にサッカーを選んだ子供達が「たちばな」と言うチームで一緒になったのです。純粋にサッカーを好きになり、サッカーの技術向上を目指し、結果として試合に勝っては喜び、負けては悔しみ、そう言うスポーツの場を作ることが大切だと考えています。「たちばな」の指導方針も変わることはないでしょう。

お父さん、お母さん、そしてコーチが一体となってスポーツの場を作り、子供達の成長を楽しみ、喜び、「たちばな」で過ごしたことそのことが大きな財産となる様にしたいものです。先達の築いた40年の歴史と伝統、そしてその基本にある「たちばな精神」を、これからも10年、20年と引き継ぎつつ、時代と共に進化し、更なる飛躍を目指したいと思います。

小林コーチと宍戸代表兼監督（右）



たちばなキッカーズと私

元たちばな代表
永田 欣也

たちばなキッカーズは曾田前監督がメキシコオリンピックで日本代表が銅メダルを獲得直後に下田小校庭で始められてから、はや40周年を迎えることとなり誠に喜びに堪えません。

我がたちばなキッカーズも創世記（1～9期）、発展期（10～19期）、成熟期（20～29期）を経て飛躍期（30～39期）を終え第二の飛躍期を迎えつつあります。コーチ・父母・OBといった指導の下、たちばなキッカーズの一段の飛躍を心から祈念します。

私とたちばなキッカーズとの縁は第11期生の息子“俊策”の入団でした。私一家が当時緑豊かな下田町に転居して来たのは昭和47年（1972年）でした。当時息子は幼稚園の年少組でしたが祖父母を含めた大人4人の中の幼児1人で、更に近隣に同年齢の友達が少なかったので下田小入学を期にたちばなキッカーズ入団を希望しましたが、その頃は入団資格は小学3年生でしたので水泳教室や体操教室（元オリンピック選手の池田さんが下田小体育館で毎土曜日午後指導）で待機し昭和51年（1976年）4月晴れて入団を許されました。

当時LL-Aチームは故大島コーチ、Bチームは杉崎コーチが指導されていました。杉崎コーチが転居の為、退任されましたので同年秋の横浜国際ちびっ子サッカー大会からBチームのコーチを引き受け、早速栄区桂台の造成地域の仮設グランドでのブロックリーグ戦に参加しましたが、残念ながら決勝トーナメントには出場出来ませんでした。

以降LL-B・L-B・SLチームを担当（途中LL-Aチームを1981年から3年間と1998年引受）し、平成12年度（2000年度）卒業の第32期生を見送り、コーチを退任する迄の24年間大多数の元気で個性豊かで活動的な子供達とサッカーを存分に楽しめたのも歴代コーチ・父母・OB及び下田小他の諸先生方のご協力とご支援の賜と心から感謝して居ります。

LL-B及びL-Bチーム担当時の各会場への移動は徒歩と電車・バスの乗継ぎでしたので車中のマナー教育やボディバランスの鍛錬等の絶好の機会でした。近年は父母のご協力で全て車移動なのでマナー教育等の機会が無くなったのは少し残念な気がします。

私と息子が一緒だったのは入団の年の秋から半年間でしたが、息子は先輩（10期）、同期生後輩（12期）に恵まれ、4年生では横浜国際ちびっ子サッカー大会（市秋大会）と神奈川県少年サッカー選手権大会で優勝を始め、5年生時は横浜市新人戦・市春季少年サッカー大会（市春大会）・関東8都県大会（全国大会県予選2・3位の16チームのトーナメント戦）・市秋大会で優勝、全国大会県予選は惜しくも準優勝、6年生時は市春大会優勝・全国大会県予選は残念ながら2年続きの準優勝・市秋大会は3位に終わりましたが、たちばなキッカーズの輝かしい時代の一員に加わって本当に幸運でした。中学2年の二学期からの教師不信・失意・挫折その後の大学受験浪人等も乗り越え、数多くの良き友人を得て今日あるのも、たちばなキッカーズから中学・高校・大学と続けたサッカーのお陰と強く思っています。

コーチ退任後は応援団長を自認して、たちばなキッカーズの区・市・県大会の応援を楽しんでいます。又、たちばなOBの進学先の中学校及び高校の試合での活躍を観戦するのも本当に嬉しいものです。更に試合会場の市・県内の各中学校・高校を見学出来るのも余縁です。

私が中学3年生でサッカーを始めてからの60年余のサッカー界の変遷は誠に感慨深いものがありま

す。サッカーポップの爆発的増加で幼稚園児から 80 年代の超OB迄サッカーを楽しんでいます。又、サッカーポップ地区（半世紀前は浦和・神戸・広島）も全国に拡散しました。そして最大の成功はJリーグ発足・充実です。特に神奈川県は1・2部に4チームがあり応援に力が入ります。1部に4チームが揃う事を夢想するのも格別な楽しみです。

少年サッカーチームの育成・運営は昨今の少子化・室内でのPCゲーム遊びの流行・私立中高一貫校への進学率の高まり等々の悪条件が増大していますが、これら難題を乗り越えてたばなキッカーズの更なる飛躍を強く期待しています。



～To be a Creative & Aggressive Footballer～

Lクラス担当コーチ
徳永 佳則

「たちばなは、自分で考えてプレーする自由なサッカーを教えてくれるからいいよ。」という話を知人から聞いたあるお母さんが、ご自分の子供さんをたちばなキッカーズへ入団させることにしたという話を聞きました。この「自分で考えて自由にプレーできる」ことはサッカーの持つ大きな魅力の一つだと思います。同時に、今の日本サッカーが不得意としている部分でもあると思います。

現在、日本のサッカーは年々強くなりつつありますが、世界のサッカー先進国と比較すると、そこにはまだ大きな隔たりがあります。その一つの要因として選手個人の自己主張とクリエイティビティの欠如ということが言われます。サッカーはチームプレーと個人プレーの絶妙のバランスの上に成り立つスポーツです。常に状況が変化し、プレーの選択肢が無限大に存在するこの競技において、監督やコーチのチーム戦術に忠実にプレーすることだけが正しい選択肢であるという状況にはならないことが往々にして発生します。そんなときでも、日本の選手はチーム戦術に忠実なプレーを常に選択してしまうという傾向があります。状況により必要と判断したときは、自己の責任においてゲームに変化と意外性を演出できるかというところがトップネーションとの最後の差だと感じます。

サッカーは習うものではなく、そもそもが遊びから発展したスポーツです。ピッチにはポールとゴールとプレーヤーと必要最小限のルールしか存在しません。そんな自由で世界で最も人気のあるスポーツを心から楽しみ、華麗にプレーするサッカー選手が一人でも多くたちばなから巣立っていくことを願い日々試合や練習を続けております。

子どもたちには、試合に勝つためだけのコーチや親のロボットになってほしくはありません。勝つことはスポーツである以上、非常に重要なことです。しかしその目的のために子どもの自由な発想を奪い、型にはめ込むことは、その子の将来の可能性を奪ってしまうことにもなりえます。それは、大人のエゴであり、子どもがサッカーを自らの意思で心底楽しんでいるとは言えません。

ゴールデンエイジの後半を迎えるLクラスの選手たちには、LLクラスまで培った基本的なスキルや発展的なテクニックをベースにこれらのテクニックをゲームの中で、どのように使ったらゲームを有利に進められるのかということを常に自分で見て、考えて、判断してプレーしてほしいと思っています。自分で考え判断する習慣を身につけ、創造力とイメージング、取れるオプションの抽出、判断のスピード、プレーを実行するための準備の動きとその実行スキルを総合的に高めていくことが重要だと思います。

今夏、ユーロ 2008 で優勝したスペイン代表チームのようなクリエイティブでアグレッシブな、見ていてもわくわくするようなプレーヤーが一人でも多くたちばなから育ち世界で活躍してくれることを楽しみにしています。

たちばなキッカーズと私

LL クラス担当コーチ
渡辺 邦雄

たちばなキッカーズ創立 40 周年おめでとうございます。

40 年前、私がサッカーを本格的に始めたときです。日本代表がメキシコ五輪で「杉山一釜本」コンビでメキシコを破り 3 位。日本中でサッカーが盛り上がり、次の W 杯アジア代表は「日本」との評判でしたが残念ながら予選敗退、その後低迷の時期になりました。そんな中、TV の「三菱ダイヤモンドサッカー」を見るのが楽しみで世界のサッカーのレベルの高さに驚かされ、カルチャショックを受けた事が思い出されます。

私とたちばなキッカーズとの関わりですが、長男が 2 年生のとき、帰宅早々ランドセルも置かず「お父さん、サッカーしたい。今日サッカーして楽しかったよ。やりたい！」と言い出し、二人で下田小へ行き、即入部しました。子供たちのサッカーを見ているうちに自分のサッカー心の血が騒ぎ、当時 SL コーチの横川さんに「大人もボール蹴れるのですか」の質問からコーチの手伝いをする事になりました。曾田監督のサッカーに対する熱意・指導方針を聞く度に「たちばなキッカーズ」に嵌っていました。

当時はコーチの持ち上がりではなく、各クラス固定コーチでした。他のコーチが見ることでその子の潜在能力が発見できました。また、ポジションに拘らず楽しいサッカーを目指しました。違ったポジションを任せられた子が目を輝かしてプレーしているのを見るのも驚きと楽しみでもありました。自分では気が付かない面を他のコーチによって発見してもらうこともできました。意識的に FW と DF を入れ替えたり、違ったポジションにしたり、子供達にポジションを決めさせて練習試合を行い子供達の反応を見るのが楽しみでした。

こんなことで息子 2 人のプレー（試合）を見てません。

近年は LL/L を担当しておりますが、昔からサッカーの基礎が出来る 12 才位までを「ゴールデンエイジ」と呼んで期待できる年代です。この時期にしっかりと技術を身につけて欲しいのです。「今、勝つ為のサッカー」ではなく、将来の戦術・戦略に適応できる様に、と「常にゴールを目指す！」「常にシュートを意識する！」にこだわり、ドリブルによる縦の突破、ペナルティーエリア周辺での一対一の勝負、バックスからのオーバーラップによる攻撃参加等のサッカーセンスのスキルアップの手伝いが出来ればと思ってやってきました。特にドリブルの出来る選手に成って欲しいのです。いろんな可能性のある子供達に期待したいです。

私もたちばなにお世話になって 20 年、この辺で卒業させて戴きます。多くのご父母様のご協力、ご先輩方々のご指導を賜り厚くお礼申し上げます。有難うございました。

これからはサポーターの一員としてたちばなキッカーズを応援していきます。

子供たちが目指すのはワールドカップであってほしい

SL クラス担当コーチ
手代木 修

たちばなキッカーズ40周年本当におめでとうございます。

私がたちばなでお世話になりだして6年経ちました、息子が入団したのがきっかけでしたが今では息子も卒団して私だけお世話になっています。サッカーは大好きですが子供たちにサッカーを教えるなんて想像もしていなかった私がコーチを続けてこれたのは、たちばなの指導方針にあると思います。子供たちが自分たちでサッカーを楽しむ、それを今後も手助けできればいいと思います。

残念ながら私はたちばな出身ではありませんが小学校5年の時に小学校の先生がサッカークラブを立ち上げてくれて、そこで初めてサッカーを知りました。そのころはサッカーがこんなに世界的に人気のあるスポーツだとは全く知りませんでしたし、今とは違いサッカーを見る機会もほとんどなく、海外のサッカーを見れるのもダイアモンドサッカーしかなかった頃の話です。それでも先生はサッカーの面白さを僕たちにいろいろ話してくれました。小学生の時に西ドイツワールドカップをダイジェスト版の映像みてベッケンバウワー・ゲルトミュラー凄いな、僕もワールドカップにでたいと真剣に夢見ました。中学生になって初めて生放送のアルゼンチンワールドカップ紙吹雪の中のケンペスを見た時には本当にサッカーの虜になりました。

今では海外サッカーのほとんどがリアルタイムにテレビ観戦でき、情報もものすごいスピードと量で迫ってきます。ほかにも子供たちを引きつける楽しいこと（？）がいっぱいあります。勉強や習い事で忙しい子供たちではありますが、スポーツの中で一番シンプルで楽しいのがサッカーである以上、諸先輩方の目指してきたものを引き継ぎ、今後も子供たちにサッカーの楽しさを伝えていたらと思います。日本がワールドカップに出場できたのも各地域で熱心な指導者が頑張りサッカー人口を増やしていたからだと思います。サッカー好きが多い国がサッカーは強いんです。スーパースターが出るのも確率の問題なのです。誰もがサッカーをする日本を目指して頑張りましょう。

そしてもっと多くのたちばな出身のお父さんが子供をつれてコーチとして戻ってきてくれることを楽しみにしています。

年間スケジュール

	公式試合、主要試合	たちばな行事
4月	横浜市春季少年サッカー大会（木村和司杯） (L、LL、SL)	新入部員募集（3月より） ポスター貼り 入学式のビラ配り
5月	全日本少年サッカー大会神奈川県大会 (L)	たちばな総会
6月	港北区サッカー大会 (L、LL、SL)	合宿説明会
7月	GPカップ (1年生)	夏休み早朝練習
8月		夏期合宿
9月	三ツ池大会 (L)	合宿反省会（合宿参加コーチ・スタッフ）
10月	横浜国際チビッ子サッカー大会 (L、LL、SL)	
11月	港北区民サッカー大会 (L、LL、SL)	
12月	明治杯	たちばな杯
1月	横浜少年サッカー大会（市長杯） (5年生、4年生) 神奈川県少年サッカー選手権大会 (L、LL) GPカップ (2年生、1年生)	
2月		
3月	セルジオ越後杯 太尾カップ 卒業生招待試合 (6年生)	6年生お別れ会 新背番号発表

楽しい夏期合宿

毎年、8月の第1週に、富士緑の休暇村(山梨県南都留郡鳴沢村)で3泊4日のスケジュールで合宿を実施しています。1973年(昭和48年)に島根県大社町で初めての合宿を行ない、その後、1975年(昭和50年)から、ほぼ一貫して富士緑の休暇村で合宿を行っており、たしばなの年間行事の中では最大のイベントです。以下に現在の合宿の様子をまとめてみました。

1. 夏期合宿の目的

サッカーの技術向上、体力強化を目指した強化合宿ではない。即ち、きたえるのではなく、楽しむ事を主目的とした合宿である。楽しみの中で以下の様な取組をする。

- −子供達が主体であり、出来るだけ子供達の自主性を尊重する。
- −学校の修学旅行とは異なり、縦割りの班に分け、学年とは関係無く楽しむ。
- −低学年の子は高学年の子から学ぶ、高学年の子は低学年の子の面倒を見る。
- −スポーツテストを実施し、たしばな記録更新を目指す。

2. 主要行事

合宿での主要スケジュールを下記表に示した。主要行事は以下の通りである。

−班対抗戦

- ・3年生から6年生をまとめて4~6班に分けて班対抗戦(リーグ戦)を行う。
- ・合宿の最大のイベントであり、2日間で実施する。
- ・各班のキャプテンと副キャプテンはLのコーチが指導力を考慮して選出する。尚、各班のメンバーはドラフト方式でキャプテン/副キャプテンが選ぶ。
- ・勝ち点方式で順位を付ける。
- ・各試合の内容で、最優秀選手賞、MIP、敢闘賞、殊勲賞、等の各賞を決める。

−スポーツテスト

- ・到着した日の午後に実施する。
 - ・内容は以下の5種目。(2回実施し、良い方を記録)
 - ・各種目のポイントの合計で順位を決定し、たしばな記録更新を目指す。
- | | |
|---------|---|
| ①リフティング | : ボールリフティングの連続回数を計測。体のどの部位を使っても良い。 |
| ②30m走 | : 30mの直線距離を走るタイムを計測。 |
| ③ドリブル | : 高さ 1.5m のポールを 1.5m の間隔で 10 本立て、1 本目のポールから 5m の位置からスタートして、ジグザグドリブルで往復するタイムを計測。 |
| ④スローイン | : スローインのボールの飛距離を計測。 |
| ⑤プレスキック | : 15~20度の角度の範囲内で、プレスキックのボールの飛距離を計測。 |

−早朝散歩／ラジオ体操

- ・毎朝06時20分頃から約30分間、ラジオ体操、もしくは、各班別に早朝の散歩を実施する。

−昼休み

- ・14時までは外に出ないで各部屋で昼寝をする。
- ・但し、2日目か3日目には飯合炊飯があり、後片付けに時間がかかり昼寝が出来ない場合もある。

一夜の練習

- ・初日の夜は体育館でミニサッカーを楽しむ。又は、視聴覚室で講義を実施。
- ・2日目以降はオーバーワークになる為、夜の練習は中止する。

他チームとの練習試合

- ・同じ休暇村に来ている他のチームとの試合は、スケジュールの合間に実施する。

飯盒炊飯

- ・2日目もしくは3日目の昼にカレーで実施する。
- ・11時から、コーチ及びお父さんの協力により各班のメンバーと一緒に火を起こし、自分達の班の御飯を炊く。
- ・カレーについては、お母さん方に調理していただく。
- ・後片づけも各班毎に実施し、14時までに終了させる。

お楽しみ会

- ・3日目の夜にキャンプファイヤー等を実施する。
- ・子供達が班毎に考え出した（合宿の前に、朝練の後などに各班毎毎日も練習？）歌、ダンス、クイズ、お笑い、ゲーム等を披露。コーチも余興を行うがうけているかどうかは不明。
- ・各班の内容を採点し、得点を付ける。

バーベキュー

- ・2日目もしくは3日目の夜にバーベキューを食べる。
- ・コーチはホスト役に徹し、ひたすら焼く。
- ・やはり子ども達に肉は大人気。

グッドマナー

- ・合宿期間中の各班のマナーを採点し、得点を付ける。
- ・主要チェック項目は、部屋の整理／整頓、バス中での態度、集合時間厳守、就寝時間厳守、食後の後片づけ、配布物の管理、等とする。

総合成績

- ・班対抗戦、グッドマナー、お楽しみ会、の得点を合計して総合成績を決定する。

氷穴

- ・6年生は合宿最終日にコーチにつれられ“氷穴”へ、氷穴で涼んだ後は、コーチにソフトクリームを奢ってもらい、更に涼む。

その他

- ・あいている時間に父母/コーチと子供の試合等で楽しむ。

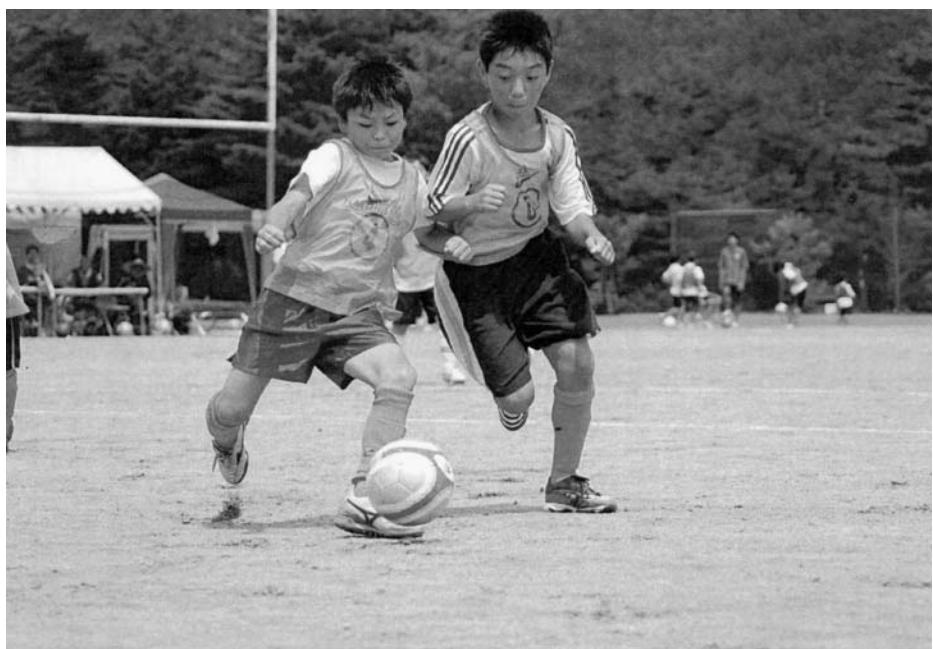


夏期合宿スケジュール

第1日目	第2日目	第3日目	第4日目
07:10 下田小集合 08:00 出発 09:00 サービスエリア で休憩	06:00 起床 06:20 ラジオ体操 たちばなの歌 07:00 朝食 08:30 グランド集合 09:00 班対抗戦開始 AMに2・3試合 その後、親子サッカー等	06:00 起床 06:20 散歩 07:00 朝食 08:30 グランド集合 09:00 班対抗戦開始 AMに2・3試合 その後、親子サッカー等	06:00 起床 06:20 散歩 07:00 朝食 08:30 グランド集合 6年生は氷穴へ 09:00 対外試合、 親子サッカー等
11:00 緑の休暇村到着 12:00 昼食 14:00 グランド集合 スポーツ テスト実施 17:00 スポーツ テスト終了 18:00 夕食 19:00 ミニサッカー (体育館)、又は 視聴覚室で講義 お風呂 21:00 就寝時刻	11:00 12:00 昼食、後片付け 休憩(昼寝) 14:00 班対抗戦開始 PMに2・3試合 その後、親子サッカー等 17:00 練習終了 お風呂 18:00 夕食 (バーベキュー) 19:00 お風呂 21:00 就寝時刻	11:00 飯盒炊飯開始 12:00 昼食 休憩(昼寝) 14:00 班対抗戦開始 PMに2・3試合 その後、親子サッカー等 17:00 練習終了 お風呂 18:00 夕食 19:00 お楽しみ会 21:00 お風呂 21:30 就寝時刻	11:00 お風呂 12:00 昼食 12:30 成績発表 表彰式 13:30 自由時間 14:30 出発 16:00 サービスエリア で休憩 18:00 下田小到着 解散帰宅

合宿スナップ写真 热戦続く班対抗戦









優勝チーム表彰



個人表彰



最終日

6年生は氷穴に！！！



たちばな杯

毎年12月、たちばな杯を実施しています。現在では、L、LL、SLそれぞれでチーム分けを行い、各チームキャプテンを中心に子ども主体に考え、戦術を組み立て、夏の合宿の班対抗に勝るとも劣らない熱い戦いがくり広げられています。また、試合の合間には親子サッカーを楽しみ、OB・コーチ達も空いている時間にごちゃや混ぜにしてサッカーを楽しめます。

お昼は、温かい豚汁、フランクフルトをお腹一杯食べます。特に豚汁はおいしいと評判で、おかわり3杯位食べる子どももいます。

たちばな杯スナップ写真

熱い戦い





親子サッカー



走るお母さん



抜かれるお父さん

OB・コーチ達もサッカーを楽しむ



全員集合



スポーツテスト記録

たちばなキッカーズでは、1978年以降、年1回夏の合宿時に以下の5種類のスポーツテストを実施してきた。

- ①リフティング：ボールリフティングの連続回数を計測。体のどの部位を使っても良い。
- ②30m走：30mの直線距離を走るタイムを計測。
- ③ドリブル：高さ1.5mのポールを1.5mの間隔で10本立て、1本目のポールから5mの位置からスタートして、ジグザグドリブルで往復するタイムを計測。
- ④スローイン：スローインのボールの飛距離を計測。
- ⑤プレスキック：15~20度の角度の範囲内で、プレスキックのボールの飛距離を計測。

それぞれのテストは2回行い、良い方の記録を残すことしている。

次ページ以降に、L(5,6年生)、LL(3,4年生)の各年度の平均値と上位者の記録、および平均値の各年度の変化を示した。残念ながら1982年度以前と1988年度に関しては、上位者の記録が残っていない。また、歴代の最高記録を「たちばな記録」として示している。

このスポーツテストが、夏の合宿における子ども達の目標の1つであり、特に「たちばな記録」を更新することは、大きな目標であり、大きな名誉である。いまも、上位者に送られた楯とメダルを大切にしているOBも少なくないことと思う。

このように長い間行われ、また実際に効果も上げてきたスポーツテストであるが、1990年後半より、コーチの間から、「よりスキルに重点を置いたテストにしたほうが良いのではないか」という意見が出され、そのようなテストの方法について、案を出して検討を加えていた頃、日本サッカー協会から「スキルテスト」が発表され、検討した結果、1998年~1999年の合宿では、この「スキルテスト」を実施した。「スキルテスト」は、ボールリフティング、内通しシュート、ボールコントロール、ドリブル&パス、ターンの種目を点数化し、スキルを判定するテストで、詳細は以下の通り。

ボールリフティング：3分間以内で出来た最高連続リフティング回数。

内通しシュート：ボードの2箇所に穴を開け、5m離れた場所からキックして穴を通す。

ボールコントロール：サーバーが5m離れた場所からボールを山なりに投げ、プレーヤーはショートバウンドでコントロールし、2タッチでサーバーにパスを返す。

ドリブル&パス：コーンに沿ってドリブルし、途中で壁にボールをぶつけ、返ってきたボールを再度ゴール地点までドリブルし、そのタイムを競う。

ターン：決められたコースで、パス・ターン・ドリブルを繰り返し、そのタイムを競う

その後、2000年に再度合宿で行う「スポーツテスト」の内容についてコーチ陣で議論を実施、その際、「スキルテストは点数に上限があり、差がつかない。その為、盛り上がりに欠ける。」、「合宿だけでスキルテストを実施しても意味が無い。普段の練習の中でもっと実施するべき。」、「スキルテストでは子供達も盛り上がりに欠ける。」等、全体的に以前の「スポーツテスト」に戻す方が良いとの意見が多かったことから、2000年の合宿より再度、「スポーツテスト」を実施、現在に至っている。

現在でもスポーツテストが、夏の合宿における子ども達の目標の1つであり、「たちばな記録」を更新する名誉に向け、毎年子供達は挑戦し続けてる。実にたくましい連中である。

スポーツテスト L(5年生、6年生)の記録

年度	人数	平均値					上位者の記録									
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	本間	19.7	谷嶋	35.8	
1978	25	36	5.94	26.60	12.0	23.0										
1979	28	66	5.94	26.61	11.2	21.5						村上	19.70			
1980	36	52	5.78	27.92	10.9	18.4			今野	5.00						
								大滝	5.00							
1981	45	48	5.76	25.38	11.5	18.9	中野	850								
1982	40	63	5.53	25.28	12.0	22.8								谷嶋	35.8	
1983	37	32	5.70	24.76	11.5	23.2	河本充	205	辛	5.10	河本充	20.00	佐藤	18.2	鈴木	34.6
							伊藤	189	鈴木	5.10	佐藤	20.80	河本充	17.3	田辺実	32.8
							大村	127	山本	5.10	田中	20.90	田辺実	15.3	内田	30.5
													鈴木	15.3		
1984	36	84	5.61	25.19	11.9	20.0	内田	884	永長	4.91	野里	19.98	小栗	16.3	樺沢	31.2
							野里	347	笠原	5.17	配野	20.00	野里	15.8	仁平	30.3
							田辺義	337	田中	5.21	田中	21.12	田中	15.3	篠原雄	29.2
1985	28	36	5.68	25.50	12.5	22.9	吉村	224	安士	5.17	伊藤	21.00	小栗	19.9	箕輪	31.3
							田辺義	202	大野	5.22	田辺義	21.25	伊藤	16.6	吉村	31.0
							丸山	167	伊藤	5.30	草野	22.45	福谷	15.2	丸山	30.0
1986	32	68	5.70	25.63	12.6	23.0	吉村	392	箕輪	4.98	草野	21.08	伊藤	18.1	箕輪	32.7
							越前	320	伊藤	5.17	室伏	21.92	福谷	17.3	福谷	31.9
							出口	156	海野	5.20	海野	21.97	芳賀	15.9	吉村	31.4
							十河	156								
1987	39	35	5.53	24.50	12.2	22.9	十河	211	青木	4.96	海野	19.95	海野	18.2	秋元	34.6
							横山	105	出口	4.98	出口	20.05	田辺	15.5	田中	33.5
							薄木	91	世良	4.99	薄木	20.53	田島	15.0	海野	33.5
1988	39	102	5.56	23.53	12.3	22.9			秋元洋	4.74	佐々木	18.96			秋元洋	37.7
1989	27	69	5.53	23.50	13.0	25.1	阪本	257	内山	5.06	阪本	19.70	沢田	21.2	吉川	33.3
							今西	225	吉川	5.11	三田	20.00	内田	17.8	沢田	33.0
							佐藤	219	今西	5.13	閑	20.30	内山	16.3	今西	32.3
									沢田	5.13			吉川	16.3		
1990	23	59	5.50	24.34	13.7	22.9	上江	388	辻剛	4.97	佐藤	18.66	松永	21.6	秋元純	33.5
							秋元純	309	木津	5.05	木津	20.09	内田	18.4	鈴木	31.9
							閑	132	遠藤	5.07	上江	20.92	田賀糸	17.2	横山	31.8
													藤本	17.2		
1991	24	28	5.40	27.10	12.5	23.9	木津	178	辻剛	4.58	浜田	20.12	遠藤	18.6	遠藤	37.8
							杉本	97	遠藤	4.62	遠藤	22.23	木津	17.7	藤本	37.0
							池野	64	杉本	4.79	杉本	22.33	藤本	17.4	谷嶋	32.0
1992	25	42	5.47	25.91	11.8	22.7	杉本	216	杉本	4.48	杉本	19.96	谷嶋	18.2	谷嶋	35.0
							池野	109	小閑	5.05	谷嶋	20.19	春原	15.2	浦田	31.0
							小田	102	浜田	5.09	箕輪	22.00	中村	14.5	堀口	31.0
1993	23	63	5.77	27.23	10.4	15.4	渡辺	532	九鬼	5.18	菅野	20.00	菅野	13.0	増田	22.3
							松久保	241	九鬼飛	5.20	松久保	22.48	中田	12.7	菅野	21.8
							菅野	109	福間	5.23	中田	22.52	田端	12.7	渡辺	21.0
1994	26	80	5.56	24.30	11.5	19.8	平井	426	篠原	5.07	菅野	18.81	杉山	17.1	菅野	31.1
							菅野	366	菅野	5.08	九鬼士	19.86	菅野	16.6	杉山	29.9
							松久保	265	九鬼飛	5.10	内山	20.22	北島	15.2	福間	25.3
1995	25	92	5.32	23.31	13.6	24.2	小西	423	永田	4.76	小瀬村	17.92	北島	18.5	白石健	33.5
							長尾	406	小瀬村	4.79	横山	20.01	坂川	17.9	長尾	31.8
							松久保	392	昆	4.99	小西	20.31	小西	17.1	小谷	29.1

は、たちばな記録を示す。

年度	人数	平均値						上位者の記録									
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走		ドリブル		スローイン		プレスキック			
1996	32	113	5.48	22.49	12.0	22.9	白石健	845	鳥見	4.62	堀内	17.03	鈴木	18.6	白石健	35.4	
							横山	714	鈴木	4.72	横山	17.11	庄司	17.9	庄司	33.8	
							新井	169	庄司	4.79	鈴木	18.60	白石健	17.5	古田	33.2	
1997	33	189	5.42	22.51	13.0	23.0	堀内	2.898	徳永	4.88	堀内	17.46	松田	16.5	徳永	38.8	
							菊地	746	菊地	4.88	菊地	18.04	菊地	16.2	鷺沢	30.2	
							白石直	441	白石直	4.98	細井	18.17	高井	15.0	菊地	29.9	
2000	21	43	5.34	23.28	13.1	25.7	関崎	174	佐々木	4.58	関崎	17.76	松田	25.3	佐々木	39.2	
							笛木	127	浅原	4.98	浅原	19.36	浅原	15.8	笛木	35.0	
							浅原	124	森口	5.12	井上	20.07	笛木	15.7	伊藤	31.8	
2001	18	97	5.20	21.11	13.7	24.0	深瀬	589	伊藤	4.66	五嶋	18.35	鈴木	17.5	伊藤	36.2	
							伊藤	338	新岡	4.91	城戸	18.67	井上	16.8	井上	32.3	
							井上	150	鈴木	4.94	深瀬	19.26	新岡	16.6	新岡	28.9	
2002	16	125	5.34	20.49	13.9	22.8	深瀬	500	村木	4.89	永山	18.04	五嶋	17.0	五嶋	31.9	
							林	190	伊藤	4.96	遠藤	18.54	遠藤	16.0	石黒	29.1	
							神谷	190	石黒	5.07	深瀬	18.62	永山	15.7	川辺	27.2	
2003	14	146	5.46	20.86	13.0	25.9	木村	350	小林	4.83	小林	17.79	川辺	20.8	神谷	32.2	
							猪田	273	神谷	5.11	大谷	17.95	大谷	16.3	大谷	32.0	
							神谷	271	木村	5.14	堀内	18.07	小林	15.8	八代	29.8	
2004	18	92	5.67	22.05	12.3	19.6	小川	714	関崎	4.96	関崎	17.27	加納	16.8	八代	33.9	
							関崎	248	野田	5.15	八代	17.83	小川	16.5	芦田	26.2	
							八代	224	八代	5.18	小川	18.78	野田	16.5	手代木	24.4	
2005	21	103	5.57	22.47	11.5	23.4	佃	732	野田	4.98	佃	18.57	野田	17.6	徳永	39.6	
							佐々木	371	田中	5.12	新岡	19.22	徳永	15.5	新岡	35.7	
							徳永	192	市村	5.16	徳永	19.38	西	15.2	野田	29.4	
2006	23	260	5.61	21.70	11.5	22.2	佃	3.295	石井	4.89	佃	17.67	石井	15.0	西	31.7	
							大谷	1.354	市村	4.95	大谷	18.07	伊藤	14.6	伊藤	31.6	
							小澤	206	田中	5.14	菅原	18.37	西	14.0	藤野	27.9	
2007	21	107	5.51	24.58	12.0	22.6	斎藤	426	西	4.77	大谷	16.47	木村	17.0	小澤	34.5	
							徳永	256	渡辺	4.91	鈴木	19.21	小川	16.1	西	32.7	
							小澤	227	鈴木	4.92	小澤	19.42	小澤	15.2	小川	32.1	
2008	18	287	5.40	19.64	13.5	25.3	徳永	1.040	秋葉	4.78	中野	17.31	木村	20.3	渡辺	33.4	
							菅原	861	山岸	4.81	小出	17.35	小川	17.0	大森	32.2	
							斎藤	731	徳永	4.99	伊藤	17.67	徳永	17.0	木村	31.9	

■は、たちばな記録を示す。

スキルテスト L(5年生、6年生)の記録

		人数	ホーリー ^{リフティング}		内通しシート			ホーリー ^{コントロール}			トライア ^ル &バス		ターン		合計 得点	
			回	点数	上	下	点数	トラップ [”]	バス	点数	タイム(s)	点数	タイム(s)	点数		
1998年	上位者	平均	18	78.9	8.6	0.9	0.7	3.6	4.7	4.2	8.9	15.11	5.4	6.94	6.7	33.1
		菊地		222	10	3	0	7	5	5	10	11.25	9	5.47	10	46
		樋口		137	10	2	1	6	5	4	9	13.00	7	6.36	8	40
1999年	上位者	徐		58	9	1	2	5	5	4	9	13.31	7	6.30	8	38
		平均	16	50.2	7.44	0.6	0.7	2.94	4.1	4.3	8.44	14.3	6.25	7.15	6.25	31.3
		関崎		175	10	2	0	5	5	5	10	12.71	8	7.13	6	39
	浅原			63	9	1	2	5	5	4	9	12.78	8	6.64	7	38
		庄司		63	9	1	1	4	4	4	8	12.41	8	6.68	7	36

スポーツテスト L L(3年生、4年生)の記録

年度	人数	平均値					上位者の記録							
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	村上	30.5	
1978	21	7.7	6.1	31.2	8.9	16.6								
1979	24	6.9	6.3	32.7	8.3	15.6								
1980	27	12.8	6.1	30.5	9.1	15.6								
1981	22	19.5	6.0	28.1	9.7	14.2	青木	178		河本充	22.00			
1982	22	11.4	5.9	30.7	9.6	17.2			緯沢	5.30		内田	14.2	
1983	12	5.9	6.0	27.9	8.6	14.9	吉村	11	大野	5.80	田辺義	23.10	三橋	10.2
							田辺義	10	芳賀	5.80	前島	24.80	大野	10.0
							大野	10	草野	5.80	吉村	26.00	前島	9.9
							伊藤	18	海野	5.42	伊藤	23.64	芳賀	12.2
							草野	18					草野	22.9
1984	24	12.7	5.9	28.2	9.4	18.3	吉村	109	松崎	5.29	吉村正	21.18	伊藤	13.5
							海野	32	箕輪	5.31	窪	23.56	福谷	13.0
							伊藤	18	海野	5.42	伊藤	23.64	芳賀	12.2
							草野	18						
1985	28	8.1	6.1	28.1	9.2	16.0	海野	34	出口	5.47	海野	20.11	海野	11.8
							出口	23	猪狩	5.51	十河	23.39	山口	11.6
							高木	13	武田	5.54	山口	24.50	中村	10.4
							猪狩	13					海野	20.9
1986	36	22.3	6.0	26.8	9.6	18.1	秋元洋	94	辻	5.38	猪狩	22.47	中村	13.4
							猪狩	84	今西	5.38	勝田	23.17	佐々木	12.8
							薄木	81	猪狩	5.42	大輪	24.19	秋元洋	12.6
												青木	24.4	
												田島	12.6	
1987	36	24.5	5.9	27.4	9.5	17.0	柴田淳	305	武貞	5.20	三田	20.79	鷺津	12.6
							吉川	83	沢田	5.32	森本	21.81	柴田淳	12.6
							本原	81	中田	5.40	小山	21.98	吉川	12.4
1988	29	23.4	6.0	26.7	10.0	16.4	秋本	143	森木	5.53	佐藤	22.41	内田耕	15.2
1989	19	11.5	5.9	27.2	9.9	16.5	小橋典	37	辻剛	5.09	小橋和	22.40	木津	13.5
							浜田	24	木津	5.30	木津	24.00	遠藤	12.9
							渡部雄	22	渡辺哲	5.39	遠藤	24.30	依田	12.5
1990	28	6.6	6.1	28.9	9.0	14.8	杉本	31	渡部	5.10	森	21.58	杉本	12.5
							渡部	21	杉本	5.23	谷嶋	24.26	森	12.4
							小田	15	池野	5.47	春原	24.42	小田	11.7
1991	12	5.2	5.8	31.9	9.1	15.6	菅野	14	真田	5.33	持丸	25.24	中田	12.0
							真田	9	中田満	5.51	渡辺	28.48	中田満	10.6
							渡辺	8	中田	5.53	真田	28.64	真田	10.3
							持丸	8					真田	18.7
1992	23	18.9	6.1	29.9	8.3	13.3	平井	122	菅野	5.38	中田	24.33	中田	12.4
							菅野	92	山口	5.56	小瀬村	24.97	菅野	12.0
							小瀬村	57	中田	5.62	菅野	25.20	北島	10.7
1993	33	23.6	6.4	28.3	8.1	14.5	横山	117	小蒲	5.55	小瀬村	21.38	北島	12.5
							長尾	93	昆	5.55	長尾	22.77	緒方	11.6
							平井	75	鈴木	5.76	横山	23.11	小西	10.0
1994	37	29.8	6.1	27.2	8.6	16.0	長尾	270	昆	5.17	横山	21.15	緒方	12.0
							緒方	155	長尾	5.32	堀内	21.43	白石健	11.5
							堀内	105	鈴木	5.34	石井	21.62	鈴木	11.4
1995	41	28.2	5.8	28.2	9.1	15.1	堀内	359	白石直	5.11	堀内	19.95	松田	14.1
							菊地	96	菊地	5.18	菊地	21.34	古田	13.6
							宮川	93	高橋亮	5.25	白石直	22.04	白石直	13.3
												菊地	21.5	

は、たちばな記録を示す。

年度	人数	平均値					上位者の記録													
		リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	リフティング	30m走	ドリブル	スローイン	プレスキック	菊地	成田	樋口	森岡	大井	菊地	成田	松田	成田
1996	31	27.0	5.8	25.3	9.6	17.4	菊地	265	菊地	5.16	菊地	18.87	菊地	15.4	菊地	28.2				
							大井	78	成田	5.16	樋口	20.76	森岡	13.4	大井	25.1				
							森岡	78	樋口	5.19	徐	21.60	佐藤敦	12.9	徐	22.8				
																森岡	22.8			
1997	25	31.7	5.8	25.5	10.2	16.7	庄司	92	成田	5.13	樋口	20.41	森岡	15.8	金子	26.7				
							小西	90	佐々木	5.25	森岡	20.58	成田	14.9	森岡	24.5				
							森岡	88	庄司	5.30	庄司	20.60	松田	13.3	成田	23.6				
2000	21	23	5.16	24.36	10.1	18.6	小林	66	村木	5.18	五嶋	19.83	五嶋	14.0	五嶋	28.2				
							椎塚	44	小林	5.25	小林	20.10	椎塚	13.8	椎塚	25.7				
							深瀬	43	永山	5.27	城戸	20.43	田中	13.1	深瀬	23.9				
2001	11	43	5.94	23.61	10.1	16.3	神谷	104	神谷	5.32	大谷	19.26	川辺	13.5	大谷	22.7				
							堀内	82	木村	5.42	堀内	19.43	神谷	13.0	神谷	21.7				
							林	79	堀内	5.84	神谷	20.62	大谷	12.3	木村	18.7				
2002	24	35	6.02	25.64	9.5	14.6	友川	109	八代	5.30	大谷	19.93	大谷	13.4	大谷	23.6				
							大谷	102	関崎	5.34	林	21.30	西	12.0	徳永	20.7				
							関崎	98	林	5.36	友川	22.01	八代	11.8	関崎	20.7				
2003	27	25	6.05	24.92	9.0	15.9	徳永	298	新保	5.43	植松	19.76	加納	14.3	徳永	26.5				
							佃	81	野田	5.50	磯	19.82	西	13.3	西	25.1				
							新保	48	秋山	5.51	徳永	20.74	山岸	12.3	秋山	24.6				
2004	28	47	6.10	25.64	8.5	14.1	佃	239	新保	5.36	菅原拓	19.15	箕輪	13.9	佃	23.2				
							田島	232	伊藤	5.37	佃	19.45	佃	12.2	菅原幹	21.8				
							伊藤	117	田中	5.39	箕輪	19.50	伊藤	12.2	藤野	20.8				
2005	21	60	5.78	23.82	9.0	17.9	大谷	502	松原	5.29	大谷	19.59	木村	12.9	小川	23.3				
							渡辺	238	秋葉	5.33	渡辺	21.30	小川	12.0	岡村	22.6				
							小澤	105	鈴木	5.39	笛原	21.30	渡辺	10.7	西	21.9				
2006	25	64	6.10	27.22	9.7	16.6	渡辺	343	秋葉	5.19	徳永	19.55	木村	16.80	木村	27.7				
							小川	264	戸塚	5.28	伊藤	20.33	小川	16.07	徳永	27.6				
							浜田	238	水野	5.30	斎藤	20.78	西川	12.5	小川	25.4				
2007	26	29	5.89	24.46	8.7	14.5	伊藤	133	山岸	5.15	伊藤	18.90	大森	14.2	西川	25.2				
							西川	72	池原	5.22	佃	19.20	吉武	13.5	池原	22.6				
							小出	60	伊藤	5.39	小出	19.40	伊藤	13.0	林	22.5				
2008	25	99	5.84	23.01	8.8	16.8	和田	1,494	小野田	5.48	和田	18.36	広瀬	12.7	樋	24.1				
							佃	338	大谷	5.50	佃	19.58	小野	12.0	三木	22.1				
							小野	100	猿渡	5.54	三木	19.70	水野	11.3	尾関	21.1				

■は、たしばな記録を示す。

スキルテスト LL(3年生、4年生)の記録

	人数	ホール リフティング		内通しシート			ホールコントロール			トライブル &バス		ターン		合計 得点	
		回	点数	上	下	点数	トラップ	バス	点数	タイム(s)	点数	タイム(s)	点数		
1998年	平均	21	18.4	4.6	0.7	0.4	2.8	3.5	2.9	6.4	19.00	2.7	8.08	4.7	21.2
	上位者														
	浅原	40	8	2	0	5	5	4	9	13.86	7	6.86	7	36	
1999年	関崎	58	9	1	0	3	5	3	8	13.65	7	6.49	8	35	
	中村	23	6	2	1	6	5	3	8	16.85	4	8.69	4	28	
	平均	28	18.8	4.46	0.6	0.7	2.85	3.3	3.9	7.19	16.16	5.04	8.20	4.69	23.4
	上位者														
	伊藤	121	10	2	0	5	5	4	9	14.61	6	7.34	6	36	
	井上	41	8	1	0	3	4	4	8	13.30	7	6.60	7	33	
	五嶋	32	7	0	1	2	5	4	9	13.60	7	6.75	7	32	

歴代コーチの変遷

	'68	'69	'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78
曾田 弘治	L	L	L	L/LL	L/LL	L/LL	L/LL	L	L·A	L·A	L·A
池畠 健一郎			L	L	L	L					
杉崎 実			L	L	L	L	L	L·A			
佐野 仁							L	L	L·B	L·B	L·B
安沢 武芳							L	L	L	L	L
大島 勉							LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A
永田 欣也								LL·B	LL·B	LL·B	LL·B
末山 本村								LL·A	LL·A	LL·A	L·A

	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
曾田 弘治	L·A	L·A	L·A			L·A	L·A	L·A	L·A	L·A	L·A
佐野 仁	L·B	L·B	L·B	L·B	L·A						
大島 勉	LL·A	LL·A	L·A	L·A	L·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A
永田 欣也	LL·B	LL·B	LL·A	LL·A	LL·A	LL·B	LL·B	L·B	L·B	L·B	L·B
末山 本村	L·A	LL·B	LL·B								
中林 由行	フリー										
佐藤 章			L	L	L						
前島 宏行			LL·B								
吉村 武康				L	L	L	L				
田辺 昭治				SL							
南間 正次					LL·A	L·B	L·B	L·B	L·B	L·B	L·B
横川 芳江					SL	LL·B	LL·B	LL·B	LL·B	LL·B	LL·B
村松 理雄						LL·B	LL·B	LL·B	LL·B	LL·B	LL·B
田島 直樹						SL	SL	SL	SL	SL	
柴田 幸吉							SL	SL	SL	SL	
薄木 雄次								LL·B	LL·B	LL·B	LL·B
佐藤 敬									LL·A	LL·A	L·B
内山 義嗣									LL·B	L·B	L·B
渡辺 邦雄											SL

	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99
曾田 弘治	L·A	L·A	L·A	L·A	L·A	L·A	L·A	L·A	L·A	フリー
佐野 仁	L·B	L·B	逝去							
大島 勉	LL·A	LL	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·B	LL
永田 欣也	L·B	L·B	L·B	SL	SL	SL	SL	SL	LL·A	SL
中林 由行	フリー	フリー	フリー							
前島 宏行	LL·A	LL	L·A	L·A	L·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·B	LL
田辺 昭治	SL	SL	SL	SL	SL	SL	L·B	L·B	L·B	L
南間 正次	L·B	L·B	L·B	L·B	L·B	L·B	L·B	L·B	L·B	L
横川 芳江	LL·B	LL	LL·B	LL·B	LL·B	LL·B	LL·B			
村松 理雄	LL·B	LL	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·A	LL·B	LL
薄木 雄次	LL·B	LL						逝去		
佐藤 敬	L·B									
渡辺 邦雄	SL	SL	SL	SL	LL·B	LL·B	L·B	LL·B		
中野 純	L·A	L·A	L·A	L·B	L·B	LL·B	L·B	フリー		
緒方 修一			SL	SL	LL·A	L·A	LL·B	LL·B	フリー	LL
堀内 正一				SL	SL	SL	SL	L·A	SL	SL
新井 一成				LL·B	LL·B	L·B	L·A	LL·B	L·B	L
細井 雄二					SL	SL	SL	L·A	LL·A	L
宍戸 正人					LL·B	LL·B	L·A	L·A	L·A	LL
木村 尚嗣						LL·B	LL·B	L·B	L·A	LL
鈴木 彰浩							LL·B	SL	フリー	L
五嶋 喜久夫								SL	SL	L
伊藤 直和								SL	SL	LL
佐々木 勝幸									LL·A	L
浜田 雄貴										L
木津 謙太郎										L

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
曾田 弘治	顧問	顧問	顧問						
大島 勉	LL	フリー	フリー					逝去	
永田 欣也	相談役	相談役	相談役						
前島 宏行	代表/LL	代表/L	代表/L	L	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー
田辺 昭治	SL	SL	SL	SL	SL	フリー	フリー	SL	SL
南間 正次	フリー	フリー	フリー						
村松 理雄	L	L	SL	LL	LL	フリー	フリー	フリー	フリー
渡辺 邦雄	SL	SL	LL	LL	L	L	L	LL	LL
緒方 修一	L	フリー	フリー						
堀内 正一	LL	LL	L	L	SL	SL	LL	L	L
新井 一成	SL	L	LL	LL	L	L			
細井 雄二	L	LL	LL	L	SL	SL			
宍戸 正人	LL	監督/SL	監督/SL	代表/監督	代表/監督	代表/監督	代表/監督/SL	代表/監督/SL	代表/監督
木村 尚嗣	LL	LL	L	L					
五嶋 喜久夫	LL	L	L	SL	LL	L	L	フリー	
伊藤 直和	L	L	L	SL	LL	LL	LL	L	L
佐々木 勝幸	L	LL	SL	LL	LL	L	フリー(L)	LL	LL
浜田 雄貴	L	L	L	L			LL	フリー	
木津 謙太郎	L	L	L	L					
小林 徹	LL	LL	L	L	L	L	L	フリー	
軽部 浩一	SL	LL	LL	L					
秋山 浩	SL	SL	LL						
手代木 修				LL	L	SL	SL	SL	SL
徳永 佳則				LL	L	LL	LL	L	L
田島 泰彦				LL	LL	L	L	LL	LL
小澤 伸雄				SL	LL	LL	フリー(SL)		
小川 誠				SL	SL	LL	LL	L	L/ SL
渡辺 智彦					SL	LL	LL	L	フリー
吉武 誠吾						SL	LL	LL	L
小野 欽也						SL	SL	LL	LL
佃 学						フリー	L	LL	LL
三木 健司							SL	LL	LL
大森 隆								LL	L
大谷 稔								SL	LL
河野 優								SL	SL
水野 裕介									SL
菊田 淳									SL

現役コーチ陣より

田辺 昭治

記念誌発行にあたり、今日ここにお祝の一言を記せることを大変うれしく思います。今年は横浜開港150年、区政70年と節目の年にたちばなが40年と二重の喜びであります。振り返れば、私もたちばなにお世話になり、今年で28年が経とうとしています。息子をたちばなに入れてからサッカー生活が始まりました。当時はSLが無く、3年になるまで待って欲しいとの返事であったと記憶しています。その時、既に兄の子供がLLで活躍していたので一緒にやらせて欲しいとお願ひし、入れて頂いたのがたちばなとの付き合いの始まりです。その後すぐSLを立上げ一挙に1、2年生が増え始め一時は今の倍近くの人数に達していました。コーチも増え、男だけでなく女性（横川、山本）コーチもいて大変にぎやかでした。こうした中、たちばなOB会が発足し、たちばなクラブや女性サッカーチームが出来てそれは大変なにぎわいでした。正にたちばなのバブル絶頂期がありました。私もサッカーの審判資格を取りサッカー生活に明け暮れながら活動の場を広げ、港北区サッカー協会を立上げ設立致しました。これもたちばなにいたお蔭と深く感謝しております。

一方でたちばなの環境も大きく変化しました。曾田監督も代り、佐野、大島コーチが他界するなど40年の歴史の重みを痛切に感じています。私も身体の続く限り子供達と一緒にボールを蹴り楽しく明るくたちばなを盛り上げて参りたいと思っています。

「40周年本当におめでとうございます」

小川 誠

たちばなキッカーズ 創立40年おめでとうございます。

横浜市港北区下田町の地を拠点にこれまで活動された諸先輩方たちの熱い思いと苦労を感じながら、40年間活動されてきた事に対する重さを感じているこの頃であります。また、これからも地域に根ざしたサッカーチームの関係者として、次の世代の子供達の架け橋になればと思い微力ではありますが、ご協力が出来ればと思っております。我が息子も40期生として、たちばなKCに入団し、サッカーを上手くなることよりも、友達づくりを目的に入団いたしました。6年間、たちばなKCの精神に触れることにより、友達もたくさんでき、さらにはサッカーファンになってしまった一人であります。中学、高校に行ってもサッカーを続けたい。サッカー選手になって見たいと夢を持つ程になっております。これも関係者の皆さんとの温かい指導、愛情があったからだと感じております。

最後になりますが、「たくましく、たのしく、ちからいっぱい、バナナシュートでもなんでもござれ！」の精神を継承しつつ、子供達中心のサッカーチームとし、子供達を集団の中の一人でなく、個々の人間として付き合いながら、その成長を見守りつつ、これからも子供達と接していくべきだと思います。これからも元気に楽しく、たちばなキッカーズ！！

伊藤 直和

たちばなキッカーズ創立40周年おめでとうございます。

コーチの誘いを受け、子供達とサッカーに興じる魅力に引かれ、コーチとして12年目を迎えた。

まだまだ12年の月日ですが、この間、様々な体験をさせてもらいました。保護者の方々の熱心な応援に感動したり、子供達の技術の向上に驚かされたり、また、勝負へのこだわりに悩んだり等々一ひとつひとつが勉強になります。

たちばな歴史と伝統を心に刻み、子供達がこれから的人生、心身ともに大きく成長していくことを望みます。

また、私自身もこの節目に、ひとりでも多くのサッカーファンが増えるよう、少年少女のサッカー指導を頑張っていこうと改めて思っています。

大谷 稔

創立40周年、おめでとうございます。歴史ある少年サッカーチームに微力ながらお手伝いできること、とても光栄に思います。

40年もの長きにわたり、時代の流れに左右されず歴史を刻み続けるのは、「子供が主役のたちばなサッカー」という言葉に象徴される一貫した指導方針によるものなのでしょう。

チームが主役?、コーチが主役?そんなときもあるでしょう。白熱した試合、目先の勝負にこだわりたい場面もあるでしょう。多くの主役である子供たちのため、脇役の一人としてがんばっていきたいと思います。

渡辺 智彦

創立40周年おめでとうございます。

横浜少年サッカーの創成期を支え、子供達とその家族、そして地域との融和を大切にしてきたからこそ、みんなに必要とされる存在として現在を迎えたことだと思います。

サッカーや地域を取り巻く環境は時代と共に変化していますが、ゴール・勝利を目指して仲間と協力しあうことを大切にする気持ちや一生懸命努力したことが報われる喜びなどスポーツを通じた心の教育を今も昔もこれからも続けていけるチームだと信じています。笑顔でボールを追いかけて、大声を出して、走りまわる・・・一番人間らしくいられる場所が「たちばなキッカーズ」なのかもしれません。

田島 泰彦

たちばなキッカーズ、40周年、おめでとうございます。

実は私自身、第10期生のOBになります。今から30年以上前に、このクラブで汗を流し、ボールを追いかけていました。曾田前監督の下、サッカーを知り、その楽しさを覚えた時期でもありました。たちばなでコーチとして参加させて頂いたのは、長男が小学校1年生の時にこのクラブに入り、それがきっかけでコーチとしてお手伝いをするようになりました。当時は不規則な生活からかなりのウエイトオーバーでおまけに腰も痛めておりました。不健康で、コーチ就任は良いタイミングでした。初めは子供達と走るだけで精一杯でしたが、走り回るうちに元サッカー少年の血が騒ぎ出し、すっかり夢中になりました。

長男は小学校卒業と同時にクラブも卒業しましたが、私はたちばなのとりこになり、子供達と一緒にグランドで汗を流すことが、何よりの楽しみとなりました。

さて一言で40周年と言いますが、1つの組織を40年間継続させることは、本当に大変なことです。地域の子供達を集め、ご父兄のご協力を得て、年間の大会参加スケジュールをこなしていくわけですから、その大変さは計り知れないものがあります。週末と祝日は大抵練習を行っています。これらを考えますと、40年間よく続いてこられたなど、ただ感心してなりません。創設者の曾田前監督をはじめ、関係者スタッフ、それを支えてきたご父兄の多大なご協力がなければ成し遂げられなかつたものと思います。これから50年、60年と、たちばながいつまでも長く続くよう、微力ながら私も協力をさせて頂く所存です。また子供達がこのクラブに入り、心から楽しくサッカーが出来るよう、その環境作りに励んでまいりたいと思います。

40周年のお祝いと、これから益々繁栄していくことをお祈り申し上げます。

小野 欽也

コーチになって4年になります。これまで、たちばなキッカーズでコーチになるためには、創立30周年記念誌を読破する必要がありました。それは、監督の厳しい面接試験にパスするためにどうしても必要だからです。つまり、たちばなキッカーズのコーチは、全員、チームの伝統と指導方針をきちんと身につけたエリートコーチということになります。40周年を迎えるました。今後、コーチになることを希望する方は、伝統と指導方針を理解するために40周年誌を読破する必要があります。それにより、このチームの指導方針が、伝統である「とにかく子供たち中心に、サッカーを楽しむこと!」に基づいていることを知るでしょう。グランドで子供たちの姿を見てください。みんな立派なサッカー馬鹿に育ってますよ!

佃 学

このメッセージを書くにあたりたちばな30周年記念誌を読み返して、わずか10年の間でたちばなを取り巻く環境が大きく変化していることに改めて気付かされました。例えば、Jクラブ下部組織の拡大、近隣チームのNPO法人化、また新規チームの発足に加え、少し足を伸ばせば数多くのスクールができます。それぞれの理念や目指すところは多少なりとも違いますが、サッカーをおこなううえで選択肢が広がるということは非常によいことだと思っています。また、その中でお互いに刺激しあいながら子どもたちにとってよりよい環境作りをおこなっていくことが大切だと思います。

たちばなの40年間変わることない”主役は子どもたち”という（当たり前ですが、ついつい忘がちな）言葉を大切に、遊び心も忘れず微力ながらお手伝いできればと思います。そして、ここで育った子どもたちが帰ってこれる場をこれからも提供できるたちばなであって欲しいと願っています。近い将来、親子3代たちばな育ちという日が来るのを夢見て・・・

大森 隆

たちばなキッカーズ40周年おめでとうございます。

私はコーチになって日は浅いのですが、これからもたちばなキッカーズを盛り上げて、50周年・60周年と迎えられる様に頑張っていきたいです。

河野 優

たちばなキッカーズ、40周年、おめでとうございます。

私のようなものが、コーチとして記念行事に参加できることを心より光栄に思っております。と言うのも、ご存知の方は多いかと思いますが、私は小学校から大学までサッカー部ではなく野球部に属していたからです。幼少時からスポーツは何でも好きでしたが、サッカー部に対する思いは、あまり良いものではなく、むしろ敵対心(?)すら覚えていました。しゃれっ気がでる高校時代には、野球部は坊主頭と学ラン、サッカー部は長髪としゃれた洋服のためか、女子の人気も火を見るより明らかでした。

当然、息子たちには野球をやらせるはずでした。幸いにも健康な子を授かることができ、喜び勇んでグローブとバットを買い与えました。しかし、長男坊から発せられた言葉は、

「サッカーがやりたい」がありました。

「息子がやりたければやればよい」と半ば自分を説得させながら、右も左もわからない次男坊もついでに入会させたのが、歴史ある「たちばなキッカーズ」がありました。初めて下田小を訪れ、子供達が主体となり、笑顔を交えた懸命なプレーを見た時に、サッカーに関する邪念が吹き飛びました。同時に、このクラブでサッカーを続けるべきだと確信し、それ以後は、にわかサッカーフリークとなっております。

ひょんな事から、宍戸監督からコーチの要請を頂き、2007年からは、SLのコーチとして参加させて頂きました。サッカー素人である私に、40年という歴史の長いクラブのコーチ業など勤まるかどうか不安でしたが、以前からコーチをされていた方々の御指導、また御父兄の方々の温かい御協力を頂き、そしてなによりも子供達の笑顔から力をもらい、日々、充実したコーチ生活を送っていることに、この紙面を借りて、心から感謝を申し上げる次第です。

今後も、歴史ある当クラブの名を汚さぬよう、そして子供達がスポーツを心から楽しめる環境が提供できるように、微力ながら、尽力させて頂く所存です。今後も当クラブがますます発展することを祈願し、私からのメッセージを終わらせて頂きます。

水野 裕介

たちばなキッカーズ創立40周年おめでとうございます。

SLのコーチになってまだ1年足らずの自分ですが、先輩コーチのお手伝いをさせていただきながら楽しく笑顔で子供たちと接しています。

自分自身も小学校4～5年生の時にチームに席をおいていました。当時、下田小学校では今よりも増してサッカーが盛んに行なわれており、たちばなキッカーズはステータス的な存在でした。曾田監督の家に仲間と背番号をもらいに行くのがドキドキだったのを覚えています。

これからはコーチとして子供たちが楽しく元気にプレイ出来るような環境を作ってるあげられるように頑張ります。自分も子供たちに負けないように一緒に走って、学んで行こうと思います。

最後になりましたが、40年もの長きにわたり存続・発展してきたのも、曾田前監督をはじめ、スタッフ、お母様方のご尽力があったからこそだと実感しています。これからも子供たちのために力を合わせて頑張りましょう。

吉武 誠吾

40周年おめでとうございます。

私自身、コーチのお誘いを受け5年目のヒヨッ子コーチですが、歴史のあるチームに所属でき光栄に思います。

この長い歴史の中でサッカーをする環境もどんどん変わって来たのではないか。Jリーグが出来て、サッカーが盛んになって、サッカーを出来る環境もどんどん良くなりグラウンドも土から人工芝はたまた天然芝、と羨ましい限りの環境で楽しくサッカーが出来る子供達は幸せだと思います。

『子供が主役』と言う様に、これから先も子供達が楽しく、のびのびとサッカーを出来る様に非力ながらお手伝い出来ればと思います。

菊田 淳

創立40周年おめでとうございます。40年というと私が小学校一年生でサッカーを始めるよりも前のこと、まだ少年サッカーが盛んとは言えないこの当時、おそらく練習グラウンドの確保や試合相手を探すことをはじめ、チーム運営に当たり様々なご苦労があったのではないかと思います。40年の間指導に当たられた監督・コーチ、ご父兄の皆様の努力に心から敬意を表します。

息子が昨春チームに入会し、私自身は昨年末コーチとなつたばかりですが、勝つことよりも子供たちの成長を見守る、というチームの指導方針を忘れず、子供たちがサッカーを通して何かが出来るようになる喜びを感じることのできるようなお手伝いをさせていただければと思っています。

これからも益々たちばなキッカーズが繁栄していくことを願い、微力ながらそのお役に立てればと思います。よろしくお願ひいたします。

堀内 正一

たちばなキッカーズの皆様、並びに関係者の方々、この度は40周年本当におめでとうございます。

私は、15、6年前からコーチを務めさせて頂き、今現在に至っております。最近は、仕事の都合上あまり参加出来ていませんが、初代監督の曾田氏の考えを継承する現監督の宍戸氏、コーチの方々のもと、子供達は日々成長している事と思います。私がコーチを始めた頃のサッカーと最近のサッカーでは大きく変化し、少しあは世界に出て行けるテクニカル、フィジカル、メンタルを持てるようになつてきたように思います。ただ、今でもイマジネーションの部分に於いては、まだまだ欠けている部分が多く見受けられます。これから日本のサッカーを底辺から支える地域のクラブこそが、未来に繋がる選手を育てるかぎだと私は思っています。

最後に関係者の方々、父兄、OBの皆様の協力により、たちばなの50周年、また、60周年と続していく事を願っております。

三木 健司

自分がたちばなを卒団して約30年、今でも、たちばな時代と同じように壮年の全国大会出場を目指してピッチを走っています。また、時間が許す限り、たちばな、駒林の同級生達とフットサルに明け暮れています。(たちばな時代との違いは、試合後の飲み物がビールになった事位か?)

卒団後、サッカーという共通の言葉を通じ多くの仲間と、楽しいこと、悲しいこと色々ありましたが、有意義な時間を過ごして来ましたし、これからもそうだと思ってます。これもひとえに小学校時代にたちばなを通じてサッカーの楽しさを学んだのと同時に、ともにピッチを走り回った友人達のおかげだと思っています。

愚息が3年前よりたちばなに2代に渡りお世話になることになり、私も2年前より、コーチをやらさせて頂いてます。微力ながら、今後も、子供達に仲間と共に考えながら楽しくサッカーをする環境を整えられればと考えています。

最後に、サッカー人生は70年、私もサッカーを続けますが、たちばなのみんなも続けて欲しいと思ってます。絶対いいことが続きます。(と思ってます。)

佐野さんとたちばなキッカーズ

—1992年1月11日に他界された佐野仁氏を偲んで—

たちばなキッカーズ監督 曽田 弘治

(創立30周年記念誌より)

1992年夏、その年で18回目の富士合宿が終わった。富士合宿と言えば佐野さん。いつも二ヶ月位前から気を使ってくれた佐野さんであったが、前年奥さん同伴で参加されたのが最後となった。1992年は合宿間際になって日程変更があったため、いつもの「緑の休暇村」ではなく、河口湖畔での4日間となつたが、長年にわたり敷かれたレールに乗って無事終える事が出来た。ここでしばし「佐野さんとたちばなキッカーズ」を振り返ってみたい。

佐野さんは少年サッカーのメッカ清水市の出身、しかも高校サッカーで名高い清水東高のOB、但し高校時代はバスケットボールの選手で、他に登山の経験も深く、社会人になってから登山で国体の選手に選ばれた事があるとか。この10数年間は、サッカーが佐野さんの郷土愛に結びついた。

たちばなとの縁は、長男の祐一君(たちばな8期生)が入ってからで、昭和49年には父親コーチ第1号として、祐一君と同期の安沢芳生君のお父さんと共に、当時制定されたばかりの4級審判の資格を取得し、その後横浜サッカー協会の少年委員を引受け、深く少年サッカーにかかわる事になった。

昭和49年の年末に佐野さんは、日吉の社宅を出られ港南区の現住所に居を構えられたが、祐一君がたちばなでサッカーを続けたいという事で、その後は愛車ルーチェで、親子で下田小や試合会場を巡る事になった。当時の下田町は元気一杯の子供が満ち溢れ、なかでもワンパクで名の知れた子は大体たちばなに入った。ふだんの日でもオレンジユニフォームや紺のたちばなジャージーが幅を利かせていた。当然入会希望者も多く、制限せざるを得ない時代であった。祐一君は昭和52年春卒業して離れたが、この様な状況で、佐野さんには引き続きコーチとして残ってもらった。

たちばなの最重要行事となった恒例の富士合宿は、昭和50年から始まったが、佐野さんは勿論第1回から参加。例のスポーツテスト等に使う鉄棒と台は、佐野さんが自分で考案し、つくり、運んできたものである(残念な事に、1991年の下田小の工事で紛失し、現在のものは2代目)。

かつては合宿の1ヶ月位前から、会社の昼休みにランニングをしてコンディションづくりに万全の注意を払う佐野さんであった。富士山は、青春時代に數え切れないほど登った山でもあり、特別の思い入れがあったに違いない。1991年の合宿前は、合宿スケジュールやスポーツテストの表の作成、個人記録の整理等を病床で仕上げ、「僕は何もする事がないから……」と謙遜して苦笑された姿が目に浮かぶ。今後も富士合宿が続く限り、佐野さんの思い出も語り継がれていく事だろう。 合掌

(たちばなニュースNo.72 平成4年4・5・6月号から抜粋)

薄木コーチを偲んで

—1996年10月6日に他界された薄木雄次氏を偲んで—

たちばなキッカーズLLコーチ 前島 宏行

(創立30周年記念誌より)

薄木コーチがたちばなのLLコーチ陣に加わったのは、お嬢さんの愛ちゃんがLLを卒業し、雄君が替わりに入った頃だろうか。丁度、私が永田コーチと担当していたLL-Bのメンバーが60名を越える規模になった頃である。コーチの絶対数が足りず、適任者を見つけるにも苦慮していた時、ミニバスケットのコーチとして指導にあたっていた薄木さんに、メンバーの親御さんであり、子供達の指導経験を生かしてもらおうとお願いしたところ、「わかりました、やりましょう」の有り難い一言で即決、たちばなのコーチとして参画して頂く事になったのである。実技の面でも、横への素早い動き、ダッシュの大切さなど、バスケットと相通するものがあり、コーチ間のチームワーク、信頼感も最高な頃であった。こうして薄木／村松／私の三人体制で臨む事になり、やがてLL-Bの最盛期を迎える事になる。

私の想い出の中の薄木コーチは、バスケットボールで鍛えた長身でスリムなボディーと自慢の口ヒゲ

(我家の三男坊いわく「マカロニほうれん荘」のトシちゃんそっくり。ヒゲコーチ第1号)で、淡々と、時には熱っぽく子供達に語りかけ、わかり易い言葉で情熱をこめて子供達を納得させていく話術など、学ぶところが多かったものである。国際チビッ子サッカー大会でブロック優勝したあと、三人で祝杯を上げた時、私が「あのメンバーでは優勝してあたり前のような気がする」と言ったら、「前さんはカワイクナイ、もっと素直に喜べ」としかられた事も、彼の心情の発露であったと思う。なかなかの酒豪で、前夜のお酒がさめず、匂いで二人が酔ってしまうのではないかと思った事が何度かあり、これも楽しい想い出の一つである。

その後、サッカーとミニバスのコーチを兼任され、忙しい日々を過させていたが、やがてたちばなの子供達の減少と共に自ら望んでミニバスコーチ専任に戻り、我々も一抹の寂しさを感じていた矢先に、入退院の知らせ。そして、復帰後間もない再入院と別れへの旅立ちであった。本当に短い間ではあったが、多くの事を我々に残してくれた。

今でも夏の暑い日の練習の合間に涼しい風が吹き抜けて、熱くなった身体がホッと休まる時、ふと薄木さんと一緒に、汗だくになってグランドを走り廻っていた時の事が目に浮かび、在りし日を想い出すのである。今でも、立派に成長されたお子さん達を始め、ご家族をどこかで見守っていることだろう。

「おい、たまには遊びに来いよ、一杯やろーぜ、村松さんと待ってるよ！」

第18期卒業生と佐野コーチ、薄木コーチ（最後列の右から五人目と二人目）



昭和62年3月 第18期たちばなキッカーズ 卒業記念

大島コーチを偲んで

—2007年2月24日に他界された大島 勉氏を偲んで—

たちばなキッカーズコーチ 村松 理雄

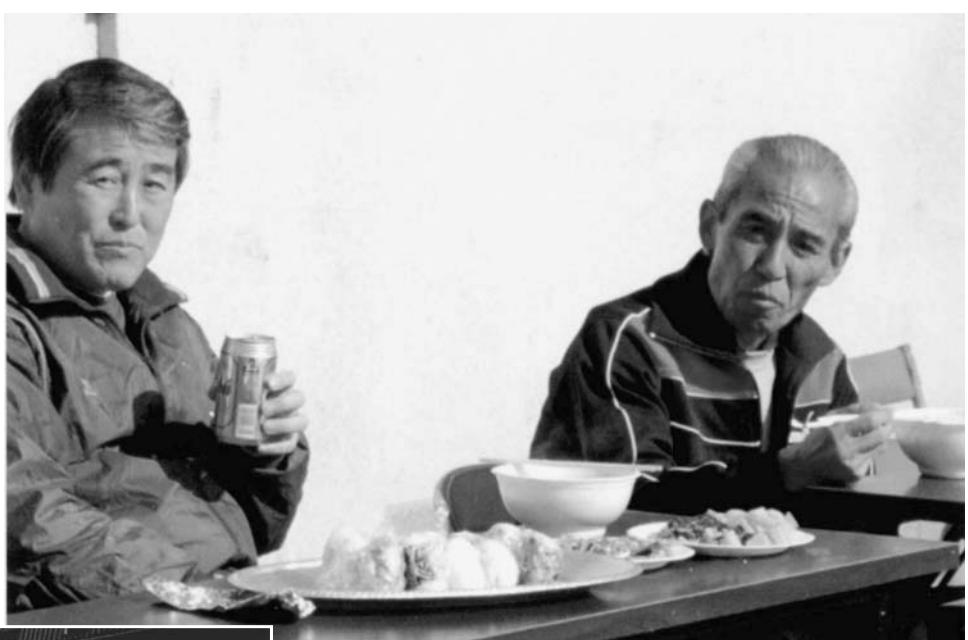
たちばなキッカーズ創立40周年、誠におめでとうございます。私がたちばなに参加してから早いもので、20数年が経ちました。まるで走馬燈のように、色々な事が心に浮かんで、大変感懷深いものがあります。

思い出してみると、私が初めてグランドに行った時、色浅黒くスリムなコーチが目に付きました。その方が大島コーチ（当時 LL-A 担当）でした。とても強い印象を受けました。私は LL-B で、前島コーチ、横川コーチとご一緒させていただきました。大島コーチの現代的と言うか、今様というか、子供達に非常にわかりやすい指導方法に、驚きました。私は、学生時代、古臭い体育会系的な指導を受けてきたので、一人一人を良く観察し、自主性を大事にし、子供達自身に考えさせ、納得させていくやり方に、大変良い勉強をさせていただきました。そして、これらの教えを肝に銘じ、子供達と接していくこうと思いました。また、大島さんは、大変熱心で、練習を休まれた事もありませんでした。数年後、コンビを組んで、LLA を担当させていただくことになりました。40周年を待たずに鬼籍に入られ、大変残念でしたが、長い間、ご苦労様でした。

また、たちばなでは年間を通して多くの行事がありました。練習試合、公式戦、夏の河口湖での合宿。特に合宿では、三泊四日の間、寝食を共にした思い出も、今でも心に残っております。

最後に40周年記念に携わって下さっている皆様に、心から感謝申し上げます。

村松コーチとありし日の大島コーチ（右）（1995年12月10日たちばな杯）



クラブ規約の変遷

創立当初のたちばなキッカーズクラブ規約

<p><u>たちばなキッカーズクラブ規約</u></p> <p>1. 本クラブは「たちばなキッカーズ」と称する。</p> <p>2. 本クラブは、小学校3年生より6年生までの少年をもって正会員とし、中学生を準会員とする。入会希望者は所定のテストを受けた上入会できる。</p> <p>3. 本クラブは、サッカーの技術向上を通して、会員相互の親睦と心身の鍛錬をはかることを目的とする。</p> <p>4. 本クラブは、次の役員によって運営される。</p> <p>会長・監督 曽田弘治 コーチ 杉崎実、大島勉 技術・戦術顧問 中山昌平 会長はクラブを統括し、監督は試合を指揮する。コーチは監督を補佐する。</p> <p>5. 本クラブは、クラブの目的を達成するため次のことを行う。</p> <p>(1) サッカー技術向上のため兩天の場合を除き次のような練習日を設ける。 たゞし試合等の事情により練習時間を変更することもある。</p> <p>① 毎日曜日 午前7時～11時 ② 毎土曜日 午後1時～4時（自主練習） ③ 神奈川県スポーツ少年団に加盟し、その主催する試合に参加する。 ④ 各地の少年サッカークラブとの交歓試合を行う。</p> <p>6. 練習中、試合中をとわず、クラブ員としての活動の際の行為については次の処置をとる。</p> <p>(1) 1週間以上の医師の治療を要する行為については、主としてスポーツ安全協会傷害保険による。 (2) その他はクラブ内で処置する。</p> <p>7. 本クラブの経費はクラブ員の納める会費をもってあてる。</p>	<p>8. クラブ員は次の会費を負担する。</p> <p>(1) 会費 月額 300円 (2) 入会金 300円 (3) スポーツ安全協会傷害保険費 年間 300円</p> <p>9. 会費について</p> <p>(1) 会費は3ヶ月分ずつまとめて4月、7月、10月、1月の第1日曜日に納める。 (2) 会費納入袋を納入日の前週に渡す。 (3) 一度納めた会費は、その後脱退しても返納しない。 (4) 会費は、①試合参加費 ②通信交通費 ③用具代 ④クラブ行事（たちばな杯争奪、年2回実施）、諸経費などの諸費用に当てる。 (5) 会計に不足が生じた時は、臨時に会費を徴収することができる。 (6) 会費の収支はつねに明らかにし、年1回決算報告を行う。</p> <p>10. ユニフォームは会員個々の負担とし、下記規定のものを用いる。</p> <p>サッカーウェア オレンジ パンツ 錦 ストッキング オレンジ</p> <p>（補足）</p> <p>・对外試合には全員出場めざすが、練習に参加し、積極的なプレーと、より整ましいマナーを具備せる者を優先する。 ・連絡なく1ヶ月以上にわたって練習に参加しないものは、退会したものとみなす。 ・会員の人数の都合で、入会申し込みの受付を一時中止する場合もある。 ・会員は自主練習用ボールを各自で用意する。</p>
---	--

昭和53年当時のたちばなキッカーズクラブ規約

<p><u>たちばなキッカーズクラブ規約</u></p> <p>1. 本クラブは「たちばなキッカーズ」と称する。</p> <p>2. 本クラブは、小学校3年生より6年生までの少年をもって正会員とし、中学生を準会員とする。入会希望者は所定のテストを受けた上入会できる。</p> <p>3. 本クラブは、サッカーの技術向上を通して、会員相互の親睦と心身の鍛錬をはかることを目的とする。</p> <p>4. 本クラブは、次の役員によって運営される。</p> <p>会長・監督 曽田弘治 コーチ 大島勉、永田欣也、佐野仁、安沢武芳 技術・戦術顧問 中山昌平 会長はクラブを統括し、監督は試合を指揮する。コーチは監督を補佐する。</p> <p>5. 本クラブは、クラブの目的を達成するため次のことを行う。</p> <p>(1) サッカー技術向上のため兩天の場合を除き次のような練習日を設ける。 たゞし試合等の事情により、練習時間を変更することもある。</p> <p>① 毎日曜日 午前7時～11時 ② 毎土曜日 午後1時～4時（自主練習） ③ 神奈川県スポーツ少年団に加盟し、その主催する試合に参加する。 ④ 各地の少年サッカークラブとの交歓試合を行う。 ⑤ 年1回以上スポーツテストを行う。</p> <p>6. 練習中、試合中をとわず、クラブ員としての活動の際の行為については次の処置をとる。</p> <p>(1) 1週間以上の医師の治療を要する行為については、主としてスポーツ安全協会傷害保険による。 (2) 1週間以内の怪病については自己負担とする。</p>	<p>7. 本クラブの経費はクラブ員の納める会費をもってあてる。</p> <p>8. クラブ員は次の会費を負担する。</p> <p>(1) 会費 500円（月額） (2) 入会金 500円 (3) スポーツ安全協会傷害保険費 550円（年間）</p> <p>9. 会費について</p> <p>(1) 会費は6ヶ月分ずつまとめて4月と10月に納める。 (2) 会費納入袋を納入日の前週に渡す。 (3) 一度納めた会費は、その後脱退しても返納しない。 (4) 会費は、①試合参加費 ②通信交通費 ③用具費 ④スポーツ少年団加盟費 ⑤クラブ行事（たちばな杯争奪、年2回実施）、諸経費などの諸費用に当てる。 (5) 会費に不足が生じた時は、臨時に会費を徴収することができる。 (6) 会費の収支はつねに明らかにし、年1回決算報告を行う。</p> <p>10. ユニフォームは会員個々の負担とし、下記規定のものを用いる。</p> <p>サッカーウェア オレンジ、ブルー パンツ 錦、白 ストッキング オレンジ</p> <p>（補足）</p> <p>・对外試合には全員出場をめざすが、練習に参加し、積極的なプレーと、より整ましいマナーを具備せる者を優先する。 ・連絡なく1ヶ月以上にわたって練習に参加しないものは、退会したものとみなす。 ・会員の人数の都合で、入会申し込みの受付を一時中止する場合もある。 ・会員は自主練習用ボールを各自で用意する。</p>
---	--

以上

たちはなキッカーズ・クラブ規約

2006年4月

1. 本クラブは、たちはなキッカーズ・クラブと称する（略称：TKC）
2. 本クラブは、原則として幼稚園年長から小学校6年生までの児童をもって正会員とする。
3. 入会希望者は、入会にあたり所定の手続きを必要とする。毎年、定期募集は3月末、その後は随時入会可能とする。
4. 本クラブは、サッカーの技術向上を通じて、会員相互の親睦を図ることを目的とする。
5. 本クラブは、クラブの目的を達成する為に、次のことを行なう。
 - (1) サッカー技術向上のため、次のような練習日を設ける。

ア. 毎日曜日・祭日	午前9時～12時	グラウンド：下田小学校 他
イ. 每土曜日	午後1時～5時	グラウンド：下田小学校 他
 - (2) 横浜サッカー協会少年部に加盟し、その主催する試合に参加する。
 - (3) 近隣サッカークラブとの交歓試合を行なう。
 - (4) たちはな杯争奪戦（年2回程度）、その他（夏期合宿等）
6. 練習中、試合中を問わず、クラブ員としての活動の際のケガについては、次の処置をとる。
 - (1) 4日以上の通院を要するケガについては、主としてスポーツ安全協会傷害保険を適用する。
 - (2) 軽傷の場合は、クラブ内で応急処置をする。
7. 本クラブの経費は、クラブ員の納める会費を以って充当する。
8. クラブ員は、次の会費を負担する。

(1) 会費	3ヶ月 4500円 (中途入会の場合は1ヶ月 1500円)
(2) 入会金	1000円
(3) スポーツ安全協会傷害保険	年間 500円
(4) 雑費	年間 1000円
9. 会費等について
 - (1) 会費は3ヶ月まとめて全納する。
 - (2) 一旦納めた会費は、その後退会しても返却しない。
 - (3) 病気、その他やむを得ない事情により、2ヶ月以上休む場合は会費を免除する。尚、長期に亘り休み、その後復会する予定の場合は「休会」とし、休会届けを提出することとする。
3ヶ月の会費を納入後に休会する場合、休会が2ヶ月以上になる場合は会費を返却する。休会が2ヶ月未満の場合は月単位で会費を返却する。尚、休会の場合でも、雑費とスポーツ安全協会傷害保険金は徴収する。
 - (4) 遠征試合の交通費等はその都度自己負担とする。
 - (5) 会計に不足が生じた時は、臨時に会費を徴収することができる。

10. ユニフォームは、全員個人の負担とし、下記規定のものを用いる。
尚、ゴールキーパー用のユニフォームはクラブで用意する。

サッカーウェア	オレンジ色および青色
サッカーパンツ	紺色
ストッキング	オレンジ色
サッカーシューズ	トレーニングシューズ(対外試合のみスパイクを使用してもよい)

補足

- ・対外試合には全員の出場を目指すが、常に練習に参加し、積極的なプレーと、より望ましいマナーを備えた者を優先する。
- ・連絡なく1ヶ月以上にわたって練習に参加しない者は退会したものとみなす。
- ・クラブ所有のユニフォームは公式試合時のみ着用とし、練習試合/クラブ練習時は個人所有のたちはなユニフォーム或いはクラブ推奨のTシャツ（或いは白色のTシャツ）、たちはなジャージを着用のこと。

たちばなキッカーズ指導方針

昭和50年の朝日新聞に紹介された“たちはなキッカーズ”と曾田監督の指導理念

東周

一

新

民見

昭和50年(1975年)4月14日

星期日 12 版

スホーツ

(8)



会場生徒、ヤンマーと組んで、た横浜市港北区のト田小学校。校庭の桜も散り、新学年がはじまりたある日曜日。朝の大盛り朝食をたたきだしたが、七時開始のチケット子サッカーは「荷物搬入」として、いつの間にか七十人もの来場者、シート一枚はめりあいの間に、心地よいおもいで、くつとホールをめぐらしだした。田舎で生む移動生活の江戸で行われた結婚式合戦で、ホールまでの通戦で、キーパーが相手と、激突。じつじつおれはがの席場の一幕だ。

でも多い」が、この六年間、田原はなんのめいながで一人で六年間、休日は、朝七時から指導したり、間を取らぬつまらぬ努力をするのが喜びで、それが田原の精神だ。これが田原の精神だ。これが田原の精神だ。

「一人のお嬢さんを相手に、校庭でボールをけった。そのときもひい母」と、書田氏の指導理念である「好きな人がいれば教えていいよ」と、長女葉千代さん（当時小学校五年）は同級生十一、三人を集めてきたのが四十三年。これもまたからと怒りごとに、サッカーボールを蹴り、

A black and white halftone portrait of a man with dark hair and glasses, looking slightly to the right. The image is grainy and has a high-contrast, printed appearance.

卷之六

どなるより、できる事から

卷之三

たが、クリアの卒業生は「ここでもういいんだよ。」の畠田は受験勉強……」やめないと西田の頭がこわいのとかもうある……。

ルまでの連戦で、キーパーが相手の
心を蹴り、心を蹴りながら攻撃する
の連戦の一環か。

伸びひね捕獲三連撃突(伸びひね)
(伸びひね) 駒木田村と並んで、心の蹴
を取り、心を蹴りながら攻撃する
心の蹴り心の蹴り心の蹴りを一
度だ。

か講生のきいかげた ジン
年々増加、現在八十人で適
め。

試合中の子供の集中力、勝利の感
(島根) 激なやかのもの、心理作用をも技
にいた 術向上に役立つ。横浜市内ではい
ボール まやドッグハウスだ。
だ。し 市内十五のスポーツ少年団は
あたら 初夏までの全国大会予選を終え
然の動 、ついでに横浜國外人チビリ
とくう 子大会があり、試合相手にせど
過性の 欠かなぶ。

人。 「サッカーねばだん」と親い
まれ「古巣(公園)の處さんど」の
ロミロミティー維持(曾田氏) 人は下田小学校(開放推進校リマ
モ修造)の利用者促進協議会(針

メモ 横浜市内小、中学校三
百五校のうち、学校開
放は二百八十六校。これが一般
校（校庭を年間五十日以上開放＝
百六十九校）、推進校（体育馆、
校庭を百日以上百三）、特強校
(同一百日以上十四) の三つに
分類。市教委は一般校に約五万
円、推進校に三十五万円、特別校に
五十万円を奨金、施設消耗、修繕
費に支給する。

喜田氏は四十八年の夏休みに約三十人を引率して郷里の大社に遠征、昨夏は関東の公団住宅村五

域住民、利用者、学校の三者が組成)に出席、同校庭で行われる剣道、体操のグループとの施設利用

たちばなキッカーズ指導方針

1996.1月制定

たちばなキッカーズは地域に根ざした少年サッカークラブであり、いわゆる一般のサッカースクールとは性格が異なる。指導方針は以下の通りとする。

1. 子供達の自主性を重んじ、型にはめる指導ではなく、出来るだけ楽しく、思い切り発散出来るスポーツ活動の場を作る。これにより、子供達でつくる『小社会』の中で、サッカー技術も、サッカー以外の事（仲間意識、規律等）も自分で会得するようにさせる。
2. 子供達が自分等でサッカーを楽しみ、生き生きとし、のびのびとしたサッカーが出来るように指導する。精神的にも技術的にもフェアプレーを遵守させることを基本とし、コーチは目先の勝負には出来るだけこだわらない様にする。
3. サッカーが好きになり、うまくなると、将来Jリーガーを目指す子も出てくるであろう。サッカー技術を身に付ける上で、小学生時代は非常に重要な時期である。従って、コーチは『10年先の完成期にいかに大きく成長させるか』を念頭に置き、サッカー技術向上に向け、子供達を育成する。尚、各グループを同一技術レベルの小チームに分け、育成する事を基本とする。

そこでTKCサッカートレーニング要綱に各グループ（S L、L L、L）の技術目標をまとめたが、各グループの基本的な育成方針を以下の通り設定する。

— S L

- ・この時期の子供にはボールに興味を持たせ、ボール遊びの楽しさを教える。
- ・また、豊富な運動経験を持たせることが重要である（たちばな以外で経験させる事も重要）。従って、反復練習よりも色々な練習を取り入れる（サッカー以外でも良い）

— L L

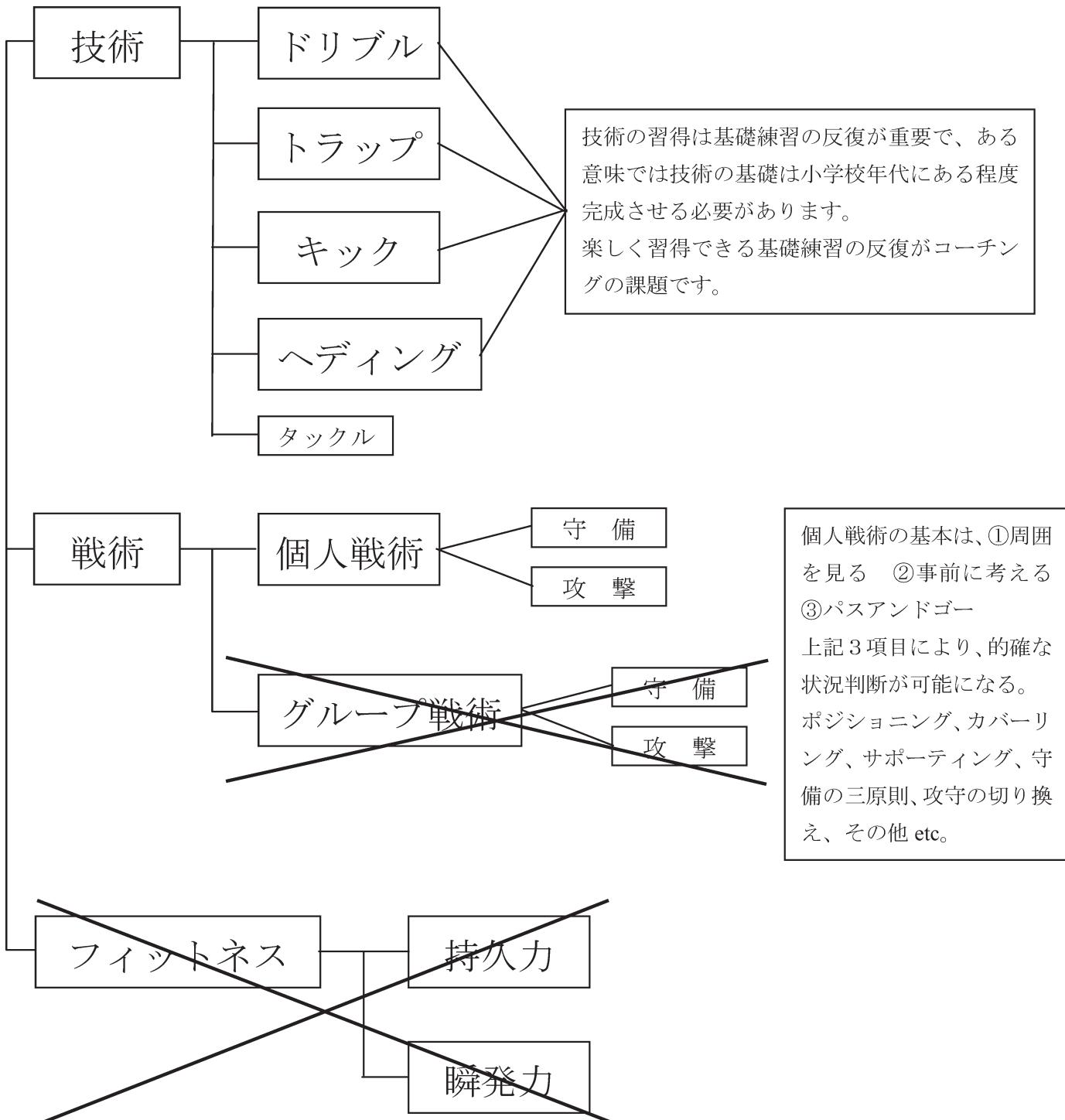
- ・全ての技術を身につける能力を持っている時期である。スピードやパワーを身に付ける事は出来ない。
- ・従って、テクニック、正確さ、等の上達に主眼を置き、反復練習によりスキルアップを図る。

— L

- ・L Lと同様に、テクニックの上達に主眼を置く。
- ・ゲーム形式（ミニゲーム主体）により、個人戦術（状況把握、パスアンドゴー、等）のレベルアップを図る。
- ・個人戦術の上達により、グループ戦術が成り立つ事を教える。

TKC サッカートレーニング要綱

サッカー上達のための 3 要素



上記の様にグループ（チーム）戦術及び、フィットネスは少年サッカーには必要なしと考えます。ただし、これはトレーニングについての見解であり、個人的に足が速い選手、パワーのある選手は評価すべきであります。

TKC年齢別、技術目標

少年サッカーにおける年齢要素は①カレンダ一年齢（生後何年か）。②肉体的年齢（成長期の個人差）。③精神的年齢（集中力、協調性、その他個人差）。④サッカ一年齢（サッカーを始めてから何年か）の4大要素が考えられます。この4大要素を考慮し、大きな個人差があることを前提に考えたい。

A) リフティング

SL	LL	L
フリーで10回。 ワンバウンドリフティングを利き足のインステップで30回(2年生)。 最大の狙いは浮き球を扱う感覚、バランス感覚、ボールの中心をとらえる感覚の三つの感覚を養うこと。 幼稚園、1年生に上記の感覚を望むのは不可能なので目標設定は不要。 重要なのはリフティングを嫌いにさせない事。	フリーで1分間。 利き足のインステップで50回。 左右のインステップで20回。 フリー（できるだけインステップ）で30m落とさずに。 2人1組でフリーで10回。 特に4年生には左右でのインステップ感覚が必要。 注意しなくてはならないのは、モモでのリフティングは簡単なので回数はこなせるが、モモを使うクセがつくと、試合中のボールコントロールがワンタッチが多くなるため注意。	フリーで2分間。 左右のインステップで50回。 頭で10回。 インステップのみで50m落とさずに。 2人1組で2タッチのリフティングを20回。 特に6年生は回数の評価よりもインサイド、アウトサイド、頭など身体全部を使ってできる事、左右交互にできる事を評価すべきである。

B) ドリブル

SL	LL	L
SLに一番必要。 サッカーの出発点。 DF、MF、FWの区別なく、全員に試合中に意図的に多用せざる。 技術的にはインサイド、アウトサイド、つま先を使い「けって進む」のではなく「押して運ぶ」感覚を。左右に抜くフェイントをそれぞれ1つ覚え、逆をとる楽しさを重視。	ボールだけ見ないで周囲を見ながらのドリブル感覚を。 足の裏を使ったドリブルを。 片足と両足での角度を変えたドリブル（ジグザグドリブルをインサイド、アウトサイドで）。 スピードの変化のドリブル。 キックフェイント、切り返し、引き技、またぎ、回転等の多種のフェイントの強化。 1対1の強化。	身体を使ったキープのドリブルを覚えさせる（突破のドリブルとは異なる）。 相手との間合いを考えたフェイント感覚を。 常に目的（ドリブルして次はどういうプレーに結びつけるのか）を意識させる。ドリブルそのものは目的ではない。 ドリブルの後、シュートなのかセンタリングなのか敵を引きつけてパスなのか・・・。

C) トランプ (ボールコントロール)

SL	LL	L
<p>幼稚園、1年生には浮き球のトランプは不可能。</p> <p>ゴロのボールをインサイド、アウトサイドで止まった状態でコントロールする。</p> <p>2年生は、浮き球をインサイド、アウトサイド、インステップで止まった状態でコントロールする。</p> <p>バウンドしているボールを何度もバウンドさせず、早く押さえることに注意。</p> <p>ワンバウンドドリフティングで感覚を養わせる。</p>	<p>足のトランプだけでなく、頭、胸、モモのトランプも。</p> <p>ただし、モモのトランプの多用には注意。</p> <p>特に4年生からは動きのなかで自分の前に正確にボールコントロールする事、ボールに寄ってコントロールする事を習慣づけるよう指導。</p> <p>注意しなくてはならないのは空中でコントロールできるボールを何回もバウンドさせてしまうようなプレー。</p>	<p>次のプレーを考えたトランプ (ボールコントロールの角度を変える)。</p> <p>ワンタッチコントロールを重視し、ツータッチ目でシュート、パス、ドリブルに移ることができるよう指導。</p> <p>マークされた状態からのフェイントを入れたトランプ。</p> <p>注意するのは、ボールを受ける前の判断力をつけさせる (前を向ける状況なのに後ろを向いたままトランプしている。ワンタッチで前を向く)。</p>

D) キック

SL	LL	L
<p>まずは、インステップキックから。2年生になつたらインサイド、アウトサイドも。強いキックや遠くへ飛ばす必要はなく、正確さを第一に。</p> <p>注意することは、①足首を固定しインパクトの位置を覚えさせる。</p> <p>②立ち足をボールの真横に踏込み、ヒザを曲げる。③インパクトの瞬間までボールを良く見て、ボールの中心をキック。</p> <p>④身体の全体のフォームに注意し腕の振り方、フォロースルーに注意。正確なキックをするためにはボールを「送りだす」イメージで。</p>	<p>3年生まではSLと同じだが、パスとシュートの区別を考えて練習しインサイドのダイレクトパスができるよう。</p> <p>立ち足の踏み込む位置によってボールの飛び方が異なることも覚えさせる。</p> <p>4年生になつたらインフロントキックも練習、ボールのインパクトの位置の違いを覚えさせる。</p> <p>ボレーキック (インサイド、インステップ、アウトサイド) の練習も。</p> <p>あくまでも、基本中心で、正確さを第一に。</p>	<p>動いているボール (前後、左右等) をインサイド、インステップでダイレクトで正確にキックできるよう。</p> <p>アウトフロント、ヒールキック等のトリッキーなキックも遊びの中に自由に取り入れる。</p> <p>状況によるキックの種類、強弱の判断ができるよう。</p> <p>身体の全体のフォームが固まつたら、ヒザから下の振りの速さを覚えさせる。</p>

E) ヘディング

S L	L L	L
<p>幼稚園、1年生には必要なし。</p> <p>ヘディングの最大の敵は恐怖心とケガである。</p> <p>恐怖心を消し去る適切なコーチングが必要。2年生から構えをしつかりつくってから、難易度を上げていく。</p> <p>その段階は、A：スタンディング B：歩きながら C：スタンディングで方向を変える。</p> <p>チェックポイントは①ボールが額の中心にまっすぐ当たっているか。②あごと首が固定できているかどうか。③目を開けているか。④ボールを恐れずまっすぐにアプローチしているか。</p>	<p>基本的には2年生の練習と同じ。</p> <p>D：走りながら E：ジャンプだけ F：走りながらジャンプ のステップアップも必要。</p> <p>ヘディングの場合、どうしても防衛本能が働くため、構えや形が悪くなる場合が多い。</p> <p>ヘディングが苦手な選手をじっくり観察してL Lの段階で問題点を見つけ、構えや形が悪いのか、タイミングが悪いのか、心理的に問題があるのかを考えて修正する必要がある。</p> <p>基本的にはAからFまでのステップの繰り返し。</p>	<p>難易度をアップして、G：相手と競り合いながら H：相手を立ててジャンプ の練習。</p> <p>ダイビングヘッド等のトリッキーなプレーは特別練習する必要はないが、選手の希望でやる場合には砂場で十分ケガに注意して。</p> <p>AからHまでのステップを繰り返し練習。</p>

たちばなキッカーズの各クラスの主要基本方針

2006年5月作成

- ・SL、LL、Lが各年で同じサッカーを目指す意味は全く無い。
- ・各クラスでアンバランスに育てる。即ち、各クラスで身に付けさせるべきテクニックや、正確さの達成レベルを頭に入れ、チームとしてのレベルアップよりも個人の技術アップを図る。
- ・個人に目を向け、最も吸収出来る時期に各人に課題を与える→結果として、チームのレベルアップ(勝つと言うことでも良いが)につなげる。また、誉めることを基本とし、「アメとムチ」ではアメが8割。
- ・SL→LL→Lと一貫した目標レベルを作り、その達成を目指す→最終的には完成期(二十歳位か?)にバランスがとれればよい。「たちばな」だけで考えれば、如何にLのレベルを高めるか。

*ゴールデンエイジ：人生で1回しか訪れない『即座の習得』と呼ばれる非常に重要な時期。

	SL (ゴールデンエイジ)	LL (ゴールデンエイジの前半)	L (ゴールデンエイジの後半)
必須習得技術	<p>①インステップキック ・インフロントにならない様に。 ・正確さが第一。ピニーはボールでの練習。 ・インサイドキックは2年から。</p> <p>②ワンハンドリフティング ・完全にインステップの基本を身に付ける。 ・出来れば利き足リフティング10回。</p> <p>③ドリブル ・SLで一番重要。 ・色々な所を使ったドリブル。</p> <p>④トラップ ・コロボールのトラップ。 ・ワンハンドボールのキャッチ(ボール落下地点のセンスを養う)。</p> <p>⑤ヘディング ・1年生以下は不要。 ・教える場合は恐怖心と怪我に注意し、額の中心に当てる。</p> <p>⑥スローイン ・確実にスローインをマスター。遠くに飛ばす必要なし。</p>	<p>①ダイレクトインサイドキック ・トレジャーを脱いでのインステップ、インサイドキック</p> <p>②インフロントキック</p> <p>③利き足のリフティング 50回</p> <p>④周囲を見ながらのドリブル ・スピードの変化も付ける。</p> <p>⑤頭、胸、モモでのトラップ ・ノーハンドでのボールキャッチ</p> <p>⑥怖がらないでヘディングが出来る様に</p>	<p>①動いている、浮いているボールのインステップ、インサイドキック ・利き足でない足でのキックもマスター</p> <p>②左右交互のリフティングで50回 ・色々な所を使ったリフティング</p> <p>③身体を使ったキープのドリブル</p> <p>④次のプレーを考えたトラップ ・ワンタップで次のパスキックにつなげる。</p> <p>⑤ボールを受ける前の判断力。</p> <p>⑥相手と競り合いながらのヘディング</p>
基本練習	<p>①1対1が基本 ・フェイント、ドリブルで相手を抜く。 ・パス回しではなく、前を向いて勝負させる。</p> <p>②色々な遊び ・色々なボール遊び、鬼ごっこ、木登り等 →身体の身のこなしを養う。</p> <p>③簡単にスライディングさせない(立って勝負)</p> <p>④声を出す癖を付ける</p>	<p>①2対2 ・パス回しよりもまずは自分で抜くことにウェートを置く。 ・顔を上げ、周りを良く見る。 ・味方に近づかない。</p> <p>②4対2 ・4人のパス回しの中で2人がボールを取る。</p> <p>③ミニバッカット ・身体の入れ方、スピードの変化、フェイント。</p> <p>④受け身の習得 ・怪我を避ける転び方の練習</p> <p>⑤声を出しての指示、考えを伝える</p>	<p>①3対3、4対4 ・トライアングルでのパス回し、全員攻撃/全員守備。 ・スペースへの動き方、スペースの使い方。 ・パス&ゴールを身に付ける。</p> <p>②4ゴールゲーム ・全体を見る。</p> <p>③サッカーバレーボール</p> <p>④声を出してコミュニケーション ・意図のあるパス、意図のある受け方</p> <p>⑤スピードとパワーの強化練習は不要</p>
試合方針	<p>①フォーメーションには拘らない ・ボールに早く寄る。 ・ドリブルで敵を抜くことに拘らせる。 ・簡単にクリアしない。</p>	<p>①ポジションを固定しない ・ディフェンスもフォワードも経験させる。 ・特にFWだけ、DFだけに固定することは避ける。</p> <p>②キーパーを目指したい子はある程度固定して練習</p>	<p>①戦術を固定しない(考えさせる) ・子供達の自由な発想を引き出させる。 ・攻め方、守り方に決まりはない。 ・出来ればポジションも固定しない。</p> <p>②攻撃ゾーン、中盤ゾーン、守備ゾーンでのプレースタイル</p>
ルールの知識	<p>①反スロー ②キーパーのルール、キーパーへのバックパス ③オフサイド、ポジションの位置</p>	<p>①間接フリーキックのシグナルとやり方 ②オフサイドの反則</p>	<p>①教えていないことは試合では出来ない ・フリーキックのやり方(狙うポイント、タイミング、クリックスタート等)、コーナーキックのやり方</p>

主要大会の成績記録

横浜少年サッカー大会 (新5・6年生による新人戦) : 1月開催

年度/実施年	回	優勝	準優勝	第3位	第4位	チーム数
S 50/51	1	山王谷	横浜東	たちばな	FC 本郷	23
51/52	2	山王谷	たちばな	駒林/クリッパーJ	—	27
52/53	3	たちばな	山王谷	横浜東	篠原つばめ	32
53/54	4	たちばな	横浜東	駒林	山王谷	39
54/55	5	トライスター	黒滝	山王谷	夏山	52
55/56	6	たちばな	港南台	FC 本郷	駒林	62
56/57	7	駒林	横浜東	山王谷	たちばな	61
57/58	8	山王谷	FC 本郷	たちばな	黒滝	66
58/59	9	FC 本郷	駒林	夏山	伊勢山	79
59/60	10	FC 奈良	あざみ野	駒林	FC 野庭	79
60/61	11	アムゼル	駒林	六浦少年	フローラ	86
61/62	12	勝田	FC 本郷	保土ヶ谷エフインズ	文庫	93
62/63	13	日産 FC	FC 隼	若葉台	上星川	103
63/H 元年	14	日産 FC	野庭 KC	駒林	山王谷	105
元年/2	15	FC 本郷	あざみ野	横浜深園	若葉台	105
2/3	16	アムゼル	上中里	八ツ橋	上郷 FC	105
3/4	17	駒林	日産 FC	磯子	FC 緑	107
4/5	18	あざみ野	原 FC	FC 本郷	阿久和	112
5/6	19	日産 FC	駒林	新井	霧ヶ丘	118
6/7	20	あざみ野	FC 野庭	原 FC	日産 FC	131
7/8	21	あざみ野	駒林	日産 FC	長津田ドラゴンズ	139
8/9	22	あざみ野	日産マリノス	城郷	富岡	144
9/10	23	元石川	あざみ野	横浜フィューゲルス	SCH	140
10/11	24	FC ゼブラ	GS ファイターズ	富岡 SC	駒林 SC	141
11/12	25	あざみ野 FC	FC 野庭	マリノス新子安	富岡 SC	139
12/13	26	マリノス新子安	あざみ野 FC	FC 希望が丘	マリノス菅田	133
13/14	27	横浜 F・マリノス	SCH. FC	バディーSC	藤塚キッカーズ	137
14/15	28	横浜 F・マリノス	FC 奈良	瀬谷 FC	田奈 SC	137
15/16	29	バディーSC	あざみ野 FC	原 FC	かながわクラブ	144
16/17	30	横浜 F・マリノス	バディーSC	野庭キッカーズ	駒林 SC	146
17/18	31	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC	原 FC	翠翔 FC	152
18/19	32	バディーSC	横浜 F・マリノス Pr	ジユニオール SC	SCH. FC	157
19/20	33	あざみ野 FC	バディーSC	SCH. FC	NPO HIP. SC	158

横浜市春季少年サッカーワークショップ (第23回までは横浜市スポーツ少年団サッカーワークショップ) : 4月開催

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第3位	第4位	チーム数
S 49	1	LL	横浜東	たちばな	山王谷	FC 本郷	8
		SL	横浜東	銀嶺	篠原つばめ	富岡ひばりが丘	4
50	2	L	洋光台	山王谷	篠原つばめ	たちばな	19
		LL	横浜東	たちばな	山王谷	篠原つばめ	13
		SL	横浜東	銀嶺	篠原つばめ	黒滝	9
51	3	L	山王谷	たちばな	篠原つばめ	横浜東	25
		LL	たちばな	山王谷	公田	富岡ひばりが丘	25
		SL	黒滝	公田	富岡ひばりが丘	勝田	11
52	4	L	たちばな	横浜東	山王谷	公田	29
		LL	夏山	山王谷	たちばな	富岡	27
		SL	瀬ヶ崎	FC 本郷	黒滝	篠原つばめ	16
53	5	L	たちばな	駒林	山王谷	篠原つばめ	24
		LL	たちばな	夏山	瀬ヶ崎	駒林	25
		SL	黒滝	横浜東	山王谷	駒林	19
54	6	L	たちばな	横浜東	駒林	山王谷	32
		LL	篠原つばめ	夏山	瀬ヶ崎	FC 本郷	30
		SL	富岡	山王谷	FC 本郷	かながわ	20
55	7	L	港南台	公田	山王谷	横浜東	44
		LL	黒滝	山王谷 A	駒林	かながわ	37
		SL	山王谷	駒林 A	駒林 B	瀬ヶ崎	26
56	8	L	FC 本郷	山王谷	かながわ	横浜東	53
		LL	駒林 A	FC 本郷	山王谷 A	夏山	52
		SL	夏山	かながわ	駒林	野庭キッカーズ	31
57	9	L	FC 本郷	かながわ	横浜東	若葉台	58
		LL	夏山	山王谷	駒林	港北	67
		SL	駒林	野庭キッカーズ	山王谷	黒滝	33
58	10	L	FC 本郷	奈良	駒林	たちばな	63
		LL	山王谷	FC 野庭	夏山	かながわ	61
		SL	夏山	野庭キッカーズ	あざみ野	港南台	39
59	11	L	FC 本郷	山王谷	野庭キッカーズ	港南台	68
		LL	瀬ヶ崎	公田	山王谷	駒林	72
		SL	駒林	山王谷	横浜東	野庭キッカーズ	40
60	12	L	野庭キッカーズ	篠原つばめ	伊勢山	山王谷 A	80
		LL	駒林	港南台 A	山王谷	瀬ヶ崎	84
		SL	横浜深園	黒滝	夏山	野庭キッカーズ	56
61	13	L	駒林 A	アムゼル	FC 本郷	フローラー	93
		LL	上郷	山王谷	磯子	駒林	97
		SL	山王谷	駒林	夏山	野庭キッカーズ	58
62	14	L	元石川	日産 FC	小山台	駒林	108
		LL	あざみ野 A	駒林	富岡	FC 本郷	107
		SL	駒林	あざみ野 A	原 FC	富岡	63
63	15	L	日産 FC	かもめ	あざみ野 A	上郷	116
		LL	日産 FC	長津田 ドラゴンズ	FC 隼	上中里	106
		SL	あざみ野 A	原 FC	山王谷	浜北	63
H 元	16	L	富岡	南戸塚	公田	横浜深園	116
		LL	FC 隼	並木 A	あざみ野 A	アムゼル A	104
		SL	原 FC	長津田 ドラゴンズ	駒林	山王谷	58
2	17	L	日産 FC	FC 本郷	野庭キッカーズ	長津田 ドラゴンズ	111
		LL	FC 隼	日産 FC	原 FC	上郷	98
		SL	文庫	夏山	原 FC	浜北	57
3	18	L	並木 SC	FC 緑少年	六浦少年	かもめ SC	115
		LL	横浜深園	並木 SC	FC 本郷	六浦少年	103
		SL	FC ゼブラ	FC 緑少年	駒林 SC	六浦少年	57
4	19	L	駒林 A	日産 FC	六浦少年	若葉台 SC	121
		LL	日産 FC	駒林 A	FC 本郷	FC 若北	112
		SL	駒林 SC	あざみ野 SC	駒林 SC	原 FC	68

5	20	L LL SL	日産 FC あざみ野 A あざみ野 A	野庭キッカーズ 日産 FC 黒滝	北 YMCA 黒滝 駒林	並木 文庫 富岡	122 114 75
6	21	L LL SL	日産 FC 駒林 城郷	野庭キッカーズ 山王谷 元石川	駒林 城郷 山王谷	原 FC 今宿少年 富岡	135 124 78
7	22	L LL SL	原 FC あざみ野 A あざみ野 A	日産 FC 原 FC ゼブラ	ゼブラ 富岡 駒林	藤塚 城郷 FC80	137 127 77
8	23	L LL SL	日産 FC 日産 FC 瀬谷 FC	FC 本郷 山王谷 ゆたか	中央 YMCA 元石川 城郷	オフサイド 磯子 SC 黒滝	149 130 68
9	24	L LL SL	横浜マリノス GS ファイターズ あざみ野 FC	FC 本郷 あざみ野 FC 原 FC	若葉台 原 FC FC 本郷	駒林 SC FC 本郷 丸山台	152 132 52
10	25	L LL SL	横浜マリノス 横浜マリノス 原 FC	並木 ゆたか 夏山	元石川 A 瀬谷 FC 六ツ川	ゆりの木 今宿少年 駒林	146 123 57
11	26	L LL SL-11 SL-8	マリノス菅田 マリノス新子安 六浦少年 若葉台 FC	あざみ野 あざみ野 FC 野庭 アローズ	富岡 SC SCH FC バディー ¹ しらとり台	原 FC 田奈 SC 緑少年少女 大崎 SC	151 139 60 18
12	27	L LL SL-11 SL-8	マリノス菅田 マリノス新子安 バディー SC 大崎 SC	あざみ野 駒林 SC あざみ野 A 田奈 SC	希望が丘 L バディー SC 夏山 SC ゆたか FC	瀬谷 FC 黒滝 SC 駒林 SC 磯子フレンズ	146 131 46 33
13	28	L LL SL-11 SL-8	マリノス菅田 マリノス新子安 あざみ野 FC 横浜港北 SC	あざみ野 FC A あざみ野 FC A バディー SC 磯子フレンズ SC	田奈 SC 瀬谷 FC FC 本郷 クライムイレブン	若葉台 FC A バディー SC 野庭キッカーズ いずみ野 SC	145 126 42 38
14	29	L LL SL-11 SL-8	横浜 F・マリノス 横浜 F・マリノス バディー SC FC 奈良	FC 本郷 あざみ野 FC A FC ゼブラ 若葉台 FC	バディー SC 大豆戸 FC あざみ野 FC 鶴見東 FC	SCH. FC 田奈 SC FC 野庭 FC 左近山	136 126 52 38
15	30	L LL SL-11 SL-8	横浜 F・マリノス あざみ野 FC A あざみ野 FC A ヨコハマ KC	あざみ野 FC A 横浜 F・マリノス J. スポーツ 鶴ヶ峰 SC	瀬谷 FC FC 本郷 バディー SC あざみ野 FC	磯子ファイターズ バディー SC FC 本郷 磯子フレンズ	148 143 66 43
16	31	L LL SL-11 SL-8	バディー SC 横浜 F・マリノス バディー SC しらとり台 SC	横浜 F・マリノス バディー SC HIP. SC 椎子 SC	藤塚キッカーズ SCH. FC あざみ野 FC 市ヶ尾 FC プリオ	KAZU SC 原 FC 藤の木 SC 大門 SC	154 152 73 44
17	32	L LL SL-11 SL-8	あざみ野 FC 横浜 F・マリノス バディー SC 六浦毎日 SS	横浜 F・マリノス J スポーツ FC FC 左近山 白根 SC	野庭キッカーズ あざみ野 FC 大豆戸 FC 瀬谷 FC	原 FC 野庭キッカーズ 元石川 SC 山王谷 SC	161 155 60 51
18	33	L LL-11 LL-8 SL	田奈 SC バディー SC 横浜 F・マリノス バディー SC	ジュニオール SC 黒滝 SC 原 FC 大豆戸 FC-A	バディー SC 二俣川 SC 翠翔 SC 駒林 SC-A	FC 野庭 FC 左近山 市ヶ尾 FC 今宿少年	161 112 96 123
19	34	L LL-11 LL-8 SL	バディー SC あざみ野 FC-A 原 FC ブラック 横浜港北 SC	横浜港北 SC 大豆戸 FC 横浜 F・マリノス あざみ野 FC-A	ジュニオール SC 横浜港北 SC 六浦毎日 SS-A バディー SC	瀬谷 FC ジュニオール SC SCH. FC いぶき野 FC ヘリオ	166 97 117 115
20	35	L LL-11 LL-8 SL	横浜 F・マリノス ブラック バディー SC SCH. FC-A FC ゼブラ	黒滝 SC 富岡 SC-A 横浜 F・マリノス ブラック FC ソレイユ	バディー SC 大豆戸 FC あざみ野キッカーズ Jr バディー SC-B	SCH. FC 横浜港北 SC J. スポーツ FC あざみ野キッカーズ Jr	165 105 113 106

全日本少年サッカー大会神奈川予選：5月開催

年度	回	参加数	優勝	準優勝	第3位	第4位
S 52	1	96	善行 A	ゴールブランダーズ	百合ヶ丘サッカー	たちばなキッカーズ
53	2	143	いづみキッカーズ	たちばなキッカーズ	村岡 A	浜見 A
54	3	189	浜見 A	たちばなキッカーズ	村岡 A	大庭コンドル
55	4	240	大根ラディッシュ	北の台シングルブン	ゴールブランダーズ	天台 A
56	5	268	ゴールブランダーズ	六会 A	中里 A	山王谷 SC
57	6	307	成瀬 A	大沼ファイターズ	六会 A	FC 今宿
58	7	307	町田イレブン	下和田サッカー	大越 A	上南サザンイレブン
59	8	316	ゴールブランダーズ	夏山 SC	FC 本郷	FC 元石川
60	9	340	ゴールブランダーズ	双葉キッカーズ	野庭キッカーズ	桜丘サッカー
61	10	307	FC 六会フジサワ	FC 高坂	ゴールブランダーズ	若葉台少年 SC
62	11	310	浜見平ジュニア FC	ゴールブランダーズ	成瀬サッカー	下福田ポルト
63	12	311	ゴールブランダーズ	綾南オレンジ	かもめ SC	港南台 SC
H 元年	13	322	ゴールブランダーズ	日産 FC プライマー	FC 今宿茅ヶ崎	横須賀シーガルズ
2	14	312	日産 FC プライマー	中里 A	玉縄 SC	駒林 SC
3	15	324	原 FC	FC 辻堂	高谷 04	萩野 SC
4	16	326	大庭 FC	成瀬サッカー	今宿少年	ゴールブランダーズ
5	17	329	ゴールブランダーズ	日産 FC プライマー	FC 六会藤沢	日産 FC 追浜
6	18	360	日産 FC プライマー	ゴールブランダーズ	ジュニアイレブン	野庭キッカーズ
7	19	363	南百合丘 SC	黒滝 SC	FC 六会藤沢	下和田 SC
8	20	375	FC 本郷	立野台 FC	日産 FC 追浜	日産 FC プライマー
9	21	377	日産 FC プライマー追浜	富岡 FC	あざみ野 FC	駒寄 SC
10	22	371	横浜フリューゲルス	あざみ野	早園 SC	横浜マリノス追浜
11	23	370	あざみ野 FC	横浜 F・マリノス追浜	横浜 F・マリノス菅田	萩野 SC
12	24	361	あざみ野 FC	南大野 SC	成瀬サッカー	ジュニアイレブン
13	25	352	横浜 F・マリノス追浜	横浜 F・マリノス菅田	あざみ野 FC	日限山 FC
14	26	370	SCH・FC	萩野 SC	横浜北 YMCA	FC 本郷
15	27	386	横浜 F・マリノス	FC しらゆりシーガルス	さぎぬま SC	FC 奈良
16	28	392	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC	藤沢 FC	鳶尾ジュニア SC
17	29	403	横浜 F・マリノス	橋 SC	バディーSC	FC 六会湘南台
18	30	422	横浜 F・マリノス	横浜 F・マリノス追浜	足柄 FC	寒川少年 SC
19	31	424	横浜 F・マリノス追浜	湘南ベルマーレ	バディーSC	藤沢フットボールクラブ
20	32	436	川崎フロンターレ	バディーSC	横浜 F・マリノス	あざみ野 FC

横浜国際チビッ子サッカー大会 (昭和 55 年度(第 12 回)大会から 1 部/2 部に分離) : 10 月開催

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第3位	第4位	チーム数
S 44	1	L	朝鮮学園	東戸塚	中区(ゴール)		
45	2	L	中区	St.ジョセフ	朝鮮学園	山王谷	
46	3	L LL SL	クスノ木 原 山王谷	原(アポロ) たちばな 横浜東	朝鮮学園 山王谷 原	山王谷	12 6 6
47	4	L LL	G.プランダーズ アポロ	たちばな G.プランダーズ	St.ジョセフ 篠原つばめ	篠原つばめ 山王谷	9 8
48	5	L LL	アポロ St.ジョセフ	篠原つばめ 篠原つばめ	山王谷 St.ジョセフ 横浜東 たちばな		12 10
49	6	L LL SL	朝鮮学園 たちばな 横浜東	FC ゴール 山王谷 銀嶺	山王谷 横浜東 篠原つばめ	篠原つばめ St.ジョセフ 公田	15 15 6
50	7	L LL SL	朝鮮学園 横浜東 横浜東	篠原つばめ 山王谷 勝田	駒林 たちばな 朝鮮学園	洋光台 朝鮮学園 黒滝	21 18 17

51	8	L LL SL	横浜東 横浜東 黒滝	YMCA 横浜 たちばな 公田	たちばな 山王谷 横浜東	勝田 公田 勝田	27 30 19
52	9	L LL SL	たちばな たちばな 勝田	横浜東 公田 篠原つばめ	山王谷 駒林 瀬ヶ崎	勝田 横浜東 山王谷	29 33 26
53	10	L LL SL	たちばな 横浜東 黒滝	横浜東 篠原つばめ 山王谷	山王谷 公田 駒林	瀬ヶ崎 黒滝 FC 本郷	30 34 26
54	11	L LL SL	朝鮮学園 篠原つばめ 山王谷	横浜東 A 勝田 A かながわ	たちばな A 山王谷 A 港南台	YMCA 二俣川 たちばな A 瀬ヶ崎	39 40 25
55	12	L-1 LL-1 SL	たちばな 篠原つばめ 山王谷	黒滝 山王谷 A 駒林	勝田 黒滝 黒滝	夏山 洋光台 FC 本郷	22 42 29
56	13	L-1 LL-1 SL	FC 本郷 夏山 野庭 KC	港南台 FC 本郷 夏山	横浜東 山王谷 FC 野庭	山王谷 駒林 洋光台	27 28 36
57	14	L-1 LL-1 SL	FC 本郷 FC 本郷 駒林	奈良 山王谷 A 山王谷	駒林 瀬ヶ崎 野庭 KC	たちばな 夏山 夏山	30 28 37
58	15	L-1 LL-1 SL	野庭 KC 山王谷 駒林	元石川 かながわ 山王谷	FC 奈良 野庭 KC 夏山	山王谷 駒林 港南台	35 31 42
59	16	L-1 LL-1 SL	駒林 夏山 駒林	FC 本郷 たちばな A あざみ野 A	山王谷 FC 本郷 山王谷	元石川 野庭 KC 夏山	39 38 57
60	17	L-1 LL-1 SL	FC 奈良 駒林 駒林	野庭 KC 六浦少年 横浜深園	FC 本郷 公田 長津田 ドラゴンズ	かもめ あざみ野 北 YMCA	45 44 62
61	18	L-1 LL-1 SL	FC 野庭 あざみ野 長津田 ドラゴンズ	FC 隼 六浦少年 横浜深園	若葉台 上郷 夏山	元石川 ヨコハマ KC あざみ野	51 48 66
62	19	L-1 LL-1 SL	野庭 KC 駒林 並木	元石川 横浜深園 駒林	山王谷 FC 本郷 富岡	若葉台 山王谷 原 FC	50 49 69
63	20	L-1 LL-1 SL	あざみ野 日産 FCA 磯子	山王谷 駒林 A あざみ野	駒林 A あざみ野 A 横浜深園	かもめ 長津田 ドラゴンズ 六浦少年	54 48 69
H 元年	21	L-1 LL-1 SL	横浜深園 原 FC あざみ野 A	FC 本郷 日産 FCA 駒林	FC 奈良 富岡 原 FC	つばめ 駒林 ゼブラ	56 47 68
2	22	L-1 LL-1 SL	日産 FC FC 隼 浜北	長津田 ドラゴンズ 横浜深園 城郷	藤の木 六浦少年 駒林	横浜深園 浜北 原 FC	55 48 70
3	23	L-1 LL-1 SL	並木 横浜深園 城郷	日産 FC 駒林 A FC 緑	原 FC 富岡 FC 野庭	かもめ 上郷 あざみ野	55 53 73
4	24	L-1 LL-1 SL	日産 FC 日産 FC 駒林	FC 緑 駒林 FC 本郷	GS ファイターズ FC 本郷 あざみ野	横浜深園 若北 丸山台	63 55 82
5	25	L-1 LL-1 SL	日産 FC FC 本郷 アムゼル	北 YMCA あざみ野 城郷	駒林 六浦少年 駒林	長津田 ドラゴンズ 上星川 原 FC	64 65 85
6	26	L-1 LL-1 SL	日産 FC 日産 FC 元石川	原 FC 港南台 文庫 FC	若北 A アムゼル 城郷	富岡 長津田 ドラゴンズ SCH	70 64 94

7	27	L-1 LL-1 SL	日産マリノス アムゼル 城郷	原FC あざみ野A 並木	ゼブラ 富岡 あざみ野	黒滝 洋光台 白根	69 66 96
8	28	L-1 LL-1 SL	日産マリノス あざみ野A ゆたかSC	FC 本郷 元石川 SC 野庭キッカーズ	中央 YMCA FC ゼブラ FC 本郷	フリューゲルス ゆりのき 富岡 SC	84 63 87
9	29	L-1 LL-1 SL	FC 本郷 日産マリノス あざみ野A	日産マリノス あざみ野A 原 FC	若葉台A 原 FC たちばな	アムゼル 駒林 丸山台	84 70 76
10	30	L-1 LL-1 SL	FC ムサシ 日産マリノス 原 FC	日産マリノス FC 本郷 駒林 SC	あざみ野 FC A 富岡 SC A FC 本郷	フリューゲルス 瀬谷 FC 城郷 SC	70 56 86
11	31	L-1 LL-1 SL-11 SL-8	マリノス新子安 あざみ野 FC A バディーSC 相沢 FC	あざみ野 FC A 田奈 SC 六浦少年 篠原つばめ	富岡 SC マリノス新子安 原 FC 六浦少年	美晴少年 SC 駒林 SC 富岡 SC いざみ野	68 62 87 10
12	32	L-1 LL-1 SL-11 SL-8	あざみ野 FC A マリノス新子安 あざみ野 FC A ゆたか FC	マリノス新子安 FC 奈良 バディーSC FC 濱ヶ崎	マリノス菅田 白根 SC 原 FC 田奈 SC	丸山台 SC 六ッ川 SC ハッ橋 SC 鶴ヶ峰 SC	63 57 80 25
13	33	L-1 LL-1 SL-11 SL-8	横浜 F・マリノス 横浜 F・マリノス あざみ野 FC A 翠翔 SC	あざみ野 FC A あざみ野 FC A FC 希望が丘 ワイケイ FC	野庭キッカーズ 丸山台 SC バディーSC 鶴ヶ峰 SC	若葉台 FC A 城郷 SC 駒林 SC 駒林 SC	67 52 81 25
14	34	L-1 LL-1 SL-11 SL-8	バディーSC 横浜 F・マリノス バディーSC あざみ野 FC	SCH. FC あざみ野 FC A 公田 SC J. キッズ SC	横浜 F・マリノス SCH. FC あざみ野 FC A HIP. SC	FC 本郷 FC 奈良 原 FC 鶴見東 FC	68 64 89 34
15	35	L-1 LL-1 SL-11 SL-8	横浜 F・マリノス 横浜 F・マリノス あざみ野 FC A FC 奈良	あざみ野 FC A 大豆戸 FC A J・スポーツ あざみ野 FC	バディーSC SCH. FC A 駒林 SC 藤が丘少年 SC	KAZU. SC SCH. FC B 美晴少年 SC YKFC	76 75 108 25
16	36	L-1 LL-1 SL-11 SL-8	あざみ野 FC A バディーSC あざみ野 FC A 黒滝 SC	バディーSC 原 FC バディーSC 市ヶ尾 FC プリオ	SCH. FC 横浜 F・マリノス 横浜すみれ SC 本牧少年 SC	藤の木 SC いざみ野 SC 田奈 SC FC 濱ヶ崎	77 76 105 28
17	37	L-1 LL-1 SL-11 SL-8	横浜 F・マリノス 横浜 F・マリノス 大豆戸 FC 港南台 SC	SCH. FC A J・スポーツ FC FC 左近山 翠翔 SC	あざみ野 FC A バディーSC バディーSC 品濃ウイングス	ジュニオール SC 田奈 SC 元石川 SC 一本松	84 78 97 38
18	38	L-1 LL-11 LL-8 SL	横浜 F・マリノス Pr バディーSC 横浜 F・マリノス Pr バディーSC	あざみ野 FC あざみ野 FC ジュニオール SC あざみ野 FC	原 FC 二俣川 SC 市ヶ尾 FC プリオ 駒林 SC	ジュニオール SC 大豆戸 FC SCH. FC 大豆戸 FC	80 118 101 159
19	39	L-1 LL-11 LL-8 SL	横浜 F・マリノス Pr 二俣川 SC B 横浜 F・マリノス Pr 横浜港北 SC A	バディーSC あざみ野 FC A 大豆戸 FC B 大豆戸 FC A	あざみ野 FC A 大豆戸 FC A SCH. FC FC 南台	J・スポーツ FC 横浜すみれ SC FC80 洋光台 FC カルパ	85 114 113 155
20	40	L-1 LL-11 LL-8 SL	横浜 F・マリノス Pr バディーSC 横浜 F・マリノス Pr 大豆戸 FC A	野庭キッカーズ 大豆戸 FC A SCH. FC 野庭キッカーズ	田奈 SC あざみ野 FC A エストレーラ FC-S バディーSC-A	バディーSC いぶき野 FC ヘリオス 日の出キッカーズ FC ゼブラ	88 108 115 145

横浜国際チビッ子サッカー大会 2部：10月開催

年度	回	クラス	優勝	準優勝	第3位	第4位	チーム数
S 55	12	L-2	小菅ヶ谷	横浜東 B	YMCA 青葉台	洋光台	27
56	13	L-2	上星川	FC 隼	西 YMCA	フローラ	30
		LL-2	たちばな	港北 FC	上星川	トライスター	31
57	14	L-2	富岡	大崎	大曾根	野庭 KC	30
		LL-2	駒林 B	黒滝	富岡 A	かながわ	30
58	15	L-2	文庫 FC	南戸塚	寺尾小	若北 SC	35
		LL-2	FC 奈良	たちばな	アローズ	希望ヶ丘	34
59	16	L-2	小山台	古河	上中里	大崎	41
		LL-2	上郷	藤の木	港南台	YMCA 北	36
60	17	L-2	保土ヶ谷	南戸塚	上中里	北 YMCA	45
		LL-2	文庫 FC	アムゼル	FC 奈良	FC 霧が丘	45
61	18	L-2	伊勢山	黒滝	FC すすき野	希望ヶ丘	50
		LL-2	若葉台	長津田 ドラゴンズ	南戸塚	FC 緑	58
62	19	L-2	アローズ	上中里	夏山	鶴ヶ峰	61
		LL-2	洋光台	中央 YMCA	富岡 B	南戸塚	59
63	20	L-2	つばさ	若北 A	駒林 B	ヨコハマ KC	64
		LL-2	日産 FC B	西 YMCA	大崎	FC 西柴	60
H 元年	21	L-2	FC 西柴	長津田第 2	山田若竹	帷子	61
		LL-2	日産 FC B	FC 若北	夏山	長津田第 2	58
2	22	L-2	かもめ	フローラ	黒滝	公田	59
		LL-2	たちばな	FC 緑	駒林	篠原つばめ	48
3	23	L-2	FC 西柴	伊勢山	六ッ川	洋光台 A	63
		LL-2	今宿少年	阿久和	FC 緑	六浦毎日	54
4	24	L-2	長津田第 2	瀬谷	たちばな	南ヶ丘	60
		LL-2	若葉台	上星川	コミュニティ パーク	原 FC	63
5	25	L-2	上郷	霧が丘	希望ヶ丘	北方	62
		LL-2	南ヶ丘	夏山	FC 奈良	藤の木	55
6	26	L-2	アローズ	いづみ野	磯子 SC	坂本	70
		LL-2	黒滝	フローラ	藤の木	オフサイド	66
7	27	L-2	並木	洋光台	長津田第 2	フリューゲルス	74
		LL-2	桜ヶ丘	美晴	帷子	鶴見東	65
8	28	L-2	FC 奈良	あざみ野 B	コミュニティ	横浜 SC つばさ	67
		LL-2	帷子 SC	保土ヶ谷 エルフインズ	西本郷 FC	鶴見東	63
9	29	L-2	小菅ヶ谷	GS	夏山	瀬谷 B	62
		LL-2	岩崎	コミュニティ	北 YMCA	ゆたか	63
10	30	L-2	あざみ野 FC C	小山台 SC	市ヶ尾 FC	オフサイド	81
		LL-2	78FC 西柴	横浜朝鮮	南が丘 キッカーズ	横浜つばさ	77
11	31	L-2	イーグルス	丸山台 SC	コミュニティ FC	YKFC	83
		LL-2	あざみ野 FC B	一本松 SC	野庭 キッカーズ	北 YMCA	74
12	32	L-2	今宿少年 SC	FC ゼブラ	城郷 SC	FC80 洋光台	81
		LL-2	いぶき野	野庭 キッカーズ	今宿少年 SC	坂本 SC	77
13	33	L-2	横浜栄コラッジオ	坂本 SC	富岡 SC	たちばな	82
		LL-2	田奈 SC	上中里 SC	大豆戸 FC	コミュニティ FC	80
14	34	L-2	あざみ野 FC C	瀬谷 FC	洋光台 SC	三保小 SC	71
		LL-2	駒林 SC A	大豆戸 FC B	コミュニティ FC	折本 SC	71
15	35	L-2	保土ヶ谷 エルフインズ	港南台少年 SC	公田 SC	AZK Jr	76
		LL-2	横浜北 YMCA	一本松 SC	帷子 SC	クライムイレブン	75
16	36	L-2	城郷 SC	3BSC	FC 本郷	元石川 SC	80
		LL-2	若葉台 FC	FC 左近山	白根 SC	東汲沢 SC	86
17	37	L-2	山王台 SC	城郷 SC	Y.S.C.C	ブルーキックス	77
		LL-2	アローズ FC	坂本 SC	横浜栄コラッジオ	FC 隼	84
18	38	L-2	ハッ橋 SC	港南台 SC	FC プラタノ	都筑サッカーフの会	83
19	39	L-2	あざみ野 キッカーズ Jr	野庭 キッカーズ B	中和田 FC	FC アムゼル	84
20	40	L-2	帷子 SC	小山台 SC B	FC ねぎし	今宿少年 SC	82

神奈川県少年サッカー選手権 (クラス分けのうち、高はLに、低はLLに相当する) : 1月開催

実施年	回	クラス	参加数	優勝	準優勝	第3位
S 50	1	高	12	明治	鵠南 A	ゴールブ ランダーズ
51	2	高	83	鵠南 A	明治	善行 A
52	3	高 低	99 56	鵠南 A たちばなキッカーズ	いずみキッカーズ いずみキッカーズ	明治ファイターズ 羽鳥 C
53	4	高 低	132 80	善行 A 村岡 E	浜見平 夏山	俣野ホークス 山王谷
54	5	高 低	159 96	酒匂あかつき 天台 C	村岡 A 篠原つばめ	ゴールブ ランダーズ FC504 茅ヶ崎ベスト
55	6	高 低	196 119	秋葉台 A 村岡 E	大庭 A ゴールブ ランダーズ	村岡 A 天台 A
56	7	高 低	237 154	天台 A 成瀬	浜見平 横浜東	善行 A 山王谷
57	8	高 低	265 182	天台 A FC 本郷	小和田 A 六会 E	村岡 A 荻野 SC
58	9	高 低	312 188	草柳 SC 山王谷	駒林 SC FC 本郷	羽島 A 夏山 SC
59	10	高 低	318 217	小和田 A 山王谷	秋葉台 A 下福田ボルト Jr	上和田 A 野庭キッカーズ
60	11	高 低	330 249	FC 本郷 綾南ジュニアオレンジ	中里 A 瀬ヶ崎	山王谷 下福田ボルト
61	12	高 低	331 264	伊勢山少年 SC 中里 4E	国府津 FC 夏山 SC	ゴールブ ランダーズ 小山台 SC
62	13	高 低	314 266	FC 六会フジサワ 綾南 SC	ゴールブ ランダーズ 上郷 FC	中里 6A 東原 SC
63	14	高 低	298 267	高谷 O4 駒林 SC	浜見平ジュニア SC 深園 SC	FC 六会藤沢 日産 FC プライマー
H 元年	15	高 低	329 290	綾南オレンジ 日産 FC プライマー	中里サッカー少年団 富岡 SC	立野台 FC あざみ野 FC
2	16	高 低	325 290	日産 FC プライマー ゴールブ ランダーズ	中里サッカー少年団 原 FC	横須賀シーガルズ 松延少年 SC 六浦少年 SC 鶴ヶ台ハピターズ
3	17	高 低	328 280	日産 FC プライマー FC 隼	深園 SC 日産 FC プライマー	中里 SC 荻野 SC
4	18	高 低	329 276	六浦少年 SC FC 六浦藤沢 翼 SC	横須賀シーガルズ —	FC 緑少年少女 SC 駒林 SC
5	19	高 低	335 305	日産 FC プライマー FC 若北	横須賀シーガルズ さぎぬま SC	六浦少年 SC ゴールブ ランダーズ
6	20	高 低	352 315	FC 六会藤沢 日産 FC プライマー	日産 FC プライマー 並木 SC	西鶴間 SC 南百合丘少年 SC 相武台ニューグリーン FC 本郷
7	21	高 低	374 339	相武台ニューグリーン 日産 FC プライマー	六会藤沢 FC 城郷 SC	日産追浜 成瀬サッカー
8	22	高 低	386 351	あざみ野 FC あざみ野 FC	JESC 林間 SC	柏ヶ谷 SC 名向 FC
9	23	高 低	396 345	横浜マリノスアーリマー 横浜マリノスアーリマー	横浜マリノスアーリマー追浜 成瀬サッカー	大沢 FC あざみ野 FC
10	24	高 低	404 352	あざみ野 あざみ野	原 FC 若宮	湘南辻堂 原 FC
11	25	高 低	402 342	ゴールブ ランダーズ 横浜 F・マリノス追浜	八つ橋 SC 原 FC	南百合丘少年 SC FC シリウス
12	26	高 低	386 332	駒林 SC 横浜 F・マリノス Pr	あざみ野 FC あざみ野 FC	さぎぬま SC 明治 SSS

13	27	高 低	384 324	横浜 F・マリノス Pr 横浜 F・マリノス Pr	横浜 F・マリノス菅田 さぎぬま FC	横浜 F・マリノス追浜 黒滝 SC
14	28	高 低	388 337	あざみ野 FC 横浜 F・マリノス追浜	明治 SSS あざみ野 FC	横浜 F・マリノス さぎぬま FC
15	29	高 低	387 333	横浜 F・マリノス Pr 横浜 F・マリノス Pr	バディーSC 酒匂あかつき	湘南ベルマーレ あざみ野 FC
16	30	高 低	399 364	横浜 F・マリノス追浜 横浜 F・マリノス	瀬谷 FC バディーSC	FC コラソン 綾南オレンジ
17	31	高 低	409 384	横浜 F・マリノス追浜 バディーSC	SCH. FC 横浜 F・マリノス	藤沢 FC SCH. FC
18	32	高 低	415 397	バディーSC 横浜 F・マリノス	綾南オレンジ J. スポーツ	湘南ベルマーレ 中野島 FC
19	33	高 低	432 406	横浜 F・マリノス バディーSC	南が丘 SC 横浜 F・マリノス	横浜 F・マリノス追浜 黒滝 SC
20	34	高 低	435 408	横浜 F・マリノス追浜 バディーSC	湘南ベルマーレ 大豆戸 FC	横浜 F・マリノス パーシモン

—編集後記—

記念誌編集にあたりましては、まずは横浜サッカー協会少年委員会及びサッカーチームの方、地元で校庭を利用して頂いている小学校、中学校の校長先生方、地元地域の自治会／スポーツチームの方から御祝辞を頂き、誠にありがとうございました。この場をおかりして厚く御礼申し上げます。

今回の記念誌につきましては、出来るだけ過去のチーム成績、メンバー紹介、トピックス等をまとめるという30年史のコンセプトを継承し、たちばな歴史をプレーヤー（子供達）中心に纏めることを心がけました。

歴代キャプテンへのチーム紹介依頼（7月）等を行ないました。しかしながら、なにぶん歳月を経過しているため、連絡のつかない方、記憶が薄れてしまった方等が多く、作業は進まず、15周年記念誌、20周年記念誌、30周年記念誌の内容も引用させて頂き何とか今回の発行にこぎつける事が出来ました。数多くの方々から、原稿、写真等の資料を提出して頂き、ご多忙中にもかかわらず御協力頂き、誠にありがとうございました。一方、年代によりましては十分な資料が揃わず、戦績、メンバー紹介等の内容が不十分となってしまいました事を深くお詫び申し上げます。

私個人も小学校3年よりたちばなキッカーズでサッカーを始め、40才を過ぎた今でも友人たちとピッチの上で走り回っていますが、そのサッカーの楽しさを教えてもらえたのは、たちばなであり、それを率いた曾田監督をはじめコーチの方々のおかげだと思います。また、たちばなでの間も、卒団後も、数多くの友人たちと楽しい時（サッカー、遊び等など）を過ごせたのも、たちばなでの経験が大きく役立っていると思っています。

今回の編集にあたり、強く感じたのは、たちばなを卒団したOBの面々もたちばなでのびのびと楽しくサッカーをした素晴らしい経験もさることながら、その後についても生き生きと、楽しく、いい友人に囲まれながら、本当に素晴らしい経験をされているのが良くわかりました。今後も、このように子供達を中心に、子供達が自由に考え、のびのびと楽しくサッカーが出来る環境を作ることが非常に大切だと痛感しました。

最後に、記念誌編集に際しましては、編集委員の皆様をはじめ、たちばなキッカーズ関係者の皆様のご協力に感謝すると共に、印刷／製本をして頂きました有限会社ワコーの皆様、原稿の入力等を手伝ってくれた妻に深く感謝する次第であります。紙面をおかりして厚くお礼申し上げます。

（三木）

たちばなキッカーズ創立40周年記念行事実行委員会組織

統括責任	宍戸 正人
事務局	渡辺 邦雄、伊藤 裕紀
式典、祝賀会	前島 宏行、岡村 友子、徳永 直子、伊藤 裕紀、秋葉 祥子、西川 玲子
記念誌	三木 健司、宍戸 正人
招待試合	田辺 昭治、徳永 佳則、渡辺 邦雄、手代木 修
資金	渡辺 邦雄、吉武 誠吾、吉武 直美、秋葉 祥子

たちばなキッカーズ創立40周年記念誌

発行 たちばなキッカーズ

創立40周年記念行事実行委員会

印刷所 有限会社ワコー

発行日 平成21年2月22日

TKC

SINCE1968